（仮称）新学校給食センター　建築工事

株式会社 池田建築設計事務所
idea-image-inspiration

図面番号	図　面　名　称	主要縮尺(A1)	図面番号	図　面　名　称	主要縮尺(A1)	図面番号	図　面　名　称	主要縮尺(A1)	図面番号	図　面　名　称	主要縮尺(A1)	図面番号	図　面　名　称	主要縮尺(A1)
A- 共-001	図面リスト	——	A- 101	1階排水ピット平面図	1:150	A- S- 001	特記仕様書1	——						
A- 共-002	工事区分表	——	A- 102	排水ピット詳細図（1）	1:図示	A- S- 002	特記仕様書2	——						
			A- 103	排水ピット詳細図（2）	1:図示	A- S- 003	特記仕様書3	——						
A- 特-001	建築工事特記仕様書（1）	——	A- 104	外部雑詳細図（1）	1:30	A- S- 004	特記仕様書4	——						
A- 特-002	建築工事特記仕様書（2）	——	A- 105	外部雑詳細図（2）	1:30	A- S- 005	特記仕様書5	——						
A- 特-003	建築工事特記仕様書（3）	——	A- 106	外部雑詳細図（3）	1:図示	A- S- 006	特記仕様書6	——						
A- 特-004	建築工事特記仕様書（4）	——	A- 107	外部雑詳細図（4）	1:図示	A- S- 007	特記仕様書7	——						
A- 特-005	建築工事特記仕様書（5）	——	A- 108	内部雑詳細図（1）	1:図示	A- S- 008	合成スラブデッキ施工要領書（1）	——						
A- 特-006	建築工事特記仕様書（6）	——	A- 109	内部雑詳細図（2）	1:図示	A- S- 009	合成スラブデッキ施工要領書（2）	——						
A- 特-007	建築工事特記仕様書（7）	——	A- 110	内部雑詳細図（3）	1:図示	A- S- 010	合成スラブデッキ施工要領書（3）	——						
A- 特-008	建築工事特記仕様書（8）	——	A- 111	高壁用軽量鉄骨下地詳細図（参考図）	1:図示	A- S- 011	半固定柱脚　施工要領書1（参考図）	——						
A- 特-009	建築工事特記仕様書（9）	——	A- 112	天吊り消毒保管庫　鉄骨下地詳細図（参考図）	1:50	A- S- 012	半固定柱脚　施工要領書2（参考図）	——						
A- 特-010	別表（1）	——	A- 113	断熱範囲図	1:300	A- S- 013	ボーリング位置図	1:400						
A- 特-011	別表（2）	——				A- S- 014	ボーリング柱状図1	1:100						
A- 特-012	別表（3）	——	A- 201	建具標準仕様図	1:5	A- S- 015	ボーリング柱状図2	1:100						
A- 特-013	建築非構造部材の耐震性能に係る標準特記	——	A- 202	1階　建具キープラン	1:150	A- S- 016	リスト1	1:40						
			A- 203	2階　建具キープラン	1:150	A- S- 017	リスト2	1:40						
A- 001	設計概要・位置図・案内図	1:図示	A- 204	建具表(1)	1:100	A- S- 018	柱芯線図	1:40,150						
A- 002	仕上共通事項・外部仕上表	——	A- 205	建具表(2)	1:100	A- S- 019	基礎伏図	1:150						
A- 003	内部仕上表（1）	——	A- 206	建具表(3)	1:100	A- S- 020	1階床伏図	1:150						
A- 004	内部仕上表（2）	——	A- 207	建具表(4)	1:100	A- S- 021	2階床伏図	1:150						
A- 005	内部仕上表（3）	——	A- 208	建具表(5)	1:100	A- S- 022	2’階床伏図	1:150						
A- 006	内部仕上表（4）	——	A- 209	建具表(6)	1:100	A- S- 023	R階床伏図	1:150						
A- 007	敷地面積表・求積図・公図転写連続図	1:500				A- S- 024	X方向軸組図1	1:150						
A- 008	平均地盤面算定図	1:400	A- 301	家具・サインキープラン	1:200	A- S- 025	X方向軸組図2	1:150						
A- 009	建物面積求積図	1:400	A- 302	サイン図	1:図示	A- S- 026	Y方向軸組図1	1:150						
A- 010	室面積図	1:250	A- 303	家具図	1:20	A- S- 027	Y方向軸組図2	1:150						
A- 011	法チェック表	1:300				A- S- 028	Y方向軸組図3	1:150						
A- 012	法チェック表（面積区画）	1:300	A- 401	エアシャワー詳細図（参考図）	1:20	A- S- 029	構造詳細図	1:40						
A- 013	法チェック表（消防区画）	1:150	A- 402	厨房間口取合図（1）	1:30	A- S- 030	雑詳細図1	1:40						
A- 014	配置図	1:400	A- 403	厨房間口取合図（2）	1:30	A- S- 031	雑詳細図2	1:40						
A- 015	地下ピット平面図	1:150	A- 404	厨房機器上部取合図	1:図示	A- S- 032	F.T.Pile工法（標準タイプ）	——						
A- 016	1階平面図	1:150	A- 405	欠番	1:20	A- S- 033	F.T.Pile工法（引抜きタイプ）	——						
A- 017	2階平面図	1:150	A- 406	ミニキッチン詳細図	1:10	A- S- 034	柱梁接合工法　標準図（1）	——						
A- 018	屋根伏図	1:150	A- 407	シャワールーム詳細図	1:20	A- S- 035	柱梁接合工法　標準図（2）	——						
A- 019	立面図	1:150	A- 408	欠番	1:図示	A- S- 036	柱梁接合工法　標準図（3）	——						
A- 020	断面図	1:150	A- 409	煙突詳細図	1:30	A- S- 037	柱梁接合工法　標準図（4）	——						
A- 021	1階天井伏図	1:150				A- S- 038	柱梁接合工法　標準図（5）	——						
A- 022	2階天井伏図	1:150	A- 501	外構平面図	1:400	A- S- 039	柱梁接合工法　標準図（6）	——						
A- 023	矩計図（1）	1:50	A- 502	外構詳細図（1）	1:50									
A- 024	矩計図（2）	1:50	A- 503	外構詳細図（2）	1:図示									
A- 025	矩計図（3）	1:50	A- 504	外構詳細図（3）	1:図示									
A- 026	矩計図（4）	1:50	A- 505	外構詳細図（4）	1:図示									
A- 027	矩計図（5）	1:50	A- 506	駐輪場詳細図	1:図示									
A- 028	矩計図（6）	1:50	A- 507	自転車置場詳細図	1:図示									
A- 029	階段詳細図（1）	1:図示	A- 508	ボイラー原水槽詳細図	1:30									
A- 030	階段詳細図（2）	1:図示	A- 509	ブロワ室詳細図	1:図示									
A- 031	階段詳細図（3）	1:図示	A- 510	屋外倉庫詳細図	1:40									
A- 032	平面詳細図（1）	1:50	A- 511	緑地詳細図・求積図	1:図示									
A- 033	平面詳細図（2）	1:50	A- 512	河川工事承認図	1:図示									
A- 034	平面詳細図（3）	1:50	A- 513	道路工事承認図（1/3）	1:図示									
A- 035	平面詳細図（4）	1:50	A- 514	道路工事承認図（2/3）	1:図示									
A- 036	平面詳細図（5）	1:50	A- 515	道路工事承認図（3/3）	1:図示									
A- 037	平面詳細図（6）	1:50												
A- 038	平面詳細図（7）	1:50	A- 601	参考仮設計画図(1)（参考図）	1:図示									
A- 039	平面詳細図（8）	1:50	A- 602	参考仮設計画図(2)（参考図）	1:400									
A- 040	平面詳細図（9）	1:50												
A- 041	平面詳細図（10）	1:50	A- 701	昇降機設備図(1)　（参考図）	——									
A- 042	平面詳細図（11）	1:50	A- 702	昇降機設備図(2)（参考図）	1:図示									
A- 043	平面詳細図（12）	1:50	A- 703	小荷物専用昇降機設備図(1)（参考図）	1:20									
A- 044	平面詳細図（13）	1:50	A- 704	小荷物専用昇降機設備図(2)（参考図）	1:30									
A- 045	風除室詳細図	1:図示												
A- 046	展開図（1）	1:100	A- 801	厨房機器配置図（参考図）	1:150									
A- 047	展開図（2）	1:100	A- 802	厨房機器リスト1（参考図）	——									
A- 048	展開図（3）	1:100	A- 803	厨房機器リスト2（参考図）	——									
A- 049	展開図（4）	1:100	A- 804	厨房機器リスト3（参考図）	——									
A- 050	展開図（5）	1:100	A- 805	厨房機器単品図1（参考図）	——									
A- 051	展開図（6）	1:100	A- 806	厨房機器単品図2（参考図）	——									
A- 052	展開図（7）	1:100												
A- 053	展開図（8）	1:100	A- 901	厨房廃水処理槽　配筋図1	1:50									
A- 054	展開図（9）	1:100	A- 902	厨房廃水処理槽　配筋図2	1:50									

訂正	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	図面リスト
		設計者		作図者	有馬　慎介				

縮尺		図面番号
A1	–	A-共-001
A3	–	

工事区分表

躯体関係

項目		建築	電気	空調換気	衛生	厨房		備考
1 RC造の（梁・壁・床）の貫通口・開口部	貫通スリーブ材及び取付け	○	○	○	○			各工事に必要なｽﾘｰﾌﾞは各々の工事
	補強を要する型枠材及び取付け	○						
	補強を要しない型枠材及び取付け	○						
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○			
	貫通孔・開口部の補強	○						
	スリーブ・型枠の穴埋め	○	○	○	○			防火区画，防煙区画
	大型貫通孔（450φ以上）の墨出し・補強	○						
2 Ｓ、ＳＲＣ造梁貫通口	Ｓ・ＳＲＣ造貫通鋼管スリーブ・補強	○						
	使用されたスリーブの穴埋め	○						
	予備スリーブの穴埋め	○						
	床デッキプレートの切込み	○						
3 設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	○						
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）		○	○	○			
	屋外・屋上の基礎　現場コンクリート製作	○						
	屋外・屋上の基礎　既製品		○	○	○			
	屋上基礎で押えｺﾝｸﾘﾆｱﾝｶｰしない軽微なもの		○	○	○			
	機器取付け用アンカー・架台		○	○	○			建築設計図に表示あるものは建築
	配電盤・制御盤等の基礎	○						屋内外とも
4 昇降機関連	昇降路・機械室の躯体	○						
	昇降路内ピット防水	○						
	各階出入口穴あけ・同補強	○						
	出入口扉・三方枠・インジケータ取付	○						
	三方枠、ｲﾝｼﾞｹｰﾀなどと壁廻り埋戻し・同補修	○						
	昇降路がＲＣ造の時、軌条・中間ﾋﾞｰﾑ・ﾌﾞﾗｹｯﾄ他昇降路内の鉄製部材一式							
	天井フック取付	○						
	ホール押釦・インジケータ・鋼索などの壁開口及び同補修	○						
	昇降路がＳ造の時の中層ﾋﾞｰﾑﾌﾞﾗｹｯﾄ受けﾋﾟｰｽ	○						
	インターホンまでの配線工事		○					
	インターホンまでの配管工事		○					
	昇降路上部の煙感知器設置工事	※	○					※ＥＶ連動スイッチ
	動力用電源設備及びＤ種ﾌｰｽ引込み配管、配線工事		○					
	昇降路上部の煙感知器設置工事		○					
	点検用コンセント配管、配線工事		○					
	外部インターホン用配管、配線引込み工事		○					
	電話中継盤までの遠隔監視用配管、配線工事		○					
5 その他	トラフ・ピット類（ふたを含む）	○						
	ピット内防水・タラップ	○						
	避雷設備・同接地工事							

仕上げ関係

項目		建築	電気	空調換気	衛生	厨房		備考
1 軽鉄天井・壁下地	補強を要するﾎﾞｰﾄﾞの切込み及び下地の寸断・補強	○	○	○	○			各工事に必要なものは各々の工事
	開口部の墨出し	※	○	○	○	※		※厨房機器に必要なものは建築工事
	各設備器具　開口補強	○						
2 既製間仕切	切り込み及び補強	○						
3 吊りボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用	※	○	○	○	※		※厨房機器に必要なものは建築工事
4 外壁まわり	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ	○						ダクト接続枠及び水返しも建築工事
	ウエザーカバー、ベンドキャップ			○				地下ﾋﾟｯﾄ通気管は設備工事
	換気扇			○		○		二次側取付は設備工事
	シーリング	○		※				※設備工事との取合部は設備工事
5 湯沸室まわり	流し台・吊り戸棚・水切り棚・コンロ台	○						
	フード	○		○				本体は建築工事、二次側取付は設備工事
6 厨房	厨房機器		○	○	○	○		本体及び据付は厨房二次側は設備工事
	床排水金物等	○						本体は建築工事、排水ﾄﾗｯﾌﾟは設備工事
	開口部隙間埋め	○				○		図示による
	調理場内フード			○				
7 便所まわり	洗面器				○			
	化粧鏡	○						
	ユニット型衛生器具				○			
	身障者用手すり	○			○			取付下地は建築工事
8 衛生設備機器	シャワーユニット	○	○	○	○			本体据付は建築、二次側は設備工事
	洗面カウンター	○						カウンター本体及び切込は建築工事
	衛生器具		○		○			電源は電気工事
	ペーパータオル				○			
	連装手洗い				○			
9 フリーアクセスフロア	コンセント							
	床パネルの切り込み加工							
10その他	２重ピット及びトレンチのマンホールふた							
	機器搬入用フック　ビーム							
	チェーンブロック							
	化粧マンホール上ふたの表面仕上げ	○						
	マンホールふた		○		○			
	点検口（天井・床下）	○						
	排煙口等の天井仕上げ材の取付け							
	自動開閉装置を取り付ける防火戸の切込み補強及びドアチェック、フロアヒンジ	○	○					配線は電気工事
	消火器ＢＯＸ設置工事	○						消火器共
	自動扉・電動シャッターへの電源供給		○					
	自動扉・電動シャッターからの付属スイッチ・センサーへの配管工事		○					
	洗濯機パン				○			
	配線ピット・ふた	○						
	コンテナ消毒保管庫上部補強材	○						

仕上げ関係

項目		建築	電気	空調換気	衛生	厨房		備考
10その他	エアシャワー	○	○	○				本体及び据付は建築二次側は設備工事
	ボイラー煙突	○		○				蒸気ボイラー本体、煙突接続は設備工事
	太陽光パネル							
	エアカーテン			○				
	太陽光パネル架台							
	プレハブ庫のパネル組付	○						
	プレハブ庫　警報機取付、配線	○						
	プレハブ庫　冷媒配管・スリーブ・インサート工事	○						
	プレハブ庫から室外機までのケーブル	○						

建築工事特記仕様書

第１　工事概要

1　工事名称　　（仮称）新学校給食センター　建築工事
2　工事場所　　藤枝市　緑町　二丁目　地内
3　敷地面積　　11,032.42　㎡
4　都市計画　　(・)都市計画区域内　・準都市計画区域内　・都市計画区域外
　　(・)線引　（・市街化区域　(・)市街化調整区域 ）　・非線引
5　用途地域　　・
6　防火地域　　・防火地域　・準防火地域　(・)指定なし
7　その他の　　(・)風力係数算定のための地表面粗度区分　（・Ⅱ　(・)Ⅲ）
　　地域・地区　(・)風圧力算定のための基準速度　Vo＝32　　m/s
　　(・)垂直積雪量　　（　0.30　m）
　　(・)騒音規制法に基づく指定区域　（・１種　(・)２種　・３種　・４種）
8　建物概要

建物名称	構造・階数	工事種別	建築面積㎡	延べ面積㎡	備考
給食センター	S造　2階建	新築	4,118.87	5,316.94	
屋外倉庫	S造　平屋建	新築	17.55	17.55	
プロア室	RC造　平屋建	新築	19.31	17.55	
ポンプ室	ｽﾃﾝﾚｽ造　平屋建	新築	15.00	15.00	
自転車置場	アルミ造	新築	11.53	11.53	
駐輪場	アルミ造	新築	14.97	14.97	

9　工事内容
建築工事、建築外構工事

第２　仕様

1　図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和７年版」(以下「標準仕様書」という。)によるほか、下記仕様書のうち、
　○印を付けたものを適用する。
　(・)建築工事標準詳細図(令和４年版)（以下「標準詳細図」という。）
　(・)建築物解体工事共通仕様書(令和４年版)
　(・)土木工事共通仕様書
　・

2　仕様書に用いられている用語を次のとおり読み替える。
　(1)「契約書」を「藤枝市建設工事執行規則(昭和50年3月25日規則第16号)第11条の
　　藤枝市建設工事請負契約約款（以下「約款」という。）」に読み替える。
　(2)「監督職員」を「監督員」に読み替える。
　(3)「検査職員」を「検査技監」、「検査監」及び「検査員」に読み替える。

3　電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。
　なお、電気設備工事の特記仕様書は（　　）図、機械設備工事の特記仕様書は（　　）図による。

4　本特記仕様書の表記
　(1)項目は、番号の前に○印の付いたものを適用する。
　(2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。
　　○印の付かない場合は※印の付いたものを適用する。
　　○印と※印の付いた場合は、共に適用とし、適用範囲は図示とする。
　(3)特記事項に記載の(．．)の表示番号は、「標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。
　(4)[G] 印は「静岡県環境物品等の推進に関する基本方針」の公共工事に関わる特定調達品目を示す。
　(5)受注者は南海トラフ地震に関連する情報（地震）が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。
　　上記事実が発生した場合は、約款第26条(臨機の措置)の規定による。
　(6)標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令(条例を含む)の改正等により抵触する場合には、関係法令等の遵守(1.1.13)の規定を優先する。

第３　適用基準等

※営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部(令和５年版)）
・

１章　各章共通事項

○1　工事実績情報ｼｽﾃﾑ（ｺﾘﾝｽﾞ）への登録　(1.1.4)
受注時又は契約変更時に工事請負代金額500万円以上の工事について、工事実績情報ｼｽﾃﾑ(CORINS)に登録すること。また、契約変更により工事請負代金額が500万円未満になった場合は、すみやかに契約変更前の工事登録を削除すること。なお、契約金額の変更登録は、完成時のみとする。

○2　書面の書式及び取扱い　(1.1.5)
情報共有ｼｽﾃﾑの適用及び機能要件
　情報共有ｼｽﾃﾑに関する特記仕様書による

○3　工事の一時中止　(1.1.9)
※ 工事一時中止ガイドライン（建築・建築設備工事編）に定めるところによる。
約款第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画書(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。
また、工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

○4　遠隔臨場の実施　(1.1.14)
遠隔臨場の適用及び実施内容
　遠隔臨場の実施要領（建築版）　特記仕様書 による

○5　施工図等の取扱い　(1.2.3)
施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

○6　設備工事との取合い
施工範囲　※ 工事区分表による　・
施工図　　設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。

○7　電気保安技術者　(1.3.3)
※ 適用する

○8　発生材の処理等　(1.3.11)
(・)引渡しを要するもの
　・金属類　(・)PCB含有物
・現場において再利用を図るもの
　・　　・

○9　産業廃棄物管理票
(財)日本産業廃棄物処理振興ｾﾝﾀｰ（http://www.jwnet.or.jp）が運営する「情報処理ｾﾝﾀｰの登録(電子ﾏﾆﾌｪｽﾄ)により行うこと。これにより難い場合は監督員と協議する。

○10　建設副産物
発生材については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」及び「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」その他関係法令の規定を遵守し、適正に処理する。
事前に建設副産物情報交換システム等(以下、「ｺﾌﾞﾘｽ・ﾌﾟﾗｽ」という。)に登録及び必要事項を入力し、ｺﾌﾞﾘｽ・ﾌﾟﾗｽより出力される以下計画書等を監督員に提出する。
　①再生資源利用計画書(実施書)
　②再生資源利用促進計画書(実施書)
　③ｺﾌﾞﾘｽ･ﾌﾟﾗｽ登録済確認書(計画、実施)
工事完了時、ｺﾌﾞﾘｽ・ﾌﾟﾗｽより出力される上記①、②の実施書及び③の登録済証明書（実施）を監督員に提出する。

○11　特定建設資材の処理
本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」第9条による分別解体等実施義務の対象建設工事となることが想定されるため、同法に基づき分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施について適切な措置を講ずることとする。
工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、予定していた条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。
また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に要した費用を書面にて監督員に報告する。

(・)分別解体等の方法（新築、修繕、模様替え工事）

	工程	作業内容
工程ごとの作業内容及び解体方法	(1)造成等	造成等の工事 ・有　・無
	(2)基礎、基礎ぐい	基礎、基礎ぐいの工事 (・)有　・無
	(3)上部構造部材外装	上部構造部材、外装の工事 (・)有　・無
	(4)屋根	屋根の工事 (・)有　・無
	(5)建築設備、内装等	建築設備、内装等の工事 (・)有　・無
	(6)その他（　　）	その他の工事 ・有　・無

(・)特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設の名称	所在地
(・)ｺﾝｸﾘｰﾄ		
(・)ｺﾝｸﾘｰﾄ及び鉄から成る建設資材		
(・)木材		
(・)ｱｽﾌｧﾙﾄ、ｺﾝｸﾘｰﾄ		

通知に係る事項の説明時に上記と異なる施設(同種の再資源化等を行う施設に限る)を受注者が提示した場合は、当該施設に搬出することができる。ただし、当該施設への変更については設計変更の対象としない。

○12　環境への配慮　(1.4.1)
建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次のアからエを満たすものとする。
ア　合板、木質系ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ、構造用ﾊﾟﾈﾙ、集成材、単板積層材、MDF、ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ、その他の木質建材、ﾕﾘｱ樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料は、ﾌｪﾉﾙﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ及びｽﾁﾚﾝを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
イ　接着剤及び塗料は、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ及びｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝの含有量が少ない材料を使用する。
ウ　接着剤は、可塑性(ﾌﾀﾙ酸ｼﾞﾌﾞﾁﾙ及びﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-2-ｴﾁﾙﾍｷｼ等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。
エ　アの材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ及びｽﾁﾚﾝを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

○13　材料の品質等　(1.4.2)
(1)本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
(2)備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督員の承諾を受ける。
(3)標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

○14　材料の検査等　(1.4.4)
現場に搬入したすべての材料について、自主検査記録(任意様式)を提出すること。ただし、次表に掲げる材料については監督員の検査を受ける。
なお、監督員の検査の結果、合格した材料と同じ種別の材料は以後原則として抽出検査とする。

材料名称		
仮設工事	**防水工事**	**塗装工事**
・	(・)防水材	(・)塗料
・	(・)断熱材、接着剤	・
土工事	(・)ｼｰﾘﾝｸﾞ材	**内装工事**
※ 埋め戻し、盛土材	・	(・)ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ
・	**石、ﾀｲﾙ工事**	・ｶｰﾍﾟｯﾄ
地業工事	・石材	(・)合成樹脂塗床材
・砕石	・取付金物	・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ
※ 杭	(・)ﾀｲﾙ	(・)畳
・杭施工混和材	・ﾀｲﾙ張付け用材料	(・)せっこうﾎﾞｰﾄﾞ
・溶接材料	・	(・)壁紙
・杭頭補強筋	**木工事**	(・)断熱、防露材
・地盤改良材	(・)木材	・
・	(・)集成材	・
鉄筋工事	・	**ﾕﾆｯﾄ、その他工事**
※ 鉄筋	**屋根、とい工事**	・ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ
・溶接金網	・長尺金属板	・可動間仕切
(・)ｽﾘｰﾌﾞ補強筋(既製品)	(・)折板	(・)ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ
・	・粘土瓦	・
ｺﾝｸﾘｰﾄ工事	・とい	・
・型枠	・	**排水工事**
・特殊型枠(ﾌﾗｯﾄﾃﾞｯｷ他)	**金属工事**	・排水管
※ ｺﾝｸﾘｰﾄ	・金属製品	・排水枡
・ｾﾒﾝﾄ	(・)軽量鉄骨天井下地	・
・骨材	(・)軽量鉄骨壁下地	・
・水	(・)あと施工ｱﾝｶｰ	**舗装工事**
・混和材	・	(・)路床
・	**左官工事**	(・)路盤材
・	・ﾓﾙﾀﾙ	(・)ｱｽﾌｧﾙﾄ
鉄骨工事	(・)ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材	(・)ｺﾝｸﾘｰﾄ
※ 鋼材	(・)仕上塗材	(・)ﾌﾞﾛｯｸ系舗装材
(・)高力ﾎﾞﾙﾄ、普通ﾎﾞﾙﾄ	(・)ﾛｯｸｳｰﾙ	・
・ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	・	・
・ｽﾀｯﾄﾞ	**建具工事**	**植栽工事**
(・)ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ	(・)ｱﾙﾐ製、鋼製建具	(・)樹木
・溶接材料	・木製建具	・芝、吹付けは種、地被類
(・)耐火被覆材	・建具用金物	・支柱材
(・)溶融亜鉛めっき	・ｶﾞﾗｽ	・肥料、土壌改良剤
・	(・)ｼｬｯﾀｰ	・
・	・	・
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ他工事	**ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事**	
・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	・	
・ALCﾊﾟﾈﾙ	・	
・押出成形ｾﾒﾝﾄ板	・	
・	・	
・	・	

監督員の検査を受けて使用すべきとされた材料であっても、設計図書に定める JIS又はJASのﾏｰｸ表示のある材料並びに規格、基準等の規格証明書が添付された材料で、監督員の承諾を受けた場合は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとして、取り扱うことができる。

○13　地場産品
静岡県中小企業の受注者機会の増大による地域経済の活性化に関する条例に基づき地場産品の使用促進を図ることで地域経済の活性化に寄与することを目的とする。受注者は工事に使用する建設資材等について契約図書に規定する品質が規格値を満足した地場産品の優先使用に努めること。
「地場産品」とは「県産木材」及び「県産品」をいう。
「県産木材」とは「静岡県産材証明制度要綱」第２条に掲げるものをいう。
「県産品」とは建設資材又は製品等で、県内で最終工程が施されたものをいう。

○14　技能士
一級技能士又は単一等級の資格者を有する者の配置を適用する作業種別　(1.5.2)

工事種目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事	とび	とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	鉄筋組立作業
ｺﾝｸﾘｰﾄ工事	型枠施工	型枠工事作業
	ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送施工	ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送工事作業
鉄骨工事	鉄工	構造物鉄工作業
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ、ALCﾊﾟﾈﾙ、押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事	ﾌﾞﾛｯｸ建築	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業
	ｴｰｴﾙｼｰﾊﾟﾈﾙ施工	ｴｰｴﾙｼｰﾊﾟﾈﾙ工事作業
防水工事	防水施工	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業
		ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業
		ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業
		合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業
		塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業
		ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業
		ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業
		改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ工法防水工事作業
		改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ常温粘着工法防水工事作業
		FRP防水工事作業
石工事	石材施工	石張り作業
ﾀｲﾙ工事	ﾀｲﾙ張り	ﾀｲﾙ張り作業
木工事	建築大工	大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	内外装板金作業
金属工事	内装仕上施工	鋼製下地工事作業
	建築板金	内外装板金作業
左官工事	左官	左官作業
建具工事	ｻｯｼ施工	ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業
	ｶﾞﾗｽ施工	ｶﾞﾗｽ工事作業
	自動ﾄﾞｱ施工	自動ﾄﾞｱ施工作業
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事	ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ施工	金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事作業
	ｻｯｼ施工	ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業
	ｶﾞﾗｽ施工	ｶﾞﾗｽ工事作業
塗装工事	塗装	建築塗装作業
内装工事	内装仕上施工	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業
		ｶｰﾍﾟｯﾄ系床仕上げ工事作業
		木質系床仕上げ工事作業
		ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業
	表装	壁装作業
排水工事	配管	建築配管作業
舗装工事	路面表示施工	溶解ﾍｲﾝﾄﾏｰｶｰ工事作業
		加熱ﾍｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ工事作業
植栽工事	造園	造園工事作業

配置できない場合は、監督員の承諾を得ること。

厨房機器設置工事の管理者資格
本工事の現場管理者は、下記のうちいずれかの一つを有する者、または監督職員が認めた者とする。
●一級または二級厨房設備施工技能士　●一級または二級厨房設備士　●一級管工事施工管理技士

○15　化学物質の濃度測定
施工完了後、完成届の提出前に次により室内空気中の化学物質の濃度を測定し、測定結果を監督員に報告する。
　測定対象室及び測定箇所数　(1.5.10)
　測定対象室　※ 全ての居室及び常~~時換気しない書庫、倉庫~~　(・)図示
　測定箇所数　：

室の床面積A(m2)	A≦50	50＜A≦200	200＜A≦500	500＜A
測定箇所数	1	2	3	4

　使用した材料、室の形状、換気設備等の仕様が類似しており、同様の測定結果となることが予想される複数の室については、監督員と協議の上、そのうちの１室以上を測定する。
　測定方法　※ ﾊﾟｯｼﾌﾞ採取による蒸気拡散式分析法　・厚生労働省の標準法
　測定物質　ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ、ｽﾁﾚﾝ

対象物質	厚生労働省の指針値（25℃の場合）
ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	0.08ppm（　100μg/m3）
ﾄﾙｴﾝ	0.07ppm（　260μg/m3）
ｷｼﾚﾝ	0.05ppm（　200μg/m3）
ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	0.085ppm（　370μg/m3）
ｽﾁﾚﾝ	0.05ppm（　220μg/m3）

　測定者　　専門測定機関による測定　※ 現場作業員による測定　・
　測定前準備　測定対象室を30分換気し、その後5時間閉鎖する。
　測定時　　測定前準備・測定時は換気設備又は空気調和設備を稼動させたまま行う。ただし、局所的な換気扇で常時稼動させないものは停止させたままとする。測定時間は、原則として24時間とする。ただし、24時間測定が行えない場合は8時間測定(10時30分～18時30分)とする。測定位置は、室中央付近の床から1.2m～1.5mの高さとする。
　測定後　　測定年月日、測定時刻、測定時の室温・湿度・天候、及び内装仕上げ工事の完了した年月日等を記載すること。

○16　検査　(1.6.1)(1.6.2)
中間検査　※ 対象工事（実施は中間検査実施基準による）　・対象外工事

○17　完成時の提出図書　(1.7.1)
※現場説明書による。

○18　設計GL
設計GL　※ 図示　・

○19　既存部の汚損等
工事施工に際し、既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造、仕上げ共、既存にならい補修する。

○20　事故報告
工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書を監督員に速やかに提出すること。

○21　異常気象時の報告
異常気象時（大雨警報、暴風警報、大雪警報）及び震度4以上の地震発生時には、現場点検を行い速やかに監督員に報告する。

○22　公共事業労務費調査に対する協力
受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、以下の各号に掲げる協力をしなければならない。また、工期経過後においても同様とする。
(1)調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。
(2)調査票等を提出した事業所を発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力しなければならない。
(3)正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。
(4)対象工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請負工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

２章　仮設工事

○1　足場その他　(2.2.4)
　内部足場の種別　※ 脚立、足場板等　・
　外部足場の種別　・枠組足場　(・)くさび緊結式足場　・単管本足場
　　・仮設ｺﾞﾝﾄﾞﾗ　・移動式足場　・
　工事で設置する足場については、標準仕様書2.2.4(2)によるほか、「手すり先行工法等に関するｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ」（厚生労働省令和5年12月）により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立てや解体等の作業は「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式、又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
　屋根工事及び小屋組の建方工事における墜落事故防止対策は、JIS A 8971(屋根工事用足場及び施工方法)の施工標準に基づく足場及び装備機材を設置する。

　(・)外部足場の防護ｼｰﾄによる養生
　　・養生ﾈｯﾄ　(・)養生ｼｰﾄ(　(・)Ⅰ類　・Ⅱ類)　・ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ(　※ Ⅰ類　・Ⅱ類)
　　(・)防音ｼｰﾄ　・防音ﾊﾟﾈﾙ　・

2　監督員事務所　(2.3.1)
　規模、仕様　・10㎡程度　・既存建物利用　・
　備品等(標準仕様書によるほか下記による)
　　・机　・椅子　・ｺﾞﾑ長靴　・雨がっぱ　・保安帽　・墜落制止用器具　・更衣ﾛｯｶｰ
　　以上は監督員　　人分
　　・書籍　・白板　・掛時計　・寒暖計　・懐中電灯　・受注者加入電話の子機　・消火器
　　・冷暖房機器　・ﾊﾟｿｺﾝ　(ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ接続：　　)
　　以上は各１ヶ

3　監理事務所
　規模、仕様　・10㎡程度　・既存建物利用　・
　備品等
　　・机　・椅子　・ｺﾞﾑ長靴　・雨がっぱ　・保安帽　・墜落制止用器具　・更衣ﾛｯｶｰ
　　以上は　　人分
　　・書籍　・白板　・掛時計　・寒暖計　・懐中電灯　・受注者加入電話の子機　・消火器
　　・冷暖房機器　・ﾊﾟｿｺﾝ　(ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ接続：　　)
　　以上は各１ヶ

○4　工事用水
　構内既存の施設　(・)利用できる
　　※ 有償　・無償
　　※ 利用可能口径　　φ　　本
　　・利用できない

○5　工事用電力
　構内既存の施設　(・)利用できる
　　※ 有償　・無償
　　※ 利用可能容量　　w　　回路
　　・利用できない

藤枝市　都市建設部　建築住宅課	池田建築設計事務所　一級建築士事務所	一級建築士　有馬　慎介 一級建築士登録　第360847号	検図	作図	日付

建設工事名
(仮称)新学校給食センター　建築工事

建築工事特記仕様書(1)

図番
A-特-001

3章　土工事

○1　埋戻し及び盛土 (3.2.3)

材料および工法
※標準仕様書表3.2.1による

種別	適用場所	土質	受渡場所
・A種			
・B種	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装表層路盤		
・C種			
・D種			

○2　建設発生土の処理 (3.2.5)

・場外指定場所に搬出し、搬出後、監督員へ搬出先の受入を証明する資料を提出する。
搬出場所　：大石建材
受入条件　：
搬出距離　：27km以下
仮置き場　：場内
なお、搬出場所、受入条件等は、設計図書作成時点のものであり、受注者は作成した施工計画や実施工程により、搬出予定時期の受入条件等を確認し、結果を監督員と協議する。施工計画の作成時には、工事現場から50kmの範囲内に建設発生土を利用する他の建設工事があるか静岡県建設発生土ﾏｯﾁﾝｸﾞｱﾌﾟﾘｼｽﾃﾑ等により検討を行い、利用先がある場合はこちらを優先とする。また、確認の結果、受入条件等の変更により搬出が困難な場合は、近隣の受入先を調査の上、搬出場所、受入条件等が確認できる資料を監督員に提出する。監督員は、提出された資料をふまえ受注者と協議の上、新たな搬出場所等を指定するとともに、必要に応じて設計変更を行う。
土壌汚染のおそれ　・無　・有
該当有害物質：
分析調査　・無　・有
物質の種類
・クロロエチレン
・四塩化炭素
・1,2-ジクロロエタン
・1,1-ジクロロエチレン
・1,2-ジクロロエチレン
・1,3-ジクロロプロペン
・ジクロロメタン
・テトラクロロエチレン
・1,1,1-トリクロロエタン
・1,1,2-トリクロロエタン
・トリクロロエチレン
・ベンゼン
・カドミウム及びその化合物
・六価クロム化合物
・シアン化合物
・水銀及びその化合物
・セレン及びその化合物
・鉛及びその化合物
・ひ素及びその化合物
・ふっ素及びその化合物
・ほう素及びその化合物
・シマジン
・チオベンカルブ
・チウラム
・ポリ塩化ビフェニル
・有機リン化合物（パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及びＥＰＮに限る。以下同じ。）
・銅
・1,4-ジオキサン
・ダイオキシン類
・場内指定場所に敷き均し
・図示
・場内指定場所に堆積
・図示

○3　山留め

鋼矢板等の抜き後の処理　※直ちに砂等で充填する
山留めの残置　・行う（存置範囲　※図示）

○4　建設汚泥の処理

処理対象　・図示　・杭工事発生土、表層改良残土
処理方法　※再生資源化施設へ搬出
なお、「建設汚泥の再利用に関するｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ（平成18年6月12日国土交通省）」により建設汚泥の発生量の抑制に努めること。

4章　地業工事

○1　支持地盤等 (3.2.1)(4.2.4)(4.3.4)(4.3.5)(4.4.4)(4.5.5)(4.5.6)

・杭基礎
支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む)　※図示
・直接基礎
支持地盤の位置及び土質(基礎底部の位置含む)　※図示
試験掘り(根切り底の状態の確認等)　・行う　・行わない
位置等　・図示

・杭の載荷試験
載荷試験の方法　・鉛直載荷試験
・地盤工学会基準JGS(　　)による
・水平載荷試験
・地盤工学会基準JGS1831による
試験の位置、本数、載荷荷重　・図示による
報告書の記載事項

・地盤の載荷試験
載荷試験の方法　平板載荷試験　・地盤工学会基準JGS1521による
試験の位置、載荷荷重　・図示による
報告書の記載事項

○2　既製コンクリート杭地業 (4.2.2)(4.3.1)(4.3.3)～(4.3.6)(4.3.8)

種類　・遠心力高強度ﾌﾟﾚｽﾄﾚｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ杭(PHC杭)
・ﾌﾟﾚｽﾄﾚｽﾄ鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ杭(PRC杭)
・外殻鋼管付きｺﾝｸﾘｰﾄ杭(SC杭)
鋼管材料　・SKK400　・SKK490

杭の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種別)、寸法、継ぎ手の個所数等

		種類種別	ｺﾝｸﾘｰﾄ強度(N/mm2)	杭径(mm)	厚さ(mm)	杭長(mm)	継手数	ｾｯﾄ数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭									
	中杭									
	下杭									
本杭	上杭									
	中杭									
	下杭									

図示

杭先端部形状　・開放形　・半開放形　・閉そく形
工法
・ｾﾒﾝﾄﾐﾙｸ工法
試験杭　試験杭の位置　・図示
掘削深さ　・図示
杭の支持層への根入れ深さ　・図示
杭の精度　水平方向の位置ずれ　・杭径の1/4かつ100mm以下
建込み時の杭の鉛直度　・1/100以内
・特定埋込杭工法
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうちα、β、γが以下の値を採用できる工法
α＝（　163　）　β＝（　5.80　）　γ＝（　0.74　）
工法　・ﾌﾞﾚﾍﾞｰﾘﾝｸﾞ拡大根固め工法　・中掘り拡大根固め工法
杭周固定液　・使用する　・使用しない
試験杭　試験杭の位置　・図示　・ボーリング調査位置付近
杭の支持層への根入れ長さ　※評定等の評価内容による
杭の精度　水平方向の位置ずれ　※評定等の評価内容による
建込み時の杭の鉛直度　※評定等の評価内容による
・杭の継手の工法　・溶接継手
溶接材料　・7.2.5(1)(2)による　・図示
・機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）
工法　※評定等を受けた工法
杭頭の処理等　・処理する　・処理しない
処理方法(切断に伴う補強方法含む)　・図示
杭頭の中詰め材料　・基礎のｺﾝｸﾘｰﾄと同調合のもの

3　鋼杭地業 (4.2.2)(4.4.1)(4.4.3)～(4.4.6)

鋼杭の材料
杭の種類、寸法、継手等

		種類	杭径(mm)	板厚(mm)	杭長(mm)	継手数	ｾｯﾄ数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭								
	中杭								
	下杭								
本杭	上杭								
	中杭								
	下杭								

・特定埋込杭工法
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうちα、β、γが下記の値を採用できる工法
α＝（　　）　β＝（　　）　γ＝（　　）
工法
試験杭　試験杭の位置　・図示
杭の支持層への根入れ長さ　・評定等の評価内容による
杭の精度　水平方向の位置ずれ　・評定等の評価内容による
建込み時の杭の鉛直度　・評定等の評価内容による
・杭の継手の工法
・ｱｰｸ溶接継手
形状　・JIS A 5525による
溶接材料　・標準仕様書7.2.5(1)(2)による　・図示
・機械式継手
工法　※評定等を受けた工法
杭頭の処理等　・処理する　・処理しない
処理方法(切断に伴う補強方法含む)　・図示
杭頭の中詰め材料　・基礎のｺﾝｸﾘｰﾄと同調合のもの

4　場所打ちコンクリート杭地業 (4.2.2)(4.5.1)(4.5.4)～(4.5.6)

工法　・ｱｰｽﾄﾞﾘﾙ工法
安定液　※使用する　・使用しない
・ﾘﾊﾞｰｽ工法
・ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ工法
孔内の水張り　・行う　・行わない
併用する工法　・場所打ち鋼管ｺﾝｸﾘｰﾄ杭工法
鋼管巻き材料　・SKK400　・SKK490
・拡底杭工法
安定液　・使用する　・使用しない

寸法等

	軸径(mm)	拡底径(mm)	杭長(mm)	ｾｯﾄ数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭						
本杭						

試験杭　試験杭の位置　・図示
孔壁の保持状況（孔壁測定）
測定箇所　・試験杭（　）箇所及び本杭（　）箇所
杭の支持層への根入れ長さ　・図示
杭の精度　水平方向の位置ずれ　・杭径の1/4かつ100mm以下　・評定等の評価内容による
建込み時の杭の鉛直度　・1/100以内　・評定等の評価内容による

鉄筋の種類

種類の記号	呼び径(mm)	備考
・SD295		
・SD345		

帯筋の加工及び組立　・図示
鉄筋の最小かぶり厚さ　・100mm
鉄筋かごの補強
組み立てた鉄筋の節ごとの継手　※重ね継手(重ね継手の長さ　・図示　・　　)
主筋の基礎底盤への定着長さ　・図示

ｾﾒﾝﾄの種類　※高炉ｾﾒﾝﾄB種[G]
ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度　・図示
ｺﾝｸﾘｰﾄの種類　・A種　・B種　・評定等の評価内容による
ｽﾗﾝﾌﾟ　※21cm　・18cm
構造体強度補正　※3N/mm2　・評定等の評価内容による

○5　砂利事業 (4.6.2)(4.6.3)

材料　・再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ[G]　・切込砂利及び切込砕石
範囲　・基礎下、基礎梁下、土間ｽﾗﾌﾞ下、土間ｺﾝｸﾘｰﾄ下　・図示
厚さ　※60mm

○6　捨ｺﾝｸﾘｰﾄ地業 (4.6.4)

範囲　・基礎下、基礎梁下、土間ｽﾗﾌﾞ下　・図示
厚さ　※50mm
ｺﾝｸﾘｰﾄの種別　・Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたｺﾝｸﾘｰﾄ）
・Ⅱ類（Ⅰ類以外でJIS A 5308に適合したｺﾝｸﾘｰﾄ）
ｺﾝｸﾘｰﾄの種類　※普通ｺﾝｸﾘｰﾄ
設計基準強度　※18N/mm2
ｽﾗﾝﾌﾟ　※15cm又は18cm

○7　床下防湿層 (4.6.2)(4.6.5)

材料　・ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ厚さ0.15mm以上
範囲　・建物内の土間ｽﾗﾌﾞ及び土間ｺﾝｸﾘｰﾄ下(ﾋﾞｯﾄ下を除く)
砂利地業の上に直接施工する場合は、防湿層の下に目つぶし砂敷均し(t=30)

○8　地盤改良 (4.7.2)(4.7.3)

・深層混合処理工法
材料　固化剤の種類　※ｾﾒﾝﾄ系固化剤
工法　方式　※機械攪拌方式
改良体の設計基準強度（Fc）、改良体長さ、改良率、改良体幅
・図示
室内配合試験
対象地層、共試体数　・図示
六価ｸﾛﾑ溶出試験　※行う　・行わない
試験施工　・行わない
・行う
位置等　・図示
改良工事完了後の試験
検査対象、ｺｱ採取方法、供試体数、検査方法　・図示
六価ｸﾛﾑ溶出試験　・行う　※行わない

・浅層混合処理工法 (4.8.2)(4.8.3)
材料　固化剤の種類　※ｾﾒﾝﾄ系固化剤
工法　方式　※原位置混合方式
改良体の設計基準強度（Fc）、改良対象土、改良範囲、改良厚さ
・図示
室内配合試験
対象地層、共試体数　・図示
六価ｸﾛﾑ溶出試験　※行う　・行わない
改良工事完了後の試験
検査対象、ｺｱ採取方法、供試体数、検査方法　・図示
六価ｸﾛﾑ溶出試験　・行う　※行わない

5章　鉄筋工事

○1　鉄筋 (5.2.1)

鉄筋の種類等

種類の記号	呼び径（mm）	備考
・SD295	・D16以下	
・SD345	・D19以上	
・	・	
・	・	

加工　・折曲げ角度が90℃未満も折曲げの内法直径(D)(　　)以上　・図示

○2　溶接金網 (5.2.2)

鉄線の形状等

種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)	使用箇所
・溶接金網		図示	図示
・			

○3　鉄筋の継手 (5.3.4)(5.5.2)(5.6.3)

鉄筋の継手の方法等

部位	継手の方法		呼び径(mm)
柱、梁の主筋	・ｶﾞｽ圧接	・機械式継手	
	・溶接接手	・重ね継手	
耐力壁の鉄筋	・重ね継手	・	
その他の鉄筋（　　）	・重ね継手	・	

継手位置　・図示　・図示（構造特記による）
柱及び梁主筋の重ね継手の長さ　・図示　・
耐力壁の重ね継手の長さ　・図示　・

○4　鉄筋の定着 (5.3.4)

鉄筋の定着長さ　・図示（構造特記による）・
機械式定着工法　・適用する　・適用しない
適用場所　・図示　・
種類　・摩擦圧接接合　・螺号ｸﾞﾗｳﾄ固定　・嵌合ｸﾞﾗｳﾄ固定　・
工法　※第三者機関の評定等を取得している工法とする
必要定着長さ　※評定等の評価内容による
補強筋形状　※評定等の評価内容による
かぶり著さ　※評定等の評価内容による
品質確認　※評定等の評価内容による
検査　※評定等の評価内容による

○5　鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む) (5.3.5)

最小かぶり厚さ　・図示　・図示（構造特記による）
軽量ｺﾝｸﾘｰﾄを適用する場合　・有り　・無し
適用箇所　：
・最小かぶり厚さに加える厚さ(mm)　：
耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)　・有り　・無し
適用箇所　：
・最小かぶり厚さに加える厚さ(mm)　：

○6　各部配筋 (5.3.7)

・図示　・各部配筋参考図による　（図示を優先）

○7　ガス圧接接手 (5.4.10)

圧接完了後の圧接部の試験　※超音波探傷試験
・引張試験
試験方法等　・図示　・標準仕様書5.4.10(イ)(b)①～⑥による

8　機械式継手 (5.5.3)(5.5.5)

適用箇所　※図示　・
H12建告第1463号に適合する性能　・A級　・
種類　・ねじ式鉄筋接手
充填方式　・無機ｸﾞﾗｳﾄ方式　・有機ｸﾞﾗｳﾄ方式
・端部ねじ加工継手
・ﾓﾙﾀﾙ充填式継手
・
工法　※第三者機関の評定等を取得している工法
鉄筋相互のあき　※評定等の評価内容による
品質の確認　※評定等の評価内容による
検査　※評定等の評価内容による
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象　※全数
試験項目及び合否判定　※標準仕様書 表5.5.1～表5.5.3による　・評定等の評価内容による
・
不合格となった場合の措置　※標準仕様書5.5.6(1)(ｱ)～(ｳ)による　・図示
・
・超音波測定試験
試験対象　・抜取り
ロット　・１組の作業班が１日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする。
・
試験の個所数　１ロットに対して（　　）箇所
・全数
試験項目　※挿入長さ
不合格となった場合の措置　・図示　・建築工事監理指針に依る

9　溶接継手 (5.6.3)(5.6.5)

適用箇所　・図示　・
H12建告第1463号に適合する性能　・A級　・
溶接接手の工法　・図示
・
鉄筋相互のあき　・標準仕様書5.3.5(4)による　・評定書の評価内容による　・図示
・
施工完了後の溶接部の試験
・外観試験
試験対象　※全数
・超音波測定試験
試験対象　・抜取り
・標準仕様書5.6.5(イ)による
・
・全数

6章　コンクリート工事

○1　レディーミクストコンクリート製造工場

※Ⅰ類ｺﾝｸﾘｰﾄの製造工場は、全国生ｺﾝｸﾘｰﾄ品質管理監査会議が策定した統一品質管理基準に適合している品質管理監査合格工場(○適を取得した工場)から選定する。

○2　コンクリート種類 (6.2.1)

ｺﾝｸﾘｰﾄの種別
※Ⅰ類(JIS A 5308への適合を認証されたｺﾝｸﾘｰﾄ)
・Ⅱ類(Ⅰ類以外でJIS A 5308に適合したｺﾝｸﾘｰﾄ)

○3　コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度 (6.2.1)～(6.2.4)(6.3.2)(6.10.1)(6.10.3)

普通ｺﾝｸﾘｰﾄ

設計基準強度（N/mm2）	ｽﾗﾝﾌﾟ（cm）	気乾単位容積質量(t/m3)	適用箇所
・24	・15	2.3程度	躯体全般
・	・		
・	・		

★印は構造体強度補正値(S)を適用しない
構造体強度補正値　※標準仕様書6.3.2による　・

軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ

設計基準強度（N/mm2）	ｽﾗﾝﾌﾟ	気乾単位容積質量(t/m3)	種類	適用箇所
・21	※21		・1種　・2種	
・				
・				

構造体強度補正値　※標準仕様書6.3.2による　・

○4　セメント (6.3.1)

種類
※普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ、高炉ｾﾒﾝﾄA種、ｼﾘｶｾﾒﾝﾄA種又はﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄA種
普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ、28日目で402J/g以下のものとする。
適用箇所　：
・高炉ｾﾒﾝﾄB種[G]
適用箇所　：
・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種[G]
適用箇所　：
・

○5　骨材 (6.3.1)

ｱﾙｶﾘｼﾘｶ反応性による区分　※A　・B

○6　混和材料 (6.3.1)

・混和剤
種類　※標準仕様書6.3.1(4)(a)による　・
・混和材
種類　※標準仕様書6.3.1(4)(b)による　・

7　寒中コンクリート (6.11.1)(6.11.2)

適用期間　・図示
構造体強度補正値　・標準仕様書6.11.2(3)(ｱ)による　・積算温度による

○8　暑中コンクリート (6.12.2)

ｽﾗﾝﾌﾟ　・21cm　・図示（構造特記による）
構造体強度補正値　※標準仕様書6.12.1による　・

9　マスコンクリート　(6.13.1)(6.13.2)

適用箇所　※図示による　・
ｾﾒﾝﾄの種類　・普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　・中庸熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　・低熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ
・高炉ｾﾒﾝﾄB種[G]　・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種[G]　・ｼﾘｶｾﾒﾝﾄ
・
混和材料　・混和剤
種類　※標準仕様書6.13.2(2)(ｱ)による　・
・混和材
種類　※標準仕様書6.13.2(2)(ｲ)による　・
ｽﾗﾝﾌﾟ　※15cm　・
構造体強度補正値　※標準仕様書表6.13.1による　・

○10　無筋コンクリート　(6.14.1)

ｺﾝｸﾘｰﾄの種類　※普通ｺﾝｸﾘｰﾄ　・
設計基準強度　※18N/mm2　・(・)24
ｽﾗﾝﾌﾟ　※15cm又は18cm　・
ｾﾒﾝﾄの種類　※普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ、高炉ｾﾒﾝﾄA種、ｼﾘｶｾﾒﾝﾄA種又はﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄA種
・高炉ｾﾒﾝﾄB種[G]
・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種[G]
適用箇所　※標準仕様書6.14.1(4)(ｱ)～(ｶ)による

11　流動化コンクリート　(6.15.1)

適用箇所　・図示による　・
空気量　※4.5%　・

12　高流動コンクリート　(6.16.1)

適用箇所　※図示による　・
材料及び調合　ｽﾗﾝﾌﾟﾌﾛｰ　※図示による　・
空気量　※4.5%　・
単位粗骨材かさ容積　※0.500m3/m3以上　・

○13　打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地　(6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)

打継ぎの位置　※標準仕様書6.6.4(1)による　・図示
目地寸法　※標準仕様書9.7.3(1)(ｱ)による　・図示
ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法　・図示

○14　構造体コンクリートの仕上り　(6.2.5)

合板せき板を用いるｺﾝｸﾘｰﾄの打放し仕上げ

種別	適用箇所
・A種	
(・)B種	内部コンクリート部分
・C種	

ｺﾝｸﾘｰﾄ仕上りの平たんさ

種別	適用箇所
・a種	
(・)b種	全てのコンクリート床板（地下ピット床除く）、ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装（プラットフォーム）
(・)c種	地下ピット内部

○15　打増し厚さ(打放し仕上げ部)　(6.8.1)

(・)打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
(・)20mm　(・)図示
(・)打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
(・)10mm　(・)20mm

○16　型枠　(6.8.2)

せき板の材料及び厚さ　(・)合板[G]（※12mm　・　　）
・断熱材を兼用した型枠材
使用箇所　・図示　・
・MCR工法用ｼｰﾄ
適用箇所　・図示　・
打増し厚さ　・20mm　・
打増し範囲　・図示による　・
ｽﾍｰﾄﾞの材種・規格等　※図示　・

○17　ｺﾝｸﾘｰﾄの単位水量測定　(6.5.1)

・行う　(・)行わない

レディーミクストコンクリート単位水量測定要領

(1) 単位水量の測定は、150m³に１回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。
(2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(ｲ)(c)による。
(3) 単位水量の管理目標値は次のとおりとして、施工する。
　1) 測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合は、そのまま施工する。
　2) 測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生ｺﾝ製造者に改善を指示し、その運搬車の生ｺﾝは打設する。その後設計値±15kg/m³以内で安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。
　3) 設計値±20kg/m³を超える場合は、生ｺﾝを打ち込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³以内であることを確認する。さらに、設計値±15kg/m³以内で安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。
　4) 3)の不合格生ｺﾝを確実に持ち帰ったことを確認する。
(4) 単位水量管理についての記録を書面（計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、ｺﾝｸﾘｰﾄ温度等）と写真により提出する。
(5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法（電子ﾚﾝｼﾞ法）、ｴｱﾒｰﾀ法又は静電容量測定法による。

○18　ｺﾝｸﾘｰﾄ供試体の確認　(6.9.3)

ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄを使用する場合、現場で採取した圧縮強度試験の供試体は、次に示すＡ法又はＢ法により確認するものとする。

(1) Ａ法
　1) ｺﾝｸﾘｰﾄ供試体型枠に投入したときの写真撮影時には、型枠外面に供試体を特定できる番号、記号等を記載し撮影する。
　2) 供試体頭部硬化後、型枠外面に記載した番号、記号等と同一のものを頭部にも記載し、2箇所の番号、記号等が1枚の写真で良く分かるよう撮影する。ただし、撮影は型枠脱型前に行う。
(2) Ｂ法
　1) 供試体型枠の側面内側にｸﾞﾘｰｽ塗布後所定の事項（立会者所属氏名、採取年月日、受入れ検査値（ｽﾗﾝﾌﾟ空気量、温度、塩化物(ｲｵﾝ量等）、構造物及び規格、工事名等）を記入した市販のQC版等の供試体確認ｼｰﾙを貼付け、ｺﾝｸﾘｰﾄを打設する。
　2) 強度試験を実施する前にQC版等の供試体確認ｼｰﾙにより、試料採取時と同一のものであることを確認する。

７章　鉄骨工事

○1　鉄骨の製作工場　(7.1.3)

※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場
（　H　）ｸﾞﾚｰﾄﾞ以上
・監督員の承諾する製作工場

○2　鉄骨製作工場における施工管理技術者　(7.1.4)

(・)配置する　・配置しない

○3　鋼材　(7.2.1)(7.2.10)

種類等　構造図による

種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規格
		・JISによる　・
		・JISによる　・
		・JISによる　・
		・JISによる　・
		・JISによる　・
		・JISによる　・

板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験
・行う　適用箇所：
・行わない

○4　高力ボルト　(7.2.2)(7.3.2)(7.4.2)(7.4.7)

ﾎﾞﾙﾄの種類　(・)ﾄｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ　(・)JIS形高力ﾎﾞﾙﾄ　・
ﾎﾞﾙﾄの縁端距離、ﾎﾞﾙﾄの間隔、ｹﾞｰｼﾞ等　(・)図示　・
JIS形高力ﾎﾞﾙﾄの締付け（本締め）
ﾅｯﾄ回転法の場合で、ﾎﾞﾙﾄの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量
・図示　・
摩擦面の処理方法　・標準仕様書7.4.2(1)による
・
・すべり試験の実施
・すべり係数試験　・すべり耐力試験
すべり試験を実施する場合、標準仕様書7.4.2(1)(ｲ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片により行うこと。

○5　普通ボルト　(7.2.3)(7.3.2)(7.3.8)

ﾎﾞﾙﾄ及びﾅｯﾄの材料
※標準仕様書　表7.2.3による
・JIS B 1180（六角ﾎﾞﾙﾄ）及びJIS B 1181（六角ﾅｯﾄ）による
・JIS B 1180（六角ﾎﾞﾙﾄ）付属書JA（規定）及びJIS B 1181（六角ﾅｯﾄ）付属書JA（規定）による
ﾎﾞﾙﾄの縁端距離、ﾎﾞﾙﾄ間隔、ｹﾞｰｼﾞ等
(・)図示　・
母屋又は胴縁の取付けに使用するﾎﾞﾙﾄの孔径
※ねじの呼び径＋1.0mm　・

○6　溶融亜鉛めっき高力ボルト　(7.3.2)(7.4.2)(7.12.5)

ﾎﾞﾙﾄの縁端距離、ﾎﾞﾙﾄの間隔、ｹﾞｰｼﾞ等　(・)図示による　・
摩擦面の処理方法　(・)ﾌﾞﾗｽﾄ処理（表面粗度50μmRz以上）　・りん酸塩処理　・
・すべり試験の実施
・すべり係数試験　・すべり耐力試験
すべり試験を実施する場合、標準仕様書7.12.5(1)(ｱ)又は(ｲ)による摩擦面の確認は、同一の作業条件のもとで作成した対比試験片により行うこと。

○7　アンカーボルト　(7.2.4)(7.3.2)

・構造用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ
種類　・ABR400　・ABR490
・建方用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ
種類　・SS400　・
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ及びﾅｯﾄのねじの公差域ｸﾗｽ及び仕上げの程度　※標準仕様書表7.2.3による
(・)標準仕様書7.2.4以外のｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ
適用箇所　(・)図示　・
種類　(・)SS400
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ及びﾅｯﾄのねじの公差域ｸﾗｽ及び仕上げの程度　※標準仕様書表7.2.3による
・
ﾎﾞﾙﾄの縁端距離、ﾎﾞﾙﾄの間隔、ｹﾞｰｼﾞ等　(・)図示　・

○8　溶接材料　(7.2.5)

溶接材料　・標準仕様書7.2.5(1)(2)による。　・

○9　ターンバックル　(7.2.6)

種類　建築用ターンバックルボルト　※羽子板ボルト　・
建築用ターンバックル胴　※割枠式　・
ねじの呼び　(・)図示　・

○10　床構造用のデッキプレート　(7.2.7)(7.7.8)

材質、形状及び寸法

	適用箇所	材質、形状、寸法	備考
(・)ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ単独の構法			
(・)ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄとｺﾝｸﾘｰﾄとの合成ｽﾗﾌﾞとする構法			
・			

開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む)　(・)図示　・
鉄骨材への溶接方法　(・)図示　・
耐火認定　(・)有り
耐火時間　(・)図示　・
・無し

11　スタッド　(7.2.8)

種類等

呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所
・16		
・19		
・22		

○12　柱底均しモルタル　(7.2.9)

無収縮ﾓﾙﾀﾙとする場合の材料、調合等　※標準仕様書7.2.9(2)(ｱ)から(ｴ)による
・

○13　製作精度　(7.3.3)

鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則6［鉄骨精度検査基準］に加えて、次による
通しﾀﾞｲｱﾌﾗﾑの突合せ継手の食い違いの寸法　※H12建告第1464号第二号イ(2)による
・
ｱﾝﾀﾞｰｶｯﾄの寸法　※H12建告第1464号第二号イ(3)による
・
食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法
(・)「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強ﾏﾆｭｱﾙ」による
・

14　仮組　(7.3.10)

仮組を行う範囲　・図示による　・

○15　溶接作業における技能資格者の技量付加試験　(7.6.3)

溶接作業者の技量付加試験　※行わない　・行う
試験の要領　・図示

○16　溶接接合　(7.6.4)(7.6.7)

開先の形状　(・)図示による　・
鋼製ｴﾝﾄﾞﾀﾌﾞを切断する部分
切断する箇所　(・)図示　・
切断範囲　(・)鋼製ｴﾝﾄﾞﾀﾌﾞ、裏当て金等は、梁ﾌﾗﾝｼﾞの端から5mm以下を残して直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をｱｰﾙ状に加工する。
・
切断面の仕上げ　(・)標準仕様書7.6.7(1)(ｶ)(b)②による　・
ｽｶﾗｯﾌﾟの形状　(・)図示　・
固形ｴﾝﾄﾞﾀﾌﾞの使用
固形ｴﾝﾄﾞﾀﾌﾞを使用する場合は、鉄骨製作工場に十分な実績があり、AW検定協会による代替ｴﾝﾄﾞﾀﾌﾞ技量認定資格者又は日本ｴﾝﾄﾞﾀﾌﾞ協会の実施する施工講習終了者（溶接技能者A級以上）が施工することとし、監督員の承諾を受けること。
低応力高ｻｲｸﾙ疲労をうける部位　・有り
位置　※図示　・

○17　溶接部の試験　(7.6.12)

平12建告第1464号第二号に関する試験
試験の方法
(・)「突合せ溶接継手の食い違い仕口のずれの検査・補強ﾏﾆｭｱﾙ」3.5.2　受入検査による
・抜き取り検査①　※抜き取り検査②
JASS 6 付則 6 ［鉄骨精度検査基準］の付表3「溶接」に関する試験
試験の方法
(・)JASS 6　10.4［受入検査］e.溶接部の外観検査(1)から(5)による。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、全て標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。
完全溶け込み部の超音波探傷試験
※行う　・行わない
(・)工場溶接の場合
AOQL(%)　※4.0　・2.5

節	(・)全て	・	・	・	・
検査水準	※第6水準	・	・	・	・

・工事現場溶接の場合　※全て

○18　錆止め塗装　(7.8.2、4)(18.3.2)

塗装の範囲
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲　・図示　(・)全て
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲　※標準仕様書7.8.2(1)(ｱ)～(ｵ)による　・図示
塗料の種別
(・)下記以外の鉄鋼面は、18章[塗装工事]による
・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別
※A種　・
・耐火被覆材が接着する面の塗料の種別
・

○19　耐火被覆　(7.9.2)～(7.9.8)

種類、材料、工法等

種別	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)
(・)耐火材吹付け	・乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ		
	(・)半乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	1時間	防火区画に接する柱・梁
	・湿式ﾛｯｸｳｰﾙ		
	・		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸ｶﾙｼｳﾑ板		
	・		
・耐火材巻付け	・高断熱ﾛｯｸｳｰﾙ		
	・		
・ﾗｽ張りﾓﾙﾀﾙ塗り	—		
・耐火塗料	・		

○20　アンカーボルトの設置等　(7.10.3)

構造用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄの形状及び寸法
(・)図示による　・
構造用ｱﾝｶｰﾌﾚｰﾑの形状及び寸法
(・)図示による　・
建方用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄの形状及び寸法
(・)図示による　・
建方用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄの保持及び埋込み工法
種別　(・)A種　・B種
柱底均しﾓﾙﾀﾙの厚さ及び工法の種別
厚さ　(・)図示
種別　※A種　・B種

○21　軽量形鋼構造　(7.11.2)

ﾎﾞﾙﾄの接合部　(・)普通ﾎﾞﾙﾄ接合　・

８章　コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1　補強コンクリートブロック造　(8.2.2)(8.2.3)(8.2.5)(8.2.7)(8.2.8)

ﾌﾞﾛｯｸの種類等

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 長さ	高さ	化粧の有無	適用箇所	備考
・				・無　・有		
・				・無　・有		
・				・無　・有		

ﾓﾙﾀﾙの調合（容積比）　※表8.2.1による　・ｾﾒﾝﾄ（　　）：砂（　　）
各部の配筋　※図示　・
目地仕上げ　・押し目地仕上げ　・化粧目地仕上げ
まぐさを受ける開口部両側のﾌﾞﾛｯｸのﾓﾙﾀﾙ又はｺﾝｸﾘｰﾄで充填する範囲　※図示

2　コンクリートブロック帳壁及び塀　(8.3.2)～(8.3.4)

ﾌﾞﾛｯｸの種類等

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 長さ	高さ	化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考
・				・無　・有		
・空洞ﾌﾞﾛｯｸC(16)				・無　・有		
・型枠状ﾌﾞﾛｯｸ 20				・無　・有		

ﾓﾙﾀﾙの調合（容積比）　※表8.2.1による　・ｾﾒﾝﾄ（　　）：砂（　　）
塀に用いるﾌﾞﾛｯｸの正味厚さ(mm)　塀の高さが2m以下　※120　・
2m越え　※150　・
壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状　※図示　・
各部の配筋　※図示　・

3　ALCパネル　(8.4.2)～(8.4.5)

ALCﾊﾟﾈﾙの区分等

区分			単位荷重(N/mm2) 正荷重	負荷重	厚さ(mm)	幅及び長さ	耐火時間(時間)	構法の種別
・外壁用	・一般 ・ｺｰﾅｰ	・平 ・意匠	・	・	・	図示による	・なし ・1	・A種　・B種
・間仕切壁用	・一般 ・ｺｰﾅｰ	・平 ・意匠	・	・	・	図示による	・なし ・1	・C種　・D種 ・E種
・屋根用	—	—	・	・	・	図示による	・0.5	※F種
・床用	—	—	・	—	・	図示による	・1 ・2	

ﾊﾟﾈﾙの相互の接合部に挿入する耐火目地材　・
外壁、屋根ﾊﾟﾈﾙの工法
１章　適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3　）倍の耐風圧性能
外壁ﾊﾟﾈﾙ構法及び間仕切り壁ﾊﾟﾈﾙ構法における耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
ﾊﾟﾈﾙ幅の最小限度を300mm未満とする場合　・図示　・
目地幅(mm)
(ﾊﾟﾈﾙ短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁ﾊﾟﾈﾙの出隅及び入隅のﾊﾟﾈﾙ接合部並びにﾊﾟﾈﾙと他部材との取合い部)　※10～20　・
外壁、間仕切り壁ﾊﾟﾈﾙの伸縮目地への耐火目地材の充填　・適用する　・適用しない

4　押出成形セメント板(ECP)　(8.5.2)～(8.5.5)

ECPの種類等

ﾊﾟﾈﾙの種類	形状	厚さ(mm)		幅(mm)	工法の種別	備考
・外壁ﾊﾟﾈﾙ	・ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ	・50	・60　・	※600	・A種	
	・ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ	・50	・60	・	・B種	
	・ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ	60				
・間仕切壁ﾊﾟﾈﾙ	・ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ	・50	・60　・	※600	・B種	
	・ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ	・50	・60	・	・C種	
	・ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ	60				

外壁ﾊﾟﾈﾙの工法における耐風圧性能
１章　適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3　）倍の耐風圧性能
外壁ﾊﾟﾈﾙ構法及び間仕切り壁ﾊﾟﾈﾙ構法における耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
ﾊﾟﾈﾙ幅の最小限度を300mm未満とする場合　※図示
ﾊﾟﾈﾙ相互の目地幅(mm)
・ﾊﾟﾈﾙ幅900mm以下　長辺（　　）　短辺（　　）
・ﾊﾟﾈﾙ幅900mm超える　長辺（　　）　短辺（　　）
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm)　※15程度　・
耐火構造以外の目地及び隙間の処理　※ﾊﾟﾈﾙ製造所の仕様
やむを得ず気さく込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する。

		孔あけ及び欠き込みの大きさ	切断後のﾊﾟﾈﾙの残りの部分の幅
ﾊﾟﾈﾙに孔あけを設ける場合	短辺	ﾊﾟﾈﾙ幅の1/2以下、かつ、300mm以下	150mm以下
	長辺	500mm以下	300mm以下
ﾊﾟﾈﾙに欠き込みを設ける場合	短辺	ﾊﾟﾈﾙ幅の1/2以下、かつ、300mm以下	300mm以下
	長辺	500mm以下	300mm以下

９章　防水工事

○1　アスファルト防水　(9.2.2)～(9.2.5)(表9.2.3)～(表9.2.9)

【屋根保護防水】
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材[G]	絶縁用ｼｰﾄ
・A-1			※ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ厚さ0.15mm以上又はﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ70g/m2程度
・A-2			・
・A-3			
・B-1			
・B-2			
(・)A1-1	図示	(種類)	※ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ70g/m2程度
・A1-2		※JIS A 9521に基づく押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bA（ｽｷﾝ層付き）	・
・A1-3			
・B1-1		(厚さ)(mm)	
・B1-2		(・)35	

改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.3及び表9.2.6による
・JIA A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・非露出単層防水用　・非露出複層防水用
材料による区分　※R種
厚さ(mm以上)　：
部分粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.5及び表9.2.6による
・JIA A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・露出単層防水用　・露出複層防水用
材料による区分　※R種
厚さ(mm以上)　：
立上り部への断熱材及び絶縁ｼｰﾄ　※設置しない　・設置する
平場の保護ｺﾝｸﾘｰﾄの厚さ　こて仕上げ　※水下80mm以上
床ﾀｲﾙ張り　※水下60mm以上
立上りの保護工法
・乾式保護材（品質・性能、試験方法は別表による）
窯業系ﾊﾟﾈﾙⅠ類　厚さ(mm)　：
幅(mm)　：
・れんが押え
※JIS R 1250　・
・ｺﾝｸﾘｰﾄ押え
・ﾓﾙﾀﾙ押え(屋内)

【屋根露出防水】
防水層の種類

種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料 種類	使用量	高日射反射率防水の適用[G]
・D-1			・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	・適用する
・D-2			・	・	・適用する
・DI-1		9.2.2(9)による 種類　： 厚さ(mm)　：			・適用する
・DI-2					・適用する

改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.8による
・JIA A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・露出単層防水用　・露出複層防水用
材料による区分　※R種
厚さ(mm以上)　：

藤枝市　都市建設部　建築住宅課	池田建築設計事務所　一級建築士事務所	一級建築士　有馬　慎介 一級建築士登録　第360847号	検図	作図	日付

建設工事名
(仮称)新学校給食センター　建築工事

建築工事特記仕様書(3)

図番
A-特-003

【屋根露出防水】
防水層の種類

種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用[G]
・D-1			・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様	・適用する
・D-2					・適用する
・DI-1		9.2.2(9)による 種類　： 厚さ(mm)　：	・	・	・適用する
・DI-2					・適用する

改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.8による
・JIA A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・　・
材料による区分　※R種
厚さ(mm以上)　：
部分粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.7及び表9.2.8による
・JIA A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・　・露出複層防水用
材料による区分　※R種
厚さ(mm以上)　：
絶縁断熱工法及びﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置　※図示
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の指定　・
設置数量　※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の指定　・（　　）個

【屋内防水】
防水層の種類

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・E-1		・E-2	

保護層　・設ける
※図示
・設けない
E-1の工程３を行う部位　※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位　・
防水層の下地の立上り　※ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上げ 標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法　※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 L-30×15×2.0mm程度
・
防水層の下地のﾓﾙﾀﾙ塗り　・適用する
施工範囲　※図示　・
・適用しない
屋上排水溝　※図示　・

2　改質アスファルトシート防水　(9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1)～(表9.3.3)

【屋根露出防水】
防水層の種類

種別	施工箇所	断熱材[G]	防湿用ｼｰﾄ	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用[G]
・AS-T1				・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様	※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様	・適用する
・AS-T2						・適用する
・AS-T3						・適用する
・AS-T4						・適用する
・AS-J1				・	・	・適用する
・ASI-T1		標準仕様書 9.3.2(3)(ｳ) 種類　：	・設ける (改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様)			・適用する
・ASI-J1		厚さ(mm)　：	・設けない			・適用する

改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1及び表9.3.3による　・
・JIA A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・非露出単層防水用　・非露出複層防水用
材料による区分　※R種
厚さ(mm以上)　：
粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による
・JIA A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・非露出単層防水用　・非露出複層防水用
材料による区分　※R種
厚さ(mm以上)　：
部分粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による
・JIA A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・非露出単層防水用　・非露出複層防水用
材料による区分　※R種
厚さ(mm以上)　：
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法　※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 L-30×15×2.0mm程度　・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の指定　・
設置数量　※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の指定　・（　　）個

○3　合成高分子系ルーフィングシート防水　(9.4.2)～(9.4.4)(表9.4.1)～(表9.4.3)

防水層の種別 図示

種別	施工箇所	可塑剤移行防止ｼｰﾄの材種	断熱材[G]	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水[G]
・S-F1				・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	・適用する
・S-F2						・適用する
・S-M1				・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	・適用する
・S-M2						・適用する
・SI-F1			標準仕様書 9.4.2(3)(ｴ)(b) (種類) ・ (厚さ)(mm) ・	・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	・適用する
・SI-F2						・適用する
・SI-M1			標準仕様書 9.4.2(3)(ｴ)(a) (種類) ・ (厚さ)(mm) ・	・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様	・適用する
・SI-M2		※発泡ｽﾁﾚﾝｼｰﾄ ・				・適用する

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様　※非歩行仕様　・軽歩行仕様
SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム　・設置する　・設置しない

【屋内防水】
防水層の種別

種別	施工箇所	保護層 平場のﾓﾙﾀﾙ塗厚	保護層 立上がり部の保護ﾓﾙﾀﾙ塗厚
・S-C1	・	・	※7mm以下 ・

平場のモルタル床塗りにおける目地の目地群および種類
目地割　※目地割2m2程度、最大目地間隔3m程度　・
目地の種類　※押し目地　・
合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.4.1から表9.4.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類　：
厚さ(mm以上)　：
固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ｽﾃﾝﾚｽ鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様　・
設置数量　※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様　・（　　）個
接着工法の場合のﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ部材下地の目地処理
・行う
・図示　・
・行わない
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）
・行う
・図示　・
・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの張付け
1章 適用区分による風圧力の（・1　・　）倍の風圧力に対応した工法

○4　塗膜防水　(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

防水層の種別　図示

種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	保護層	高日射反射率防水[G]
・X-1		・主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様 ・		・適用する
・X-2		・主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様 ・		・適用する
・Y-1	※地下外壁防水 ・				
・Y-2	※屋内防水 ・			・適用する ・保護ﾓﾙﾀﾙ ・保護ｺﾝｸﾘｰﾄ ・適用しない	

ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水X-1脱気装置の種類及び設置数量
種類　※主材料の製造所の仕様　・
設置数量　※主材料の製造所の仕様　・（　　）個

5　ケイ酸質系塗布防水　(9.6.4)(表9.6.1)

防水層の下地
壁　※ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上げ（表6.2.4　B種）　・
天井部　※ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上げ（表6.2.4　B種）　・
下地処理
ｺﾝｸﾘｰﾄの打継ぎ箇所の処理
※打継ぎ部分に対し、幅30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し、ケイ酸質系塗布防水材の製造所の仕様により、ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙを充填する。
・図示
・
標準仕様書9.6.4(2)の(ｲ)、(ｳ)以外の下地処理
・図示　・

○6　シーリング　(9.7.2)(9.7.3)(9.7.5)(表9.7.1)

下表以外は、標準仕様書表9.7.1による。
ただし、外壁ﾀｲﾙ接着剤張り目地の場合のｼｰﾘﾝｸﾞは11章に、ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ目地の場合のｼｰﾘﾝｸﾞは17章による

施工箇所	ｼｰﾘﾝｸﾞ材の種類(記号)
図示	図示

仕上げを行わない施工箇所　・図示　・
ｼｰﾘﾝｸﾞ材の目地寸法　※標準仕様書9.7.3(1)(ｱ)～(ｳ)による
・図示
・
接着性試験　※簡易接着性試験　・引張接着性試験　・

10章　石工事

1　施工　(10.1.3)

石材の割付け　・図示

2　石材等　(10.2.1)(10.2.3)(表10.2.1)(表10.2.2)

天然石

施工箇所	岩石の種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げの種類	備考
・床石		・図示 ・			

ｼﾞｪｯﾄﾊﾞｰﾅｰ仕上げのﾊﾞﾌ仕上げの有無　・あり　・なし

ﾃﾗｿﾞﾌﾞﾛｯｸ

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上面による区分	寸法(mm)	表面仕上げの種類	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			

ﾃﾗｿﾞﾀｲﾙ

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	寸法(mm)	表面仕上げの種類	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 0	・300型 ・400型			

その他の材料
取付け用ﾓﾙﾀﾙ　※専門工事業者の指定する製品　・
既調合の目地ﾓﾙﾀﾙ　※専門工事業者の指定する製品　・
浸透性吸水防水剤　※専門工事業者の指定する製品　・
石裏面処理材　※専門工事業者の指定する製品　・
裏打ち処理材　※専門工事業者の指定する製品　・
ﾄﾞﾚﾝﾊﾟｲﾌﾟの材質　※樹脂ﾈｯﾄ性ﾊﾟｲﾌﾟ　ｸﾛｽﾒｯｼｭ巻き　25～36φ　・
金物の固定に使用する充填材料等　※専門工事業者の指定する製品　・

3　外壁湿式工法　(10.2.2)(10.2.3)(10.3.2)(10.3.3)

受金物
材質　※SUS304　・
形状及び寸法　・図示　・
ｱﾝｶｰの材質及び寸法
材質　※SS400　・
寸法　・
あと施工ｱﾝｶｰの材質、寸法等
種類　・
材質　・
寸法　・
ﾄﾞﾚﾝﾊﾟｲﾌﾟ
・設ける
位置　・図示
・設けない
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
下地ごしらえ　※あと施工ｱﾝｶｰ・横筋流し工法　・あと施工ｱﾝｶｰ工法　・流し筋工法

目地
一般目地

種別	目地幅(mm)	深さ(mm)	種類
・目地ﾓﾙﾀﾙ	・		
・既調合の目地ﾓﾙﾀﾙ	・		
※ｼｰﾘﾝｸﾞ材	・	・	※標準仕様書9.7.1による　・

伸縮調整目地
位置　・図示
ｼｰﾘﾝｸﾞ材の種類　※標準仕様書9.7.1による　・
目地寸法　※幅・深さとも10mm以上　・図示

4　内壁空積工法　(10.2.2)(10.4.2)(10.4.3)

受金物
材質　※SUS304　・
形状及び寸法　・図示　・
あと施工ｱﾝｶｰの材質及び寸法等
種類　・
材質　・
寸法　・
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
下地ごしらえ　※あと施工ｱﾝｶｰ・横筋流し工法
・あと施工ｱﾝｶｰ工法

一般目地

	目地幅(mm)	深さ(mm)	種類
・目地ﾓﾙﾀﾙ	・		
・既調合の目地ﾓﾙﾀﾙ	・		
・ｼｰﾘﾝｸﾞ材	・	・	※標準仕様書9.7.1による　・

伸縮調整目地
位置　・6m程度　・
ｼｰﾘﾝｸﾞ材の種類　※標準仕様書表9.7.1による　・
目地寸法
・

5　外壁乾式工法　(10.2.2)(10.5.2)(10.5.3)(表10.2.4)

乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等
※標準仕様書表10.2.4による
方式　・ｽﾗｲﾄﾞ方式　・ﾛｯｷﾝｸﾞ方式
・図示
あと施工ｱﾝｶｰの材質及び寸法等
種類　・
材質　・
寸法　・
だぼ穴の位置　※標準仕様書10.5.2(2)(ｱ)による　・図示
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
建築基準法に基づく風圧力に対応した工法
1章 適用区分による風圧力の（　※1　・1.15　・1.3　）倍の風圧力に対応した工法
ｼｰﾘﾝｸﾞ材
種類　※標準仕様書9章7節による　・
目地幅及び深さ　・

6　床及び階段の石張り　(10.6.2)(10.6.3)

石材の厚さ(mm)　床（　　）、階段（　　）
浸透性吸水防水剤
床石張り　・適用する　・適用しない
石裏面処理
床石張り　・適用する　・適用しない
階段張り　・適用する　・適用しない
裏打ち処理
床石張り　・適用する　・適用しない
一般目地

	目地幅(mm)	深さ(mm)	種類
・目地ﾓﾙﾀﾙ	・		
・既調合の目地ﾓﾙﾀﾙ	・		
・ｼｰﾘﾝｸﾞ材	・	・	※標準仕様書9.7.1による　・

伸縮調整目地
位置　・標準仕様書10.6.2(5)(ｲ)による　・図示
ｼｰﾘﾝｸﾞ材の種類　※標準仕様書表9.7.1による　・
目地寸法　※幅・深さとも10mm以上　・図示

7　笠木、甲板等の石張り　(10.2.2)(10.7.2)

取付工法　・湿式工法　・乾式工法
特殊部位用金物
材質　※SUS304　・
寸法等
引金物　※標準仕様書表10.2.3による　・
だぼ　※標準仕様書表10.2.3による　・
かすがい　※標準仕様書表10.2.3による　・
受金物　※図示　・
乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等
ファスナー　※標準仕様書表10.2.4に準ずる
方式　・ｽﾗｲﾄﾞ方式　・ﾛｯｷﾝｸﾞ方式
・図示
あと施工ｱﾝｶｰの材質及び寸法等
種類　・
材質　・
寸法　・
石材の厚さ(mm)
石裏面処理　・適用する　・適用しない
乾式工法の場合の取り付け代　※70mm程度
石材の裏面の補強用ﾓﾙﾀﾙ　・適用しろ　・適用しない
一般目地

	目地幅(mm)	深さ(mm)	種類
・目地ﾓﾙﾀﾙ	・		
・既調合の目地ﾓﾙﾀﾙ	・		
・ｼｰﾘﾝｸﾞ材	・	・	※標準仕様書表9.7.1による　・

伸縮調整目地
位置　・標準仕様書10.6.2(5)(ｲ)による　・図示
ｼｰﾘﾝｸﾞ材の種類　※標準仕様書表9.7.1による　・
目地寸法　・図示

8　隅で板　(10.7.3)

石材の厚さ(mm)

11章　タイル工事

○1　伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地　(11.1.3)(表11.1.1)

位置　※標準仕様書表11.1.1による　・図示
目地寸法　・図示

2　見本焼き、試験施工　(11.1.4)

見本焼き　・行う
施工箇所　・
・行わない
試験張り　・行う（範囲、仕様等は図示による）　・行わない

○3　セメントモルタルによるタイル張り　(11.2.2)(11.2.6)

ﾀｲﾙの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材の適用[G]	吸水率による区分 I類	吸水率による区分 II類	吸水率による区分 III類	うわぐすり 施釉	うわぐすり 無釉	役物 有	役物 無	色 標準	色 特注	耐凍害性 有	耐凍害性 無	耐滑り性	備考
玄関ﾎｰﾙ	磁器質	図示	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
既調合ﾓﾙﾀﾙ（品質・性能、試験方法は別表による）
ﾓﾙﾀﾙ下地としたﾀｲﾙ工事に使用する張付け用ﾓﾙﾀﾙとして、ｾﾒﾝﾄ、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
既調合目地材（品質・性能、試験方法は別表による）
下地ﾓﾙﾀﾙ塗りを行うｺﾝｸﾘｰﾄ素地面の処理　※目荒し工法(高圧水洗処理)
・MCR工法
・
壁ﾀｲﾙ張りの工法
内外装ﾀｲﾙ　・密着張り　・改良積上げ張り
内装ﾀｲﾙ以外のﾕﾆｯﾄﾀｲﾙ　・ﾏｽｸ張り　・ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ張り

4　有機系接着剤によるタイル張り　(11.3.2)～(11.3.5)

ﾀｲﾙの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材の適用[G]	吸水率による区分 I類	吸水率による区分 II類	吸水率による区分 III類	うわぐすり 施釉	うわぐすり 無釉	役物 有	役物 無	色 標準	色 特注	耐凍害性 有	耐凍害性 無	耐滑り性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
内装ﾀｲﾙ接着剤張りの接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆　・
下地調整材塗りを行うｺﾝｸﾘｰﾄ素地面の下地処理　※目荒し工法(高圧水洗処理)
・MCR工法
・
目地のｼｰﾘﾝｸﾞ材
打継ぎ目地　※ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系ｼｰﾘﾝｸﾞ材　・
ひび割れ誘発目地　※ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系ｼｰﾘﾝｸﾞ材　・
伸縮調整目地　※変成ｼﾘｺｰﾝ系ｼｰﾘﾝｸﾞ材　・
外装タイルの目地詰め　・行う　・行わない

12章　木工事

○1　表面仕上げ　(12.1.4)

※ﾌﾟﾚｰﾅｰ加工仕上げ　適用部材(部位)　・図示　・
・超自動機械かんな掛け仕上げ　適用部材(部位)　・図示　・
・ｻﾝﾀﾞｰ掛け仕上げ　適用部材(部位)　・図示　・

○2　施工一般　(12.2.1)

材料のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量
※標準仕様書12.2.1(1)(ｳ)による　・

○3　製材[G]　(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)

県産木材の適用がない場合でも可能な範囲で県産木材の使用に努めること
報告：静岡県産材証明制度の「県産材販売管理票」により報告すること

・JAS 1083-5 に基づく下地用製材

施工箇所	樹種名	等級(材面の品質)	寸法(mm)	含水率	保存処理	県産木材の適用
図示	図示	※2級　・		※A種　・B種　・	K1	・有　・無
		※2級　・		※A種　・B種　・		・有　・無
		※2級　・		※A種　・B種　・		・有　・無

・JAS 1083-2 に基づく造作用製材

施工箇所	樹種名	等級(材面の品質)	寸法(mm)	含水率	保存処理	県産木材の適用
見係面	図示	※上小節 ・		※A種　・B種　・		・有　・無
見係面以外	図示	※小節以上 ・		※A種　・B種　・		・有　・無

・JAS 1083-6 に基づく広葉樹製材

施工箇所	樹種名	等級(材面の品質)	寸法(mm)	含水率	保存処理	県産木材の適用
		※1等 ・		※10%以下 ・A種　・B種		・有　・無
						・有　・無
						・有　・無

・JAS 1083(製材)以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	県産木材の適用
		(　　) 造作材の場合 ※A種　・B種	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種	・有　・無
					・有　・無
					・有　・無

4　造作用集成材[G]　(12.2.1)

・JAS 1152 に基づく造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	見付け材面(面数)	寸法(mm)	見付け材面の品質	県産木材の適用
階段	手摺	タモ	図示		※1等　・2等	・有　・無
						・有　・無
						・有　・無

・JAS 1152 に基づく化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	寸法(mm)	見付け材面の品質	県産木材の適用
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・有 ・無
							・有 ・無
							・有 ・無

5　造作用単板積層材[G]　(12.2.1)(12.3.2)

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質(表面の化粧加工)	防虫処理	県産木材の適用
			・無し(　・1等　・2等　・3等) ・有り(　・天然木化粧加工 ・塗装加工　　)	・適用する (　　) ・適用しない	・有 ・無
					・有 ・無
					・有 ・無

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質(表面の化粧加工)	含水率	防虫処理	県産木材の適用
		・無し(　・1等　・2等　・3等) ・有り(　・天然木化粧加工 ・塗装加工　　)	※14%以下 ・	・適用する ・適用しない	・有 ・無
					・有 ・無
					・有 ・無

・JAS 3079に基づく直交集成板[G]

施工箇所	品名	樹種名	強度等級(曲げ性能)	種別	接着性能(使用環境)	寸法(mm)	県産木材の適用
	・異等級構成直行集成板 ・同一等級構成直行集成板			・A種構成 ・B種構成	・A ・B ・C		・有 ・無
							・有 ・無
							・有 ・無

○6　合板等[G]　(12.2.1)(12.3.2)

・JAS 0233に基づく普通合板

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	県産木材の適用
	※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹　※2等以上　・ 針葉樹　※C-D以上　・	・適用する (　　) ・適用しない	・有 ・無
						・有 ・無
						・有 ・無

・JAS 0233に基づく構造用合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能(強度等級)	保存処理	防虫処理	県産木材の適用
二重床	※12 ・	・特類 ・1類	・1級 ※2級以上	※C-D以上 ・			・適用する (　　) ・適用しない	・有 ・無
								・有 ・無
								・有 ・無

※屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする

・JAS 0233に基づく化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	県産木材の適用
			・1類　・特類	・適用する (　　) ・適用しない	・有 ・無
					・有 ・無
					・有 ・無

※屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする

・JAS 0233に基づく天然木化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理
		・1類　・2類		・適用する (　　) ・適用しない

・JAS 0233に基づく特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
		・1類 ・2類	・F ・FW ・W ・SW		・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ﾌﾟﾘﾝﾄ ・塗装 ・	・適用する (　　) ・適用しない

・JIS A 5908に基づくﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ

施工箇所	種類	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ(mm)
二重床		RS	※13タイプ ・	※Pタイプ　又はMPタイプ ・	※15 ・

・JAS 0360 に基づく構造用ﾊﾟﾈﾙ

施工箇所	寸法(mm)	曲げ性能(等級)	
		常態曲げ試験	湿潤曲げ試験
		・1級　・2級　・3級　・4級	・1級　・2級　・3級　・4級

・JIS A 5905に基づくMDF

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)

○7　接合具等　(12.2.2)(12.2.3)

造作材の化粧面釘打ち　※隠し釘打ち　・つぶし頭釘打ち　・釘頭潰し
諸金物の形状、寸法及び材質
かすがい　※標準仕様書　表12.2.3に示す程度の市販品　・
座金　※標準仕様書　表12.2.4に示す程度の市販品　・
箱金物及び短冊金物　※標準仕様書　表12.2.5に示す程度の市販品　・
接着材
ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散量　※F☆☆☆☆　・

8　防腐・防蟻・防虫処理等　(12.3.1)(12.3.2)

・工場における薬剤の加圧注入等
・標準仕様書12.3.1(ｱ)による加圧注入

適用部材(部位)	保存処理性能区分
	・K2　・K3　・K4　・
	・K2　・K3　・K4　・
	・K2　・K3　・K4　・

・標準仕様書12.3.1(ｱ)(b)による加圧式保存処理
保存処理の性能　ｸﾚｵｿｰﾄﾞ　・適用する　・適用しない
・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材(部位)	処理の方法	薬剤の種類
	・JIS K 1571に適合する表面処理用木材保存剤又は同等品 ・JIS K 1571に付属書Aに基づく表面処理用木材保存剤（種類：　　）	※薬剤の製造所の仕様による ・

・合板、集成材、単板積層材の薬剤注入等による防腐・防蟻処理
適用部材(部位)　・図示　・

9　不燃処理木材等　(12.3.3)

不燃材料　適用部材(部位)　・図示　・
準不燃材料　適用部材(部位)　・図示　・
難燃材料　適用部材(部位)　・図示　・

○10　内部間仕切軸組及び床組み　(12.4.1)

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉または松　・
・床組みに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉または松　・県産材を適用する
・土間ｽﾗﾌﾞの類いの場合の土台、転ばし大引き及び転ばし根太
※ひのきまたは保存処理木材　・

○11　窓、出入口その他　(12.5.1)

・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※吊元枠、水掛かりの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉

12　床板張り

・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）　(12.6.1)
※桧　・県産材を適用する

13　壁及び天井下地

・壁胴縁、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松　・　(12.7.1)

13章　屋根及びとい工事

1　長尺金属板葺　(13.2.2)(12.2.3)

施工箇所	板及びｺｲﾙの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考
	※JIS G 3322の屋根用 着色　・有　・無 ・	・5類(AZ150) ・	・0.4 ・0.5	・心木なし瓦棒葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺 ・	

下葺材料　・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940
・改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ下葺材
・一般ﾀｲﾌﾟ　・粘着層付ﾀｲﾌﾟ
工法
1章 適用区分による風圧力の(　・1　・1.15　・1.3　)倍の風圧力に対応した工法
横葺の場合のけらば納め　・つかみ込め納め　・けらば包み納め
雪止め　・設置する
形状及び施工箇所　・図示　・
・設置しない

○2　折板葺　(13.3.2)(13.3.3)(表13.2.1)

施工箇所	形式	山高、山ﾋﾟｯﾁによる区分 山高	山ﾋﾟｯﾁ	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能
屋根2	・重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形	・図示	・図示	(　　)種	※鋼板性 ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金板性	・図示	・あり ・なし	・図示 ・
庇1・2	・ﾎﾞﾙﾄ式	・図示	・図示					

※JIS A 6514のうち、5.3 及び 5.4 は適用しない
材料
折板の材質の種類　・JIS G 3322の屋根用
着色　・有　・無
・
塗装の耐久性の種類、めっき付着量　・5類(AZ150)　・
断熱材張り　・行う
断熱材の種別　：ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ
厚さ(mm)　：4mm
防火性能　：あり
・行わない
工法
1章 適用区分による風圧力の(　・1　・1.15　・1.3　)倍の風圧力に対応した工法
耐雪性能に対応した工法の適用　・適用する
※図示　・
・適用しない
折半のけらば納め　※けらば包みによる方法　・
雪止め　・設置する
形状及び施工箇所　・図示　・
・設置しない

3　粘土瓦葺　(13.4.2)(13.4.3)

施工箇所	種類 製法による区分	形状による区分	寸法による区分	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦
						・適用する ・適用しない
						・適用する ・適用しない

JIS A 5208に基づく凍害試験等　・行う　・行わない
瓦桟木　材質　※杉　・
寸法　※幅21×高さ15(mm)以上　・
棟補強用心材　材質　※杉　・
寸法　※幅40×高さ30(mm)以上　・
瓦緊結用釘及びねじ
種類　：
径　：
長さ　：
棟補強等に使用する金物等
材質　・ステンレス製　・溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製
形状、寸法及び留付け方法　※図示による　・
工法
1章 適用区分による風圧力の(　・1　・1.15　・1.3　)倍の風圧力に対応した工法
風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法等　※図示　・
瓦桟木の留付け工法　※図示　・
棟の工法　・7寸丸伏せ棟
・F型用冠瓦伏せ棟
・のし積み棟
面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・ﾓﾙﾀﾙ　・瓦葺き用しっくい　・

○4　とい　(13.5.2)(13.5.3)

といその他の材種　・配管用鋼管
・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管
・ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ
・表面処理鋼板
・表面及び裏面の塗膜の種類　：
・耐酸被覆鋼板　：
とい受金物　材種　※標準仕様書13.5.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの)
・
形状　※市販品（とい径100以下）
・25x4.5(mm)以上（とい径100を超えるもの）
・
取付間隔　※標準仕様書13.5.2による　・
足金物　材種　※標準仕様書13.5.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの)
・
形状　※市販品
取付間隔　※標準仕様書13.5.2による　・
多雪地域　・適用する　・適用しない
防露材のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆　・
鋼管製といの防露巻き　※標準仕様書表13.5.4による　・
ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝの材種その他

種別		呼び	施工箇所
・ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80　・100　・125　・150	
・ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80　・100　・125　・150	呼び径共に図示
・ﾊﾞﾙｺﾆｰ中継用	・ねじ込み式	・50　・80　・100	
	・差し込み式	・50　・75　・100	
・ﾊﾞﾙｺﾆｰ	・ねじ込み式	・50　・80　・100	
	・差し込み式	・50　・75　・100	

14章　金属工事

○1　アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理　(14.2.1)(表 14.2.1)

種別	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）	色合い等
・AB-1種		
・AB-2種		
・AC-1種		
・AC-2種		
・BA-1種		
・BA-2種		
・BB-1種		
・BB-2種	図示	シルバー、ブラック
・BC-1種		
・BC-2種		
・C種		

・常温乾燥形の塗装の場合　(　　)
陽極酸化皮膜の着色方法　※二次電解着色　・三次電解着色

○2　鉄鋼の亜鉛めっき　(14.2.2)(表14.2.2)

表面処理方法	種別	施工箇所（手すり、ﾀﾗｯﾌﾟ以外）
・溶融亜鉛めっき	・A種	図示
	・B種	図示
	・C種	図示
・電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

○3　軽量鉄骨天井下地　(14.4.2)～(14.4.4)(表14.4.1)

野縁等の種類
屋外　※25形　・19形
屋内　※19形　・25形
屋外の形式及び寸法
野縁受、吊りﾎﾞﾙﾄ及びｲﾝｻｰﾄの間隔　・図示　・
周辺部の端からの間隔　・図示　・
野縁の間隔　・図示　・
工法
・吊りﾎﾞﾙﾄの間隔が900mmを超える場合
補強方法　※図示　・
・天井のふところが3.0mを超える場合
補強方法　※図示　・軽量天井材を使用
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所　・図示　・
補強方法　※図示　・
耐震性能　建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
屋外の軒天上、ピロティ天井の工法
1章 適用区分による風圧力の(　・1　・1.15　・1.3　)倍の風圧力に対応した工法

○4 **軽量鉄骨壁下地** (14.5.3)(14.5.4)(表14.5.1)
ｽﾀｯﾄﾞ、ﾗﾝﾅ等の種類 ※標準仕様書表14.5.1によるｽﾀｯﾄﾞの高さによる区分に応じた種類
・図示
・
ｽﾀｯﾄﾞの高さが5.0mを超える場合 ※図示 ・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※標準仕様書14.5.4(5)による ・図示

5 **金属成形板張り** (14.6.2)(14.6.3)(表 14.2.1)

種別	製法	形状	板幅(mm)	板厚(mm)	表面処理 種別	表面処理 色合い等
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ	・押出し ・ﾛｰﾙ	ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形				
	・ﾌﾟﾚｽ ・	ﾊﾟﾈﾙ形				
・						

取付け用下地 ※標準仕様書14.4による ・図示
伸縮調整継手 ・設ける
施工箇所 ・図示 ・
・設けない
屋外の軒天上、ピロティ天井の工法
1章 適用区分による風圧力の(※1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法

○6 **アルミニウム製笠木** (14.7.2)(14.7.3)(表 14.2.1)(表 14.7.1)
種類 ・250形 ・300形 ・350形 ・図示
笠本体 ※押出部材 ・
表面処理
種別 (BB-2)種
色合等 ・標準色(図示) ・特注色( )
笠本の固定金具の工法等
1章 適用区分による風圧力の(※1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法

15章 左官工事

1 **モルタル塗り** (15.3.2)(15.3.5)
ﾓﾙﾀﾙ ・現場調合材料 ・既調合材料( )
既製目地材 ・設ける 施工箇所 ・
形状 ※図示 ・
・設けない
床目地 ・設ける
種類 ※押し目地 ・
目地割 ※2m2程度 (最大目地間隔3m程度) ・
・設けない
屋外ﾀｲﾙ張り下地、屋内の吹抜け部分等のﾀｲﾙ張りの下地ﾓﾙﾀﾙ塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験
・適用する ・適用しない
防水剤 品質・性能、試験方法は別表による

2 **ラス系下地** (15.2.4)
下地の種類
・通気構法 (・二層下地 ・単層下地)
換気口部の措置 (※公共木造建築工事標準仕様書11.4.3(2)(ｳ) ・)
・直張り工法 (・ﾗｽﾓﾙﾀﾙ下地 ・ﾗｽｼｰﾄﾓﾙﾀﾙ下地)
換気口部の措置 (※公共木造建築工事標準仕様書11.4.3(2)(ｳ) ・)
・外張断熱工法で断熱材の外側に野縁をを施工する形式の通気構法 ・図示
・耐力壁、防火構造、準防火構造等の指定
材料
ﾗｽ材及び補強用ﾗｽ
材料記号 (※K ・)
種類及び単位面積あたりの質量
・二層下地通気構法
・波形ﾗｽ(W700) ・こぶﾗｽ(K800) ・力骨付きﾗｽ(BP700)
・単層下地通気構法
※ﾘｯﾌﾟﾗｽC(RC800)に裏打ち材と一体課したﾗｽ ・
・
ﾗｽｼｰﾄの山高、山ピッチ、質量及び溶接区分による区分
※LS4(建築基準法に基づく耐力壁) ・
ｽﾃｰﾌﾟﾙの形状及び寸法
ﾘｯﾌﾟﾗｽC ※L925TS以上 ・
波形ﾗｽ ※L1019JS以上 ・
施工
直張りﾗｽｼｰﾄﾓﾙﾀﾙ下地で建築基準法に基づく耐力壁のﾗｽｼｰﾄの施工
・図示 ・

○3 **せっこうボード、その他のボード下地** (15.2.5)
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ及びせっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞの種類及び厚さ
種類 ・GB-R ・GB-L ・
厚さ(mm) :
木質系ｾﾒﾝﾄ板の種類及び厚さ
種類 ・
厚さ(mm) :

4 **こまい下地** (15.2.6)
建築基準法に基づく耐力壁の指定 ・あり ・なし

5 **木ずり下地** (15.2.7)
木ずり用小幅板の種類 ※杉(芯去り材) ・

○6 **仕上塗材仕上げ** (15.6.2)
内装仕上げに用いる素材のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量 ※F☆☆☆☆ ・
仕上塗材の種類
・薄付け仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料
・			・適用する	
・			・適用する	

・厚付け仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗り	防火材料
・			・適用する	・適用する	
・			・適用する	・適用する	

・複層仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・防水形複層塗材E	ゆず肌	ローラー	樹脂 ・フッ素 外観 ・艶あり 溶媒 ・水系	・耐候型 1種 ・耐候型 2種 ・耐候型 3種	無
・					

・軽量骨材仕上塗材

種類(呼び名)	防火材料
・	
・	

7 **マスチック塗材塗り**
種別 標準仕様書15.7.2による

8 **しっくい塗り** (15.10.2)(15.10.3)
しっくい ・既調合材料
色しっくい ・適用する ・適用しない
・現場調合材料
下地 ・せっこうﾎﾞｰﾄﾞ ・せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ ・ﾓﾙﾀﾙ塗り ・木ずり
・こまい土壁塗り ・下塗りをせっこうﾌﾟﾗｽﾀｰとし上塗りに使用する場合
・
既調合しっくいの調合
・せっこうﾎﾞｰﾄﾞ下地 ※標準仕様書表15.10.1 ・
・ﾓﾙﾀﾙ塗り下地 ※標準仕様書表15.10.2 ・
・せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ下地 ※製造所の仕様による ・
現場調合しっくいの調合及び各層の塗厚
・木ずり下地 ※標準仕様書表15.10.3 ・
・せっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ下地、こまい下地 ※標準仕様書表15.10.4 ・
既調合しっくいの上塗り仕上げ工法
・押え仕上げ ・なで切り仕上げ ・ﾊﾟﾀｰﾝ仕上げ

9 **こまい壁塗り** (15.11.2)～(15.11.5)(15.11.7)(15.11.8)
のり ・土壁用ののり
※つのまた ・ふのり ・ぎんなんそう ・粉末海藻 ・
・砂壁用ののり
・つのまた ※ふのり ・こんにゃくのり ・にかわ ・合成樹脂系混和材
色土 ・土物仕上げに用いる色土の種類( )
・大津仕上げに用いる色土の種類( )
色砂の種類 ・天然砂と岩石の砕砂 ・人工的に着色、製造したもの
下塗りの調合 ※標準仕様書表15.11.2 ・
塗厚 ※標準仕様書表15.11.8による
・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合( )
・
こまい壁の工程 ※A種 ・B種
こまい壁塗りの上塗りとする土物仕上げの工法の種類
・土物仕上げ工法
・水ごね土物1工法 ・水ごね土物2工法 ・のりさし土物工法 ・のりごね土物工法
・砂壁仕上げ工法
・切返し仕上げ工法
こまい壁塗りの上塗りとする大津仕上げの工法の種類
・普通大津仕上げ工法 ・大津みがき仕上げ工法
ちりじゃくり
・図示 ・

○10 **ロックウール吹付け** (15.12.2)(15.12.3)
ﾛｯｸｳｰﾙのﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量 ※F☆☆☆☆ ・
接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量 ※F☆☆☆☆ ・
仕上げ吹付け厚さ(mm) ・図示 ・25 ・

16章 建具工事

○1 **防火戸** (16.1.3)
・建具表による ・

2 **見本の製作等** (16.1.4)
建具見本の製作 ・行う 建具符号 :
・行わない
建具見本の目的等 ・
特殊な建具の仮組 ・行う 建具符号 :
・行わない

○3 **防犯建物部品** (16.1.6)
・適用する (**適用箇所** ・建具表による ・)
・適用しない

○4 **アルミニウム製建具** (16.2.2)(16.2.4)(16.2.5)(表14.2.1)(表16.2.1)(表16.2.2)
性能値等(建具符号、枠の見込み寸法は建具表による)
耐風圧性等級、機密性等級、水密性等級
※外部に面する建具の種別は標準仕様書 表16.2.1、表16.2.2による
・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種
・
防音ﾄﾞｱ、防音ｻｯｼ
遮音性の等級 ・T-1、T-2 (性能を満たさない場合はこの限りではない)
断熱ﾄﾞｱ、断熱ｻｯｼ[G]
断熱性の等級 ・H-3,H-4
材料
ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 ※SUS304、SUS430JIL又はSUS443JI
ｽﾃﾝﾚｽ製のくつずりの仕上げ ※HL

形状および仕上げ
表面処理
外部に面する建具 種別 ・BB-1 ・BB-2 (表14.2.1)
着色 ・標準色 ・特注色
屋内の建具 種別 ・BC-1 ・BC-2 (表14.2.1)
着色 ・標準色 ・特注色
結露水の処理方法 ・図示 ・**排水式**
工法
水切り、ぜん板 ※図示 ・
木下地の場合の内付け家具 ・適用しない ・適用する(建具の製造所の仕様)

○5 **網戸等** (16.2.3)

種類	材質	線径	網目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂製 ・ｽﾃﾝﾚｽ (SUS316) 製	※0.25mm以上 ・	・16ﾒｯｼｭ～18ﾒｯｼｭ
・防鳥網	ｽﾃﾝﾚｽ (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法 15mm

6 **樹脂製建具** (16.2.5)(16.3.2)～(16.3.5)(表16.3.1)～(表16.3.3)
性能値等(建具符号、枠の見込み寸法は建具表による)
耐風圧性等級、機密性等級、水密性等級
※外部に面する建具の種別は標準仕様書 表16.2.1、表16.2.2による
・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種
・
防音ﾄﾞｱ、防音ｻｯｼ
遮音性の等級 ・T-1 ・T-2
断熱ﾄﾞｱ、断熱ｻｯｼ[G]
※外部に面する建具の種別は標準仕様書 表16.2.3による
断熱性の等級 ・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8
・
外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ・
材料
ｶﾞﾗｽ ※複層ガラス(組合せは建具表による) ・
ｽﾃﾝﾚｽ製くつずりの仕上げ ※HL ・
形状および仕上げ
表面色 ・標準色 ・特注色
工法
水切り、ぜん板 ※図示 ・
木下地の場合の内付け家具 ・適用しない ・適用する(建具の製造所の仕様)

○7 **鋼製建具** (16.2.2)(16.4.2)～(16.4.4)(表16.4.2)
性能値等(建具符号は建具表による)
外部に面する鋼製建具の耐風圧性 ・S-4 ・S-5 ・S-6
簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの気密性等級、水密性等級 ・標準仕様書 表16.4.1 ・**建具表による**
耐震ﾄﾞｱ
面内変形追従性の等級 ・
防音ﾄﾞｱ、防音ｻｯｼ
遮音性の等級 ・T-1、T-2 (性能を満たさない場合はこの限りではない)
断熱ﾄﾞｱ、断熱ｻｯｼ[G]
断熱性の等級 ・**H-3,H-4**
材料
ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 ※SUS304,SUS430JIL又はSUS443JI
ｽﾃﾝﾚｽ製のくつずりの仕上げ ※HL ・
点検口の類いくつずりの材料 ・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ ※標準仕様書表16.4.2による
・建具表による
使用箇所 ・図示
・
標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による

○8 **鋼製軽量建具** (16.2.2)(16.5.2)～(16.5.4)
性能値等(建具符号は建具表による)
簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの気密性等級 ・A-3 ・建具表による
耐震ﾄﾞｱ
面内変形追従性の等級 ・
防音ﾄﾞｱ、防音ｻｯｼ
遮音性の等級 ・
断熱ﾄﾞｱ、断熱ｻｯｼ[G]
断熱性の等級 ・
材料
鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ﾋﾞﾆﾙ被覆鋼板 ・ｶﾗｰ鋼板 ・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板
ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 ・SUS304、SUS430JIL又はSUS443JI ・
召合わせ、縦小口包み板の性質 ※鋼板
戸の心材 防音性能を求める戸
防音充填剤 ・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ ・ﾛｯｸｳｰﾙ ・
ｽﾃﾝﾚｽ製のくつずりの仕上げ ※HL
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ(mm) ※標準仕様書表16.5.1による
・
使用箇所 ・図示
・

○9 **ステンレス製建具** (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2)～(16.6.5)
性能値等(建具符号は建具表による)
外部に面する鋼製建具の耐風圧性 ・S-4 ・S-5 ・S-6
簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの気密性等級、水密性等級 ・標準仕様書 表16.4.1 ・**建具表による**
耐震ﾄﾞｱ
面内変形追従性の等級 ・
防音ﾄﾞｱ、防音ｻｯｼ
遮音性の等級 ・
断熱ﾄﾞｱ、断熱ｻｯｼ[G]
断熱性の等級 ・建具表による ・
材料
ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 ・SUS304、SUS430JIL又はSUS443JI ・
ｽﾃﾝﾚｽ製のくつずりの仕上げ ※HL
耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
形状及び仕上げ
表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ
工法
ｽﾃﾝﾚｽ鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ

○10 **木製建具** (16.7.2)～(16.7.4)
建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・B種
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量
※F☆☆☆☆ ・標準仕様書16.7.2(2)(ｲ)(a)による
・ﾌﾗｯｼｭ戸
表面材のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量等 ※標準仕様書16.7.2(2)(ｲ)(a)による
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板[G]	表面の樹種 ・ 板面の品質 ※広葉樹1等 ・ 接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類 ・	
・天然木 化粧合板[G]	樹種名 ・ 接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類 ・	
・特殊加工化粧合板[G]	化粧加工の方法 ・ｸﾞﾘﾝﾄ ・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板 ・ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 ・ 接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類 ・	
・MDF[G]	表裏面の常態による区分 ・ 曲げ強さによる区分 ・ 接着材による区分 ・ 難燃性による区分 ・	

表面板の厚さ ※表16.7.6による ・
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用する ・適用しない
・かまち戸
かまち樹種 ・
鏡板樹種 ・
見込み寸法 ※36mm ・建具表による
・ふすま
張りの種別 ・Ⅰ類 ・Ⅱ類
上張り(押入等の裏側以外) ・鳥の子 ・新鳥の子又はﾋﾞﾆﾙ紙程度
縁仕上 ・塗り縁 ・生地縁(素地) ・生地縁(ｳﾚﾀﾝｸﾘﾔｰ塗装)
見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・
・紙張り障子
見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・
枠、くつずりの材料 ・建具表による ・

○11 **建具用金物** (16.8.2)(16.8.3)(表16.8.1)～(表16.8.5)
金物の種類及び見え掛り部の材質等
※標準仕様書表16.8.1により適用は建具表による ・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書表16.8.2による ・建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書表16.8.3による ・建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書表16.8.4による ・建具表による
木製建具に使用する戸車及びﾚｰﾙ ※標準仕様書表16.8.5による ・建具表による
握り玉及びﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、押板類、ｸﾚｾﾝﾄの取付位置 ・建具表による ・
ｼﾘﾝﾀﾞ箱錠及びｼﾘﾝﾀﾞ本締り錠 (品質・性能、試験方法は別表による)
ｸﾛｰｻﾞ類 (品質・性能、試験方法は別表による)

○12 **鍵** (16.8.4)
ﾏｽﾀｰｷｰ ・製作する ・製作しない
その他の鍵の製作本数 ※各室3本1組 (室名札付き)
鍵箱 ※有 ・無

○13 **自動ドア開閉装置** (16.9.2)(16.9.3)
戸の開閉方式 ・建具表による ・
自動ﾄﾞｱ開閉装置の性能
駆動装置の性能
※引き戸用駆動装置の場合、標準仕様書表16.9.1による
防錆 ・適用する ・適用しない
・
車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置の性能
※標準仕様書表16.9.2による
防錆 ・適用する ・適用しない
・
検出装置の種類
※引き戸用駆動装置の場合、標準仕様書表16.9.3による
防錆
・
引き戸用検出装置の種類(標準仕様書表16.9.4)
種類 ・光線(反射)ｾﾝｻｰ ・熱線ｾﾝｻｰ ・音波ｾﾝｻｰ
・光電ｾﾝｻｰ ・電波ｾﾝｻｰ
・ﾀｯﾁｽｲｯﾁ(・無線式ﾀｯﾁｽｲｯﾁ ・光電式ﾀｯﾁｽｲｯﾁ)
・押しﾎﾞﾀﾝｽｲｯﾁ
・車椅子使用者用便房用操作ｽｲｯﾁ
(・大形(開・閉)押しﾎﾞﾀﾝｽｲｯﾁ ・非接触ｽｲｯﾁ)
凍結防止措置 ・行う ・行わない

○14 **自閉式上吊り引戸装置** (16.10.3)(表16.10.1)
性能 ※標準仕様書表16.10.1による
・図示

○15 **重量シャッター** (16.11.2)(16.11.3)
ｼｬｯﾀｰの種類 ・管理用ｼｬｯﾀｰ ・外壁用防火ｼｬｯﾀｰ ・屋内用防火ｼｬｯﾀｰ ・防煙ｼｬｯﾀｰ
外壁開口部に設ける重量ｼｬｯﾀｰの耐風圧強度(pa) ・800
開閉方式の種類 ※電動式(手動併用) ・手動式
安全装置
電動式ｼｬｯﾀｰの急降下制御装置、急降下停止装置
設置箇所 ・建具表による
電動式ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置
設置箇所 ・建具表による
屋内用防火ｼｬｯﾀｰ若しくは防煙ｼｬｯﾀｰの危害防止装置
設置箇所 ・建具表による
管理用ｼｬｯﾀｰのｼｬｯﾀｰｹｰｽ ・設ける ・設けない
ｽﾗｯﾄ及びｼｬｯﾀｰｹｰｽ用鋼板
鋼板の種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼及び鋼帯)
めっきの付着量 ※Z12またはF12 ・
ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、まぐさ、雨掛かりに用いる座板及び座板ｶﾊﾞｰ、雨掛かりに用いるｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ類の蓋の材質
ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 ※SUS304、SUS430JIL又はSUS443JI ・

○16　軽量シャッター　(16.12.2)(16.12.3)(16.12.4)

開閉方式の種類　※手動式　・電動式(手動併用)
耐風圧強度(pa)　・800
安全装置(電動ｼｬｯﾀｰ)
　急降下制御装置、急降下停止装置
　　設置箇所　・建具表による
　障害物感知装置
　　設置箇所　・建具表による
ｽﾗｯﾄの材質の種類　・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
　　めっきの付着量　※Z06またはF06　・
　　・JIS G 3322(塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)
　　めっきの付着量　※AZ90　・
ｽﾗｯﾄの形状　・ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ形　・ｵｰﾊﾞｰﾗｯﾋﾟﾝｸﾞ形

○17　オーバーヘッドドア　(16.13.2)(16.13.3)

ｾｸｼｮﾝ材による区分	風圧力による強さの区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙの材料
※ｽﾁｰﾙﾀｲﾌﾟ ・ｱﾙﾐﾆｳﾑﾀｲﾌﾟ ・ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽﾀｲﾌﾟ	・50 ・75 ・100 ・125	※ﾊﾟﾗﾝｽ式 ・ﾁｪｰﾝ式 ・電動式	・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ形 ・ﾛｰﾍｯﾄﾞ形 ・ﾊｲﾘﾌﾄ形 ・ﾊﾞｰﾁｶﾙ形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板

電動式ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱの障害物感知装置　設置箇所　・建具表による

○18　ガラス　(9.7)(16.14.2)～(16.14.4)(図16.14.1)

板ｶﾞﾗｽ

種類	厚さ等	その他
・ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ	※建具表による	
・型板ｶﾞﾗｽ	※建具表による	
・網入板ｶﾞﾗｽ及び線入り板ｶﾞﾗｽ	※建具表による	
・合わせｶﾞﾗｽ	※建具表による	落球衝撃はく離特性及びｼｮｯﾄﾊﾞｯｸ衝撃特性による種類 ・Ⅰ類　・Ⅱ-1類　・Ⅱ-2類　・Ⅲ類
・強化ｶﾞﾗｽ	※建具表による	破片の常態及びｼｮｯﾄﾊﾞｯｸ衝撃特性による種類 ・Ⅰ類　・Ⅲ類
・熱線吸収板ｶﾞﾗｽ	※建具表による	性能による分類　・1類　・2類
・複層ｶﾞﾗｽ	※建具表による	断熱性による区分 ・T1　・T2　・T3　・T4　・T5　・T6 日射取得性及び日射遮蔽性による区分 ・G　・S 乾燥気体の種類　・空気　・ｱﾙｺﾞﾝ
・熱線反射ｶﾞﾗｽ	※建具表による	日射遮蔽性による区分　・1種　・2種　・3種 耐久性による区分(日射熱遮蔽性による区分が2種の場合) ・A種　・B種
・倍強度ｶﾞﾗｽ	※建具表による	

ｶﾞﾗｽの留め材及び溝の大きさ　(16.14.2)(表9.7.1)

建具の種類	ｶﾞﾗｽ留め材	ｶﾞﾗｽ溝の大きさ(mm)
ｱﾙﾐﾆｳﾑ製	・ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ※ｸﾞﾚｲｼﾞﾝｸﾞﾁｬﾝﾈﾙ ・	※建具製造所の仕様による ・
鋼製及び鋼製軽量	・ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ・	※建具製造所の仕様による ・
ｽﾃﾝﾚｽ製	・ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ・	※建具製造所の仕様による ・
樹脂製	※ｸﾞﾚｲｼﾞﾝｸﾞﾁｬﾝﾈﾙ ・	※建具製造所の仕様による ・

耐震性能　建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

ｶﾞﾗｽの切断、小口処理
　ｶﾞﾗｽ端部で枠にのみ込まない部分の小口処理　・建具表による

19　ガラスブロック　(16.14.5)

表面形状	呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調 ｸﾘｱ	色調 乳白	目地幅 平積み	目地幅 曲面積み	伸縮調整目地位置(mm)
正方形	・160×160 ・200×200	・# ・#	・ ・	・ ・	※8～15 ・	外側 ※15以下 ・ 内側 ※6以上	※6m以下ごとに幅10～25mm ・図示 ・
長方形	・ ・		・ ・	・ ・			

壁用金属枠及び補強材　※図示
力骨
　材質　※ｽﾃﾝﾚｽ鋼 (SUS304)　・
　寸法　※径5.5mm　・
　形状　※はしご形状複筋及び単筋　・
化粧目地ﾓﾙﾀﾙの色　・白　・ｸﾞﾚｰ
ｼｰﾘﾝｸﾞの種類　・SR-1　・PS-1
金属製化粧ｶﾊﾞｰ
　材質　・ｽﾃﾝﾚｽ製　・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製
　寸法　※図示　・
　形状　※図示　・
木下地の場合のｱﾝｶｰ等の取り付け間隔　・図示
目地部の横力骨の納まり　※ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ製造所の仕様による　・図示　・
工法　1章 適用区分による風圧力の(　・1　・1.15　・1.3　)倍の風圧力に対応した工法

17章　カーテンウォール工事

1　取付方法、性能等　(17.1.3)

耐風圧性	耐震性 水平方向(kH)	耐震性 垂直方向(kH)	水密性	気密性	耐火性	耐温度差性(℃)	遮音性	断熱性
	・1 ・	・1 ・			・30分間 ・1時間	・# ・# ・#		

耐風圧性　1章 適用区分による風圧力(　・1　・1.15　・1.3　)倍の風圧力に対応した工法
主要部材の耐風圧性能 (ｶﾞﾗｽを除く)

支点間距離(h)	耐風圧性能
4m 以下	・たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対量 20mm 以下であること ・
4m を超える	・

耐震性能　建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
性能の確認方法及び判定方法
　※性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督員の承諾を受ける

2　メタルカーテンウォール　(17.2.2)(17.2.3)(17.2.5)(17.2.6)

金属系材料の種類　・ｱﾙﾐﾆｳﾑ材　・鋼材　・ｽﾃﾝﾚｽ鋼材
ｼｰﾘﾝｸﾞ材の種類(目地等)
　種類及び寸法等　※図示
ｶﾞﾗｽの取付け材料　・ｼｰﾘﾝｸﾞ
　　種類　・SR-1　・SR-1
　　・構造用ｶﾞｽｹｯﾄ
　　形状・寸法等　※図示
断熱材[G]
　種類　・
　厚さ(mm)　・
　施行箇所　※図示　・
形状及び仕上げ
　製品の寸法許容差　※標準仕様書表17.2.1による
　製品の見え掛かり部の仕上げ
　　(ｱﾙﾐﾆｳﾑ材の場合)
　　規格等　標準仕様書16.2.3による
　　種別　・　(標準仕様書14.2.1)
　　着色　・標準色　・特注色
　　(鋼材及びｽﾃﾝﾚｽ鋼材の場合)
　　・
　ｶﾞﾗｽ溝の寸法、形状　※ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙの製造所の仕様　・
取付け
　躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
　　鉛直方向　※±10mm　・
　　水平方向　※±25mm　・
　ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ部材の取付け位置の寸法許容差
　　目地の幅　※±3mm　・
　　目地の心の通り　※2mm　・
　　目地の両面の段差　※2mm　・
　　各階の基準墨から各部材までの距離　※±3mm　・
　耐火処理
　　適用部位、材料等　※図示
ｶﾞﾗｽの取付け材料
　ｶﾞﾗｽの取付け材料がｼｰﾘﾝｸﾞの場合のｶﾞﾗｽの支持方法　※4辺支持　・

3　PCカーテンウォール　(17.3.2)～(17.3.5)(表17.3.1)(表17.3.2)

材料
　ｺﾝｸﾘｰﾄ
　　種類　・普通ｺﾝｸﾘｰﾄ　・軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ1種　・
　　品質　設計基準強度Fc　※30N/mm2　・
　　ｽﾗﾝﾌﾟ　※12cm
　　気乾単位容積質量　・普通ｺﾝｸﾘｰﾄの場合 2.1t/m3を超え2.5t/m3以下
　　・軽量ｺﾝｸﾘｰﾄの場合 1.8t/m3～2.1t/m3
　　・
　　単位水量の最大値　※185kg/m3　・
　鉄筋　種類の記号　※SD295　・
　補強鉄線　径 (mm)　・3.2　・4.0　・5.0　・6.0
　　網目寸法　・
　ｼｰﾘﾝｸﾞ材(ｶﾞﾗｽの取付けは除く)

被着体の組合せ	ｼｰﾘﾝｸﾞ材の種類 記号	ｼｰﾘﾝｸﾞ材の種類 主成分による区分

ｶﾞﾗｽの取付材料　・構造ｶﾞｽｹｯﾄ
　　形状・寸法等

耐火処理　適用部位、材料等　※図示
断熱材[G]　種類　・
　厚さ(mm)　・
　施行箇所　※図示　・
先付けの材料　・表面仕上材
　・ｾﾗﾐｯｸﾀｲﾙ　・石材
　・建具枠
　・ｺﾞﾝﾄﾞﾗ用ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ
形状及び仕上げ
　製品の見え掛り部の寸法許容差
　※共通仕様書 表17.3.1による
　・上記以外
　　辺長　・
　　対角線長の差　・
　　板厚　・
　　開口部内法寸法　・
　　ねじれ、反り　・
　　曲がり　・
　　面の凹凸　・
　　先付け金物の位置　・
PCｶｰﾃﾝｳｫｰﾙの仕上げ
　・
構造ｶﾞｽｹｯﾄを用いる場合のｱﾝｶｰ溝の寸法及び寸法許容差(mm)
　※図示
製作
　PC版の配筋　※図示
取付け
　躯体付け金物の取付けの寸法許容差
　※共通仕様書 表17.2.2による
　・上記以外
　　鉛直方向　・
　　水平方向　・
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ部材の取付け位置の寸法許容差
　※共通仕様書 表17.3.2による
　・上記以外
　　目地の幅　・
　　目地の心の通り　・
　　目地両側の段差　・
　　各階の基準墨から各部位までの距離　・
ｶﾞﾗｽの取付け方法
　・ｶﾞﾗｽの取付材が構造用ｶﾞｽｹｯﾄで複層ｶﾞﾗｽ等を使用する場合は排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う

18章　塗装工事

○1　材料　(18.1.3)

屋内で使用する塗料のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆
防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
　・次の箇所を除き防火材料とする
　　箇所　・

○2　素地ごしらえ　(18.2.2)～(18.2.7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種　・B種
	透明塗料塗りの場合	※B種　・A種
鉄鋼面	DP	※B種　・A種　・C種
	DP以外	※B種　・A種　・B種
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	※B種
	鋼製建具等以外	・A種　・B種
ﾓﾙﾀﾙ面及びせっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面		※B種　・A種
ｺﾝｸﾘｰﾄ面(DP以外)及びALCﾊﾟﾈﾙ面		※B種　・A種
押出成形ｾﾒﾝﾄ板面		※B種　・A種
ｺﾝｸﾘｰﾄ面(DP面)		・B種　※A種
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面及びその他ﾎﾞｰﾄﾞ類		※B種　・A種

○3　錆止め塗料塗り　(18.3.2)(18.3.3)

下地面等			錆止め塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	見え掛り部分	SOP	As種	※A種　・B種
		DP	1回目　Cs種 2,3回目　Ds種	標準仕様書表18.3.4
		EP-G	※Bs種　・As種	※A種　・B種
	見え隠れ部分	SOP	As種	※B種　・A種
		DP	1回目　Cs種 2,3回目　Ds種	標準仕様書表18.3.4
		EP-G	※Bs種　・As種	※B種　・A種
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	SOP	※Az種　・Bz種	※A種　・B種
		DP	Bz種	標準仕様書表18.3.6
		EP-G	Cz種	※A種　・B種
	鋼製建具以外	SOP	※Bz種　・Az種	※B種　・A種
		DP	Bz種	標準仕様書表18.3.6
		EP-G	Cz種	※B種　・A種

○4　塗装　(18.4.1)～(18.12.2)

塗装		種別	塗料の種類	高日射反射率塗料[G]
・合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り(SOP)	木部屋外	※A種　・B種	―	―
	木部屋内	※B種　・A種		―
	鉄鋼面	※B種　・A種		・適用する
	亜鉛めっき鋼面	―		・適用する
・ｸﾘｱｳｯﾄﾞｶｰ塗り(CL)		※B種　・A種	―	―
・ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)		※B種　・A種	―	―
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	―	上塗塗料の等級 ・1級	・適用する
	亜鉛めっき鋼面	―	上塗塗料の等級　・	―
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び	・A種　・B種	―	―
	押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・C種		
・つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP-G)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 押出成形ｾﾒﾝﾄ板面 ﾓﾙﾀﾙ面 ﾌﾟﾗｽﾀｰ面 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面 その他のﾎﾞｰﾄﾞ面等	※B種　・A種	―	―
	屋内の鉄鋼面	※B種　・A種	―	―
・合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP)		※B種　・A種		
・ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾆｽ塗り(UC)		※B種　・A種	―	―
・ﾋﾞｸﾞﾏﾝﾄｽﾃｲﾝ塗り				―
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種　・A種	―	―

高日射反射率塗装[G]を適用する場合の適用箇所は屋上、屋根面の金属面とする。
ｸﾘｱｳｯﾄﾞｶｰ塗A種の工程2の適用　・適用しない
　　・適用する
　　着色剤　・溶剤系着色剤　・油性染色着色剤
ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾆｽ塗の工程1の着色の適用　・適用する　・適用しない

19章　内装工事

○1　接着剤　(19.2.2)(表19.2.1)(表19.2.2)

ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ、ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ、ｺﾞﾑ床ﾀｲﾙ用接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆
施工箇所の下地がｾﾒﾝﾄ系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別　・図示　・

○2　下地の工法　(19.2.3)

標準仕様書19.2.3(1)(ｱ)～(ｳ)以外の下地の工法　・図示　・

○3　ビニル床シート[G]　(19.2.2)(19.2.3)

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
※FS(複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ)	・無地 ・ｸｰﾌﾟﾙ柄 ・柄物	※2.0 ・	

接合部の処理　※熱溶接工法　・

○4　ビニル床タイル[G]　(19.2.2)

種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
※KT(ｺﾝﾎﾟｼｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ) ・TT(単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ) ・FT(複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ) ・FOA(置式きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ) ・FOB(薄型置き敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・500×500 ・図示	※2.0 ・2.5 ・3.0	

○5　特殊機能床　(19.2.2)

ｼｰﾄ種別	種類	性能	寸法、厚さ、形状(mm)
・帯電防止床ｼｰﾄ			厚さ：
・帯電防止床ﾀｲﾙ			寸法：　厚さ：
・視覚障害者用床ﾀｲﾙ		―	形状：
・耐動荷重性床ｼｰﾄ		―	厚さ：
・防滑性床ｼｰﾄ	塩ビ	―	厚さ 図示
・防滑性床ﾀｲﾙ		―	寸法：　厚さ：

視覚障害者誘導用ﾌﾞﾛｯｸ等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による

○6　ビニル幅木　(19.2.2)

種類　・硬質　・軟質
高さ(mm)　※60　・75　・100
厚さ(mm)　※1.5以上　・

7　ゴム床タイル　(19.2.2)

種類　・単層品　・積層品
色柄　・
厚さ(mm)　・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法(mm)　・

8　カーペット敷き　(19.3.2)(19.3.3)(表19.3.1)(表19.3.2)

・織じゅうたん

織り方	ﾊﾟｲﾙ形状
・ｳｨﾙﾄﾝｶｰﾍﾟｯﾄ ・ﾀﾞﾌﾞﾙﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ ・ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰｶｰﾍﾟｯﾄ	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ ・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ ・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用

色柄　※模様の無い無地　・
ﾊﾟｲﾙ糸の種類等　※無地の織りじゅうたんの種別
　　・A種　・B種　・C種
　　・
帯電性　・適用する　・適用しない
見切り、押え金物　・適用する
　　材質、形状等　・図示　・
　　・適用しない
織りじゅうたんの接合方法　※ﾋｰﾄﾎﾞﾝﾄﾞ工法　・つづり縫い
下敷き材　※反毛ﾌｪﾙﾄ(JIS L 3204)の第2種2号　呼び厚さ 8mm
　　・

・ﾀﾌﾃｯﾄﾞｶｰﾍﾟｯﾄ

ﾊﾟｲﾙ形状	ﾊﾟｲﾙ長さ(mm)	工法	帯電性	備考
・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ ・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ ・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・5～7 ・4～6 ・	・全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	・適用する ・適用しない	

下敷き材(ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法の場合)　※反毛ﾌｪﾙﾄ(JIS L 3204)の第2種2号　呼び厚さ8mm
　　・
ﾀﾌﾃｯﾄﾞｶｰﾍﾟｯﾄ用接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆
見切り、押え金物　・適用する
　　材質、形状等　・図示　・
　　・適用しない

・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ

ﾊﾟｲﾙの形状	種類	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考
※ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	

ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ用接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆
ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄの敷き方
　平場　※市松敷き　・模様流し　・
　階段部分　※模様流し　・市松敷き　・
見切り、押え金物　・適用する
　　材質、形状等　・図示　・
　　・適用しない

○8　合成樹脂塗床　(19.4.2)(19.4.3)(表19.4.4)(表19.4.5)～(表19.4.8)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 (弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床)			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 (ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床)		・薄膜流しのべ 工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗床材のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆

9　フローリング張り　(19.5.2)～(19.5.6)(表19.5.1)～(表19.5.6)

ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞのﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量等　※標準仕様書19.5.2(2)による　・
各工法に使用する接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散量　※F☆☆☆☆
県産木材の適用　・適用する　・適用しない
単層ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ

種類	工法	樹種	厚さ、幅及び長さ
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ 1 等	・釘留め工法 (根太張り)	・	※標準仕様書表19.5.1による ・
	・釘留め工法 (直張り)	・	※標準仕様書表19.5.3による ・
	・接着工法	・	※標準仕様書表19.5.5による ・
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ 1 等	・接着工法	・	・

複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ

種類	工法	樹種	厚さ、幅及び長さ
・複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ (天然化粧木)	・釘留め工法 (根太張り)	・	標準仕様書表19.5.2による ・A種　・B種　・C種
	・釘留め工法 (直張り)	・	標準仕様書表19.5.4による ・A種　・B種　・C種
	・接着工法	・	標準仕様書表19.5.6による ・A種　・B種　・C種

接着工法の場合の不陸緩和材　※合成樹脂発泡ｼｰﾄ　・

○10　畳敷き　(19.6.2)(表19.6.1)

種別　・A種　(　畳表：　・JS　・J1　)
　　・B種
　　・C種　(　畳表：　・PS-C20　・PS-C25　・PS-C30　)
　　・D種　(　畳表：　・KT-Ⅰ　・KT-Ⅱ　・KT-Ⅲ　・KT-K　・KT-N　)
下地の種類　・標準仕様書表12.6.1による床組み
　　・ｽﾀﾘｽﾚﾝﾌｫｰﾑ床下地(ﾉﾝﾌﾛﾝ[G])
畳表及び畳床はﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ及びｽﾁﾚﾝを発散しないか、発散がきわめて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳 (畳表：・C1　・C2)

藤枝市　都市建設部　建築住宅課	池田建築設計事務所　一級建築士事務所	一級建築士　有馬　慎介 一級建築士登録　第360847号	検図 / 作図 / 日付	建設工事名 (仮称)新学校給食センター　建築工事
建築工事特記仕様書(7)	図番 A-特-007			

○11　せっこうボードその他ボード及び合板張り　(19.7.2)(19.7.3)(表19.7.1)

MDF及びﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞのﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量
※F☆☆☆☆　・

合板のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄ放散量
※標準仕様書19.7.2(3)(ｲ)の(a)～(d)のいずれか
・

合板の防虫処理の適用
・行う　・行わない

接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量
※F☆☆☆☆

種類等	厚さ(mm)、規格等
木毛セメント板[G]	
(・)木毛ｾﾒﾝﾄ板 (・)硬質(HW)　・中質(MW)　・普通(NW)	※図示　・15　・20　・25
・木片ｾﾒﾝﾄ板 ・硬質(HF)　・普通(NF)	※図示　・12　・15　・18　・21　・30
繊維強化セメント板	
・けい酸ｶﾙｼｳﾑ板(ﾀｲﾌﾟ2)普通ﾎﾞｰﾄﾞ0.8FK	※図示　・6　・8
火山性ｶﾞﾗｽ質複層板	
・火山性ｶﾞﾗｽ質複層板 種類　※図示	※図示
繊維板[G]	
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ(MDF) ・ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ	※図示　・3　・7　・9　・12 ※図示　・2.5　・3.5　・5　・7
・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(無処理) ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板(RN) ・研磨板(RS) ・内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(DI) ・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(処理) ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板(RN) ・研磨板(RS) ・外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(DE)	
・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ ・A級ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ(A-IB) ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材	※図示　・9　・12　・15　・18
ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ[G]	
・単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・無研磨板(VN) ・研磨板(VS)	※図示　・10(難燃)　・12(難燃)
・化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・単板オーバーレイ(DV) ・ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ(DO) ・塗装(DC)	※図示　・10(難燃)　・12(難燃)
吸音材料	
(・)ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(DR) (・)ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ ・凹凸ﾀｲﾌﾟ	(・)9(不燃)　・12(不燃) ・12(不燃)　・15(不燃)
・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ(1号)	※図示　・25
(・)ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ(32K)	(・)25(ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包み)
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	
(・)せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-R)	※12.5(不燃)　・15(不燃)
(・)ｼｰﾘﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-S)	(・)12.5　(・)不燃　・準不燃
(・)強化石膏ボード(GB-F)	(・)12.5(不燃)　・15(不燃)
(・)化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-D)	(・)ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様 9.5(準不燃)
・せっこうﾗﾑﾎﾞｰﾄﾞ(GB-L)	・9.5
(・)不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-NC) ・化粧無し(下地張り用) (・)化粧有り(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様)	(・)9.5(不燃)
合板類	
(・)普通合板[G] 品名　・ 板面の品質　・ 単板の樹種名　・ 防虫処理　・行う　(・)行わない	※5.5　・図示
・天然木化粧合板[G] 化粧板の樹種名　・ 防虫処理　・行う　・行わない	※図示　・
・特殊加工化粧合板[G] 品目　・ 接着の程度　・ 単板の樹種名　・ 化粧加工の方法 ・オーバーレイ　・ﾌﾟﾘﾝﾄ　・塗装 防虫処理　・行う　・行わない	※図示　・

天井のﾎﾞｰﾄﾞ類(ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板を除く)の重ね張りを行う場合　※図示
合板類の張付け　(・)A種　・B種
せっこうﾎﾞｰﾄﾞの目地工法等　※仕上表による
突付け工法及び目隠し工法のｴｯｼﾞの種類　(・)ﾍﾞﾍﾞﾙｴｯｼﾞ　・ｽｸｴｱｴｯｼﾞ
天井又は壁に使用する合板は、関係法令により求められる場合のみ、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものとする。

○12　壁紙張り　(19.8.2)(18.8.3)

ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆　・

施工箇所	壁紙の種類						防火種別			備考
	紙	繊維	塩化ﾋﾞﾆﾙ	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他				
図示	・	・	(・)	・	・	・	(・)不燃	(・)準不燃	・難燃	図示
	・	・	・	・	・	・	・不燃	・準不燃	・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃	・準不燃	・難燃	

ﾓﾙﾀﾙ、ﾌﾟﾗｽﾀｰ面の素地ごしらえ　※B種　・A種
ｺﾝｸﾘｰﾄ面の素地ごしらえ　※B種　・A種
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面及びけい酸ｶﾙｼｳﾑ板面の素地ごしらえ　※B種　・A種

○13　断熱材[G]　(19.9.2)～(19.9.4)

ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材、保温材又は接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆
開口部等補修のための張付け用の接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆
・断熱材打込み工法

種類	厚さ(mm)	施工箇所
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材　:	・	
(・)押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材 (ｽｷﾝ層なし) ・2種bA　(・)3種bA　・3種bC　・3種bD	(・)50	土間コン下
(・)硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材	(・)35	屋根1，3，4
・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材	・	

(・)断熱材現場発泡工法
断熱材の種類　・A種1　(・)A種1H　・
吹付け厚さ(mm)　(・)35
施工箇所　(・)図示
(品質、性能、試験方法は別表による)

20章　ユニット及びその他工事

1　フリーアクセスフロア　(20.2.2)

施工箇所	工法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上材	備考
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3000 ・5000	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ	

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(ｴ)(a)～(c)による　・
・以下による
ﾊﾟﾈﾙ長さの寸法精度　:
ﾊﾟﾈﾙの平面形状(角度)の寸法精度　:
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの高さの寸法精度　:
帯電防止性能　・評価値(U)≧0.6以上　・評価値(U)≧1.2以上
感電防止性能　漏えい抵抗(R)≧1×10^6Ω
(品質・性能、試験方法は別表による)

2　可動間仕切　(20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類		ﾊﾟﾈﾙ表面仕上げ	遮音性(db/500Hz)	防火性能
	ｽﾀｯﾄﾞ	ﾊﾟﾈﾙ			
・ｽﾀｯﾄﾞ式(内臓) ・ｽﾀｯﾄﾞ式(露出) ・ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式 ・ﾊﾟﾈﾙ式			・ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付又は ｱｸﾘﾙ樹脂焼付 ・壁紙張り	・0　・12 ・20　・28 ・36	・不燃

ﾊﾟﾈﾙ内に取付ける建具　・あり
※図示　・
・なし
ﾊﾟﾈﾙ内に取り付ける家具のﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、丁番、錠前、上げ落とシは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。
ﾊﾟﾈﾙ材料のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放出量　※F☆☆☆☆

3　移動間仕切　(20.2.4)

走行方向	操作方法による種類	ﾊﾟﾈﾙ圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	ﾊﾟﾈﾙ表面材		遮音性(db/500Hz)
				材質	仕上げ	
・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・ﾌﾟｯｼｭ式 ・ﾊﾝﾄﾞﾙ式 ・		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上

ﾊﾟﾈﾙ表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。
ﾊﾝｶﾞｰｼｰﾙの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する
・図示
ﾊﾟﾈﾙをﾗﾝﾅに取り付ける部品
※ﾗﾝﾅに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
・
ﾊﾝｶﾞｰｼｰﾙ及びﾗﾝﾅ
※ﾊﾟﾈﾙ重量の5倍の荷重を、ﾊﾟﾈﾙ1枚に使用するﾗﾝﾅ数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの
・
(品質・性能は別表による)
あと施工ｱﾝｶｰ
・使用する
種類　・
材質　・
寸法　・
・使用しない

○4　トイレブース　(20.2.5)

表面材の材料	脚部	
	種類	ﾄﾞｱｴｯｼﾞ 材質
(・)ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 ・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂系化粧板 ・	※幅木ﾀｲﾌﾟ ・	※製造所の仕様による (・)ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・ｽﾃﾝﾚｽ製 ・表面材と同材

パネル材料のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆　・

○5　手すり　(20.2.6)

材料の種類及び仕上げ
(・)SUS304
表面処理　※HL程度　(・)図示
・鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき
表面処理(標準仕様書表14.2.2による種別)　・　種
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ
表面処理(標準仕様書表14.2.1による種別)　・　種
色合等　・標準色　:　・特注色　:
手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
(・)集成材 材種　:	(・)OSCL ・	(・)35程度 ・45程度 ・		
(・)ﾋﾞﾆﾙ製		(・)35程度 ・45程度 ・		

○6　階段滑り止め　(20.2.7)

材種　(・)ｽﾃﾝﾚｽ製　・黄銅製押出型材　・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製押出型材　・
形状　※ﾀｲﾔ型(ﾀｲﾔの材質：ｺﾞﾑ又は合成樹脂)　・ﾀｲﾔﾚｽ型
端部の形状　(・)ﾌﾗｯﾄｴﾝﾄﾞあり　・ﾌﾗｯﾄｴﾝﾄﾞなし
寸法(幅)　・35mm程度　(・)40mm程度　・50mm程度
取付け工法　※接着工法　・埋め込み工法

7　黒板及びホワイトボード[G]　(20.2.9)

・黒板　区分　※焼き付け　・
種類　・鋼製黒板　・ほうろう黒板　・
色　※緑　・
・ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ

○8　鏡　(20.2.10)

取付箇所　:図示
寸法(mm)　(・)図示　・
厚さ(mm)　※5　・

○9　表示　(20.2.11)

衛災防止表示
(・)設置する
設置場所　※図示　(・)風除室
形状・寸法　(・)30φ　・
材質　(・)ｽﾃﾝﾚｽ製　・
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示
※消防法に適合する市販品
室名札、ﾋﾟｸﾄｸﾞﾗﾌ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等
(案内用図記号はJIS Z 8210による)
※図示

○10　タラップ　(20.2.12)

材質及び仕上げ　(・)SUS304
スリップ止め加工　※あり　・なし
(・)鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき
※標準仕様書表14.2.2による種別
※C種　・

○11　煙突ﾗｲﾆﾝｸﾞ　(20.2.13)

適用安全使用温度　(・)650℃以下
工法　※鋼製ﾕﾆｯﾄ煙突(煙突用成形ﾗｲﾆﾝｸﾞ材)　・

12　ブラインド　(20.2.14)

形式	操作方法	操作方法の種類	ｽﾗｯﾄの種類	ｽﾗｯﾄ幅(mm)	ﾎﾞｯｸｽ・ﾚｰﾙの材種	幅・高さ・取付箇所
・横形	・電動	―				
	・手動	※ｷﾞﾔ式 ・ｺｰﾄﾞ式 ・操作棒式	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製[G] ・	※25 ・	※鋼製 ・	※図示 ・
・縦形	・電動	―				
	・手動	※2本操作ｺｰﾄﾞ式 ・1本操作ｺｰﾄﾞ式	・ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・ｸﾛｽｽﾗｯﾄ	・80 ・100	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・	※図示 ・

縦型ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞのｽﾗｯﾄの材質
・ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ　焼付け塗装仕上げ
・ｸﾛｽｽﾗｯﾄ　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は[G]とする。

13　ロールスクリーン　(20.2.15)

操作方法	ｽｸﾘｰﾝの材質	その他の材料	幅・高さ、取付箇所	品質
・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ式 ・ｺｰﾄﾞ式 ・電動式	・ｶﾞﾗｽ繊維製 ・合成、天然繊維製 ・木製	※製造所の仕様	・図示	・

ｽｸﾘｰﾝの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は[G]とする。

14　カーテン　(20.2.16)

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
・ｼﾝｸﾞﾙ ・ﾀﾞﾌﾞﾙ	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・ﾌﾗﾝｽひだ ・箱ひだ、片ひだ ・ﾌﾞﾚｰﾝひだ		・図示	

生地の仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は[G]とする。
暗幕ｶｰﾃﾝの両端、上部及び召合せの重なり　※300mm以上　・

○15　カーテンレール　(20.2.16)

材料による区分　※ｱﾙﾐﾆｳﾑ又はｱﾙﾐﾆｳﾑ合金の押出成型材
・ｽﾃﾝﾚｽ製
強さによる区分　※10-90　・
仕上げ　※ｱﾙﾏｲﾄ　・
形状　※角形　・

○16　ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ及びｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ
溝型x深さ(mm)　・90x150　・120x80　・120x150　・150x80　(・)図示
材種　・集成材
仕上げ　:
(・)ｱﾙﾐﾆｳﾑ製　押出し型材(市販品)
標準仕様書14.2.1による種別　・BC-1種　(・)BC-2種
色合い　(・)標準色　:　・特注色　:
・鋼製
仕上げ　:

○17　天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・	(・)450×450 ・600×600	(・)一般形 ・気密形	・屋内外用 (・)屋内用	(・)額縁ﾀｲﾌﾟ ・目地ﾀｲﾌﾟ	(・)額縁ﾀｲﾌﾟ ・目地ﾀｲﾌﾟ

(品質・性能、試験方法は別表による)

○18　床点検口

材種	寸法	形式		備考
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・ｽﾃﾝﾚｽ製 (・)鋼製	・450×450 (・)600×600 ・	・一般形 (・)密閉形	・屋内外用 (・)屋内用	・鍵付き

密閉形とはﾎﾞﾙﾄ、ﾅｯﾄ等ﾒｶﾆｶﾙ構造にﾊﾟｯｷﾝを装着したものとする。
(品質・性能、試験方法は別表とする)

19　耐震ｽﾘｯﾄ

方向	幅(mm)	ﾀｲﾌﾟ	耐火性能	防水性能	備考
・垂直	・25 ・	・完全(全貫通型) ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し	
・水平	・25 ・				

目地

目地	内壁	外壁
目地材	・ｼｰﾘﾝｸﾞ材(見え掛かり部のみ) ・	・ｼｰﾘﾝｸﾞ材(見え掛かり部のみ) ・ｼｰﾘﾝｸﾞ材(内外共) ・
目地寸法	・ｽﾘｯﾄ幅×深さ10 ・	・ｽﾘｯﾄ幅×深さ10 ・

目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による

○20　止水板
形式　・差込式　(・)据置式　・壁張り式
施工箇所　(・)図示　・

21　エキスパンションジョイント金物
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。

○22　くつふきマット

材種	受け枠	備考
・塩化ﾋﾞﾆﾙ又はｺﾞﾑ製 ・硬質ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 (・)ｽﾃﾝﾚｽ鋼(SUS304)製 ・	(・)ｽﾃﾝﾚｽ鋼(SUS304) ・硬質ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金 ・	

○23　流し台ユニット

材種	寸法(mm)			備考
	W	D	H	
(・)流し台	・1200 (・)1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 ﾄﾗｯﾌﾟ付き 天板ｽﾃﾝﾚｽ製
・ｺﾝﾛ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 ﾊﾞｯｸｶﾞｰﾄﾞ有り 天板ｽﾃﾝﾚｽ
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	―	―	市販品 ｽﾃﾝﾚｽ製 ・1段式　・

品質・性能　外観は、JIS A 4420「ｷｯﾁﾝ設備の構成材」の4.1による。
構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。
形状　※図示

24　旗竿

材種	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・	・ﾃｰﾊﾟｰ式 ・同一断面式		・ﾊﾝﾄﾞﾙ式 ・ﾛｰﾌﾟ式	・埋込式 ・ﾍﾞｰｽ式 ・ﾊﾞﾝﾄﾞ式	

25　旗竿受金物
・ｽﾃﾝﾚｽ製(SUS304)　・

○26　車止めさく

形式		材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(m)
・上下式鎖内蔵式	・標準品 ・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ式	・ｽﾃﾝﾚｽ製 ・	・ ・	・ ・
(・)図示				

○27　フェンス
ﾌｪﾝｽの種類　(・)ﾋﾞﾆﾙ被覆ｴｷｽﾊﾟﾝﾄﾞﾌｪﾝｽ　・樹脂塗装ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ　・鋼管ﾌｪﾝｽ　・ｱﾙﾐﾌｪﾝｽ
高さ　(・)図示

28　プレキャストコンクリート　(20.3.2)～(20.3.4)
補強鉄線の径及び網目寸法
・**図示**　・
ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度
※水ｾﾒﾝﾄ比55%以下、単位ｾﾒﾝﾄ量の最小値300kg/m3を満足する調合強度
・図示
配筋
※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する
・図示
取付け方法
※図示

29　間知石及びｺﾝｸﾘｰﾄ間知ﾌﾞﾛｯｸ積み　(20.4.2)(20.4.3)

種別	種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩		
・ｺﾝｸﾘｰﾄ間知ﾌﾞﾛｯｸ		・A ・B	

積み方　※谷積み　・布積み
目塗り　・図示
伸縮調整目地
材種　・図示
厚さ　・図示

30　鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JISによる種類		
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種	・2種	・3種
・鋼製物品棚		・4種	・5種	・6種

31　屋内掲示板
枠の材質　※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製　・
表面の材質　※塩ﾋﾞ発泡ｼｰﾄ張り　・

○32　洗面カウンター
材種　(・)ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板張り(芯材：集成材)　・大理石
奥行き(mm)　・約450　(・)約600

○33　防煙垂れ壁
(・)固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※網入り磨き板ｶﾞﾗｽ ・線入り磨き板ｶﾞﾗｽ ・可動式	※6.8 ・	※500 ・	ｱﾙﾐ製枠付き

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500 ・800	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)
・回転降下式	鋼板製又はｱﾙﾐ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)

34　屋外掲示板
照明器具　※有り　・無し
施錠　※有り　・無し
製造所　・

○35　収納家具
合板類、MDF及びﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞのﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散量　※F☆☆☆☆
材質、形状、寸法　※図示

藤枝市　都市建設部　建築住宅課	池田建築設計事務所　一級建築士事務所	一級建築士　有馬　慎介 一級建築士登録　第360847号	検図	作図	日付

建設工事名
(仮称)新学校給食センター　建築工事

建築工事特記仕様書(8)

図番
A-特-008

21章　排水工事

○1　屋外雨水排水　(21.2.1)(21.2.2)(表21.2.1)(表21.2.2)

材料

材種	種類・記号	形状	呼び径	備考
・遠心力鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管	・外圧管(1種)	・B形管	・図示　・	
(・)硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管	・RF-VP[G]		・図示　・	
	・RS-VU[G]			
	(・)VP		・図示　・	
	・VU		・図示　・	
・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管継手	・DV		・図示　・	
	・VU継手		・図示　・	

基床の厚さ及び種類　(・)図示
硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管の継手に用いる材料　※接着剤　・ｺﾞﾑ輪　・
側塊の形状及び寸法　(・)図示
排水桝の種類　(・)図示
砂地業に用いる材料　・ｼﾙﾄ　(・)山砂　(・)川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料　(・)再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ[G]　・切込砂利　・切込砕石
(・)現場打ちの場合のｺﾝｸﾘｰﾄ材料
設計基準強度(N/mm2)　※18
ｽﾗﾝﾌﾟ(cm)　※15又は18
(・)現場打ちの場合の鉄筋
種類の記号　※SD295　・
(・)排水桝が現場打ての場合の足掛け金物
※標準仕様書21.2.2(6)(ｲ)
材質　・ｽﾃﾝﾚｽ製　・防錆処理を行った鋼製　(・)合成樹脂被覆加工されたもの
凍上抑制層に用いる材料　・
砂を用いる場合の粒度試験　・行う　(・)行わない

○2　鋳鉄製ふた　(21.2.1)

名称	種類	適用荷重	鍵	備考
鋳鉄製ﾏﾝﾎｰﾙふた	・水封形 (・)簡易密閉形(ﾊﾟｯｷﾝ式) ・密閉形(ﾀｰﾊﾞ・ﾊﾞｯｷﾝ式) ・中ふた付き密閉形(ﾀｰﾊﾞ・ﾊﾟｯｷﾝ式) ・	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用 (・)T-25	(・)有り ・無し	左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S209による

○3　グレーチング　(21.2.1)

材質	形式	用途	適用荷重	ﾒｲﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	亜鉛めっき(付着量)	上面形状
(・)鋼製	(・)受枠付き、ﾎﾞﾙﾄ固定 ・	(・)溝ふた(横断用) (・)溝ふた(側溝用) ・桝ふた用 (・)U字溝用	(・)歩行用	(・)細目 ・	・ (　　) ・ (　　)	(・)凹凸形 ・ ・平形 ・
			・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・普通目 (・)細目		
・ｽﾃﾝﾚｽ製	・受枠付き、ﾎﾞﾙﾄ固定 ・	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・桝ふた用 ・U字溝用	・歩行用	・	―	・凹凸形 ・
			・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・	―	・平形 ・

(品質・性能、試験方法は別表による)

○4　街きょ、縁石及び側溝　(21.3.1)(21.3.2)(表21.3.1)

街きょ、縁石、側溝

種類	形状、寸法
(・)縁石	(・)図示　・
(・)L形側溝	(・)図示　・
(・)U形側溝	(・)図示　・
・U形側溝ふた	・図示　・
・	・図示　・

砂地業に用いる材料　・ｼﾙﾄ　(・)山砂　(・)川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料　(・)再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ[G]　・切込砂利　・切込砕石
砂利地業の厚さ(mm)　※100　・図示
(・)現場打ちの場合のｺﾝｸﾘｰﾄ材料
設計基準強度(N/mm2)　※18
ｽﾗﾝﾌﾟ(cm)　※15又は18
(・)現場打ての場合の鉄筋
種類の記号　※SD295
凍上抑制層に用いる材料　・
砂を用いる場合の粒度試験　(・)行う　・行わない

○5　埋戻し土　(21.2.1)

標準仕様書表3.2.1　※B種

22章　舗装工事

○1　路床　(22.2.2)(22.2.3)(22.2.4)(22.2.5)(表22.2.1)

路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
(・)盛土	・標準仕様書 表3.2.1 ・A種　(・)B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土[G]	(・)図示 ・
・凍上抑制層	・再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ[G] ・ｸﾗｯｼｬﾗﾝ ・切込み砂利 ・砂(標準仕様書表21.2.2による)	・図示 ・
(・)ﾌｨﾙﾀｰ層	標準仕様書22.2.3(3) ・	(・)図示 ・

(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)　・行う　・行わない
(・)路床安定処理
安定処理の方法　・置き換え工法　(・)安定処理工法
路床安定化処理用添加材料
種類　(・)普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　・高炉ｾﾒﾝﾄB種[G]　・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種
・生石灰　(　・特号　・1号　)
・消石灰　(　・特号　・1号　)
添加量(kg/m3)　(・)10%
CBR　※3以上　・
・ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ
単位面積質量(g/m2)　・60g/mm2以上
厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
引張強さ　・98N/5cm(10kgf/5cm)以上　・
透水係数　・1.5×10^{-1}cm/sec以上　・
試験
路床土の支持力比(CBR)試験　(・)行う　・行わない
路床締固め度の試験　・行う　・行わない
現場CBR試験　(・)行う　・行わない

○2　路盤　(22.3.2)(22.3.3)(22.3.5)(表22.3.1)

路盤の厚さ　(・)図示
路盤材料(標準仕様書表22.3.1による種別)
・ｸﾗｯｼｬﾗﾝ
・粒度調整砕石
(・)再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ[G]
・再生粒度調整砕石[G]
・ｸﾗｯｼｬﾗﾝ鉄鋼ｽﾗｸﾞ[G]
・粒度調整鉄鋼ｽﾗｸﾞ[G]
・水硬性粒度調整鉄鋼ｽﾗｸﾞ[G]

○3　アスファルト舗装　(22.4.2)～(22.4.6)(表22.4.4)

ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装の構成及び厚さ　※図示
材料
ｱｽﾌｧﾙﾄ　(・)再生ｱｽﾌｧﾙﾄ[G]
標準仕様書表22.4.1による種類　(・)60～80　・80～100
・ｽﾄﾚｰﾄｱｽﾌｧﾙﾄ
骨材　・道路用砕石
・ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄ再生骨材[G]
加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物等の種類　(・)密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(13)
・細粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(13)
・密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(13F)
舗装の平たん性　※通行の支障となる水溜まりを生じない程度
・
試験
ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物等の抽出試験　(・)行う　・行わない

○4　コンクリート舗装　(22.5.2)～(22.5.4)(22.5.6)(表22.5.1)(表22.5.3)

ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装の構成及び厚さ

舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)
ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	車路及び駐車場	(・)図示	(・)図示
	歩行者用通路	(・)図示	※70　・図示

材料
ｺﾝｸﾘｰﾄ　※普通ｺﾝｸﾘｰﾄ、標準仕様書表22.5.1による
(・)以下による
ｺﾝｸﾘｰﾄの種類　(・)普通ポルトランドセメント
設計基準強度(N/mm2)　(・)図示
所定のｽﾗﾝﾌﾟ(cm)　※8　(・)図示
粗骨材の最大寸法(mm)　(・)25
早強ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　・使用する　・使用しない
注入目地材料　※低弾性ﾀｲﾌﾟ　・高弾性ﾀｲﾌﾟ
目地
※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による　・図示
・以下による
種類　・
間隔　・　m以内ごと
構造　(・)図示
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度

5　カラー舗装　(22.6.2)(22.6.3)(22.6.4)

・加熱系ｶﾗｰ舗装
構成・厚さ　・図示
加熱系混合物の結合材　・ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物
・石油樹脂系混合物
顔料添加量(%)　：
添加剤
着色骨材　：
自然石　：
・常温系ｶﾗｰ舗装
工法　・ﾆｰﾄ工法
配合その他　：
・塗布工法
配合その他　：
着色部の下部　・ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装
・ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装
・
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

6　透水性アスファルト舗装　(22.7.2)(22.7.3)(22.7.6)

舗装の構成　・図示　・
材料
骨材　・道路用砕石
・ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄ再生骨材[G]
標準仕様書表22.4.1による種類　・60～80　・80～100
舗装の平坦性　※著しい不陸がないもの
試験
開粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物等の抽出試験　・行う　・行わない

○7　ブロック系舗装　(22.8.2)(22.8.3)

・ｺﾝｸﾘｰﾄ平板舗装[G]

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
・普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板(M)	・300角 ・	※60	※砂 ・ﾓﾙﾀﾙ	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し

ｸｯｼｮﾝ材　※砂　・空練りﾓﾙﾀﾙ
普通平板は[G](再生材料を用いた舗装用ﾌﾞﾛｯｸ)、透水平板は[G](透水性ｺﾝｸﾘｰﾄ)とする。
仕上り面の平たん性　※歩行に支障となる段差がないものとし、ｺﾝｸﾘｰﾄ平板間の段差は3mm以内
・
(・)ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ舗装[G]

種類	部位	形状・寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm2)	備考
※普通ﾌﾞﾛｯｸ(N) ・透水性ﾌﾞﾛｯｸ(P) ・保水性ﾌﾞﾛｯｸ(M)	車路	・図示 ・	※80 ・	※5.0 ・	表面加工 ・ ・
※普通ﾌﾞﾛｯｸ(N) ・透水性ﾌﾞﾛｯｸ(P) ・保水性ﾌﾞﾛｯｸ(M)	歩行者用通路	(・)図示 ・	※60 ・	※3.0 ・	表面加工 ・ ・

ｸｯｼｮﾝ材　※砂　・空練りﾓﾙﾀﾙ
歩行者用通路に使用する普通ﾌﾞﾛｯｸは[G](再生材を用いた舗装用ﾌﾞﾛｯｸ)、透水性ﾌﾞﾛｯｸは[G](透水性ｺﾝｸﾘｰﾄ)とする。
仕上り面の平たん性　※歩行に支障となる段差がないものとし、ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ間の段差は3mm以内

・舗石舗装

種類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	貼り方	基層	基層の厚さ(mm)
※花こう岩	・割石 ・図示	・ ・	・ ・	・ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装 ・ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	※70　・ ※70　・

ｸｯｼｮﾝ材　※砂　・空練りﾓﾙﾀﾙ
仕上り面の平たん性　※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内
・ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ
単位面積質量　・60g/m2以上　・
厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
引張強さ　・98N/5cm(10kgf/5cm)以上　・
透水係数　・1.5×10^{-1}cm/sec以上　・

8　砂利敷き　(22.9.2)

種別
・A種　(施工範囲　：・図示　・通路　・　)
・B種　(施工範囲　：・図示　・建物周囲その他　・　)

○9　路面表示用塗料

路面表示用塗料はJIS K 5665による

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)
※3種1号	溶融	粉体状	(・)白	(・)150	(・)1.0
・1種[G]	常温	液状	・	・100	・
・2種[G]	加熱				

低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料[G]

23章　植栽及び屋上緑化工事

1　植栽地の確認等　(23.1.3)

土壌の水素ｲｵﾝ濃度指数(pH)試験　・行う　・行わない
電気伝導度(EC)の試験　・行う　・行わない

○2　植栽基盤の整備　(23.2.2)(23.2.4)

樹木の植栽基盤の整備　(・)適用する　・適用しない

植栽	工法	有効土層の厚さ(mm)	整備範囲	土壌改良材
(・)樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 ※100　・120　・150 樹高7m以上～12m未満 ※80　・100 樹高3m以上～7m未満 ※60　・80 樹高3m未満 ※50　・60	・葉張り部分 (・)植栽部分 ・図示 ・	・適用する (・)適用しない
※芝、地被類	※B種 ・	※20 ・	・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない

植栽基盤の排水設備　・設ける
※図示　・
(・)設けない

○3　植込み用土　(23.2.3)

(・)現場発生土の良質土　(・)客土

4　土壌改良材　(23.2.3)

種類及び指定量等
・ﾊﾞｰｸ堆肥[G]
施工箇所　※植栽範囲　・図示
使用量(植栽基盤面積1m2あたり)　・50L　・
・汚泥発酵肥料(下水汚泥ｺﾝﾎﾟｽﾄ)
施工箇所　※植栽範囲　・図示
使用量(植栽基盤面積1m2あたり)　・10L　・
材料　「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする
・

○5　樹木　(23.3.2)

樹種、寸法、株立数　※図示
刈込みものの適用　・適用する
数量　・
・適用しない

○6　支柱　(23.3.2)(23.3.3)

支柱材　※丸太(県産木材)[G]　・真竹　・
防腐処理方法　※加圧式防腐処理丸太材　・
形式　(・)図示

○7　幹巻き用材料　(23.3.2)

材料　※幹巻き用ﾃｰﾌﾟ　・わら及びこも

○8　芝　(23.4.2)(23.4.3)

種類　※ｺｳﾗｲｼﾊﾞ　・ﾉｼﾊﾞ　・
芝張りの工法
平地　※目地張り　・べた張り
法面　・目地張り　※べた張り法面

9　吹付けは種　(23.4.2)

種子の種類	発芽率	種子の量(g/m2)	備考
※洋芝類(採取後2年以内)	※発芽率80%以上		
・			

10　地被類　(23.4.2)

樹種	ｺﾝﾃﾅ径	単位面積当たりのｺﾝﾃﾅ数	芽立数
・	・	・	・
・	・	・	・

○11　新植、芝等の枯保証、移植樹木の枯損処置　(23.3.4)(23.3.6)(23.4.7)(23.5.5)

新植樹木(芝張り、吹付けは種及び地被類を含む)の枯補償の期間
※引渡しの日から1年　・無し
移植樹木の枯損処置を行う期間
※引渡しの日から1年　・無し

12　屋上緑化[G]

植栽基盤及び材料　(23.5.2)～(23.5.4)
・屋上緑化ｼｽﾃﾑ
土壌層の厚さ　・図示　・
排水層　・軽量骨材層の厚さ　：
・透水配水管
・板状成形品
植込み用土　※改良土　・人工軽量土
・屋上緑化軽量ｼｽﾃﾑ
樹木、芝及び地被類　※図示
樹種又は種類、寸法、株立数　※図示
刈込みものの適用　・適用する
数量　・
・適用しない
見切り材、舗装材、水抜き管、ﾏﾙﾁﾝｸﾞ材など　※図示
(品質・性能、試験方法は別表による)
支柱　・設置する
形式　・図示
・設置しない
かん水装置　・設置する
種類　・図示　・
・設置しない
工法　「屋根ふき材及び屋外に目する張壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日　建設省告示第1458号)に基づく風圧力に対応した工法
・図示　・

24章　厨房設備設置工事

○1　共通事項

・電動機：すべてアース付とする。
・アンカーボルト：コンクリート打ち込みとし、ステンレス製とする。
・支持金具・吊金物：ステンレスとする。
・絶縁継ぎ手：異種配管の接続には、絶縁継手を使用する。
・防火区画、縦穴区画及び用途区画等の貫通部：関連法規に基づき耐火処理を行う。
・転倒防止：燃焼機器・蒸気配管機器・床面からの高さが1.0m以上の機器にはアンカーボルトによって転倒防止処置を行う。

○2　配管

・配管：ステンレス配管もしくは、各機器の仕様書またはメーカー標準仕様による。

○3　厨房機器総則

1)工事範囲
・厨房機器一覧表に記載される、新設厨房機器の製作、運搬、搬入、据付、試運転調整取扱説明、予行演習及び本稼動時の立会いまでとする。
・別途施設設備工事との工事区分は工事区分表の通りとする。

2)総合図の作成
・本体工事で作成する総合図に、各厨房設備を記入し取り合い調整に協力すること。

3)機器共通仕様
・厨房機器の製造にあたっては下記の通りとする。
①品目・数量
・品目、数量は厨房機器一覧表に基づくこと。
②機器寸法
・機器寸法は厨房機器一覧表を参考とし、詳細は参考単品図を確認の上、建築設備や作業スペースに支障のない場合に限り、若干の増減を認める。
・寸法変更に伴って建築設備に増額工事が発生した場合、請負業者の責任において増額を負担すること。
③使用材料
・機器の材質については単品機器特記仕様書を参考とし、同等品以上の材質とすること。
④特記仕様
・機器の特記仕様はD) 特記仕様に記載される内容を遵守すること。
⑤熱源
・熱源は厨房機器一覧表の通りとすること。
⑥その他
・特記仕様書に記載されていない事項で質疑が発生した場合、監督職員の指示に従うこと。
・仕様書に記載されていない事項でも構造上並びに機能上当然必要なことについては請負業者の責任において監督職員の指示に従い施工すること。
・仕様に相違がある場合は入札前に同等品申請によって承認を得ること。

4)搬入据付
①搬入の際は床・壁等建物を傷めないように請負業者にて養生を行うこと。
②据付完了後、燃焼機器・蒸気配管機器・床面からの高さが1.0mを超える機器については耐震固定または転倒防止処置を行うこと。
③搬入については別途施設工事施工業者と事前に協議し、開口寸法を変更する必要がある場合は請負業者の責任において増減を負担すること。
④運搬据付後の残材等は請負業者の負担において処分すること。

5)試運転調整
①２次側設備配管配線終了後、直ちに試運転調整を行うこと。
取扱説明
②厨房機器の試運転に要する、電気・水道などは別途施設設備工事請負業者と負担割合を協議すること。
③試運転調整の際、故障・異常・製品のキズなどの不具合を発見した場合は、請負業者にて速やかに対応すること。
④取扱説明書は指定日に行うこと。

6)保証
①保証期間については使用開始後、1か年とする。
②万一、材料・製造・及び据付上の不備、製品の不良、工作上の粗雑等の原因で所定の性能を発揮できない場合は、請負業者の負担において点検整備、改造を行うこと。

7)その他
①請負業者は取扱説明日以外に給食開始後、必要に応じて一定の期間立会いをすること。
②ドライシステムにおける運営方法などを調理員に十分に指導すること。

別表

乾式保護材

品質・性能

分類・規格		窯業系パネルⅠ類（寒冷地仕様）	窯業系パネルⅡ類（一般的な仕様）	金属複合板
寸法の許容差		厚さ：+10%、−5%、幅：±1%		
出荷時の含水率		出荷時において10%以下		―
外観		割れ、貫通、き裂がない。欠け、ねじれ、そり、異物の混入、汚れ、はく離など使用上支障がない。		
含水率		出荷時において10%以下		―
曲げ強さ・曲げﾓｰﾒﾝﾄ(ｽﾊﾟﾝ40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げﾓｰﾒﾝﾄ)	標準時	550N・cm以上	450 N・cm以上	300N・cm以上
	凍結融解完了時（試験ｻｲｸﾙ数）	400N・cm以上（300）	320 N・cm以上（200）	250N・cm以上（300）
吸水率（%）		20以下	20以下	1以下
吸水による長さ変化率(%)		0.07以下	0.07以下	0.01以下
難燃性		不燃	不燃	表面材は不燃
耐凍結融解性能		300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	200サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。（明らかに吸水しないと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。）
耐衝撃性能		質量1,000gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落として、裏面に達する穴があかないこと。	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落として、裏面に達する穴があかないこと。	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落として、裏面に達する穴があかないこと。残留変形量が1/100以下
剛性(E×I)ｽﾊﾟﾝ40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性		―	―	80,000N・cm2以上

試験方法

(1)寸法の試験方法
（厚さ）
供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。
（幅）
供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央１箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量が1mmの1級コンベックスルール又は、JIS B 7516「金属性直尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。
(2)曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は３号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定す破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。
測定項目については、凍結融前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目にわたって測定する。
（窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。）なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予想最大荷重に達する程度とする。
(3)吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。
(4)難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。
(5)吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅40 mm×長さ160 mm×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後、取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム（試薬）」に規定する塩化カルシウムまたはJIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調湿したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔が140 mmになるように標線を刻む。
その後、1/150mm以上の精度をもちコンパレータを用いて標線間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平にこば立てし、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。
24時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び標線間の長さ(L2)を測る。
吸水による長さ変化率((ΔL)は、次式によって求める。
（ΔL)= (L2 − L1)/ L1 ×100　　ΔL :給水による長さ変化率(%)
L1 : 乾燥時の標線間の長さ (mm)　　L2 : 吸水時の標線間の長さ (mm)
(6)耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「窯業系サイディング」の気中凍結水中融解法によって行う。
100、200、300各サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。(窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。)凍結融解操作の試験条件は、試験片の切断小口面をあらかじめシールし、5～35℃清水中に24時間浸せきさせた後、凍結融解試験装置の槽内に設置し、−20±3℃の気中で2時間の凍結、20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。
(7)耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性試験に準じて行う。
試験体の支持装置は、記号S2対辺単純支持方法による。
試験体の大きさは、4号（長さ400 mm, 幅300 mm）とする。おもりは、鋼製のなす形おもりとし、記号(W1−1000)、質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の鉛直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、裏面に達する穴の「有・無」を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大くぼみ深さを測定する。

既調合モルタル

品質・性能

項目		品質・性能
保水率		70.0%以上
単位容積質量		1.80kg/L以上
接着強さ	標準時	0.60N/mm2以上
	温冷繰り返し後	0.40N/mm2以上
長さ変化率		0.20%以下
曲げ強さ		4.00N/mm2以上

試験方法

(1)試料の調製
製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りぱちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。
(2)保水率の試験方法
JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定するみがき板ガラス(縦150mm、横150mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 Aろ紙(直径11cm)をのせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3 mm)を設置し、(1)で調製した試料を金べらで分が上で平滑に詰込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部部になるようにして静置する。 60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がりが最大と認められた方向とこれに直角方向の長さをノギスを用いて、１mmの単位まで測定する。試験は３回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率=50/平均値×100　　(注) 50：リング型わくの内径(mm)
(3)単位容積質量の試験方法
JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。
(4)接着強さ（標準時）の試験方法
イ）適用タイルが「モザイクタイル」の場合
（試験体の作製）
JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N−300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出又はプレス成形による施ゆうの「50角ユニットタイル(外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
（試験方法）
JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び、抜き取る。また、試験後の部材破断位置の表示を下記の中から選び明記する。
Ｔ：タイルの母材破断
TM：既調合モルタルとタイルの界面破断
Ｍ：既調合モルタルの母材破断
MG：既調合モルタルと下地板の界面破断
Ｇ：下地板の母材破断
ﾛ）適用タイルが「小口タイル・二丁掛けタイル」の場合
（試験体の作成）
JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N−300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちに JIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出またはプレス成形による施ゆうの「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
（試験方法）
「モザイクタイル」の場合と同様に行う。
(5) 接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法
（試験体の作成）
「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4)接着強さ(標準時)の試験方法の「試験体」と同様とする。
（温冷繰返し試験）
「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909「建築用仕上塗材」に規定する7.11温冷繰返し試験に準じて行う。
試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに−20±2℃の 恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を１サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。
（温冷繰返し後の接着強さ試験方法）
「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」 とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。
なお、温冷繰返し後の接着強さは、抜取った試験片5箇所ともすべて 0.40 N/mm2以上を確保していること。
(6) 長さ変化率の試験方法
JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスパージョン及び再乳化形粉末樹脂」に規定する9.9長さ変化率に準ずる。
(7) 曲げ強さの試験方法
JIS A6916「建築用下地調整塗材」7.11 曲げ強さ試験に準ずる。
試験室の状態 ： 試験室は、温度20±2℃、湿度65±10%とする。

既調合目地材

品質・性能

項目	品質・性能
保水率	30.0%以上
長さ変化率	0.2%以下(収縮)
吸水量	50g以下
単位容積質量	1.80kg/L以上

試験方法

(1) 試験の条件
試験室は、温度20±2℃、湿度65±5% RHの標準状態とする。また、試験に使用する材料、器具などを、予め24時間以上標準状態に置いた後使用する。
(2) 試料の調整
正味質量と標準練り上がり量より、1.0～1.2Lの試料を練り上げるのに要する材料に相当する量を計算して用意し、さらに標準加水量より用意した材料に相当する量の練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」11.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りぱちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し3分間練り混ぜて試料とする。
(3) 保水性（ろ紙法）
JIS R 3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦200mm、横200mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5 Aろ紙(直径18.5cm)をのせ、その中央部に真鍮製リング型わく（内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm）を設置し、２）で練り混ぜた試料を金べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当て上下を逆さにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がりが最大と認められた方向とこれに直角方向の長さをノギスを用いて１mmまで測定する。
試験は3回実施し、その 平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率(%) ＝ 50/平均値×100　　(注) 50：リング型わくの内径(mm)
(4) 単位容積質量
(2)で練り混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。
(5) 長さ変化率
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1171の 7.8 長さ変化率試験に従って行う。
(6) 吸水量
(2)で調整した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値で示す。

錠前類

【シリンダー箱錠及びシリンダー本締り錠】

品質・性能

デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。
鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。

使用頻度による性能	ラッチボルト開閉器繰返し強度	ラッチボルトの開閉繰り返し試験(40万回)を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の開閉操作力及びラッチング力の2倍未満であり、かつ、ハンドルでの開閉操作およびラッチング動作に支障がないこと。
	キーによるデッドボルトの施解錠繰返し強度	キーによるデッドボルトの施解錠繰り返し試験(10万回)を行った後、 試験前の回転トルクの2倍未満であり、施解錠操作に支障がなく、かつ、確実に施錠状態が維持されていること。
	キーの抜差し繰返し強度	キーの抜差し繰返し試験(10万回以上)を行った後、キーの抜差しに要する力は10N以下であること。また、未使用の合鍵でシリンダー回転でき、かつ、１箇所１段差浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリンダーが回転しないこと。（キーに加えるトルクは150N・cmとする）
外力に対する性能	デッドボルトの押込強度	デッドボルトの押込み強度試験(10kN以上)を行なった後、荷重を除いたときのデッドボルトの出寸法は8 mm以上であろる。
	デッドボルトの側圧強度	デッドボルトの側圧強度試験(10kN)の荷重を加えた時、加圧板がデッドボルトを通過しないこと。
	デッドボルトの押込強度（衝撃加重）	デッドボルトの押込試験(58.8J以上)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態(デッドボルトの突出量が8mm未満)にならないこと。
	デッドボルトの側圧強度（衝撃加重）	デッドボルトの側圧試験(58.8J以上)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態(加圧板がデッドボルトを通過した状態)にならないこと。
	ストライクの仕様	厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製または同等以上の強度をもつもの。枠類の厚さが1.5mm以上の場合は、適用しない。
	トロヨケの仕様	厚さ1.6mm以上の鋼製の一体絞りとすること。または、それと同等以上の強度をもつもの。枠類の厚さが1.5mm以上の場合は適用しない。
使用扉の質量に対する性能	ラッチボルトの側圧強度	ラッチボルトの側圧試験(4kN以上)を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がないこと。
ハンドルの強度	レバーハンドルのねじり強度	レバーハンドルのねじり強度試験(3.5kN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが操作に支障がないこと。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。
	握り玉のねじり強度	握り玉のねじり強度試験(3kN・cm)を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉操作に支障がないこと。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。
	ハンドルの引張強度	ハンドルの引張試験(2kN)を行った後、荷重を除いたとき、ハンドル操作に支障がないこと。た、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。
鍵違い	鍵違い数	1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効鍵違い数とみなさないものとする。
	同一タンブラーの使用数等	同一タンブラーの使用数は、60%以下とする。また、6 本タンブラーにおいては、キーの同一刻みは、最大2連続までとすること。

試験方法
(1)ラッチボルトの開閉繰返し試験は、JIS A 1541-1の「7.1.3扉の開閉繰返し試験」による。
(2)キーによるデッドボルトの施解錠繰返し試験は、JIS A 1541-1の「7.1.1.1キーによる施解錠繰返し試験」による。
(3)キーの抜差し繰返し試験は、JIS A 1541-1の「7.1.2シリンダーのキー抜差し繰返し試験」による。
(4)デッドボルトの押込試験は、JIS A 1541-1の「7.2.1.1デッドボルトの押込試験」による。
(5)デッドボルトの側圧試験は、JIS A 1541-1の「7.2.1.2デッドボルトの側圧試験」による。
(6)デッドボルトの押込試験（衝撃荷重）JIS A 1541-1の「7.2.1.6デッドボルトの押込試験（衝撃荷重）」による。
(7)デッドボルトの側圧試験（衝撃荷重）JIS A 1541-1の「7.2.1.7デッドボルトの側圧試験（衝撃荷重）」による。
(8)ラッチボルトの側圧試験は、JIS A 1541-1の「7.2.2ラッチボルトの側圧試験」による。
(9)レバーハンドルのねじり試験は、JIS A 1541-1の「7.2.3.1ハンドルのねじり試験」による。
(10)握り玉のねじり試験は、JIS A 1541-1の「7.2.3.1のハンドルのねじり試験」による。
(11)ハンドルの引張試験は、JIS A 1541-1の「7.2.3.2ハンドルの引張試験」による。
(12)ハンドルの垂直荷重試験は、JIS A 1541-1の「7.2.3.3ハンドルの垂直荷重試験」による。
(13)耐食性試験は、JIS A 1541-1の「7.3耐食性試験」による。なお、試験時間は、120時間とする。
(14)耐じん性試験は、JIS A 1541-1の「7.6シリンダの耐じん性試験」による。なお、試験は、1サイクル行う。

クローザー類

品質・性能

性能試験項目				① ドアクローザー		② ヒンジクローザー		③ フロアヒンジ	
初期値	閉じ力及び効率による区分（注1）（注2）	Grade2	番手	閉じﾓｰﾒﾝﾄ(N・m)	効率(%)	閉じﾓｰﾒﾝﾄ(N・m)	効率(%)	閉じﾓｰﾒﾝﾄ(N・m)	効率(%)
			1	5以上	30以上	5以上	30以上	5以上	30以上
			2	10以上	30以上	10以上	30以上	10以上	30以上
			3	15以上	35以上	15以上	35以上	15以上	35以上
			4	25以上	40以上	25以上	40以上	25以上	40以上
			5	35以上	45以上	35以上	45以上	35以上	45以上
			6	45以上	45以上	45以上	45以上	45以上	45以上
	閉じ速度			常温(5～35℃)無風状態において、開扉(70°)から全閉(0°)までの時間を5～8秒に調整できること。					
	温度依存性（緩衝油の流動点）			-15℃以下					
	ストップ力	ストップ入力		60 N・m以下ただし、ｺﾝｼｰﾙﾄﾞ型は200N・m以下		100 N・m以下		100 N・m以下	
		ストップ解除力		8 N・m以上		3 N・m以上		10 N・m以上	
	ﾊﾞｯｸﾁｪｯｸ性能（秒）（ﾊﾞｯｸﾁｪｯｸ機能を有する機種のみ適用）			ドア開扉方向に荷重60N/㎡を開扉50°から負荷する。ﾊﾞｯｸﾁｪｯｸ開始角度(70～85°)から更に20°まで開く間の時間は0.8秒以上としていること。		―		―	
	ﾃﾞｨﾚｰﾄﾞｱｸｼｮﾝ性能（秒）ﾃﾞｨﾚｰﾄﾞｱｸｼｮﾝ解除角度(60～70°)（ﾃﾞｨﾚｰﾄﾞｱｸｼｮﾝ機能を有する機種のみ適用）			開扉90°の位置からﾃﾞｨﾚｰﾄﾞｱｸｼｮﾝ解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。		―		―	
	戸の閉鎖位置			―		―		±3mm以内	
耐久性	繰返し開閉後の閉じﾓｰﾒﾝﾄ(N・m)	Grade2		耐久試験後も上記初期値を満足していること。		耐久試験後も上記初期値を満足していること。		耐久試験後も上記初期値を満足していること。	
	繰返し開閉後の効率(%)	Grade2		同上		同上		同上	
	繰返し開閉後の閉じ速度(秒)	同上							
	繰返し開閉後のﾊﾞｯｸﾁｪｯｸ性能(秒)			同上		―		―	
	繰返し開閉後のﾃﾞｨﾚｰﾄﾞｱｸｼｮﾝ性能(秒)			同上		―		―	
	繰返し開閉後の戸閉鎖位置(mm)			―		―		耐久試験後±6mm以内	
耐久性の試験回数（繰返し開閉回数）		Grade2		20万回		10万回		30万回	

注１．ﾊﾟﾗﾚﾙ取付けは、右記の閉じﾓｰﾒﾝﾄの70%程度までとする。
注２．ｺﾝｼｰﾙﾄﾞ型は右記の閉じﾓｰﾒﾝﾄの50%程度までとする。
Grade1を選定する場合は、図示による。

試験方法

(1)試験の条件等は、JIS A 1510-3の「5. 試験の一般条件」、「6.1 試験の概要」および「6.2 試験装置」による。
ヒンジクローザ）に規定する試験方法による。
(2)同じ速度試験、ストップ力試験、バックチェック機能試験およびディレードアクション機能試験は、JIS A 1510-3の「6.3.2 ドアクローザーの開閉試験」による。
(3)温度依存症(流動点試験)は、JIS K 2269による。
(4)試験ドアの質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。

防水材

品質・性能

項目	品質・性能
防水剤の種別	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤
混合割合	セメント重量の5%以下
凝結及び安定性	凝結時間　始発：1時間以上　終結：10時間以内
	安定性　収縮性、膨張性のひび割れ及びそりが無いこと。
曲げ及び圧縮強度比	防水剤を混入したもの、しないものの比：曲げ強度費及び圧縮強度比　70%以上
吸水比	防水剤を混入したもの、しないものの比：吸水比　95%以下
透水比	防水剤を混入したもの、しないものの比：吸水比　80%以下

試験方法

JIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」による。
ただし、透水試験における水圧は、3.0×10^{5}Paとし1時間行う。

現場発泡断熱材

品質・性能

項目	品質・性能
吹付け硬質ウレタンフォーム	JIS A 9526 によるA種またはA種１H
密度(kg/m3)	25　以上
難燃性	次のいずれかによること。 (1) 難燃2級または難燃3級 (2) 準不燃相当品または難燃材料相当品

試験方法

(1)原液の粘度試験は、JIS A 9526の「6.1 吹付け硬質ウレタンフォーム原液の試験」による。
(2)発泡品の性能試験の一般事項等は、JIS A 9526の「6.2.1 材料の作製」、「6.2.2 試料の状態調節」、「6.2.3 試験片の作製」および「6.2.4 試験場所」による。
(3)密度の測定は、JIS A 9526の「6.2.5 密度」による。
(4)熱伝導率試験は、JIS A 9526の「6.2.6 熱伝導率」による。
(5)透湿率試験は、JIS A 9526の「6.2.7 透湿率」による。
(6)圧縮強さは試験は、JIS A 9526の「6.2.8 圧縮強さ」による。
(7)接着強さ試験は、JIS A 9526の「6.2.9 接着強さ」による。
(8)難燃性試験は、次の難燃性試験または発熱性試験による。
イ)難燃性試験は、JIS A 1321による試験方法に準ずる。
ﾛ)発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価に使用しているよ試験方法に準ずる。
(9)難燃２級または難燃３級の判定は、次による。
イ)試験の結果、次のa.～e.に適合していること。
a.試験体の全厚にわたる溶融、試験体の裏面に対する亀裂（裏面における亀裂の幅が全厚の1/10以上であるものに限る。）、その他防火上著しく有害な変形などのないこと。
b.加熱終了後30秒以上残炎がないこと。
c.試験結果の排気温度曲線は、加熱試験中、標準温度曲線を超えないこと。ただし、難燃２級または難燃３級については、試験を開始して3分を経過した後は、次のd.の条件の範囲内で超えることができる。
d.排気温度曲線が標準温度曲線を超えている部分の排気温度曲線と標準温度曲線で囲まれた部分との面積（単位×分）が、難燃２級にあっては100以下、難燃３級にあっては350以下であること。
e.単位面積当たりの発煙係数が、難燃２級で60、難燃３級で120を超えないこと。
(10)準不燃材相当品または難燃材料相当品の判定は、次による。
イ)法定準不燃材料、難燃材料の評価方法を使用している発熱性試験（コーンカロリー試験）による試験で、準不燃材料相当品においては加熱時間10分、難燃材料相当品においては加熱時間は5分の結果、次のa.～e.に適合していること。
a.総発熱量が8MJ/m2以下であること。
b.防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。
c.最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m2を超えないこと。

フリーアクセスフロア

性能

標準仕様書表20.2.2によるほか以下による。
(1)耐震性能
イ) 固定台試験による耐震性能(設計床高さ H=300mmを超え、600mm以下の場合)

項目	性能
①ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ又はｱﾝｶｰが耐力に達したとき若しくはコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記の＜適用地震時水平力＞以上
②上記①以外の部分が耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記の＜適用地震時水平力＞以上
③適用地震時水平力(0.6G又は1.0G)を加力した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下
＜適用地震時水平力＞ 3,000N 0.6Gタイプ 支柱一本が負担する床加重{(㎡当り自重+3,000N)/㎡当りの支柱本数}×0.6 3,000N 1.0Gタイプ 支柱一本が負担する床加重{(㎡当り自重+3,000N)/㎡当りの支柱本数}×1.0 5,000N 0.6Gタイプ 支柱一本が負担する床加重{(㎡当り自重+5,000N)/㎡当りの支柱本数}×0.6 5,000N 1.0Gタイプ 支柱一本が負担する床加重{(㎡当り自重+5,000N)/㎡当りの支柱本数}×1.0	

ﾛ) 振動台試験による耐震性能（設計床高さ≦300mmの場合のみ）
パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動しない。
(2)歩行感
通常の歩行において空洞音やがたつきがなく、歩行感に違和感がない
(3)メンテナンス性
交換が必要な部品については交換できるよう設計されている。
構造、形状は配線の変更及び増設に対して支障がないこと。

試験方法

(1)耐震性能

ｲ) 設計床高さ≦300mmの場合

試験体ユニット1000mm×2500mm程度

所定の重りの質量　3000N：200kg　5000N：350kg

加振　0.6G：所定加速度600cm/S^2　1.0G：所定加速度1000cm/S^2

ﾛ) 300mm＜設計床高さ≦600mmの場合

① 固定台による耐震性能試験

1) 支柱調整式－支柱分離型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法-1又は、試験方法-2による。

2) 原則として、試験方法-1はﾊﾟﾈﾙ単体設置(Aタイプ)に適用し、試験方法-2はﾊﾟﾈﾙ連結設置(Bタイプ)に適用するものとする。

② 試験方法-1

1) 試験は、ｺﾝｸﾘｰﾄ(JIS A 5371「ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ製品」種類：N300)に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。

2) 加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。

③ 試験方法-2

1) 試験は、ｺﾝｸﾘｰﾄ(JIS A 5371「ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ製品」種類：N300)に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の、適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。

2) 最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。
また、800mm×800mmの荷重板に1920N(3,000N/1m2相当)、3,200N(5,000N/1m2相当)を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。

④ 零点補正及び測定記録

試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して“0”にした状態を零点とする。また、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。

ﾊ) 共通事項

試験に使用する表面仕上材

種類：タイルカーペット	繊維素材：ナイロン100 %
パイル形態：ループパイル	パイル長：3.0mm～4.0mm
バッキング素材：塩化ビニル樹脂	全厚：6.0mm～7.0mm
単位質量：4.0kg/m²～6.0kg/m²	人体耐電圧：２KV以下

移動間仕切り

標準仕様書20.2.4によるほか以下による。

品質等

(1)パネル(表面材、心材、フレーム材、幅木、笠木及び補強材)及びハンガーレールは、JIS A 6512「可動間仕切」に規定する表9 材料又はこれらと同等以上の品質性能を有し、かつ、接触腐食をおこさないもの又は防食処理を施したものとする。

(2)外観は、JIS A 6512に規定する 5.要求事項a)～c) による。

性能

(1)パネルの操作性

パネル操作の初動力は98 N 以下とする。

(2)パネル圧着装置の耐久性

パネル圧着装置の固定・解除は、7,500 回の繰返し耐久試験において異常がないものとする。

(3)耐衝撃性

パネル圧着装置の耐久試験後、質量50kgにおける衝撃試験において構造部材の折れ、曲りの異常がなく、表面の割れ、はがれのないものとする。また、接点・接床部が外れないこと及び多少のずれがあっても圧接装置の調整で元に戻せるものとする。

(4)レールの耐久性

レールは普通パネルで、吊り車の通過回数30,000回以上で異常のないものとする

(5)吊り車の耐久性

吊り車は、走行距離60kmで操作性に異常がなく、レールに大きな変形がないものとする。

(6)ランナーの引張強度

引張り試験を実施し、普通パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナーの数で除した値以上の強度があるものとする。

(7)吊りボルトの引張強度

一本にかかる荷重の15倍以上の引張強度があるものとする。

(8)遮音性能

JIS A 6512に規定する透過損失単位に基づく区分ごとに、500Hzの音について透過損失の規定値に適合すること。遮音性能試験は、JIS A 1416「実験室における建築部材の空気音遮断性能の測定方法」に規定する試験方法又はJIS A 1441-1「音響－音響インテンシティ法による建築物及び建築部材の空気音遮断性能の測定方法－第１部：実験室における測定」による。

(9)ホルムアルデヒド等

JIS等の材料規格において放散量が規定されているものについては、F☆☆☆☆とする。

トイレブース

標準仕様書20.2.5によるほか以下による。

品質・性能

(1)付属金物

項目	品質・性能
ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。
ラッチセット	
戸当り	腐蝕の恐れのある材料は、防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質とする。

(2)外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5.要求事項 b)による。

(3)パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性

項目	品質・性能		
	耐薬品性及び耐汚染性	耐引っかき性	開閉耐久性
メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903「熱硬化性樹脂高圧化粧板」に規定する表6品質の耐汚染性(C法)を満足していること。又はこれと同等の性能を有するものであること。		JAS A 4702「ドアセット」9.4 開閉繰返し試験によるスイングドア(開閉回数10万回)を満足すること及び試験終了時点で構造金物、固定金具等に緩みがないこと。
低圧メラミン樹脂系化粧板	下記項目のポリエステル樹脂系加工化粧合板、化粧MDF及び化粧パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。		
ポリエステル樹脂系加工化粧合板	JAS「合板の農林規格」第9条(特殊加工化粧合板の規格)に規定する耐汚染性B試験を満足していること。	JAS「合板の農林規格」第9条(特殊加工化粧合板の規格)に規定する引っかき硬度B試験を満足していること。	
ポリエステル樹脂系化粧MDF	JIS A 5905「繊維板」に規定する表18の化粧MDFの品質に適合していること。		
ポリエステル樹脂系化粧パーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」に規定する表11の化粧パーティクルボードの品質に適合していること。		

試験方法

(1)ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法－第2部：ドア用金物」の規定による。

(2)戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2の規定による。

天井点検口

品質・性能

(1)内外枠の材質は、アルミニウム製とする。

(ｲ)JIS H 4100「アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材」に規定する A6063S-5 又は同等の性能を有するものとする。

(ﾛ)表面処理は、JIS H 8601「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化被膜」に規定するAA6又は同等の性能を有するものとする。

(2)外枠及び内枠のコーナーピース

鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するものとする。

(3)外枠の取付け金物

(ｲ)吊り金具

鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するものとする。

(ﾛ)吊り金具取付けボルト

鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するものとする。

(4)内枠の仕上材留付金物

アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材、亜鉛めっき鋼板の類及びこれらと同等以上の品質並びに仕上げ材を固定する性能を有するものとする。

(5)寸法の許容差(枠の許容差)

枠の寸法許容差

外枠と内枠のクリアランス(片側)　2.0mm以内

(6)耐久性能（繰り返し開閉試験）

(ｲ)300回の繰返し開閉試験後、内蓋の垂れ下がりが、0.5mm以内とする。

(ﾛ)開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。

試験方法

内蓋（内枠）の繰り返し開閉試験

(1)試験体は、枠見込み40mm程度のものとする。

(2)吊り金物は、外枠を天井下地取付用補強材に直接留付ける方式（天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式）とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定用天井下地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従い取付ける。

(3)野縁の種類は19形とし、仕上材はせっこうボード厚さ9.5mm(JIS A 6901「せっこうボード製品」に規定するGB－Rの難燃2級又は発熱性2級以上）二重張りとする。

(4)試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。

(3)測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回毎に内蓋の垂れ下がり状態を測定する。

床点検口

品質・性能

材質

項目			材質等
受け枠材及び蓋枠材	屋内外用		[アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材の場合]
		材質	JIS H 4100「アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材」に規定するA6063S-T5、またはこれと同等の性能を有するもの。
		表面処理	JIS H 8602「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装複合被膜」のB又はJIS H 8601「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化被膜」に規定するAA15、もしくはこれらと同等の性能を有するもの。
			[ステンレス鋼板の場合]
		材質	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 またはこれらと同等の性能を有するもの。
	屋内用		[アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材の場合]
		材質	屋内外用に同じ。ただし、その他の構成材（底板、補強材、コーナーピース等）は、屋内用の材質のものとする。
		表面処理	屋内外用に同じ。
			[ステンレス鋼板の場合]
		材質	屋内外用に同じ。
			[鋼板の場合]
		材質	鋼板又はJIS G 3313「電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」に規定する鋼板にメラミン樹脂焼付塗装等の防錆処理を行ったもの。
		防錆処理	JIS G 3313または鋼板等に標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2の錆止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの。
	二重蓋の場合の中蓋用		[アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材の場合]
		材質	屋内外用または屋内用に同じ。
		表面処理	屋内外用または屋内用に同じ。
			[ステンレス鋼板の場合]
		材質	屋内外用または屋内用に同じ。
			[鋼板の場合]
		材質	屋内用に同じ。
		防錆処理	屋内用に同じ。
			[鋳鉄製の場合]
		材質	JIS G 5501「ねずみ鋳鉄品」に規定するFC150、FC200。
			[上記以外の場合]
		材質	塩化ビニル樹脂製等
目地材			[黄銅製の場合]
		材質	JIS H 3100「銅及び銅合金の板及び条」に規定するC2600、C2720、C2801またはJIS H 3250「銅及び銅合金の棒」に規定するC3602、C3604、もしくはこれらと同等の性能を有するもの。
			[ステンレス鋼板の場合]
		材質	JIS G 4305に規定するSUS304、SUS430J1L、SUS443J1、またはJIS G 4308「ｽﾃﾝﾚｽ鋼線材」に規定するSUS304、もしくはこれらと同等の性能を有するもの。
底板材、受け枠材、蓋枠材のコーナーピース、底板補強材	屋内外用		[ステンレス鋼板の場合]
		材質	JIS G 4305に規定する　SUS304、SUS430J1L、SUS443J1、またはJIS G 4308に規定するSUS304、もしくはこれらと同等の性能を有するもの。
			[アルミニウム板の場合]
		材質	JIS H 4000「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条」に規定するA1100P- H24、または同等の性能を有するもの。
		表面処理	JIS H 8602に規定するBまたはJIS H 8601に規定するAA15、もしくはこれらと同等の性能を有するもの。
			[ステンレス鋼板またはアルミニウム板以外の場合]
			充填用は、補強材およびコーナーピースの類がモルタル内に埋め込まれる場合は、鋼板も可とする。
	屋内用		[ステンレス鋼板の場合]
		材質	JIS G 4305 に規定するSUS304、SUS430J1L またはSUS443J1、もしくは同等の性能をを有するもの。
			[鋼板の場合]
		材質	鋼板はJIS G 3313 に規定する鋼板にメラミン樹脂焼付塗装等の防錆処理を行ったもの、材質またはこれと同等の性能を有するもの。
		防錆処理	JIS G 3313 または鋼板等に標準仕様書　表18.3.1 および表18.3.2 の錆止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの、もしくはこれらと同等の性能を有するもの。
パッキン材			塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等外枠と蓋枠の材質、形状に適する弾力性及び密着性を有するもの。
アンカー材			鋼板に電気亜鉛めっき又は防錆塗装を行ったもの。または同等の防錆性能を有するもの。
取手			黄銅鋳物製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋳物製、ステンレス鋼鋳鋼品、ステンレス鋼材製等の堅牢な材質のもの。ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合製樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じない構造のもの。
錠			黄銅製、ステンレス鋼製、亜鉛合金製(クロムめっき)の類。

品質

項目	品質等
構造	1.加工は、受け枠・蓋枠とも四隅の接続部に目違い・ずれ・隙間等がない構造であること。 2.組立は、受け枠・蓋枠とも四隅の接続部を溶接接合および留付補強材などにより留付けた堅牢な構造であること。 3.閉鎖状態において蓋枠と受け枠に面外の目違いのない構造であること。又蓋と受け枠の接触部は、歪みがなく歩行などに際してがたつきその他の支障が生じない構造であること。 4.錠付きの場合の施錠・開錠は、錠または開閉用ハンドル式とする。 5.アンカーは、四周均等かつ堅固に固定できる位置にあること。
許容差	製品の許容差 ・受け枠基準寸法　600mm角程度まで ・受け枠寸法の許容差　±0.5mm ・蓋枠寸法の許容差　±0.5mm ・受け枠と蓋枠のクリアランス　片側2.0mm以内

性能

蓋の耐荷重性能

(ｲ) 加圧する荷重値Pn=1,000N

(ﾛ) 蓋中央部の残留たわみが点検口の有効径の0.08%以内

(ﾊ) 受け枠・蓋その他に使用上の支障がないこと

(ﾆ) 破壊荷重が、加圧荷重値Pnの2倍以上

試験方法

耐荷重試験

(1)試験体

試験体は、受け枠・蓋枠ともアルミニウム製を含む場合は、アルミニウム製（目地材にステンレス製等を使用したもの可）を優先する。また、仕上げ材を張付けないもの（底板面）とする。

(ｲ) 貼物用とし、600mm内程度とする。

(ﾛ) 枠見込みは、40mm以下とし、蓋の底板は単層の製品で、補強材は各製品のうち断面係数が小さいものとする。また、材質、厚さ、形状及び位置は常時生産品とする。

(2)試験

(ｲ) 試験は、蓋枠の四周を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。

(ﾛ) 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。

(ﾊ) 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返し行った後、その後試験体が破壊する（終局荷重）まで加圧する。

グレーチング

品質・性能等

【鋼製グレーチング＞】

項目	品質・性能
メインバー、サイドバー及びエンドプレート	JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」に規定する SS400
クロスバー	JIS G 3101に規定する SS400 及び JIS G 3505「軟鋼線材」に規定するSWRM
受け枠用アングル材	JIS G 3101に規定する SS400 及び JIS G 3132「鋼管用熱間圧延炭素鋼鋼帯」に規定する SPH
溶融亜鉛めっき膜厚	JIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定する HDZT 56/56μm　(旧2種40 HDZ 40)以上 HDZT 70/70μm　(旧2種50 HDZ 50)以上
受け枠用アングル材	塗装仕上げとする場合は、樹脂系塗料

【ステンレス製グレーチング】

項目	品質・性能
メインバー	JIS G 4303「ステンレス鋼棒」、JIS G 4304「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」、 もしくはJIS G 4318「冷間仕上ステンレス鋼棒」に基づくSUS304又はJIS G4304、もしくはJIS G 4305に基づくSUS430J1L
クロスバー	JIS G 4303、G 4304、G 4305、G 4308もしくはG 4318に基づくSUS304、またはJIS G 4304もしくはG 4305に基づくSUS430J1L
サイドバー、エンドバー	メインバー及びクロスバーの材質並びにJIS G 4317「熱間成形ステンレス鋼形鋼」もしくは、JIS G　4320「冷間成形ステンレス鋼形鋼」に基づくSUS304又はJIS G 4304もしくはJIS G 4305に基づくSUS430J1L
受け枠用アングル材	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、もしくはJIS G 4320に基づくSUS304又は JIS G 4304、JIS G 4305 に基づくSUS430J1L
アンカー	JIS G 3101に規定する SS400の類とし、塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行っているもの

HL又は表面仕上げは、No.2B程度とする。

	項目	品質・性能
加工・組立	溶接	溶接は、融合不良、溶込み不良、スラグ巻き込み、ピット、ブローホール等の有害な欠陥がないこと。
	アンカーの間隔	側溝の場合は、500mm内外とすること。
	平坦性	変形がなく据付支障がないこと。
	製品許容差	幅・長さ・ふた：±3.0mm
性能	強度	強度計算書により、応力度及びたわみ量を確認している。
	荷重試験方法及び性能	荷重試験を行い、設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のその他の異常がないことを確認している。

荷重試験

(1)荷重条件

(ｲ) 横断溝用の設計荷重は、下表に示す衝撃を考慮した荷重とする。

(ﾛ) 側溝用の設計荷重は、下表に示す後輪一輪荷重とする。

歩車道区分	荷重種別	後輪一輪荷重(kN)	衝撃を考慮した荷重(kN)	後輪接地面積(cm)
車道	T-20	78.5	109.8	20×50
	T-14	54.9	76.9	20×50
	T-6	23.5	33.0	20×24
	T-2	7.8	11.0	20×16
歩道	4,903 N/m²(500kgf/m²)の等分布荷重			

(2) 許容曲げ応力度

許容曲げ応力度は、実施する試験体のメインバー材と同じ材で行った材料強度試験耐力N/mm2（kgf/cm2）データにより設定する。

(3)荷重試験

試験方法　試験体への加力

(ｲ) 設計荷重を基準として一方向に繰返し加力を行う。加力速度は、原則として4903 N/s(0.5tf/秒)とする。

(ﾛ) 繰り返し加力は、３回行った後、残留ひずみ等がないか確認する。

(ﾊ) 上記 ﾛ) を行った後、設計荷重の1.5倍まで加力し、溶接部のはずれ等の異常について確認する。

性能基準

(ｲ) 設計荷重時の３回繰返し荷重後のひずみ度の判定基準は、「 (2) 許容曲げ応力度」より定める。
(この時のヤング係数は、鋼材…206 KN/mm2 (2.1×10^{6}kg f /cm2)、ステンレス鋼材…ステンレス鋼材…212 KN/mm2 (2.16×10^{6}kg f /cm2)を用いる。

(ﾛ) 設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないこと。

(4)試験体

溝ふた、U字溝ふたとし、下記の種別ごとに強度計算における応力度が最大となる製品について試験を行う。

(ｲ) 溝ふた	横断用	T-20～T-2のうち1体
	歩道用	1体
	側溝用	T-20～T-2のうち1体
(ﾛ) U字溝用	側溝用	T-14～T-2のうち1体
	歩道用	1体

(5)材料強度試験について

グレーチングの荷重耐力試験に先立ち、グレーチングの試験体に用いたメインバー材の耐力を確認するため、下記の(ｲ) の試験または(ﾛ) の試験データを提出する。

(ｲ) 試験供試体に使用したものと同材のグレーチングの荷重耐力試験に先立ち下記による材料強度試験を行う。

・材料試験供試体：試験片は、JIS Z 2241「金属材料引張試験方法」による。また、試験片数は、各3本とする。

・試験方法：JIS Z 2241に基づく耐力および引張り強さとする。ただし、ステンレス材の耐力は、JIS Z 2241に示すオフセット法で算出した0.2%耐力とする。

(ﾛ) 試験供試体に使用したものと同材の試験を上記 (ｲ)と同様の試験を行ったデータがある場合は、そのデータを提出する。

(6)グレーチング荷重試験の試験供試体の大きさについて

溝幅に直角方向の寸法は、原則として、1m程度とする。

屋上緑化システム

【屋上緑化システム(板状成形品タイプ)】

品質・性能

項目	品質・性能
透水フィルターの材質及び透水性能試験専用土壌を用いた定水位透水試験での透水係数(cm/S)の時間変化	材質は、合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるもの。 透水性能はその週の数値が直前の週の数値より高い値を維持し、透水係数の上昇傾向を確認できること。
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること （保水層を有する場合は、保水層共）
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え流出しない構造をもつこと。
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m²・h以上
耐荷重性能 排水層の許容圧縮強度	最大有効土壌層厚の単位面積当たりの重量の1.5倍以上、かつ 3×10^{6}N/m²の載荷重で破損・有害な変形のないこと。 また、一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して３年以上の耐根性能(貫通防止能力)を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるもの。
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護できること。ただし、耐根層を保護ｺﾝｸﾘｰﾄ(絶縁ｼｰﾄも含む)の下に設ける場合は省略することができるものとする。

試験方法

(1)透水フィルタの透水性能

(ｲ) JIS A 1218「土の透水試験方法」に規定する定水位透水試験に準じたインターロッキングブロックの透水性試験装置の下部に試験体(透水フィルタ)をセットし、その上に砂（JIS A5308「レディミクストコンクリート」付属書Aに規定する砂）及びｼｬﾓｯﾄ250を容積比9：1の割合で混合し、高さ80mmの試験容器に加圧せずに均一に充填する。（試験体１体）

(ﾛ) 常温で１日置いた後、上部より給水する。給水５日間連続後取り出して自然水切り２日とした給水ｻｲｸﾙを繰り返す。週2回を下回らない測定回数で圧力差の水頭差110mmを保持したまま、1分間の透水量を計量し、透水係数を算出する。なお、乾燥工程の試験室は室温20±3℃　湿度60±5%とする。

(ﾊ) 水切り工程は、試験体の入った試験装置を取り出し、試験室内に水が切れる状態で保管する。

(ﾆ) 各サイクルごとの透水係数の推移をグラフ化し、6週間を過ぎるまでにその週の数値が直前の週の数値より高い値を維持し、透水係数の上昇傾向を確認できれば目詰まりが解消方向にあると判断し、合格とする。

(ﾎ) 試験開始後6週間、流水時間合計が30日を越えた時点で透水係数がまだ上昇に転じない場合は、その後も透水量が増加する方向へ向かうまで流水時間を延長して確認することも可とする。

(2)排水層の耐荷重

(ｲ) 最大土壌層厚の単位面積当たりの重量の1.5倍かつ3×10^4 N /m²の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。又その時の圧縮応力に対する歪み(%)を測定する。保水層を有する場合は保水層も対象とする。

(ﾛ) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。加圧速度は10mm/min以下とする。

【屋上緑化軽量システム】

品質・性能

項目	品質・性能
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 （保水層を有する場合は、保水層共）
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植え込み用土を流出させない構造であること。
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を流出しない構造であること。
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m²・h以上
耐荷重性能 排水層の許容圧縮強度	3×10^{6}N/m²以上の載荷重で破損・有害な変形がないこと。 また、一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して３年以上の耐根性能(貫通防止能力)を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護できること。ただし、耐根層を保護ｺﾝｸﾘｰﾄ(絶縁ｼｰﾄも含む)の下に設ける場合は省略することができるものとする。

試験方法

(1)排水層の耐荷重性能

(ｲ) 3×10^{6}N/m²の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み(%)を測定する。保水層を有する場合は保水層も対象とする。

(ﾛ) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。加圧速度は10mm/min以下とする。

トップライト

品質・性能等

項目			品質・性能		
アルミニウム合金の押出形材		材質	JIS H 4100「アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材」に規定するものとする。		
		表面処理	JIS H 8602「アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装複合被膜」に規定する種類 Bとする。		
ステンレス鋼板			JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定する SUS304 及びSUS430J1L とする。		
副資材	アルミニウム板	材質	JIS H 4000「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条」に規定するものとする。		
		厚さ	枠・かまち等に用いる場合は、1.5mm以上とする。		
		表面処理	JIS H 8602に規定する種類のBとする。		
	鋼板等	材質	補強材、力骨、アンカー等は、亜鉛めっきなどの接触腐食の防止処置を行ったもの、又はアルミニウム合金製とする。		
	ステンレス鋼板	材質	JIS G 4305に規定する SUS304 及び SUS430J1Lとする。		
		表面仕上げ	No.2B又はHLとする。		
	合成樹脂系成形材		耐久性を有し使用箇所に適したものとする。		
	気密材		耐久性を有し使用箇所に適したものとする。		
	小ねじ類		ステンレス製とする。		
製品の寸法許容差及び相対する辺寸法の差	寸法部位		寸法	許容差	相対する辺寸法の差
	枠の内法寸法		2.0m未満	±1.5mm	
	高さ及び幅		2.0m以上3.5m未満	±2.0mm	
	枠の相対する辺寸法の差		2.0m未満		2mm以下
			2.0m以上3.5m未満		3mm以下
	枠の見込み寸法		120mm未満	±1.0mm	
耐風圧性	耐風圧等級		S-5	S-6	S-7
	耐風圧区分		2,400Pa	2,800Pa	3,600Pa
	1) 加圧中破損のないこと。 2) 無目・方立がある場合は、そのたわみ率が1/150以下であること。 3) 除圧後、枠及び戸の部材、金具、その他に機能上支障がないこと。				
気密性	気密性による等級			A-4	
	気密等級線			A-4等級線	
	通気量が JIS A 4706「サッシ」の図-1に規定する気密等級線以下とすること。				
水密性	水密性による等級			W-5	
	サッシ前後の圧力差			500Pa	
	加圧中に JIS A 1517「建具の水密性試験方法」に規定する枠外への流れ出し、しぶき、吹き出し、あふれ出しの状況が発生しないこと。				
耐火性能	建築基準法施行令第107条による屋根の30分耐火構造とする。				

(1)枠部材の接合は、強固で、見え掛り箇所(ねじを含む)は平滑であること。
(2)枠には、必要に応じて付属部品を取り付けるための補強が施されていること。
(3)補強に用いる場合には接触腐食を起こさないよう処置してあること。
(4)組立ては、形状寸法、取合い等を正確に行い、特に雨仕舞い及び開閉具合(開閉機構のある製品に限る)に注意してあること。
(5)枠、水切り板等のアンカー間隔は、製品に適したものとし、両端から逃げた位置から間隔500mm以下に取り付けること。
(6)雨水の浸入の恐れがある接合部には、その箇所に相応したシーリング材又は止水材を用いて止水処理を行うこと。
(7)ガラス溝の寸法・形状等は製造所の仕様による。

試験方法

(1)耐風圧性については JIS A 1515「建具の耐風圧性試験方法」
(2)気密性　については JIS A 1516「建具の気密性試験方法」
(3)水密性　については JIS A 1517「建具の水密性試験方法」
(4)断熱性　については JIS A 1492「出窓及び天窓の断熱性試験方法」
※2006(平成18)以前の評価については、JIS A 4710「建具の断熱性試験方法」も可とする。

ポリマーセメントモルタル

性能

項目			品質・性能
だれ	下がり量(mm)		5以内
	表面の状態		ひび割れの発生がないこと。
曲げ強さ(N/mm2)			6.0以上
圧縮強さ(N/mm2)			20.0以上
接着強さ(N/mm2)	標準条件		1.0以上
	特殊条件	湿潤時	0.8以上
		低温時	0.5以上
透水性			表面のぬれ、水滴の付着が無いこと。
その他			1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エマルションは、常温常湿において製造後6か月保存しても、変質しないこと。

試験方法

(1)だれの試験方法は、JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N300の表面をワイヤブラシ等で清浄し、その上に厚さ10mm、幅100mm、長さ50mmの寸法にポリマーセメントモルタルを塗り付け、塗り付け開始から5分後に平らにおかれていた平板を直角に立て起し、そのままの状態で静置する。24時間後のポリマーセメントモルタルの変形状態を観測し、その形状の以上の有無とだれ長さを測定する。
(2)曲げ強さ、圧縮強さの試験方法は、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に規定する7.3による。
(3)接着強さの試験方法は、JIS A 5371に規定する普通平板 N300の表面をワイヤブラシ等を用いて清浄し、その上に厚さ10mmになるようポリマーセメントモルタルを塗り、14日間経過した後にその上面に縦40mm、横40mm、厚さ10mmの鉄片を張り付けて単軸引張りを加える。最大荷重(P)を断面積(A)で除し、接着強さを求める。

接着強さの養生は、下表による。

項目		舗装用平板の養生	
		塗り付け前	塗り付け後
標準条件		温度20±2℃、湿度65±10%	温度20±2℃、湿度65±10%で14日間
特種条件	湿潤状態	温度20±1℃の清水中に24 時間浸漬	温度20±2℃、湿度65±10%で14日間
	保温状態※	温度5±1℃で24時間	温度5±1℃で14日間

※低温時では、平板同様に試料も低温状態で養生を行う。
(4)透水性試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に規定する8.6に定める方法による。
(5)接着耐久性試験 (温冷繰返し後)は、JIS A 1171に規定する7.5による。
(6)透水量試験は、JIS A 6916「建築用下地調整塗材」に規定する7.15による。
(7)吸水量試験は、JIS A 1171に規定する7.6による。
(8)長さ変化率試験は、JIS A 1171に規定する7.8による。
(9)試験室は、温度 20±2℃、湿度 60%以上とする。

建築非構造部材の耐震性能に係る標準的な特記事項

外壁

帳壁

・ＣＷ(メタル・Pca)

取付方法、性能等

地震力に対する安全性

設計用震度	帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材)の性能
設計用水平震度(KH) ※1.0 ・ 設計用鉛直震度(KV) ※0.5 ・	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基規準(製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。)が定める値とする。

構造体の層間変形に対する追従性

層間変形角	帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材)の性能
・1/100 ・1/200 ・	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと

層間変形角1/300に対して、ほとんど補修の必要がなく、継続使用に耐えること。

・ＡＬＣパネル

外壁パネルの耐震性

地震力に対する安全性

設計用震度	帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材)の性能
設計用水平震度(KH) ※1.0 ・ 設計用鉛直震度(KV) ※0.5 ・	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基規準(製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。)が定める値とする。

構造体の層間変形に対する追従性

層間変形角	帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材)の性能
・1/100 ・1/200 ・	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと

・押出成形セメント板(ＥＣＰ)

外壁パネルの耐震性

地震力に対する安全性

設計用震度	帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材)の性能
設計用水平震度(KH) ※1.0 ・ 設計用鉛直震度(KV) ※0.5 ・	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基規準(製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。)が定める値とする。

構造体の層間変形に対する追従性

層間変形角	帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材)の性能
・1/100 ・1/200 ・	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと

仕上げ

・石工事

－

扉

特定室等及び避難経路の扉

・AD、SD、LD、SSD

RC壁に設置する特定室等及び避難経路の扉

・耐震ドア

面内変形追従性の等級　・

建具符号　・建具表による　・

重量がある扉

以下の設計用震度の地震力に対して、脱力が生じないものとする。

なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。

設計用水平震度(KH)　※1.0

設計用鉛直震度(KV)　※0.5

建具符号　・建具表による　・

ガラス

・ガラス

構造体の層間変形に対する追従性

以下の構造体の層間変形角に対して、破損、脱落が生じられないよう取り付けられているものとする。

構造体の層間変形角　・1/100　・1/200

天井

特定天井

・軽量鉄骨天井下地(特定天井)

範囲

・図示

特定天井の設計用震度及びクリアランスは以下による。

特定天井告示(平成25年国土交通省告示771号)による

特定天井の設計用震度　検証ルート：

室名	階	設計用水平震度(KH)	設計用鉛直震度(KV)	クリアランス(mm)
		・	・	
		・	・	
		・	・	

特定天井以外の在来工法による吊り天井のうち天井材の落下により著しい影響がある室のもの

・軽量鉄骨天井下地(緊結吊天井)

範囲

・図示

標準仕様書14.4.1～14.4.4に加えて、天井下地材における耐震性を考慮した補強は、以下の1)～4)のとおりとする。

1) 野縁受けは、相互にジョイントを差し込んだ上でねじ留め。
2) 野縁や野縁受けの隣り合うジョイントの位置は、互いに1m以上離し、千鳥状に配置。
3) 野縁受けと吊りボルトの接合に用いるハンガーは、ねじ留め等の措置(開き止め)を講じる。
4) 野縁と野縁受けの接合に用いるクリップは、特定天井告示(平成25年国土交通省告示第771号)第3第3項に適合する天井に用いられるものスは耐風圧クリップ相当の緊結度合を「新たな特定天井の技術基準（天井と周囲の壁等との間に隙間を設けない仕様の追加)の解説(平成28年7月版)」(国土交通省国土技術政策総合研究所他)の「付録1クリップの接合部の衝撃試験」により確認されたものを使用する。なお、当該クリップは、 JIS A 6517 によらなくてもよいものとする。

在来工法の吊り天井

・軽量鉄骨天井下地

－

システム天井

・システム天井

※グリッドタイプ

範囲

・図示

耐震性

以下の設計用震度の地震力及び構造体の層間変形角に対して、脱落しないものとする。

なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。

設計用水平震度(KH)　※1.0　・

設計用鉛直震度(KV)　※0.5　・

構造体の層間変形角　・1/100　・1/200　・1/120

間仕切り

間仕切り

・ALCパネル

間仕切りパネルの耐震性

地震力に対する安全性

設計用震度	帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材)の性能
設計用水平震度(KH) ※1.0 ・ 設計用鉛直震度(KV) ※0.5 ・	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基規準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。

構造体の層間変形に対する追従性

層間変形角	帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材)の性能
・1/100 ・1/200 ・	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと

・押出成形セメント板(ＥＣＰ)

間仕切りパネルの耐震性

地震力に対する安全性

設計用震度	帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材)の性能
設計用水平震度(KH) ※1.0 ・ 設計用鉛直震度(KV) ※0.5 ・	設計用震度の地震力に対して、部材に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないこと。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基規準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値とする。

構造体の層間変形に対する追従性

層間変形角	帳壁(仕上面及び構造体から仕上面までの接合部材)の性能
・1/100 ・1/200 ・	左記の層間変形角に対して、脱落しないこと

・軽量鉄骨間仕切壁下地

－

その他の建築非構造部材

フリーアクセスフロア

・フリーアクセスフロア

20章　フリーアクセスフロアの特記事項による。

エキスパンションジョイント金物

材質	階区分	建築物間のクリアランス(mm)	変異追従量(mm)	耐火性能	耐火性能	備考
・アルミニウム製 ・ステンレス製	階～　階	・50 ・100 ・150 ・	(避難経路の床等) ・　以上 (その他) ・　以上	・有り ： ・無し	・有り ： ・無し	
・アルミニウム製 ・ステンレス製	階～　階	・50 ・100 ・150 ・	(避難経路の床等) ・　以上 (その他) ・　以上	・有り ： ・無し	・有り ： ・無し	

外部に設置するものは、防水型とする。

エキスパンションジョイントカバーには脱落防止措置を講ずる。

家具、門扉・囲障その他の工作物

壁等に固定する家具

・壁等に固定する家具

固定方法　・壁固定(図示)

・床固定(図示)

以下の設計用震度の地震による引抜き力に対して固定金具に生じる応力度が所定の応力度以内にあり、有害な残留ひずみが生じないものとする。ただし、所定の応力度以内にあることの確認が困難な場合は、試験等により設計用震度の地震による引抜き力に対して有害な残留ひずみが生じないことを確認する。なお、水平方向の地震力に対する確認は面内方向及び面外方向について行う。 所定の応力度は、短期許容応力度とし、短期許容応力度が定められていない材料については、関連基規準（製造者等により構成される協会等が定める指針等を含む。）が定める値による。

設計用水平震度(KH)　※1.0　・

設計用鉛直震度(KV)　※0.5　・

家具名称	設置場所	備考
・下足入れ	図示	
・		
・		
・		

・軽量鉄骨壁下地等への補強

・図示

・

※収納物の散乱防止措置(ラッチ機構、ロック機構等)を講ずる

・

藤枝市　都市建設部　建築住宅課	池田建築設計事務所　一級建築士事務所	一級建築士　有馬　慎介 一級建築士登録　第360847号	検図	作図	日付	建設工事名 (仮称)新学校給食センター　建築工事	建築非構造部材の耐震性能に係る 標準的な特記事項	図番 A-特-013

設 計 概 要

1. 一 般 事 項

工事名称		（仮称）新学校給食センター　建築工事	発注者		藤枝市(発注課：建築住宅課、担当課：学校給食課)
敷地	敷地位置	藤枝市緑町二丁目3-19　外16筆 北緯（ 34° 52′ 00″ ）　東経（ 138° 26′ 45″ ）	工事概要	工事種別	⊙新築　・増築　・別棟増築　・増改築　・改築　・移転　・用途変更 ・大規模修繕　・大規模模様替え　・内装
	用途地域	・第一種低層住専　・第二種低層住専　・第一種中高層住専 ・第二種中高層住専　・第一種住居　・第二種住居　・準住居 ・近隣商業・商業・準工業・工業・工業専用 ⊙指定なし(市街化調整区域)		主要用途	給食センター
				駐車場等	申請部分　0 台　申請以外の部分　0 台 敷地内屋外　106 台　合計　106 台
	防火地域	・防火　・準防火　⊙法22条地域　・指定なし ・2つの地域にわたる場合（　㎡・　㎡）		建築物	本体、屋外倉庫、機械室、ポンプ室、駐輪場･ﾊﾞｲｸ置場
	法定建蔽率	60%+角地10%＝70%			
	法定容積率	200%			
	その他の指定（都市計画）	・藤枝市土地利用申請承認 ・緑地面積　6%以上確保（開発基準による）		工作物	・調整池　1ヶ所　・埋設厨房廃水処理槽　1ヶ所 ・土壌脱臭装置　1ヶ所　・キュービクル　1箇所　・受水槽　1箇所
				外構・造園	植栽、RC壁、大型引き戸門扉・袖門扉、メッシュフェンス、 設備配線ラック、駐輪場、バイク置場
道路	道路の幅員	(東側)市道本町大東町線 幅員12.0m（南側)市道1地区42号線 幅員7.5m (西側)市道1地区24号線 幅員3.6m（4.0m）		解体	既存擁壁撤去
面積	敷地面積	11,032.42㎡（水路含む） ・2つの地域にわたる場合（　㎡、　㎡）		工期予定	着工　令和　8 年　11 月　24 日　竣工　令和　10 年　8 月　31日
		申請部分　申請以外の部分　合計	形態規制	日影規制	ー（10m以下）
	建築面積	4,197.23 ㎡　ー ㎡　4,197.23 ㎡		高度地区	ー
	延べ面積 イ. 建物全体	5,393.54 ㎡　ー ㎡　5,393.54 ㎡		斜線制限	道路：1.5/1　適用距離20m　隣地：立上り31m+2.5/1
	ハ. 昇降路	11.22 ㎡　ー ㎡　11.22 ㎡	⇨	建蔽率	38.04%
	ホ. 自動車車庫等	26.50 ㎡　ー ㎡　26.50 ㎡		容積率	48.55%
	㎡	ー ㎡　㎡		緩和等	
	容積率対象延床面積	5,355.82 ㎡　ー ㎡　5,355.82 ㎡	消防法	防火対象物用途	(12)のイ：工場

2. 建 築 物 概 要 （ 棟 別 ）

棟番号	1	2	3	4	5	6	7
棟名	新学校給食センター	屋外倉庫	ブロワ室	ポンプ室	自転車置場	駐輪場	
建物用途	工場	倉庫	機械室	受水槽ポンプ室	自転車置場	駐輪場	
工事種別	新築	新築	新築	新築	新築	新築	
構造・規模	鉄骨造	鉄骨造	RC造	ステンレス造	アルミ造	アルミ造	
基礎・杭	杭基礎	地盤改良	地盤改良	直接基礎	直接基礎	直接基礎	
耐火建築物	・耐火建築物　・準耐火建築物（イ-１）　・準耐火建築物（イ-２） ・準耐火建築物（ロ-１）　⊙準耐火建築物（ロ-２） ・耐火構造建築物　・特定避難時間倒壊等防止建築物　・その他	その他	その他	その他	その他	その他	
防火対象物	(12)のイ：工場	(14)	(15)	(15)	(15)	(15)	
屋根	加熱型改質アス塗膜防水工法の上保護コンクリート（外断熱仕様）	カラーGL折板	コンクリート	ステンレス	アルミ押出型材	アルミ押出型材	
外壁	金属断熱サンドイッチパネルt35横張（フッ素樹脂塗料）	カラーGL折板	コンクリート	ステンレス	ー	ー	
軒裏	ハニカムパネルt100	GL折板原板	ー	ー	屋根同材	屋根同材	
建築面積	4,118.87 ㎡	17.55 ㎡	19.31 ㎡	15.00 ㎡	11.53 ㎡	14.97 ㎡	㎡
延べ面積	5,316.94 ㎡	17.55 ㎡	17.55 ㎡	15.00 ㎡	11.53 ㎡	14.97 ㎡	㎡

各階床面積 階	㎡	（　坪）	階高　m	階別用途						
1	4,181.20	1,264.81	4.2	工場	17.55 ㎡	17.55 ㎡	15.00 ㎡	11.53 ㎡	14.97 ㎡	
2	1,127.42	341.04	3.9	事務所						
塔屋	8.32	2.52	-	事務所						
合計	5,316.94	1,608.37			17.55 ㎡	17.55 ㎡	15.00 ㎡	11.53 ㎡	14.97 ㎡	
高さ 最高の高さ	9.710　m				3.310 m	3.515 m	3.800 m	2.165 m	2.175 m	m
最高の軒の高さ	9.030　m				3.070 m	3.165 m	3.800 m	1.910 m	1.920 m	m

建築設備の種類	給水	排水	電気	ガス	換気	空調	避雷針	昇降機	非常用照明	非常用ELV	機械排煙	浄化槽（厨房廃水）	ガス漏れ警報
	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	・	⊙	⊙	・	・	⊙	⊙

消防設備の種類	自火報	非常警報	誘導灯・標識	漏電警報	屋内消火栓	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ	連結送水管	消防用水利	屋外消火栓	非常ｺﾝｾﾝﾄ	化学消火	消火器具
	⊙	⊙	⊙	・	⊙	・	・	・	・	・	・	⊙

3. 中 間 検 査

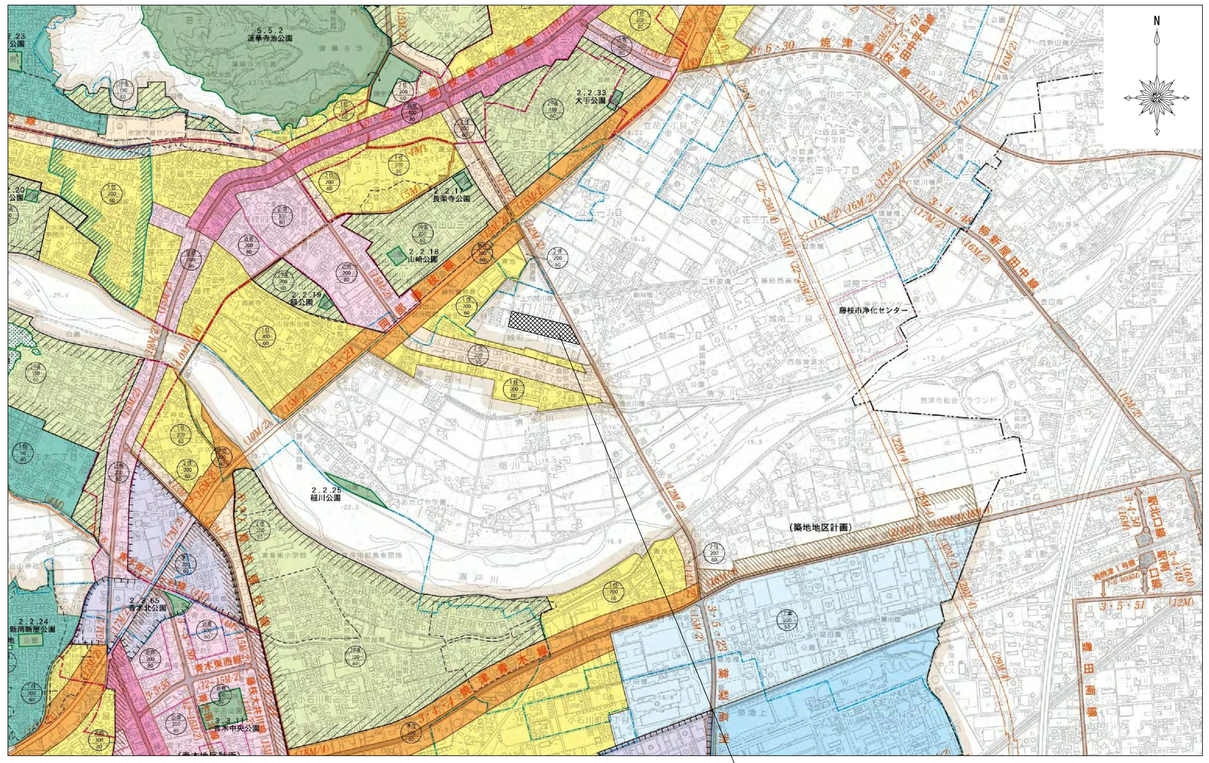
建築基準法第７条の３ に係る中間検査	無し
補助金交付の場合の行政等による検査	無し

4. そ の 他

土地利用協議
開発協議
工場立地法適用無し
土地収用法

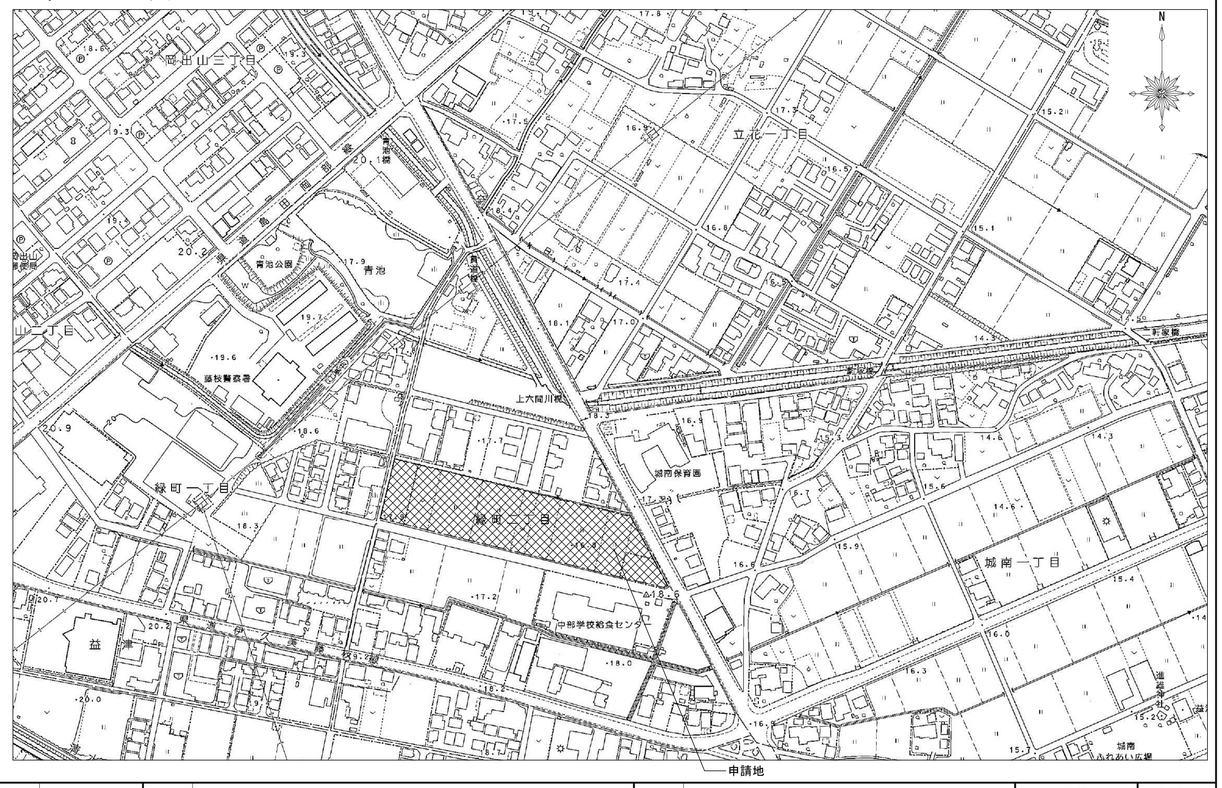
位 置 図

Scale (A1)1:10,000



案 内 図

Scale (A1)1:2,500



訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事
			設計者		作図者	有馬　慎介		

図面名	縮尺		図面番号
設計概要・位置図・案内図	A1	図示	A-001
	A3	図示/2	

仕上共通事項

共通事項
・各所納まりは、公共建築協会発行「建築工事標準詳細図 最新版」に準拠する。
・外部シーリング材の選定にあたり、外装材に対する影響を考慮した上、監理者の承諾を受けるものとする。
・壁持ち出し手摺り支持部には補強プレートt0.8を入れる。
・シックハウス対策としてＦ☆☆☆☆品使用を原則とする。（仕上、家具、下地、接着材共）
・別途壁仕様図の壁の上に表記仕上とする。ただし石膏ボードについては、兼用できるものとする。
・壁仕上の下地切り替え部（RC、LGS）及び開口部上部はひび割れ防止目地を入れる。
（防火区画の二重張り部分を除く）　※開口部上部はシーリングは不要とする。
・消火器は（⊙本工事・別途工事 ）とする。
・SUS床見切りは（・FB-4*12（埋込））とする。
・カーテン、ブラインドは（・本体工事 ⊙別途工事 ）とする。
・RC増打厚さは、総厚の20～25%とする。（t160→40mm、t200→50mm）。
・出隅面取 20mm、出隅角面取20×20mmとする
・内部のコンクリート打放しの出隅面取りは10mmとする。（梁型共）
・特記なき木部は、（OSCL（クリア））仕上げとする。~~ただし、和室廻りは塗装無とする。~~
・特記以外の鉄部、亜鉛メッキ面は、SOP塗装仕上げ（F☆☆☆☆）とする。
・OAフロアを設置するスラブには防塵塗装をする。
・常時開放式防火戸の戸袋内側は、特記なき限り塗装仕上げとする。
・外壁面に誘発目地を設ける場合は、同笛所に内壁面にも目地を設け、内外共シールを行う。
・ＡＬカーテンウォール等、サッシスパンドレル部にＦＫ裏打する場合、ＥＰ塗装仕上げとする。
・塗装下地用クロスの塗料は、専用塗料で防火一級認定品とする。
・特記なき限り壁に付いた柱型は、壁仕様に従う。
・化粧ＦＫ及びＦＫの目地処理は（ ・目透 ⊙目地シール ・アルミジョイナー工法 ）とする。
・壁天井取り合いは、天井付き目地とする。
・特記なき限り天井より突き出した梁型は天井仕上に、壁に取り付いた梁型は、壁仕上に従う。
・断熱材打ち込み範囲は、建築工事標準詳細図7-10（ ・寒冷地 ⊙標準地及び暖地 ）による。
・特記なき限りサッシ額縁は（ AL ）とする。
・特記なき限りライニング等面台は（ポストフォーム　小口先端R加工 ）とする。
・床仕上げ寸法は、建築工事標準詳細図1-01による。
・ルーフドレンは外断熱、アスファルト防水用（張掛け幅100mm以上）とする。
・棚固定下地は、H1800を天端としW200の鋼板t0.8とする。
・化粧鏡、紙巻き器、洗面カウンターの補強下地を見込むこと。
・壁：SUSt0.8は特記なき限り、SUS（304）HLとし、取合部はシーリング処理とする。

凡例			
（構造・構造下地）		（塗装）	
RC	：鉄筋コンクリート	SOP	：合成樹脂調合ペイント塗り
SRC	：鉄骨鉄筋コンクリート	CL	：クリヤラッカー塗り
S	：鉄骨	NAD	：アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り
W	：木	DP(1)	：耐候性塗料塗り（ ）内は等級
LGS	：軽量鉄骨	EP-G	：つや有合成樹脂エマルションペイント塗り
PC	：プレキャストコンクリート	EP	：合成樹脂エマルションペイント塗り
ALC	：軽量気泡コンクリート	EP-T	：合成樹脂エマルションペイント模様塗り
CB	：コンクリートブロック	UC	：ウレタン樹脂ワニス塗り
ECP	：押出成形セメント板	2-FUE	：常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル焼付塗り
		LE	：ラッカーエナメル塗り
（金属・仕上）		OS	：オイルステン塗り
S	：スチール	WP	：木材保護塗料塗り
SUS	：ステンレス鋼	FE	：フタル酸樹脂エナメル塗り
AL	：アルミ	LS2-UE	：弱溶剤系2液形ポリウレタンエナメル塗り
HL	：ヘアーライン	B-AE	：アクリル樹脂エナメル焼付塗り
PHL	：バイブレーション	B-UE	：ウレタン樹脂エナメル焼付塗り
B-1種	：無着色陽極酸化塗装複合皮膜	B-FUE	：ふっ素樹脂エナメル焼付塗り
B-2種	：着色陽極酸化塗装複合皮膜		
FS	：化粧フィルムシート張	（略号）	
		AS防水	：アスファルト防水
（ボード）		EXP.J	：エキスパンションジョイント
GB-R	：せっこうボード	RD	：ルーフドレン
GB-S	：シージングせっこうボード	UB	：ユニットバス
GB-F	：強化せっこうボード	US	：ユニットシャワー
GB-D	：化粧せっこうボード	ELV	：エレベーター
GB-NC	：化粧不燃積層せっこうボード	SFELV	：小荷物専用昇降機
GB-NC(下地)	：不燃積層せっこうボード	SK	：掃除用流し
GB-R-H	：硬質せっこうボード	SGP	：配管用炭素鋼鋼管
DR	：ロックウール化粧吸音板	CHPL	：チェッカープレート
FK	：けい酸カルシウム板		

耐火・準耐火・防火材料リスト

箇所	材料名	性能	告示・認定番号
外壁	金属断熱サンドイッチパネルt35	不燃材料	NM-4431、NM-4441-3
	金属サイディングt15	準不燃材料	QM-1048
	防火区画折返し部：金属断熱ｻﾝﾄﾞｲｯﾁﾊﾟﾈﾙt35	外壁耐火	FP060NE-9305
	裏面　ロックウールt30吹付	（1時間）	
柱・梁	防火区画：ロックウールt25吹付	1時間耐火	FP060CN-9460・FP060BM-9460
床 1F屋根	合成スラブ構造　連続支持	1時間耐火	FP060FL-9095（JFE建材）
	合成スラブ構造　単純支持	1時間耐火	FP060FL-9101（JFE建材）
2F屋根	デッキプレート屋根　連続支持	30分耐火	FP030RF-0326（JFE建材）
	デッキプレート屋根　単純支持	30分耐火	FP030RF-0328（JFE建材）
折板屋根	ハゼ二重折板葺き　山高166	30分耐火	FP030RF-0096（YODOKO）
	ガルバリウム鋼板屋根　山高145	30分耐火	FP030RF-0001（YODOKO）
階段	鉄骨造	30分耐火	建設省告示第1399号
間仕切り壁	防火区画：LGS下地 GB-F t21 片面二重張	1時間耐火	FP060NP-0007（吉野石膏）
柱・梁	スチール	不燃材料	建設省告示 1400号
屋根	アスファルト防水（保護コン仕様）	不燃材料	建設省告示 1400号
庇	カラーガルバリウム鋼板	不燃材料	建設省告示 1400号

箇所	材料名	性能	告示・認定番号
壁・天井	GB-R t9.5	準不燃	QM-9828（吉野石膏）
	GB-R t12.5	不燃	NM-8619（吉野石膏）
	DR t9.0	不燃	NM-8599（吉野石膏）
	GB-D t9.5	準不燃	QM-0524（吉野石膏）
	GB-F t12.5	不燃	NM-8615（吉野石膏）
	GB-S t12.5	不燃	NM-9639（吉野石膏）
	GB-NC t9.5	不燃	NM-0441、NM-1864（吉野石膏）
	FK t6.0	不燃	NM-1217（ニチアス）
	化粧ケイカル板	不燃	NM-4227（ニチアス）
	FS	不燃※	NM-2391（3M）
	防菌防カビ塗装	不燃※	NM-8585（日本ペイント）
	メラミン化粧板	不燃	NM-2183（アイカ工業）
	断熱吸音材	不燃	NM-8606（パラマウント硝子工業）
	不燃木板	不燃	NM-1271（共和成産）
	不燃認定壁紙	不燃	NM-3991（サンゲツ）
	含水ほう酸塩・無機りん酸系薬剤処理	準不燃	QM-0255（ｱﾄﾞｺｽﾐｯｸ）
備品			

材質・品質リスト　※下記材料と同等品質を確保すること

材料・材質	品質・同等製品例	材料・材質	品質・同等製品例	材料・材質	品質・同等製品例	材料・材質	品質・同等製品例
金属断熱ｻﾝﾄﾞｲｯﾁﾊﾟﾈﾙ t35	ｱｲｼﾞｰｳﾞｧﾝﾄﾞ 断熱ｳﾞｧﾝﾄﾞNZ35	長尺塩ビシート	東リ：ﾎｽﾋﾞﾘｭｰﾑNW（TS2325）	郵便受	杉田エース：P702K	ウォールキャビネット	TOTO：UGW102W#E
金属ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ t=15	ｱｲｼﾞｰｳﾞｧﾝﾄﾞ：SP-ガルブライト	（抗菌、抗ｳｨﾙｽ、防ｶﾋﾞ、耐動荷重）		屋根点検ﾀﾗｯﾌﾟ、安全ガード、後付け金具	ナスタ：KS-RTRG347S-1、-2、-3	不燃木板	共和成産：ピールドボードセレクション(ひらもく)
ｱｽﾌｧﾙﾄ防水ノンケトル冷熱併用工法	ﾀｼﾞﾏﾙｰﾌｨﾝｸﾞ：BANKS工法（JPX-035R）	長尺塩ビシート（一般）	東リ：ノンワックスリューム NW（TS5210）	シャワーユニットO808	タカラスタンダード：ウォルナットホワイト仕上	腰ガード	ナカエ業：セーフティラインNW
ｱｽﾌｧﾙﾄ防水（立上り）	ﾀｼﾞﾏﾙｰﾌｨﾝｸﾞ：BANKS工法、粘着併用工法（JPV-035R）	塩ビ床タイル	東リ：ロイヤルストーンモア　グレーストラバーチン（PST3070）	軽量断熱パネル	東海物産：ライトシリングシステム天井		
改質アス系塗膜防水（架台基礎立上り）	ﾀｼﾞﾏﾙｰﾌｨﾝｸﾞ：アスクールC工法（PQ-160C）	長尺シート（消臭）	東リ：NSトワレ消臭NW	メッシュフェンス	朝日スチール工業：ARフェンス、FMフェンス		
高分子系ルーフィングシート防水	アーキヤマデ：リベットルーフLCS工法（M1HFD-HPNU15NU）	特殊防滑長尺シート床材	ABC商会：アルトロセーフティフロア	床下点検口	カネソウ：MAES-P-600、MSEM-D-600		
AL竪樋	井上商事：シルバーライン（アルトイ　バンドレスタイプ）	エポキシ樹脂系塗装	ABC商会:ケミクリートE(耐薬品性、防滑工法)	消火器ボックス	杉田エース：UFB-1F-3007-PWH/UFB-1F-2720-PWH/UFB-3S-2760-HLN		
笠木既製品	ABC商会：アルウィトラRDタイプ/MGタイプ	耐熱エポキシ系防食材	ケミクリートE5000	インターロッキングブロック	イワタ：しっとり		
ポリマーセメント系塗膜防水	イーテック：AEコート	水性硬質ウレタン系塗床t4.0	ABC商会:ﾀﾌｸﾘｰﾄFL(厚膜型・高耐久・防滑工法)	カーストッパー	ナカエ業：NCD-Yタイプ		
硬質ウレタンフォーム	アキレス:アキレスボードGFﾉﾝﾌﾛﾝ（熱伝導率　0.026W/m・K）	水性硬質ウレタン系塗床t6.0	ABC商会:ﾀﾌｸﾘｰﾄMH（耐寒・耐熱・防滑工法）	柱保護バリカー	帝金：スタンダードヨコ型		
システムキッチン	タカラスタンダード：エミュー	磁器質タイル（ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ共）	名古屋モザイク：ピエトソラーニ（粗目・岩面）	メラミン化粧板	アイカ工業：セラールセメント		
浸透性吸水防止剤	大日技研工業：WS疎水剤	防火区画シートシャッター	三和シャッター：サンシリカ				
抗菌塗装	日本ペイント：エコフラット100 エスケー化研：エコフレッシュクリーン						
ロックウール岩綿吸音板	大建工業：ダイロートンカラー						

外部仕上表

名称		仕上	備考
屋根1	１階屋上屋根 （屋上屋外機置場） ボイラー室屋根	コンクリート直押えの上　ｱｽﾌｧﾙﾄ防水ノンケトル冷熱併用工法（外断熱仕様）	外回り立上り部：アスファルト防水粘着併用工法
		軽量保護コンクリートt80（溶接金網φ6-100角程度）　絶縁シートポリエチレンフィルムt0.15全面敷込　伸縮目地@3,000内外	ｺﾝｸﾘｰﾄ立上り天端、架台基礎：塗膜防水（改質アス系）
		断熱材：硬質ウレタンフォーム板t35　防水立上り天端防水端末押えアルミアングル15×30、端末シーリング15×10	排水溝部：スラブ裏面硬質ウレタンフォームt25吹付
		パラペット天端：木毛セメント板t18+断熱材t35の上捨て笠木（ガルバリウム鋼板原板t0.4）　ｱﾙﾐ笠木既製品W250、350程度	ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾃﾞｯｷ：構造用有孔鋼板 溶融亜鉛ﾒｯｷ H60
			ルーフドレイン：鋳鉄製（横引）
屋根2	１階北側屋根 PH階屋根	ハゼ二重折板葺き断熱工法（上葺：カラーガルバリウム鋼板t0.8、下葺：ガルバリウム鋼板t0.6原板）山高166	折板裏面：結露防止材貼付t4
		ケラバ包み、軒先面戸、雨押え：カラーガルバリウム鋼板t0.5折曲加工	断熱材（GW10K品）t100
		軒樋：塩ビ既製品（前高130（PH階）・200程度）ゴミ除けネット（SUS製）　落し口、掃除口付	
屋根3	２階屋上屋根	ルーフデッキの上　合成高分子系ルーフィングシート防水（外断熱仕様、高耐候仕様）	外回り立上り部：屋根同材天端まで巻込み
		立上り：木毛セメント板t18+断熱材t35の上高分子系ルーフィングシート防水（笠木天端まで）	排水溝部：スラブ裏面硬質ウレタンフォームt25吹付
		パラペット天端：木毛セメント板t18+断熱材t35の上捨て笠木（ガルバリウム鋼板原板t0.4）　アルミ笠木既製品W250程度	ルーフドレイン：鋳鉄製（横引）
		断熱材：硬質ウレタンフォーム板t35	
屋根4	風除室屋根	鉄骨母屋（C-100×50×20×2.3@450）下地硬質木毛セメント板t25+ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940+硬質ウレタンフォーム板t25	
		カラーガルバリウム鋼板t0.5　瓦棒葺き@400程度（勾配）10/100	
		唐草・破風板：屋根同材	
屋根5	ハト小屋屋根	t0.6カラーガルバリウム鋼板折板（山高150程度）　ハゼ式	
		軒樋：塩ビ既製品（前高130）ゴミ除けネット	
		軒先・ケラバ：鼻隠し・ケラバ包み　屋根同材	
竪樋	共通	竪樋：カラーVPφ75、φ100、φ150（掴み金物：アオリ、滑り止め付）　@1,200程度	東面の色はダークグレー
		地上面間接排水、埋設配管とし雨水桝へ接続　屋上放流口：600角タイル敷き	
庇	庇1　ﾌﾞﾗｯﾄﾌｫｰﾑ庇 （搬入口側）	鉄骨下地　t0.8カラーガルバリウム鋼板折板（山高150程度）軒裏側ガルバリウム鋼板原板　ハゼ式	
		軒樋：塩ビ既製品（前高165）ゴミ除けネット	
		軒先・ケラバ：鼻隠し・ケラバ包み　t0.5カラーガルバリウム鋼板折曲げ加工	
		受け斜材、鉄骨梁部材：鉄骨錆止め塗装の上、DP塗装	
		軒裏：アルミ製エキスパンドメタル 焼付塗装(鳥害対策)	
	庇2　ﾌﾞﾗｯﾄﾌｫｰﾑ庇 （配送・回収口側）	鉄骨下地　t0.6カラーガルバリウム鋼板吊折板（山高150程度）軒裏側ガルバリウム鋼板原板　ボルト式	鉄骨貫通部：プレート溶接
		谷樋：耐酸被覆鋼板t0.5　折曲げ加工　ジョイント部ブチルテープ	取合い部シーリング処理（二重）
	庇3　風除室庇	ハニカムパネルt100　谷樋：既製品　竪樋：φ50アルミ既製品	
外壁	外壁1	鉄骨タテ胴縁（C-100×50×20×2.3　@600）の上金属断熱サンドイッチパネルt35（働き幅600/900）	出隅部：70×70　コーナー材
		取付金物既製品　下水切：カラーガルバリウム鋼板既製品　外部建具取合水切（四周）水抜きパイプ	入隅部：シーリング処理、捨て板入隅角から各々W100
		鉄骨梁貫通部：鉄骨受け材+シール受けPLt1.2　四周シーリング処理20×15（二重）	
	外壁2	鉄骨ヨコ胴縁（C-100×50×20×2.3　@600）の上　透湿防水シート+GB-S　t12.5下地	
		金属サイディングt15　タテ張	
		胴縁内t100GW（24K品）	
	巾木	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修（A種）t250（両側25mmフカシ）の上浸透性吸水防止剤	
		誘発目地　@3000内外	
		コンクリート直押えの上、浸透性吸水防止剤　誘発目地：20×20@1,800（内外共、柱型廻り・外壁目地合わせ）	
床	ﾌﾞﾗｯﾄﾌｫｰﾑ	床面：コンクリート金鏝仕上げの上表面強化剤塗布（小口共）　上裏：コンクリート打放補修　階段部：鉄骨組階段	下部：地盤改良H1000
			カーストッパー：130×150（ホールインアンカーM12）
	玄関ポーチ	コンクリートスラブの上、屋外床用磁器質タイル貼	風除室前：SUS製グレーチング
		階段段鼻：ノンスリップタイル、スロープ部：ノンスリップタイル貼、SUS手摺H850、視覚障がい者注意喚起表示	（排水目皿付、埋設配管φ50を雨水桝へ接続）
その他	サイン	定礎板：SUS（304）HL400×200×t2　「定礎　20〇〇年〇月竣工」	
		館名板：ベース：SUS（304）t1.2-HL箱曲加工　梨地凹加工（側面部共）　文字：100×100　SUS（304）HL　凸文字	
	地下ピット	ピット床：土間コンクリートt120	排水溝：底面　防水モルタル仕上（排水勾配確保）
			排水溝：側面　ピット仕上による
		ピット天井（1階スラブ下）：コンクリート打放補修の上押出法ポリスチレンフォームt40（外周部：スラブ下端-450mm立下げ）	点検ﾀﾗｯﾌﾟ：SUS（304）W400×D320　φ22　ﾛｰﾚｯﾄ加工
	外部金物	屋根点検タラップ：W360×D180×H2550　安全ガード、後付けタイプ	点検口：600角
		郵便受：前入れ後出しタイプ　柱保護バリカー：W500×D500×H850　SUS製φ60.5×t3.0	
	内部金物	SUSガードパイプ：t2.0SUS（304）HLφ60（支柱共）支柱H200@1200	
その他特記事項		建築材料の品質については建築基準法　第37条に準じた材料とすること	

訂正	
2026.02.16	地下ピット塗膜防水取り止め　2026.02.16　複合フローリング取り止め
2026.02.16	調理実習室の取り止めに伴うｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞｳｫｰﾙ、ｶﾞﾗｽﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ、ｼｽﾃﾑｷｯﾁﾝ取り止め
2026.02.16	太陽光発電設備取り止め　2026.03.10　硬質ウレタンフォームt25に修正

株式会社 池田建築設計事務所
idea-image-inspiration

設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	
設計者		作図者	有馬　慎介

工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事
図面名	仕上共通事項・外部仕上表

縮尺		図面番号
A1	―	A-002
A3	―	

内　部　仕　上　表

階	室名	居室・室 建築排煙種別 建築内装制限 消防内装・区画 床仕上Lv.　火気 スラブLv.　VOC	床 仕上 下地／構造下地	巾木 仕上 高さ	壁 法的要求	壁 仕上 下地	天井高 廻縁材質	天井 法的要求	天井 仕上 下地	備考
1【一般・共用エリア】	風除室	室	磁器質タイル t10　ランダム貼	SUS HL	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	メラミン化粧板貼t3.0(木目調)	2,400	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	DR t9.0(標準)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ：SUS製(ﾛｰﾚｯﾄ加工) 天井点検口 ~~挟み込み防止柵：H900~~
		適用除外								
		準不燃								
		難燃								
		FL±0　—	RC木ゴテ　モルタル t40	60		LGS下地　GB-R t12.5	AL		LGS下地　GB-R t9.5	
		FL-50　—								
	玄関ホール	室	磁器質タイル t10　ランダム貼	SUS HL	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	ビニルクロス貼	2,700 (一部吹抜)	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	DR t9.0(標準)	受付ｶｳﾝﾀｰ：ﾒﾗﾐﾝ化粧板 t 25
		—	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般)			不燃木板t6（塗装品）				案内板：W1200×H900
		準不燃	セルフレベリングt8							下足箱(120足用・48足用)
		難燃								床見切：FB-t6×50(SUS304HL)
		FL±0　—	RC木ゴテ　モルタル t40	60		LGS下地　GB-R t12.5	AL		LGS下地　GB-R t9.5	天井点検口
		FL-50　—								消火器
	事務室	居室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般)	ﾋﾞﾆﾙ	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	ビニルクロス貼	2,700	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	GB-NC t9.5(910×910)	カウンター
		告示1436-3-ﾍ(5)	セルフレベリングt8							天井点検口
		準不燃								ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ
		難燃								消火器ボックス(半埋込)
		FL±0　IH	RC金ゴテ	60		LGS下地　GB-R t12.5	塩ビ		LGS下地	塩ビコーナーｶﾞｰﾄﾞ
		FL-10 一部FL-50　2								
	湯沸コーナー	居室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般)	ﾋﾞﾆﾙ	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	ビニルクロス貼	2,700	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	GB-NC t9.5(910×910)	ミニキッチン：L1500、IH１口
		告示1436-3-ﾍ(5)				化粧FK t6.0(ｷｯﾁﾝ廻り)				
		準不燃								
		難燃								
		FL±0　IH	RC金ゴテ	60		LGS下地　GB-R t12.5	塩ビ		LGS下地	
		FL-10　—								
	更衣室（男） 更衣室（女）	室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般)	ﾋﾞﾆﾙ	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	ビニルクロス貼	2,500	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	GB-D t9.5(910×910)	姿見鏡：600×1500(SUSﾊﾞﾌﾗ製)
		—								棚固定下地：St-PLt8.0×W200
		—								天井点検口
		難燃								
		FL±0　—	RC金ゴテ	60		LGS下地　GB-R t12.5	塩ビ		LGS下地	
		FL-10　—								
	職員用トイレ	室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(消臭)	ﾋﾞﾆﾙ	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	ビニルクロス貼	2,500	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	GB-D t9.5(910×910)	ウォールキャビネット
		—				腰壁：化粧FK t6.0　FL+1100				面台：ポストフォーム
		—								
		難燃								
		FL±0　—	RC金ゴテ	60		LGS下地　GW24K t50充填	塩ビ		LGS下地　GW24K t50敷込	
		FL-10　—								
	ボイラー室	室	ｴﾎﾟｷｼ樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0	床材巻上 金物押 AL製 見切縁	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ化粧吸音板32K品 t50	4,750	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	梁・ﾃﾞｯｷ裏　表し	ボイラー用煙突
		—							（熱橋部：硬質ウレタンフォームt25）	機械基礎
		準不燃								床下点検用ﾏﾝﾎｰﾙ
		不燃								
		FL±0　—	RC金ゴテ	300		LGS下地　GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	—		—	
		FL-10　火気								
1【調理エリア】（非汚染エリア）	荷受室１	居室	ｴﾎﾟｷｼ樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0	床材巻上 金物押 AL製入隅	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装	2,700	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防ｶﾋﾞ塗装	排水溝：SUS製グレーチング
		告示1436-3-ﾍ(5)				腰壁ガード				天井点検口
		不燃								ｽﾃﾝﾚｽｽﾊﾟｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ
		難燃								
		FL±0　—	RC金ゴテ t140	300		LGS下地　GB-R t12.5	AL		LGS下地	
		FL-150　1								
	荷受室２	居室	ｴﾎﾟｷｼ樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0	床材巻上 金物押 AL製入隅	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装	2,700	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防ｶﾋﾞ塗装	排水溝：SUS製グレーチング
		告示1436-3-ﾍ(5)				腰壁ガード				天井点検口
		不燃								床下点検口
		不燃								消火器
		FL±0　—	RC金ゴテ t140	300		LGS下地　GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	AL		LGS下地	壁点検口600角
		FL-150　1								
	仕分室	居室	ｴﾎﾟｷｼ樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0	床材巻上 金物押 AL製入隅	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装	2,700	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防ｶﾋﾞ塗装	排水溝：SUS製グレーチング
		告示1436-3-ﾍ(5)				腰壁ガード				天井点検口
		不燃								
		難燃								
		FL±0　—	RC金ゴテ t140	300		LGS下地　GB-R t12.5	AL		LGS下地	
		FL-150　1								
	食品庫	室	ｴﾎﾟｷｼ樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0	床材巻上 金物押 AL製入隅	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装	2,700	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防ｶﾋﾞ塗装	排水溝：SUS製グレーチング
		—				腰壁ガード				天井点検口
		準不燃								
		難燃								
		FL±0　—	RC金ゴテ t140、t160	300		LGS下地　GB-R t12.5	AL		LGS下地	
		FL-150 FL-270　—								

階	室名	居室・室 建築排煙種別 建築内装制限 消防内装・区画 床仕上Lv.　火気 スラブLv.　VOC	床 仕上 下地／構造下地	巾木 仕上 高さ	壁 法的要求	壁 仕上 下地	天井高 廻縁材質	天井 法的要求	天井 仕上 下地	備考
1【調理エリア】（非汚染エリア）	根菜処理室	居室	ｴﾎﾟｷｼ樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0	床材巻上 金物押 AL製入隅	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装	2,700	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防ｶﾋﾞ塗装	排水溝：SUS製グレーチング
		告示1436-3-ﾍ(5)	排水溝内：床同材			腰壁ガード				4方枠
		不燃								天井点検口(塩ビ枠)
		不燃								
		FL±0　—	RC金ゴテ t260	300		LGS下地　GB-R t12.5	AL		LGS下地	
		FL-270　1								
	肉魚下処理室 液卵・裸物処理コーナー	居室	ｴﾎﾟｷｼ樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0	床材巻上 金物押 AL製入隅	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装	3,000	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防ｶﾋﾞ塗装	排水溝：SUS製グレーチング
		自然排煙				腰壁ガード				天井点検口(塩ビ枠)
		難燃								
		不燃								
		FL±0　—	RC金ゴテ t140	300		LGS下地　GB-R t12.5	AL		LGS下地	
		FL-150　2				区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)				
	野菜下処理室 果物下処ｺｰﾅｰ	居室	ｴﾎﾟｷｼ樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0	床材巻上 金物押 AL製入隅	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装	2,700	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防ｶﾋﾞ塗装	排水溝：SUS製グレーチング
		自然排煙				腰壁ガード				天井点検口(塩ビ枠)
		難燃								L型ｺｰﾅｰｸｯｼｮﾝ FL+2000
		不燃								ｽﾃﾝﾚｽｽﾊﾟｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ
		FL±0　—	RC金ゴテ t140	300		LGS下地　GB-R t12.5	AL		LGS下地	
		FL-150　3								
	野菜上処理室 果物上処ｺｰﾅｰ	居室	ｴﾎﾟｷｼ樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0	床材巻上 金物押 AL製入隅	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装	2,700	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防ｶﾋﾞ塗装	排水溝：SUS製グレーチング
		自然排煙	排水溝内：床同材			腰壁ガード				天井点検口(塩ビ枠)
		難燃								
		不燃								
		FL±0　—	RC金ゴテ t140	300		LGS下地　GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	AL		LGS下地	
		FL-150　2								
	検収室	居室	ｴﾎﾟｷｼ樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0	床材巻上 金物押 AL製入隅	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装	2,700	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防ｶﾋﾞ塗装	排水溝：SUS製グレーチング
		自然排煙				腰壁ガード				天井点検口(塩ビ枠)
		準不燃								消火器
		不燃								
		FL±0　—	RC金ゴテ t140	300		LGS下地　GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	AL		LGS下地	
		FL-150　2								
	器具洗浄室１	居室	ｴﾎﾟｷｼ樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0	床材巻上 金物押 AL製入隅	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装	2,700	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防ｶﾋﾞ塗装	排水溝：SUS製グレーチング
		告示1436-3-ﾍ(5)	排水溝内：水性硬質ｳﾚﾀﾝ塗床(耐熱ｔ6)			腰壁：SUS t0.8　FL+1800				壁開口枠
		不燃								天井点検口(塩ビ枠)
		不燃								一部桝：硬質ｳﾚﾀﾝ塗床(耐熱t6)
		FL±0　—	RC金ゴテ t140、t260	300		LGS下地　GB-R t12.5	AL		LGS下地	
		FL-150 FL-270　1								
	器具洗浄室２	居室	ｴﾎﾟｷｼ樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0	床材巻上 金物押 AL製入隅	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装	2,700	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防ｶﾋﾞ塗装	排水溝：SUS製グレーチング
		告示1436-3-ﾍ(5)	排水溝内：水性硬質ｳﾚﾀﾝ塗床(耐熱ｔ6)			腰壁：SUS t0.8　FL+1800				壁開口枠
		不燃								天井点検口(塩ビ枠)
		難燃								
		FL±0　—	RC金ゴテ t140、t260	300		LGS下地　GB-R t12.5	AL		LGS下地	
		FL-150 FL-270　2								
	器具洗浄室３	居室	ｴﾎﾟｷｼ樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0	床材巻上 金物押 AL製入隅	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装	2,500	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防ｶﾋﾞ塗装	排水溝：SUS製グレーチング
		告示1436-3-ﾍ(5)	排水溝内：水性硬質ｳﾚﾀﾝ塗床(耐熱ｔ6)			腰壁：SUS t0.8　FL+1800				天井点検口
		不燃								
		不燃								
		FL±0　—	RC金ゴテ t260	300		LGS下地　GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	AL		LGS下地	
		FL-270　1								
	揚物・焼物 蒸し物調理室	居室	厨房用ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0	床材巻上 金物押 AL製入隅	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装	3,000	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	軽量断熱パネルt20	排水溝：SUS製グレーチング
		自然排煙	排水溝内：水性硬質ｳﾚﾀﾝ塗床(耐熱ｔ6)			腰壁ガード				下り天井出隅塩ビ製見切
		準不燃								天井点検口
		不燃								
		FL±0　火気	RC金ゴテ t260	300		LGS下地　GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	AL		LGS下地	
		FL-270　3								
	和え物室	居室	厨房用ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0	床材巻上 金物押 AL製入隅	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装	2,700 一部 2,980	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	軽量断熱パネルt20	排水溝：SUS製グレーチング
		自然排煙	排水溝内：水性硬質ｳﾚﾀﾝ塗床(耐熱ｔ6)			腰壁ガード			一部下り天井(側面共)	下り天井出隅塩ビ製見切
		準不燃							FK t6.0突付　防菌防ｶﾋﾞ塗装	天井点検口
		難燃								消火器
		FL±0　—	RC金ゴテ t260	300		LGS下地　GB-R t12.5	AL		LGS下地	
		FL-270　3								
	ボイル室	居室	厨房用ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0	床材巻上 金物押 AL製入隅	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装	2,700 一部 2,980	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	軽量断熱パネルt20	排水溝：SUS製グレーチング
		自然排煙	排水溝内：水性硬質ｳﾚﾀﾝ塗床(耐熱ｔ6)			腰壁ガード			一部下り天井(側面共)	下り天井出隅塩ビ製見切
		難燃							FK t6.0突付　防菌防ｶﾋﾞ塗装	天井点検口
		不燃								ｽﾃﾝﾚｽｽﾊﾟｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ
		FL±0　—	RC金ゴテ t260	300		LGS下地　GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	AL		LGS下地	壁点検口600角
		FL-270　3								

・火気：火気使用室を示す　・スラブLv.：構造スラブの上端レベルを示す　・床仕上げは原則SLからt10程度増打ちの上施工すること

・VOC：化学物質濃度測定箇所数を示す　・仕上げの仕様(不燃・準不燃・難燃)が下地の仕様に依る場合はその仕様(不燃・準不燃・難燃)に従い選定すること

訂正	2026.02.16　複合フローリングをビニル床シートへ変更	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	内部仕上表（１）	縮尺 A1 — A3 —	図面番号 A-003
			設計者		作図者	有馬　慎介						

内　部　仕　上　表

階	室名	居室・室 建築排煙種別 建築内装制限 消防内装・区画 床仕上Lv.　火気 スラブLv.　VOC	床 仕上 下地／構造下地	巾木 仕上 高さ	壁 法的要求	壁 仕上 下地	天井高 廻縁材質	天井 法的要求	天井 仕上 下地	備考
1 【調理エリア】 （非汚染エリア）	煮炊き調理室	居室 自然排煙 難燃 不燃 FL±0　— FL-270　3	厨房用ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0 排水溝内：水性硬質ｳﾚﾀﾝ塗床(耐熱ｔ6) RC金ゴテ t260	床材巻上 金物押 AL製入隅 300	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装 腰壁ガード LGS下地　GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	6,900 一部 2,500 AL	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	軽量断熱パネルt20 一部下り天井(側面共) FK t6.0突付　防菌防カビ塗装 LGS下地	排水溝：SUS製グレーチング 下り天井出隅塩ビ製見切 天井点検口 ｽﾃﾝﾚｽｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ
	ｱﾚﾙｷﾞｰ食調理室	居室 告示1436-3-ヘ(5) 不燃 不燃 FL±0　— FL-270　1	厨房用ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0 RC金ゴテ t260	床材巻上 金物押 AL製入隅 300	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装 腰壁ガード LGS下地　GB-R t12.5(小屋裏まで)	2,500 AL	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防カビ塗装 LGS下地	排水溝：SUS製グレーチング 天井点検口
	コンテナ室	居室 自然排煙 難燃 不燃 FL±0　— FL-150　4	水性硬質ウレタン系塗床 t4.0 RC金ゴテ t140	床材巻上 金物押 AL製入隅 300	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装 腰壁ガード LGS下地　GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	3,300 AL	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防カビ塗装 LGS下地	排水溝：SUS製グレーチング 天井裏：厨房機器鉄骨架台 天井点検口 ｽﾃﾝﾚｽｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ 消火器
（汚染エリア）	洗浄室	居室 自然排煙 難燃 不燃 FL±0　— FL-150　3	水性硬質ウレタン系塗床 t4.0 排水溝内：水性硬質ｳﾚﾀﾝ塗床(耐熱ｔ6) RC金ゴテ t140	床材巻上 金物押 AL製入隅 300	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装 腰壁ガード ｶｰﾄ洗浄部腰壁：SUSt0.8　FL+1800 LGS下地　GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	3,300 一部 3,000 AL	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防カビ塗装 LGS下地	排水溝：SUS製グレーチング 下り床 H800 天井点検口 L型ｺｰﾅｰｸｯｼｮﾝ FL+2000 ｽﾃﾝﾚｽｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ 壁点検口600角
	配送風除室	室 — 準不燃 不燃 FL±0　— FL-150　—	水性硬質ウレタン系塗床 t4.0 RC金ゴテ t140	床材巻上 金物押 AL製入隅 300	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装 腰壁ガード LGS下地　GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	2,700 AL	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防カビ塗装 LGS下地	排水溝：SUS製グレーチング 天井点検口
	回収風除室	室 — 準不燃 難燃 FL±0　— FL-150　—	水性硬質ウレタン系塗床 t4.0 RC金ゴテ t140	床材巻上 金物押 AL製入隅 300	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装 腰壁ガード LGS下地　GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	2,700 AL	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防カビ塗装 LGS下地	排水溝：SUS製グレーチング 床下点検口 天井点検口
	特別洗浄室	居室 告示1436-3-ヘ(5) 不燃 難燃 FL±0　— FL-150　—	水性硬質ウレタン系塗床 t4.0 RC金ゴテ t140	床材巻上 金物押 AL製入隅 300	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装 腰壁ガード LGS下地　GB-R t12.5	2,700 AL	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防カビ塗装 LGS下地	排水溝：SUS製グレーチング 天井点検口
	備品洗剤庫	室 — — 難燃 FL±0　— FL-150　—	水性硬質ウレタン系塗床 t4.0 RC金ゴテ t140	床材巻上 金物押 AL製入隅 300	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装 LGS下地　GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	3,300 AL	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防カビ塗装 LGS下地	天井点検口 床下点検口
	残渣廃油庫	室 — — 難燃 FL±0　— FL-150　—	水性硬質ウレタン系塗床 t4.0 排水溝内：床同材 RC金ゴテ t140	床材巻上 金物押 AL製入隅 300	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装 LGS下地　GB-R t12.5	3,400 AL	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防カビ塗装 LGS下地	排水桝：SUS製グレーチング 天井点検口
	前室1-1	室 — 準不燃 不燃 FL±0　— FL-10　—	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般) 一部ｴﾎﾟｷｼ樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0 RC金ゴテ	ﾋﾞﾆﾙ 60	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	ビニルクロス貼 ｼﾝｸ部腰壁：SUS t0.8　FL+1600 LGS下地　GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	2,500 AL	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防カビ塗装 LGS下地	姿見鏡：600×1500(SUS鏡面仕上) 床見切：FBt6×50(SUS製) エアシャワー(3人用) 天井点検口
					難燃 準不燃 不燃 下地共 その他			難燃 準不燃 不燃 下地共 その他		

階	室名	居室・室 建築排煙種別 建築内装制限 消防内装・区画 床仕上Lv.　火気 スラブLv.　VOC	床 仕上 下地／構造下地	巾木 仕上 高さ	壁 法的要求	壁 仕上 下地	天井高 廻縁材質	天井 法的要求	天井 仕上 下地	備考
1 【調理エリア】 （汚染エリア）	前室1-2, 2-2	室 — 準不燃 不燃 FL±0　— FL-10　—	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般) 一部ｴﾎﾟｷｼ樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0 RC金ゴテ	ﾋﾞﾆﾙ 60	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装 LGS下地　GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	2,500 AL	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防カビ塗装 LGS下地	天井点検口
	前室2-1	室 — 準不燃 不燃 FL±0　— FL-10　—	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般) 一部水性硬質ｳﾚﾀﾝ塗床 t4.0 RC金ゴテ	ﾋﾞﾆﾙ 60	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	ビニルクロス貼 ｼﾝｸ部腰壁：SUS t0.8　FL+1600 LGS下地　GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	2,500 AL	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防カビ塗装 LGS下地	姿見鏡：600×1500(SUS鏡面仕上) 床見切：FBt6×50(SUS製) エアシャワー(1人用) 天井点検口
	前室３	室 — 準不燃 不燃 FL±0　— FL-10　—	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般) RC金ゴテ t140	ﾋﾞﾆﾙ 60	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装 LGS下地　GB-R t12.5	2,500 AL	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防カビ塗装 LGS下地	姿見鏡：600×1500(SUS鏡面仕上) ~~床見切：FBt6×50(SUS製)~~ 床下点検口：600角 天井点検口
	前室４	室 — 準不燃 難燃 FL±0　— FL-10　—	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般) RC金ゴテ t260	ﾋﾞﾆﾙ 60	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装 LGS下地　GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	2,500 AL	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防カビ塗装 LGS下地	姿見鏡：600×1500(SUS鏡面仕上)
	調理員用脱衣 トイレ１	室 — 準不燃 難燃 FL±0　— FL-10　—	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(消臭) RC金ゴテ	ﾋﾞﾆﾙ 60	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	化粧FK板 t6.0 LGS下地　GB-R t12.5　GW24K t50充填 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	2,500 AL	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防カビ塗装 LGS下地　GW24K t50敷込	姿見鏡：450×1500(SUS鏡面仕上) 天井点検口 トイレブース ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ 壁点検口600角
	調理員用脱衣 トイレ２	室 — 準不燃 難燃 FL±0　— FL-10　—	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(消臭) RC金ゴテ	ﾋﾞﾆﾙ 60	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	メラミン化粧板貼t3 LGS下地　GB-R t12.5　GW24K t50充填 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	2,500 AL	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防カビ塗装 LGS下地　GW24K t50敷込	姿見鏡：450×1500(SUS鏡面仕上) 天井点検口 トイレブース ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ
	備品庫	室 — — 難燃 FL±0　— FL-10　—	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般) RC金ゴテ	ﾋﾞﾆﾙ 60	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	ビニルクロス貼 LGS下地　GB-R t12.5 区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)	2,500 塩ビ	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	GB-D t9.5(900×900) SOP塗装 LGS下地 階段顕し	棚固定下地：St-PLt0.8×W200 壁点検口　450角 床下点検口：600角 気密タイプ
	野菜冷蔵庫 魚肉冷蔵庫 果物冷蔵庫 根菜類保管庫	室 — — 難燃 FL±0　— FL-270　—	ｼﾝﾀﾞｰCON t166の上 水性硬質ウレタン系塗床 t6.0 ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ φ6 @150 RC金ゴテ (パネル工事：床パネルt44敷込)	— —	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	(パネル工事：パネル顕しt44)	2,456	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	(パネル工事：パネル顕しｔ44)	フロアヒーター
	野菜冷凍庫 魚肉冷凍庫	室 — — 難燃 FL±0　— FL-270　—	ｼﾝﾀﾞｰCON t120の上 水性硬質ウレタン系塗床 t6.0 ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ φ6 @150 RC金ゴテ (パネル工事：床パネルt100敷込)	— —	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	(パネル工事：パネル顕しt100) パネル取合シーリング処理	2,400	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	(パネル工事：パネル顕しｔ100)	フロアヒーター
	廃棄庫	室 — — 難燃 FL±0　— FL-10　—	ｴﾎﾟｷｼ樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0 RC金ゴテ	床材巻上 金物押 AL製入隅 300	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	EP-G塗装 LGS下地　GB-R t12.5	2,700 AL	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　EP-G塗装 LGS下地	排水桝
	食油庫	室 — — 難燃 FL±0　— FL-150　—	ｴﾎﾟｷｼ樹脂系防滑性厚膜塗床 t3.0 RC金ゴテ t140	床材巻上 金物押 AL製入隅 300	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0　EP-G塗装 LGS下地　GB-R t12.5	3,400 AL	難燃 準不燃 不燃 下地共 その他	FK t6.0突付　防菌防カビ塗装 LGS下地	床下点検口　600角

・火気：火気使用室を示す　・スラブLv.：構造スラブの上端レベルを示す　・床仕上げは原則SLからt10程度増打ちの上施工すること

・VOC：化学物質濃度測定箇所数を示す　・仕上げの仕様(不燃・準不燃・難燃)が下地の仕様に依る場合はその仕様(不燃・準不燃・難燃)に従い選定すること

訂正	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者 有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	工事名 （仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名 内部仕上表（２）	縮尺 A1 — A3 —	図面番号 A-004
		設計者	作図者 有馬　慎介				

内　部　仕　上　表

階	室名	居室・室 / 建築排煙種別 / 建築内装制限 / 消防内装・区画 / 床仕上Lv. / スラブLv.	床 仕上 / 下地 / 構造下地	巾木 仕上 / 高さ	壁 法的要求	壁 仕上 / 下地	天井高 廻縁材質	天井 法的要求	天井 仕上 / 下地	備考
2【一般・共用エリア】	研修ホール	居室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般)	ﾋﾞﾆﾙ	難燃	ビニルクロス貼	2,700	難燃	DR t9.0(標準)	手洗カウンター：
		自然排煙	セルフレベリングt11		準不燃			準不燃		化粧鏡：2100×1000(SUS製鏡面)
		難燃			不燃			不燃		ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ：3000×1100
		難燃			下地共			下地共		天井点検口　消火器ボックス
		FL±0 —	RC金ゴテ	60	その他	LGS下地　GB-R t12.5	AL	その他	LGS下地　GB-R t9.5	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ　ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ
		FL-15 2				区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)				
	~~調理実習室~~	~~居室~~	~~直貼複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t13~~	~~ﾋﾞﾆﾙ~~	~~難燃~~	~~ビニルクロス貼~~	~~2,700~~	~~難燃~~	~~DR t9.0(標準)~~	~~ｼｽﾃﾑｷｯﾁﾝ(L2400)、造付け棚~~
		~~自然排煙~~	~~県産材桧　節有~~		~~準不燃~~			~~準不燃~~		~~可動間仕切、ｶﾞﾗｽﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ~~
		~~準不燃~~	~~水周り：長尺ｼｰﾄ貼 t2.0~~		~~不燃~~			~~不燃~~		~~天井点検口~~
		~~難燃~~			~~下地共~~			~~下地共~~		~~ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ~~
		~~FL±0 火気~~	~~RC金ゴテ~~	~~60~~	~~その他~~	~~LGS下地　GB-R t12.5~~	~~AL~~	~~その他~~	~~LGS下地　GB-R t9.5~~	~~床：SUS見切~~
		~~FL-15 1~~								
	研修ホール倉庫	室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般)	ﾋﾞﾆﾙ	難燃	ビニルクロス貼	2,500	難燃	GB-D t9.5(910×910)	棚固定下地：St-PLt0.8×W200
		—			準不燃			準不燃		
		—			不燃			不燃		
		難燃			下地共			下地共		
		FL±0 —	RC金ゴテ	60	その他	LGS下地　GB-R t12.5	塩ビ	その他	LGS下地	
		FL-15 —				区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)				
	来客用トイレ（男）	室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(消臭)	床材巻上	難燃	化粧FK板 t6.0	2,500	難燃	GB-D t9.5(910×910)	面台：ポストフォーム
		—			準不燃	ビニルクロス貼(通路部)		準不燃		トイレブース
		—			不燃			不燃		床見切：FBt6×50(SUS製)
		難燃			下地共			下地共		天井点検口
		FL±0 —	RC金ゴテ	100	その他	LGS下地　GB-R t12.5GW24K t50充填	塩ビ	その他	LGS下地　GW24K t50敷込	化粧鏡：1660×1130(SUS製鏡面)
		FL-15 —								
	来客用トイレ（女）	室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(消臭)	床材巻上	難燃	化粧FK板 t6.0	2,500	難燃	GB-D t9.5(910×910)	面台：ポストフォーム
		—			準不燃	ビニルクロス貼(通路部)		準不燃		トイレブース
		—			不燃			不燃		床見切：FBt6×50(SUS製)
		難燃			下地共			下地共		天井点検口
		FL±0 —	RC金ゴテ	100	その他	LGS下地　GB-R t12.5GW24K t50充填	塩ビ	その他	LGS下地　GW24K t50敷込	化粧鏡：1660×1130(SUS製鏡面)
		FL-15 —								
	バリアフリートイレ	室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(消臭)	床材巻上	難燃	化粧FK板 t6.0	2,500	難燃	GB-D t9.5(910×910)	面台：ポストフォーム
		—			準不燃			準不燃		化粧鏡：600×900(SUS製鏡面)
		—			不燃			不燃		天井点検口
		難燃			下地共			下地共		
		FL±0 —	RC金ゴテ	100	その他	LGS下地　GB-R t12.5GW24K t50充填	塩ビ	その他	LGS下地　GW24K t50敷込	
		FL-15 —								
	書庫	室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般)	ﾋﾞﾆﾙ	難燃	ビニルクロス貼	2,500	難燃	GB-D t9.5(910×910)	棚固定下地：St-PLt0.8×W200
		—			準不燃			準不燃		天井点検口
		—			不燃			不燃		
		難燃			下地共			下地共		
		FL±0 —	RC金ゴテ	60	その他	LGS下地　GB-R t12.5	塩ビ	その他	LGS下地	
		FL-15 —								
	２階ホール	室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般)	W OSCL	難燃	ビニルクロス貼	2,700 一部 2,820	難燃	DR t9.0(ｶﾗｰ)	手摺：タモ集成材 OSCL
		—	セルフレベリングt11		準不燃			準不燃		床見切：SUS(304)t6×H50（埋込）
		準不燃			不燃			不燃		天井点検口
		難燃			下地共			下地共		消火器ボックス(全埋込)
		FL±0 —	RC金ゴテ	60	その他	LGS下地　GB-R t12.5	AL	その他	LGS下地　GB-R t12.5	
		FL-15 —								
	見学通路	室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般)	W OSCL	難燃	ビニルクロス貼	2,700	難燃	DR t9.0(標準)	手摺：タモ集成材 OSCL
		—	セルフレベリングt13		準不燃			準不燃		天井点検口
		準不燃			不燃			不燃		消火器ボックス(全埋込)
		難燃			下地共			下地共		
		FL±0 —	RC金ゴテ	60	その他	LGS下地　GB-R t12.5	AL	その他	LGS下地　GB-R t12.5	
		FL-15 —				区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)				
2【調理エリア】	打合せ室	居室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般)	ﾋﾞﾆﾙ	難燃	ビニルクロス貼	2,550	難燃	GB-NC t9.5(910×910)	棚固定下地：St-PLt0.8×W200
		告示1436-3-ﾍ(5)			準不燃			準不燃		天井点検口
		不燃			不燃			不燃		
		難燃			下地共			下地共		
		FL±0 —	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t15	60	その他	LGS下地　GB-R t12.5	塩ビ	その他	LGS下地	
		FL-15 1				区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)				
	倉庫１	室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般)	ﾋﾞﾆﾙ	難燃	ビニルクロス貼	2,500	難燃	GB-D t9.5(910×910)	棚固定下地：St-PLt0.8×W200
		—			準不燃			準不燃		天井点検口
		—			不燃			不燃		
		難燃			下地共			下地共		
		FL±0 —	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t15	60	その他	LGS下地　GB-R t12.5	塩ビ	その他	LGS下地	
		FL-15 —				区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)				

階	室名	居室・室 / 建築排煙種別 / 建築内装制限 / 消防内装・区画 / 床仕上Lv. / スラブLv.	床 仕上 / 下地 / 構造下地	巾木 仕上 / 高さ	壁 法的要求	壁 仕上 / 下地	天井高 廻縁材質	天井 法的要求	天井 仕上 / 下地	備考
2【調理エリア】	倉庫２	室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般)	ﾋﾞﾆﾙ	難燃	ビニルクロス貼	2,500	難燃	GB-D t9.5(910×910)	棚固定下地：St-PLt0.8×W200
		—			準不燃			準不燃		天井点検口
		—			不燃			不燃		
		難燃			下地共			下地共		
		FL±0 —	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t15	60	その他	LGS下地　GB-R t12.5	塩ビ	その他	LGS下地	
		FL-15 —				区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)				
	洗濯室	室	塩ビタイル t3.0	ﾋﾞﾆﾙ	難燃	FK t6.0突付　EP-G塗装	2,350	難燃	GB-D t9.5(910×910)	天井点検口
		—			準不燃			準不燃		上框：SUS W10×H150 HL
		—			不燃			不燃		
		難燃			下地共			下地共		
		FL+150 FL±0 —	RC金ｽﾗﾌ下地乾式2重床 ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞt20+構造用合板t12	60	その他	LGS下地	塩ビ	その他	LGS下地	
		FL-15 —				区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)				
	リネン庫（汚染）	室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般)	ﾋﾞﾆﾙ	難燃	FK t6.0　EP-G塗装	2,500	難燃	GB-D t9.5(910×910)	多目的ﾊﾝｷﾞﾝｸﾞﾊﾞｰ　9ヶ所
		—			準不燃			準不燃		ﾊﾝｷﾞﾝｸﾞﾊﾞｰ補強材：C-100*50*20*2.3
		—			不燃			不燃		天井点検口
		難燃			下地共			下地共		
		FL±0 —	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t15	60	その他	LGS下地	塩ビ	その他	LGS下地	
		FL-15 —				区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)				
	リネン庫（非汚染）	室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般)	ﾋﾞﾆﾙ	難燃	FK t6.0　EP-G塗装	2,500	難燃	GB-D t9.5(910×910)	多目的ﾊﾝｷﾞﾝｸﾞﾊﾞｰ　9ヶ所
		—			準不燃			準不燃		ﾊﾝｷﾞﾝｸﾞﾊﾞｰ補強材：C-100*50*20*2.3
		—			不燃			不燃		天井点検口
		難燃			下地共			下地共		
		FL±0 —	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t15	60	その他	LGS下地	塩ビ	その他	LGS下地	
		FL-15 —				区画部:GB-F t21 片面二重張(小屋裏まで)				
	食堂	居室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般)	ﾋﾞﾆﾙ	難燃	ビニルクロス貼	2,700	難燃	DR t9.0(標準)	キッチン:L1500, IH1口, 換気扇
		自然排煙	セルフレベリングt11		準不燃	化粧FK t6.0(ｷｯﾁﾝ廻り)		準不燃	一部ビニルクロス貼	天井点検口
		難燃			不燃			不燃		ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ
		難燃			下地共			下地共		消火器ボックス(半埋込)
		FL±0 —	RC金ゴテ	60	その他	LGS下地　GB-R t12.5	AL	その他	LGS下地	
		FL-15 2							一部LGS下地　GB-R t9.5	
	休憩室（男）	居室	スタイロ畳 t55(半帖ﾀｲﾌﾟ)	畳寄せ 45×45	難燃	ビニルクロス貼	2,550	難燃	DR t9.0(標準)	天井点検口
		自然排煙	一部縁甲板t15		準不燃			準不燃		ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ
		難燃	(杉、上小源平、UC塗装)		不燃			不燃		
		難燃			下地共			下地共		
		FL+150 —	RC金ｽﾗﾌ下地乾式2重床 ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞt20+構造用合板t12	45	その他	LGS下地　GB-R t12.5	塩ビ	その他	LGS下地　GB-R t9.5	
		FL±0 1								
	休憩室（女）	居室	スタイロ畳 t55(半帖ﾀｲﾌﾟ)	畳寄せ 45×45	難燃	ビニルクロス貼	2,550	難燃	DR t9.0(標準)	天井点検口
		自然排煙	一部縁甲板t15		準不燃			準不燃		ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ
		難燃	(杉、上小源平、UC塗装)		不燃			不燃		
		難燃			下地共			下地共		
		FL+150 —	RC金ｽﾗﾌ下地乾式2重床 ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞt20+構造用合板t12	45	その他	LGS下地　GB-R t12.5	塩ビ	その他	LGS下地	
		FL±0 1								
	更衣室前室（男）	室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般)	ﾋﾞﾆﾙ	難燃	ビニルクロス貼	2,550	難燃	GB-D t9.5(910×910)	上框：タモ集成材W60×H150 UC
		—	塩ビタイル t3.0		準不燃			準不燃		化粧鏡：1660×1000(SUS製鏡面)
		準不燃			不燃			不燃		天井点検口
		難燃			下地共			下地共		
		FL+150 FL±0 —	RC金ｽﾗﾌ下地乾式2重床 ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞt20+構造用合板t12	60	その他	LGS下地　GB-R t12.5	塩ビ	その他	LGS下地	
		FL-10 —	RC金ゴテ							
	更衣室前室（女）	室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般)	ﾋﾞﾆﾙ	難燃	ビニルクロス貼	2,550	難燃	GB-D t9.5(910×910)	上框：タモ集成材W60×H150 UC
		—	塩ビタイル t3.0		準不燃			準不燃		化粧鏡：2300×1000(SUS製鏡面)
		準不燃			不燃			不燃		天井点検口
		難燃			下地共			下地共		
		FL+150 FL±0 —	RC金ｽﾗﾌ下地乾式2重床 ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞt20+構造用合板t12	60	その他	LGS下地　GB-R t12.5	塩ビ	その他	LGS下地	
		FL-10 —	RC金ゴテ							
	更衣室（男）	室	塩ビタイル t3.0	ﾋﾞﾆﾙ	難燃	ビニルクロス貼	2,550	難燃	GB-D t9.5(910×910)	姿見鏡：600×1500(SUS鏡面仕上)
		—			準不燃			準不燃		天井点検口
		—			不燃			不燃		
		難燃			下地共			下地共		
		FL+150 —	RC金ｽﾗﾌ下地乾式2重床 ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞt20+構造用合板t12	60	その他	LGS下地　GB-R t12.5	塩ビ	その他	LGS下地	
		FL±0 —								
	更衣室（女）	室	塩ビタイル t3.0	ﾋﾞﾆﾙ	難燃	ビニルクロス貼	2,550	難燃	GB-D t9.5(910×910)	姿見鏡：600×1500(SUS鏡面仕上)
		—			準不燃			準不燃		天井点検口
		—			不燃			不燃		
		難燃			下地共			下地共		
		FL+150 —	RC金ｽﾗﾌ下地乾式2重床 ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞt20+構造用合板t12	60	その他	LGS下地　GB-R t12.5	塩ビ	その他	LGS下地	
		FL±0 —								

・火気：火気使用室を示す　・スラブLv.：構造スラブの上端レベルを示す　・床仕上げは原則SLからt10程度増打ちの上施工すること　W:桧　t15上小節程度とする

・VOC：化学物質濃度測定箇所数を示す　・仕上げの仕様(不燃・準不燃・難燃)が下地の仕様に依る場合はその仕様(不燃・準不燃・難燃)に従い選定すること

訂正	
2026.02.16	複合フローリングをビニル床シートへ変更
2026.02.16	調理実習室の取り止め

株式会社 池田建築設計事務所　idea-image-inspiration

設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	
設計者		作図者	有馬　慎介

工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	内部仕上表（３）	縮尺	図面番号
				A1 — / A3 —	A-005

内　部　仕　上　表

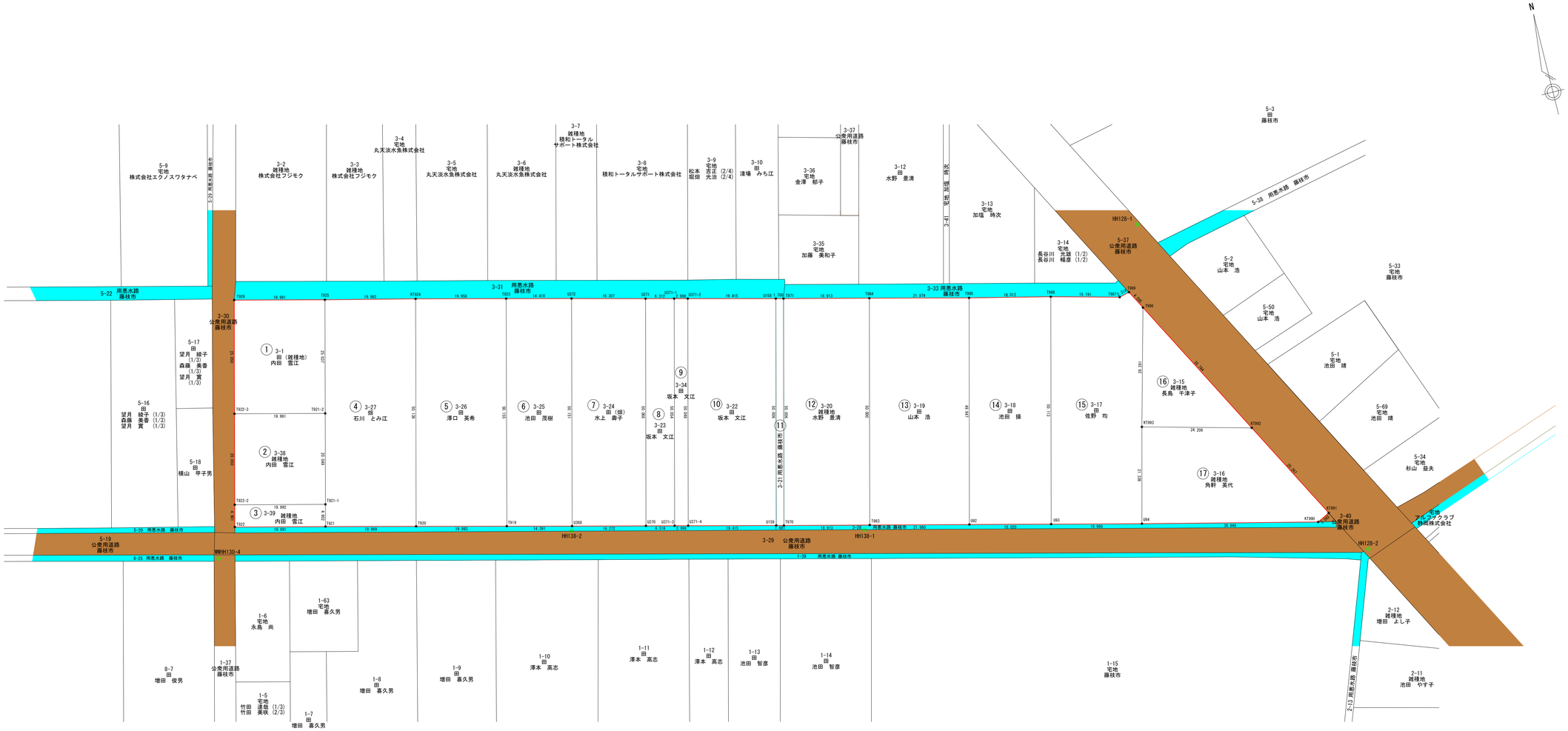
階	室名	居室・室 / 建築排煙種別 / 建築内装制限 / 消防内装・区画 / 床仕上Lv. / スラブLv.	火気 / VOC	床 仕上 下地／構造下地	巾木 仕上 高さ	壁 法的要求	壁 仕上 下地	天井高 廻縁材質	天井 法的要求	天井 仕上 下地	備考
2【調理エリア】	脱衣（男）	室		塩ビタイル t3.0	ﾋﾞﾆﾙ	難燃	ビニルクロス貼	2,550	難燃	GB-D t9.5(910×910)	シャワーブース:0808 棚板：ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼ｔ20
		—				準不燃			準不燃		
		—				不燃			不燃		
		難燃				下地共			下地共		
		FL+150	—	RC金ｺﾞﾃ下地乾式2重床 ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞt20+構造用合板t12	60	その他	LGS下地　GB-R t12.5	塩ビ	その他	LGS下地	
		FL±0	—								
	脱衣（女）	室		塩ビタイル t3.0	ﾋﾞﾆﾙ	難燃	ビニルクロス貼	2,550	難燃	GB-D t9.5(910×910)	シャワーブース:0808 棚板：ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼ｔ20
		告示1436-4-ﾆ(2)				準不燃			準不燃		
		—				不燃			不燃		
		難燃				下地共			下地共		
		FL+150	—	RC金ｺﾞﾃ下地乾式2重床 ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞt20+構造用合板t12	60	その他	LGS下地　GB-R t12.5	塩ビ	その他	LGS下地	
		FL±0	—								
	調理員用トイレ（男）	室		ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(消臭)	床材巻上	難燃	化粧FK板 t6.0	2,500	難燃	FK t6.0突付　防菌防カﾋﾞ塗装	化粧鏡：1660×1070(SUS製鏡面) ﾗｲﾆﾝｸﾞ:ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑt20 天井点検口 床見切：FB-t6×50(SUS304HL)
		—		(個室部)ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ t3.5		準不燃			準不燃		
		—				不燃			不燃		
		難燃				下地共			下地共		
		FL±0	—	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t15	100	その他	LGS下地　GW24K t50充填	塩ビ	その他	LGS下地　GW24K t50敷込	
		FL-15	—								
	調理員用トイレ（女）	室		ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(消臭)	床材巻上	難燃	化粧FK板 t6.0	2,500	難燃	FK t6.0突付　防菌防カﾋﾞ塗装	化粧鏡：2450×1070(SUS製鏡面) ﾗｲﾆﾝｸﾞ:ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑt20 天井点検口 床見切：FB-t6×50(SUS304HL)
		—		(個室部)ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ t3.5		準不燃			準不燃		
		—				不燃			不燃		
		難燃				下地共			下地共		
		FL±0	—	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t15	100	その他	LGS下地　GW24K t50充填	塩ビ	その他	LGS下地　GW24K t50敷込	
		FL-15	—								
	従業員通路	室		ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般)	ﾋﾞﾆﾙ	難燃	ビニルクロス貼	2,700	難燃	GB-D t9.5(900×900)	消火器ボックス(半埋込) 天井点検口
		—				準不燃			準不燃		
		準不燃				不燃			不燃		
		難燃				下地共			下地共		
		FL±0	—	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t15	60	その他	LGS下地　GB-R t12.5	塩ビ	その他	LGS下地	
		FL-15	—								
共通	階段１	室		ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(石調)	ｻﾜﾗ現し	難燃	ビニルクロス貼	2,500	難燃	DR t9.0(ｶﾗｰ)	手摺：タモ集成材φ34　OSCL 垂れ壁見切(塩ビ)
		令126の2-1-3				準不燃			準不燃		
		準不燃				不燃			不燃		
		難燃				下地共			下地共		
		FL±0	—	RC金ゴテ	—	その他	LGS下地　GB-R t12.5	AL	その他	LGS下地　GB-R t9.5	
		FL-10	—								
	階段２	室		ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般)	SOP	難燃	ビニルクロス貼	2,700	難燃	GB-D t9.5(910×910)	手摺：タモ集成材φ34　OSCL
		令126の2-1-3				準不燃			準不燃	上裏：SOP塗装	垂れ壁見切(塩ビ)
		準不燃				不燃			不燃		
		難燃				下地共			下地共		
		FL±0	—	RC金ゴテ	—	その他	LGS下地　GB-R t12.5	塩ビ	その他	LGS下地	
		FL-10	—								
	前室	室		ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般)	ﾋﾞﾆﾙ	難燃	ビニルクロス貼	2,500	難燃	GB-D t9.5(910×910)	天井点検口
		令126の2-1-3				準不燃			準不燃		
		準不燃				不燃			不燃		
		難燃				下地共			下地共		
		FL±0	—	RC金ゴテ	60	その他	LGS下地　GB-R t12.5	塩ビ	その他	LGS下地	
		FL-10	—								
	階段３	室		ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般)	SOP	難燃	ビニルクロス貼	2,700	難燃	GB-D t9.5(910×910)	手摺：タモ集成材φ34　OSCL
		令126の2-1-3				準不燃			準不燃	上裏：SOP塗装	垂れ壁見切(塩ビ)
		準不燃				不燃			不燃		
		難燃				下地共			下地共		
		FL±0	—	RC金ゴテ	—	その他	LGS下地　GB-R t12.5	塩ビ	その他	LGS下地	
		FL-10	—								
	前室	室		ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般)	ﾋﾞﾆﾙ	難燃	ビニルクロス貼	2,500	難燃	GB-D t9.5(910×910)	天井点検口
		令126の2-1-3				準不燃			準不燃		
		準不燃				不燃			不燃		
		難燃				下地共			下地共		
		FL±0	—	RC金ゴテ	60	その他	LGS下地　GB-R t12.5	塩ビ	その他	LGS下地	
		FL-10	—								
	ﾒﾝﾃﾅﾝｽ階段	室		ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.0(一般)	SOP	難燃	ビニルクロス貼	4,500	難燃	GB-D t9.5(910×910)	手摺：塩ビ製φ34
		令126の2-1-3				準不燃			準不燃	上裏：SOP塗装	鉄骨階段：SOP塗装
		—				不燃			不燃		
		難燃				下地共			下地共		
		FL±0	—	RC金ゴテ	—	その他	LGS下地　GB-R t12.5	塩ビ	その他	LGS下地	
		FL-10	—								

階	室名	居室・室 / 建築排煙種別 / 建築内装制限 / 消防内装・区画 / 床仕上Lv. / スラブLv.	火気 / VOC	床 仕上 下地／構造下地	巾木 仕上 高さ	壁 法的要求	壁 仕上 下地	天井高 廻縁材質	天井 法的要求	天井 仕上 下地	備考
共通	ＥＬＶ	—		ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ系塗膜防水	—	難燃	下地顕し	—	難燃	デッキ表し	ＥＶフック（2ヶ所）
		令126の2-1-3				準不燃			準不燃		
		—				不燃			不燃		
		難燃				下地共			下地共		
		FL-1250	—	RC金ゴテ	—	その他	LGS下地	—	その他		
		FL-1250	—								
	ＳＦＥＬＶ	—		ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ系塗膜防水	—	難燃	下地顕し	—	難燃	デッキ表し	
		令126の2-1-3				準不燃			準不燃		
		—				不燃			不燃		
		難燃				下地共			下地共		
		FL-700	—	RC金ゴテ	—	その他	LGS下地	—	その他		
		FL-700	—								
	ＰＳ・ＤＳ	—		RC金ゴテ	—	難燃	下地顕し	—	難燃	デッキ表し	
		—				準不燃			準不燃		
		—				不燃			不燃		
		難燃				下地共			下地共		
		FL±0	—	—	—	その他	LGS下地	—	その他		
		FL±0	—								

・火気：火気使用室を示す　・スラブLv.：構造スラブの上端レベルを示す　・床仕上げは原則SLからt10程度増打ちの上施工すること

・VOC：化学物質濃度測定箇所数を示す　・仕上げの仕様(不燃・準不燃・難燃)が下地の仕様に依る場合はその仕様(不燃・準不燃・難燃)に従い選定すること

訂正	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	内部仕上表（４）	縮尺	図面番号
		設計者		作図者	有馬　慎介					A1 — / A3 —	A-006



①

地番	3-1			公簿地目	田
所有者	内田 雪江			現況地目	雑種地
測点名	Xn	Yn	Yn+1 - Yn-1	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
T926	-125687.749	-21659.285	25.418	-3194731.204082	
T925	-125692.509	-21639.869	13.417	-1686416.393253	
T921-2	-125716.817	-21645.868	-25.418	3195470.054506	
T922-3	-125712.069	-21665.287	-13.417	1686678.829773	
倍面積				1001.286944	
面積				500.6434720	
地積				500.64 ㎡	

②

地番	3-38			公簿地目	雑種地
所有者	内田 雪江			現況地目	雑種地
測点名	Xn	Yn	Yn+1 - Yn-1	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
T922-3	-125712.069	-21665.287	24.223	-3045123.447387	
T921-2	-125716.817	-21645.868	14.616	-1837476.997272	
T921-1	-125736.282	-21650.671	-24.223	3045709.958886	
T922-2	-125731.535	-21670.091	-14.616	1837692.115560	
倍面積				801.629787	
面積				400.8148935	
地積				400.81 ㎡	

③

地番	3-39			公簿地目	雑種地
所有者	内田 雪江			現況地目	雑種地
測点名	Xn	Yn	Yn+1 - Yn-1	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
T922-2	-125731.535	-21670.091	20.594	-2589315.231790	
T921-1	-125736.282	-21650.671	18.245	-2294058.465090	
T921	-125741.041	-21651.846	-20.594	2589510.998354	
T922	-125736.293	-21671.265	-18.245	2294058.665785	
倍面積				195.967259	
面積				97.9836295	
地積				97.98 ㎡	

④

地番	3-27			公簿地目	畑
所有者	石川 とみ江			現況地目	畑
測点名	Xn	Yn	Yn+1 - Yn-1	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
T921	-125741.041	-21651.846	-18.214	2290247.320774	
T921-1	-125736.282	-21650.671	5.978	-751651.493796	
T921-2	-125716.817	-21645.868	10.802	-1357993.057234	
T925	-125692.509	-21639.869	25.436	-3197114.658924	
KT924	-125697.144	-21620.432	7.412	-931667.231328	
T920	-125745.820	-21632.457	-31.414	3950179.189480	
倍面積				2000.068972	
面積				1000.0344860	
地積				1000.03 ㎡	

⑤

地番	3-26			公簿地目	田
所有者	澤口 英希			現況地目	田
測点名	Xn	Yn	Yn+1 - Yn-1	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
T923	-125701.922	-21601.054	7.383	-928057.290126	
T919	-125750.622	-21613.049	-31.403	3948946.782666	
T920	-125745.820	-21632.457	-7.383	928381.389060	
KT924	-125697.144	-21620.432	31.403	-3947267.413032	
倍面積				2003.468568	
面積				1001.7342840	
地積				1001.73 ㎡	

⑥

地番	3-25			公簿地目	田
所有者	池田 茂樹			現況地目	田
測点名	Xn	Yn	Yn+1 - Yn-1	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
T923	-125701.922	-21601.054	25.981	-3265861.635482	
U372	-125705.392	-21587.068	1.974	-248142.443808	
U368	-125754.083	-21599.080	-25.981	3267216.830423	
T919	-125750.622	-21613.049	-1.974	248231.727828	
倍面積				1444.478961	
面積				722.2394805	
地積				722.23 ㎡	

⑦

地番	3-24			公簿地目	田
所有者	水上 喜子			現況地目	畑
測点名	Xn	Yn	Yn+1 - Yn-1	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
U372	-125705.392	-21587.068	27.828	-3498129.648576	
U371	-125709.363	-21571.252	3.790	-476438.485770	
U370	-125757.965	-21583.278	-27.828	3499592.650020	
U368	-125754.083	-21599.080	-3.790	476607.974570	
倍面積				1632.490244	
面積				816.2451220	
地積				816.24 ㎡	

⑧

地番	3-23			公簿地目	田
所有者	坂本 文江			現況地目	田
測点名	Xn	Yn	Yn+1 - Yn-1	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
U371	-125709.363	-21571.252	18.151	-2281750.647813	
U371-1	-125710.887	-21565.127	-5.892	740688.546204	
U371-3	-125759.477	-21577.144	-18.151	2282660.267027	
U370	-125757.965	-21583.278	5.892	-740965.929780	
倍面積				632.235638	
面積				316.1178190	
地積				316.11 ㎡	

⑨

地番	3-34			公簿地目	田
所有者	坂本 文江			現況地目	田
測点名	Xn	Yn	Yn+1 - Yn-1	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
U371-1	-125710.887	-21565.127	14.926	-1876360.699362	
U371-2	-125711.610	-21562.218	-9.106	1144729.920660	
U371-4	-125760.194	-21574.233	-14.926	1877096.655644	
U371-3	-125759.477	-21577.144	9.106	-1145165.797562	
倍面積				300.079380	
面積				150.0396900	
地積				150.03 ㎡	

⑩

地番	3-22			公簿地目	田
所有者	坂本 文江			現況地目	田
測点名	Xn	Yn	Yn+1 - Yn-1	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
U371-2	-125711.610	-21562.218	30.856	-3878957.438160	
U158	-125716.297	-21543.377	6.836	-859396.606292	
U159	-125764.841	-21555.382	-30.856	3880599.933896	
U371-4	-125760.194	-21574.233	-6.836	859696.686184	
倍面積				1942.575628	
面積				971.2878140	
地積				971.28 ㎡	

⑪

地番	3-21			公簿地目	用悪水路
所有者	藤枝市			現況地目	用悪水路
測点名	Xn	Yn	Yn+1 - Yn-1	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
U158	-125716.297	-21543.377	13.654	-1716530.319238	
T971	-125716.711	-21541.728	-10.375	1304310.876625	
T970	-125765.250	-21553.752	-13.654	1717198.723500	
U159	-125764.841	-21555.382	10.375	-1304810.225375	
倍面積				169.055512	
面積				84.5277560	
地積				84.52 ㎡	

⑫

地番	3-20			公簿地目	雑種地
所有者	水野 景清			現況地目	雑種地
測点名	Xn	Yn	Yn+1 - Yn-1	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
T971	-125716.711	-21541.728	30.397	-3821410.864267	
T984	-125721.198	-21523.355	6.350	-798329.607300	
T983	-125769.731	-21535.378	-30.397	3823022.513207	
T970	-125765.250	-21553.752	-6.350	798609.337500	
倍面積				1891.379140	
面積				945.6895700	
地積				945.68 ㎡	

⑬

地番	3-19			公簿地目	田
所有者	山本 浩			現況地目	田
測点名	Xn	Yn	Yn+1 - Yn-1	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
T984	-125721.198	-21523.355	33.359	-4193933.444082	
T985	-125726.453	-21502.019	9.332	-1173279.259396	
U92	-125774.936	-21514.023	-33.359	4195726.090024	
T983	-125769.731	-21535.378	-9.332	1173683.129692	
倍面積				2196.516238	
面積				1098.2581190	
地積				1098.25 ㎡	

⑭

地番	3-18			公簿地目	田
所有者	池田 操			現況地目	田
測点名	Xn	Yn	Yn+1 - Yn-1	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
T985	-125726.453	-21502.019	29.541	-3714085.148073	
T988	-125730.563	-21484.482	5.502	-691769.557626	
U93	-125779.209	-21496.517	-29.541	3715643.613069	
U92	-125774.936	-21514.023	-5.502	692013.697872	
倍面積				1802.605242	
面積				901.3026210	
地積				901.30 ㎡	

⑮

地番	3-17			公簿地目	田
所有者	佐野 均			現況地目	田
測点名	Xn	Yn	Yn+1 - Yn-1	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
T988	-125730.563	-21484.482	26.751	-3363418.290813	
T987	-125734.333	-21469.766	16.956	-2131951.350348	
T989	-125733.754	-21467.526	4.417	-555365.991418	
T986	-125737.800	-21465.349	-4.406	554000.746800	
KT993	-125763.253	-21471.932	-11.744	1476963.643232	
U94	-125783.958	-21477.093	-24.585	3092398.607430	
U93	-125779.209	-21496.517	-7.389	929392.575301	
倍面積				2009.940184	
面積				1004.9700920	
地積				1004.97 ㎡	

⑯

地番	3-15			公簿地目	雑種地
所有者	長島 千津子			現況地目	雑種地
測点名	Xn	Yn	Yn+1 - Yn-1	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
T986	-125737.800	-21465.349	23.433	-2946413.867400	
KT992	-125769.323	-21448.499	-6.583	827939.453309	
KT993	-125763.253	-21471.932	-16.850	2119110.813050	
倍面積				636.398959	
面積				318.1994795	
地積				318.19 ㎡	

⑰

地番	3-16			公簿地目	雑種地
所有者	角軒 英代			現況地目	雑種地
測点名	Xn	Yn	Yn+1 - Yn-1	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	
U94	-125783.958	-21477.093	-32.624	4103575.845792	
KT993	-125763.253	-21471.932	28.594	-3596074.456282	
KT992	-125769.323	-21448.499	35.356	-4446700.183988	
KT991	-125791.600	-21436.576	9.191	-1156150.595600	
KT990	-125792.982	-21439.308	-40.517	5096754.251694	
倍面積				1404.861616	
面積				702.4308080	
地積				702.43 ㎡	

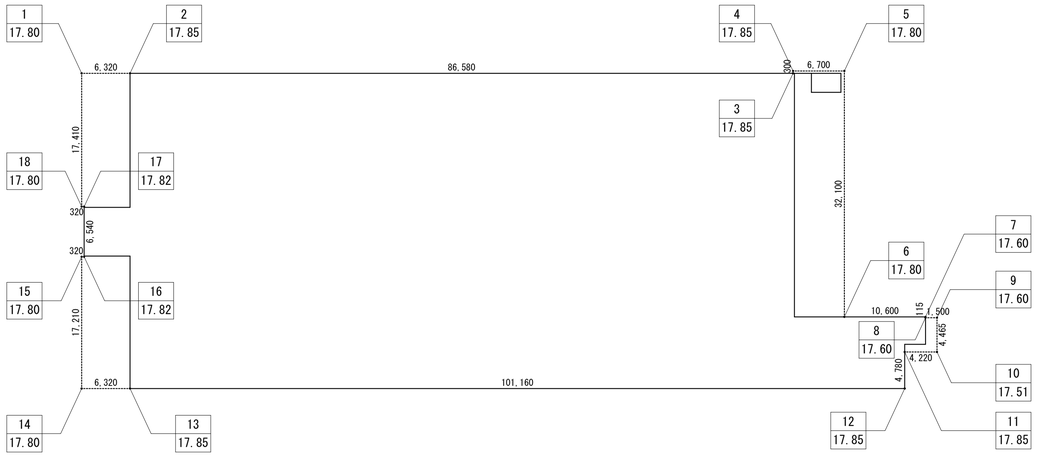
合計面積＝11,032.42m2

精度区分 ： 甲二
座標系番号: Ⅷ
分　　類 ： 地図（法第14条第1項）
種　　類 ： 地籍図
作成年月日: 平成17年2月

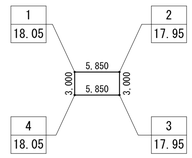
申請区域

静岡地方法務局藤枝支局
令和4年9月8日転写
旭測量設計株式会社　山口滋

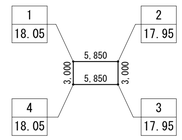
訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	敷地面積表・求積図・公図転写連続図	縮尺		図面番号
			設計者		作図者	有馬　慎介					A1	1/500	A-007
											A3	1/1,000	



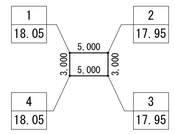
新給食センター平均地盤面算定図　S=1：400



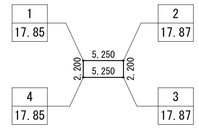
機械室平均地盤面算定図　S=1：400



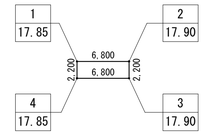
屋外倉庫平均地盤面算定図　S=1：400



ポンプ室平均地盤面算定図　S=1：400



自転車置場平均地盤面算定図　S=1：400



駐輪場平均地盤面算定図　S=1：400

■新給食センター　平均地盤面求積表

区間		周長　(m)	×(　地盤高1　+　地盤高2　)/2=	面積　(㎡)
1	2	6.320	×(　17.800　+　17.850　)/2=	112.6540
2	3	86.580	×(　17.850　+　17.850　)/2=	1545.4530
3	4	0.300	×(　17.850　+　17.850　)/2=	5.3550
4	5	6.700	×(　17.850　+　17.800　)/2=	119.4275
5	6	32.100	×(　17.800　+　17.800　)/2=	571.3800
6	7	10.600	×(　17.800　+　17.600　)/2=	187.6200
7	8	0.115	×(　17.600　+　17.600　)/2=	2.0240
8	9	1.500	×(　17.600　+　17.600　)/2=	26.4000
9	10	4.465	×(　17.600　+　17.510　)/2=	78.3831
10	11	4.220	×(　17.510　+　17.850　)/2=	74.6096
11	12	4.780	×(　17.850　+　17.850　)/2=	85.3230
12	13	101.160	×(　17.850　+　17.850　)/2=	1805.7060
13	14	6.320	×(　17.850　+　17.800　)/2=	112.6540
14	15	17.210	×(　17.800　+　17.800　)/2=	306.3380
15	16	0.320	×(　17.800　+　17.820　)/2=	5.6992
16	17	6.540	×(　17.820　+　17.820　)/2=	116.5428
17	18	0.320	×(　17.820　+　17.800　)/2=	5.6992
18	1	17.410	×(　17.800　+　17.800　)/2=	309.8980
合計		306.960		5471.1664

地盤高	5471.1664	÷	306.960	= 17.82

■ブロワ室　平均地盤面求積表

区間		周長　(m)	×(　地盤高1　+　地盤高2　)/2=	面積　(㎡)
1	2	5.850	×(　18.050　+　17.950　)/2=	105.3000
2	3	3.000	×(　17.950　+　17.950　)/2=	53.8500
3	4	5.850	×(　17.950　+　18.050　)/2=	105.3000
4	1	3.000	×(　18.050　+　18.050　)/2=	53.8500
合計		17.700		318.6000

地盤高	318.6000	÷	17.700	= 18.00

■屋外倉庫　平均地盤面求積表

区間		周長　(m)	×(　地盤高1　+　地盤高2　)/2=	面積　(㎡)
1	2	5.850	×(　18.050　+　17.950　)/2=	105.3000
2	3	3.000	×(　17.950　+　17.950　)/2=	53.8500
3	4	5.850	×(　18.050　+　18.050　)/2=	105.3000
4	1	3.000	×(　17.950　+　18.050　)/2=	54.1500
合計		17.700		318.6000

地盤高	318.6000	÷	17.700	= 18.00

■ポンプ室　平均地盤面求積表

区間		周長　(m)	×(　地盤高1　+　地盤高2　)/2=	面積　(㎡)
1	2	5.000	×(　18.050　+　17.950　)/2=	90.0000
2	3	3.000	×(　17.950　+　17.950　)/2=	53.8500
3	4	5.000	×(　17.950　+　18.050　)/2=	90.0000
4	1	3.000	×(　18.050　+　18.050　)/2=	54.1500
合計		16.000		288.0000

地盤高	288.0000	÷	16.000	= 18.00

■自転車置場　平均地盤面求積表

区間		周長　(m)	×(　地盤高1　+　地盤高2　)/2=	面積　(㎡)
1	2	5.250	×(　17.850　+　17.870　)/2=	93.7650
2	3	2.200	×(　17.870　+　17.870　)/2=	39.3140
3	4	5.250	×(　17.870　+　17.850　)/2=	93.7650
4	1	2.200	×(　17.850　+　17.850　)/2=	39.2700
合計		14.900		266.1140

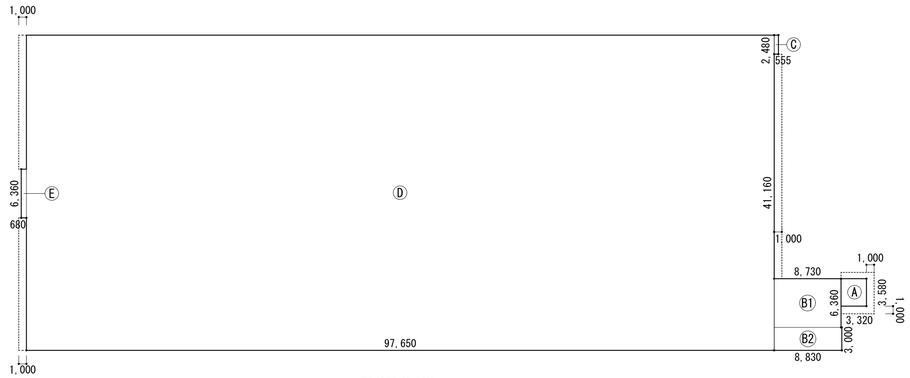
地盤高	266.1140	÷	14.900	= 17.86

■駐輪場　平均地盤面求積表

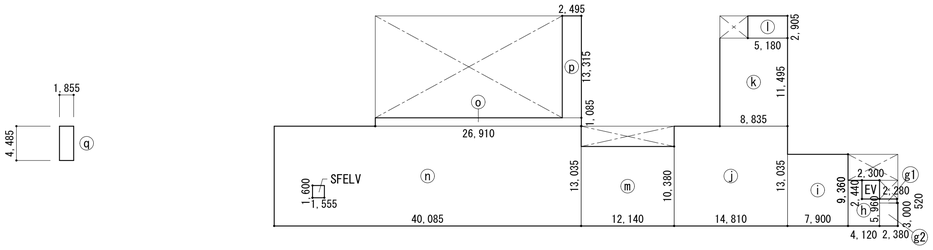
区間		周長　(m)	×(　地盤高1　+　地盤高2　)/2=	面積　(㎡)
1	2	6.800	×(　17.850　+　17.900　)/2=	121.5500
2	3	2.200	×(　17.900　+　17.900　)/2=	39.3800
3	4	6.800	×(　17.900　+　17.850　)/2=	121.5500
4	1	2.200	×(　17.850　+　17.850　)/2=	39.2700
合計		18.000		321.7500

地盤高	321.7500	÷	18.000	= 17.88

訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	平均地盤面算定図	縮尺 A1 1/400 A3 1/800	図面番号 A-008
			設計者		作図者	宮下　都						

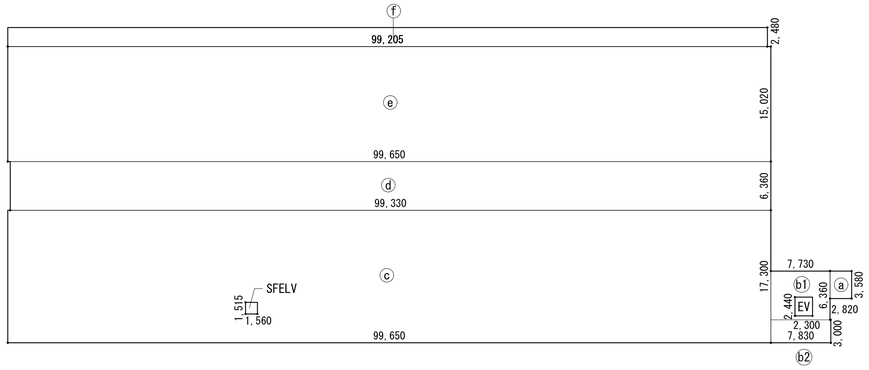


建築面積求積図

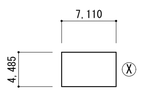


塔屋面積図

2階床面積求積図



1階床面積求積図



階数算入検討用塔屋面積図

ブロワ室　面積求積図

屋外倉庫　面積求積図

自転車置場（自転車置場）　面積求積図

駐輪場（自転車置場）　面積求積図

受水槽ポンプ　面積求積図

塔屋面積						
記号	計算式			面積(㎡)	計（㎡）	備考
X	7.110	×	4.485	= 31.888	31.888	
計					31.89	

■塔屋の階数不算入について

水平投影面積 / 8 = 4,118.87 / 8 = 514.86㎡(A)

塔屋面積 31.89㎡(B)

31.89㎡(B) < 514.86㎡(A)

塔屋面積は屋上水平投影面積の1/8以下である。

建築面積							
記号	計算式				面積(㎡)	計（㎡）	備考
A	3.320	×	3.580	=	11.886	4118.874	本体
B1	8.730	×	6.360	=	55.523		
B2	8.830	×	3.000	=	26.490		
C	0.555	×	2.480	=	1.376		
D	97.650	×	41.160	=	4019.274		
E	0.680	×	6.360	=	4.325		
計						4118.87	
F	5.000	×	3.000	=	15.000	15.000	受水槽ポンプ室
計						15.00	
G	5.238	×	2.202	=	11.534	26.503	自転車置場
H	6.798	×	2.202	=	14.969		
計						26.50	
I	5.850	×	3.000	=	17.550	17.550	屋外倉庫
計						17.55	
J	5.850	×	3.000	=	17.550	17.550	ブロワ室
K	5.850	×	0.300	=	1.755	1.755	
計						19.31	
合計						4197.23	

全体建築面積　4197.23㎡　　建蔽率　38.04%

※敷地面積：11032.42㎡

1階床面積							
記号	計算式				面積(㎡)	計（㎡）	備考
a	2.820	×	3.580	=	10.096	4181.204	
b1	7.730	×	6.360	=	49.163		
b2	7.830	×	3.000	=	23.490		
c	99.650	×	17.300	=	1723.945		
d	99.330	×	6.360	=	631.739		
e	99.650	×	15.020	=	1496.743		
f	99.205	×	2.480	=	246.028		
合計						4181.20	
2階床面積							
記号	計算式				面積(㎡)	計（㎡）	備考
g1	2.280	×	0.520	=	1.186	1127.418	
g2	2.380	×	3.000	=	7.140		
h	4.120	×	5.960	=	24.555		
i	7.900	×	9.360	=	73.944		
j	14.810	×	13.035	=	193.048		
k	8.835	×	11.495	=	101.558		
l	5.180	×	2.905	=	15.048		
m	12.140	×	10.380	=	126.013		
n	40.085	×	13.035	=	522.508		
o	26.910	×	1.085	=	29.197		
p	2.495	×	13.315	=	33.221		
合計						1127.42	
塔屋面積							
q	1.855	×	4.855	=	8.320	8.320	
合計						8.32	
延床面積						5316.94	

記号	計算式				面積(㎡)	計（㎡）	備考
F	5.000	×	3.000	=	15.000	15.000	受水槽ポンプ室
計						15.00	
G	5.238	×	2.202	=	11.534	26.503	自転車置場
H	6.798	×	2.202	=	14.969		
計						26.50	
I	5.850	×	3.000	=	17.550	17.550	屋外倉庫
計						17.55	
J	5.850	×	3.000	=	17.550	17.550	ブロワ室
計						17.55	
合計						76.60	

全体延べ床面積　5393.54㎡

全体		5393.54	㎡
ELV	-	11.22	㎡
自転車置場	-	26.50	㎡
容積対象		5355.82	㎡

容積対象床面積　5355.82㎡　　容積率　48.55%

※敷地面積：11032.42㎡

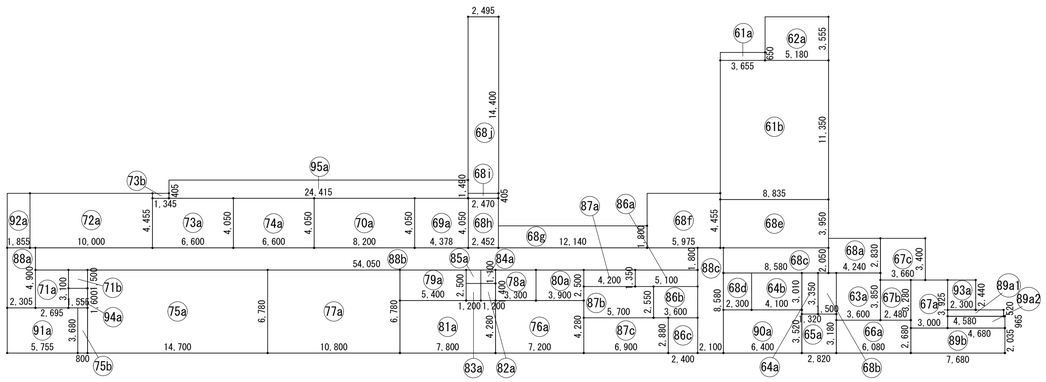
訂正	2023.11.08 床面積変更

株式会社 池田建築設計事務所
idea-image-inspiration

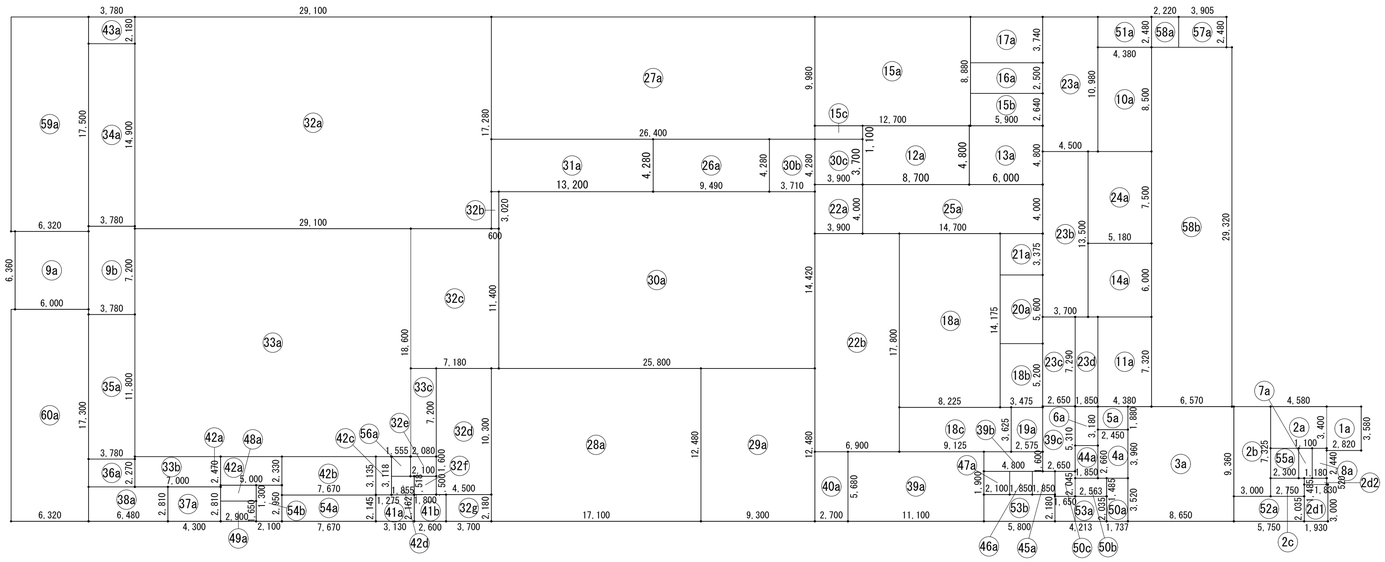
設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	
設計者		作図者	宇佐美　光里

工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	建物面積求積図	縮尺 A1 1/400 A3 1/800	図面番号 A-009

塔屋室面積図　S=1:250



2階室面積図　S=1:250



1階室面積図　S=1:250

記号	X	Y	S	室面積（㎡）	室名
61a	3.655	0.650	2.376	102.653	研修ホール
61b	8.835	11.350	100.277		
62a	5.180	3.555	18.415	18.415	研修室倉庫
63a	3.600	3.850	13.860	13.860	来客用トイレ（男）
64a	1.320	3.350	4.422	16.763	来客用トイレ（女）
64b	4.100	3.010	12.341		
65a	2.820	3.180	8.968	8.968	バリアフリートイレ
66a	6.080	2.680	16.294	16.294	書庫
67a	3.000	3.925	11.775	32.353	2階ホール
67b	2.480	3.280	8.134		
67c	3.660	3.400	12.444		
68a	4.240	2.830	11.999	171.764	見学通路
68b	1.500	3.350	5.025		
68c	8.580	2.050	17.589		
68d	2.300	3.010	6.923		
68e	8.835	3.950	34.898		
68f	5.975	4.455	26.619		
68g	12.140	1.800	21.852		
68h	2.452	4.050	9.931		
68i	2.470	0.405	1.000		
68j	2.495	14.400	35.928		
69a	4.378	4.050	17.731	17.731	打合せ室
70a	8.200	4.050	33.210	33.210	倉庫1
71a	2.695	3.100	8.355	10.688	倉庫2
71b	1.555	1.500	2.333		
72a	10.000	4.455	44.550	44.550	洗濯室
73a	6.600	4.050	26.730	27.275	リネン庫（汚染）
73b	1.345	0.405	0.545		
74a	6.600	4.050	26.730	26.730	リネン庫（非汚染）
75a	14.700	6.780	99.666	102.610	食堂
75b	0.800	3.680	2.944		

記号	X	Y	S	室面積（㎡）	室名
76a	7.200	4.280	30.816	30.816	休憩室（男）
77a	10.800	6.780	73.224	73.224	休憩室（女）
78a	3.300	2.500	8.250	8.250	更衣室前（男）
79a	5.400	2.500	13.500	13.500	更衣室前（女）
80a	3.900	2.500	9.750	9.750	更衣室（男）
81a	7.800	4.280	33.384	33.384	更衣室（女）
82a	1.200	1.400	1.680	1.680	脱衣（男）
83a	1.200	1.400	1.680	1.680	脱衣（女）
84a	1.200	1.100	1.320	1.320	SW(男)
85a	1.200	1.100	1.320	1.320	SW(女)
86a	5.100	1.350	6.885	22.977	調理員用トイレ（男）
86b	3.600	2.550	9.180		
86c	2.400	2.880	6.912		
87a	4.200	1.350	5.670	40.077	調理員用トイレ（女）
87b	5.700	2.550	14.535		
87c	6.900	2.880	19.872		
88a	2.305	4.900	11.295	126.603	従業員通路
88b	54.050	1.800	97.290		
88c	2.100	8.580	18.018		
89a1	4.580	0.520	2.382	22.527	階段1
89a2	4.680	0.965	4.516		
89b	7.680	2.035	15.629		
90a	6.400	3.520	22.528	22.528	階段2
91a	5.755	3.680	21.178	21.178	階段3
92a	1.855	4.455	8.264	8.264	メンテナンス階段
93a	2.300	2.440	5.612	5.612	ELV
94a	1.555	1.600	2.488	2.488	SFELV

記号	X	Y	S	室面積（㎡）	室名
95a	24.415	1.490	36.378	36.378	DS

記号	X	Y	S	室面積（㎡）	室名
96	1.855	4.485	8.319	8.319	塔屋

記号	X	Y	S	室面積（㎡）	室名
1a	2.820	3.580	10.096	10.096	風除室
2a	4.580	3.400	15.572	48.373	玄関ホール
2b	3.000	7.325	21.975		
2c	2.750	1.485	4.084		
2d1	1.930	3.000	5.790		
2d2	1.830	0.520	0.952		
3a	8.650	9.360	80.964	80.964	事務室
4a	2.450	3.960	9.702	9.702	湯沸コーナー
5a	2.450	1.880	4.606	4.606	更衣室（男）
6a	1.850	3.180	5.883	5.883	更衣室（女）
7a	1.100	2.440	2.684	2.684	職員用トイレ１
8a	1.180	2.440	2.879	2.879	職員用トイレ２
9a	6.000	6.360	38.160	65.376	ボイラー室
9b	3.780	7.200	27.216		
10a	4.380	8.500	37.230	37.230	荷受室1
11a	4.380	7.320	32.062	32.062	荷受室2
12a	8.700	4.800	41.760	41.760	仕分室
13a	6.000	4.800	28.800	28.800	食品庫
14a	5.180	6.000	31.080	31.080	根菜処理室
15a	12.700	8.880	112.776	132.642	肉魚下処理室
15b	5.900	2.640	15.576		
15c	3.900	1.100	4.290		
16a	5.900	2.500	14.750	14.750	魚肉冷蔵庫
17a	5.900	3.740	22.066	22.066	魚肉冷凍庫
18a	8.225	14.175	116.589	167.737	野菜下処理室
18b	3.475	5.200	18.070		
18c	9.125	3.625	33.078		
19a	2.575	3.625	9.334	9.334	果物冷蔵庫
20a	3.475	5.600	19.460	19.460	野菜冷蔵庫
21a	3.475	3.375	11.728	11.728	野菜冷凍庫
22a	3.900	4.000	15.600	138.420	野菜上処理室
22b	6.900	17.800	122.820		
23a	4.500	10.980	49.410	132.221	検収室
23b	3.700	13.500	49.950		
23c	2.650	7.290	19.319		
23d	1.850	7.320	13.542		
24a	5.180	7.500	38.850	38.850	器具洗浄室1
25a	14.700	4.000	58.800	58.800	器具洗浄室2
26a	9.490	4.280	40.617	40.617	器具洗浄室3
27a	26.400	9.980	263.472	263.472	揚物・焼物・蒸し物調理室
28a	17.100	12.480	213.408	213.408	和え物室
29a	9.300	12.480	116.064	116.064	ボイル室
30a	25.800	14.420	372.036	402.345	煮炊き調理室
30b	3.710	4.280	15.879		
30c	3.900	3.700	14.430		
31a	13.200	4.280	56.496	56.496	アレルギー食調理室
32a	29.100	17.280	502.848	646.988	コンテナ室
32b	0.600	3.020	1.812		
32c	7.180	11.400	81.852		
32d	4.500	10.300	46.350		

記号	X	Y	S	室面積（㎡）	室名
32e	2.100	1.600	3.360	451.138	洗浄室
32f	1.800	1.500	2.700		
32g	3.700	2.180	8.066		
33a	22.520	18.600	418.872		
33b	7.000	2.470	17.290		
33c	2.080	7.200	14.976		
34a	3.780	14.900	56.322	56.322	配送風除室
35a	3.780	11.800	44.604	44.604	回収風除室
36a	3.780	2.270	8.581	8.581	特別洗浄室
37a	4.300	2.810	12.083	12.083	備品洗剤庫
38a	6.480	2.810	18.209	18.209	残渣廃油庫
39a	11.100	5.680	63.048	84.800	前室1-1
39b	4.800	1.600	7.680		
39c	2.650	5.310	14.072		
40a	2.700	5.680	15.336	15.336	前室1-2
41a	3.130	2.162	6.767	12.435	前室2-2
41b	2.600	2.180	5.668		
42a	5.000	2.330	11.650	42.486	前室2-1
42b	7.670	3.135	24.045		
42c	1.275	3.118	3.975		
42d	1.855	1.518	2.816		
43a	3.780	2.180	8.240	8.240	前室3
44a	1.850	2.660	4.921	4.921	前室4
45a	1.850	1.900	3.515	3.515	調理員用脱衣トイレ1-1
46a	1.850	1.900	3.515	3.515	調理員用脱衣トイレ1-2
47a	2.100	1.900	3.990	3.990	調理員用脱衣トイレ1-3
48a	2.900	1.300	3.770	3.770	調理員用脱衣トイレ2-1
49a	2.900	1.650	4.785	4.785	調理員用脱衣トイレ2-2
50a	1.737	3.520	6.114	13.294	備品庫
50b	2.563	1.485	3.806		
50c	1.650	2.045	3.374		
51a	4.380	2.480	10.862	10.862	食油庫
52a	5.750	2.035	11.701	11.701	階段1
53a	4.213	2.035	8.573	21.217	階段2
53b	5.800	2.180	12.644		
54a	7.670	2.145	16.452	22.647	階段3
54b	2.100	2.950	6.195		
55a	2.300	2.440	5.612	5.612	ELV
56a	1.555	1.600	2.488	2.488	SFELV
57a	3.905	2.480	9.684	9.684	廃棄庫

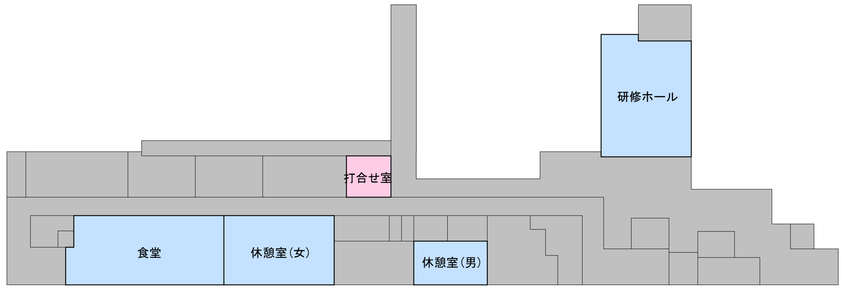
記号	X	Y	S	室面積（㎡）	室名
58a	2.220	2.480	5.506	198.138	庇1
58b	6.570	29.320	192.632		
59a	6.320	17.500	110.600	110.600	庇2
60a	6.320	17.300	109.336	109.336	庇3

訂正	2026.02.16　調理実習室の取り止めに伴う面積修正	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名 室面積図
			設計者		作図者	宇佐美　光里			縮尺 A1 1/250 A3 1/500 / 図面番号 A-010

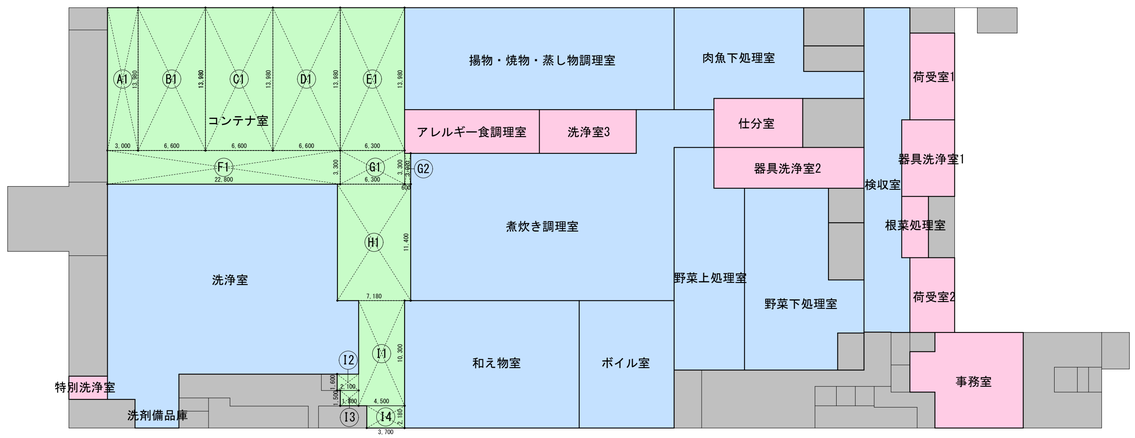
■採光・換気・排煙チェック表

階	部屋名	室面積（㎡）	天井高（m）	用途	建具データ 記号	種類	W（m）	H（m）	N	採光チェック W*H*N	補正係数（A）	S（㎡）	有効面積（㎡）	β	必要面積	判定	換気チェック 有効巾割合（T）	W*H*T（S1）（㎡）	S1*N（㎡）	有効面積（㎡）	β	必要面積（㎡）	判定	排煙チェック 有効高（h）	有効巾（w）	w*h（S2）（㎡）	S2*N（㎡）	有効面積（㎡）	β	必要面積（㎡）	判定	部屋名		法35条の3 施行令第111条 採光無窓居室
1	事務室 湯沸コーナー	90.66	2.70	居室	AW-2	引違窓	1.79	1.01	3	5.42	3.00	16.26	27.120	1/20	4.53	OK	機械換気設備							建設省告示1436号三号へ(5)								事務室 湯沸コーナー	1	
					AW-3	引違窓	1.79	1.01	2	3.62	3.00	10.86																						
	荷受室1	37.23	2.70	居室						非常用照明							機械換気設備							建設省告示1436号三号へ(5)								荷受室1		告示249号第1項ロ
	荷受室2	32.06	2.70	居室						非常用照明							機械換気設備							建設省告示1436号三号へ(5)								荷受室2		告示249号第1項ロ
	仕分室	41.76	2.70	居室						非常用照明							機械換気設備							建設省告示1436号三号へ(5)								仕分室		告示249号第1項ロ
	根菜処理室	31.08	2.70	居室						非常用照明							機械換気設備							建設省告示1436号三号へ(5)								根菜処理室		告示249号第1項ロ
	肉魚下処理室	132.64	3.00	居室	AW-5	外倒窓	1.40	0.71	4	3.98	3.00	11.94	11.940	1/20	6.63	OK	機械換気設備							0.63	1.31	0.83	3.32	3.320	1/50	2.65	OK	肉魚下処理室		
	野菜下処理室	167.74	2.70	居室	AW-9	外倒窓	1.27	0.88	4	4.47	3.00	13.41	13.410	1/20	8.39	OK	機械換気設備							0.80	1.18	0.94	3.76	3.760	1/50	3.35	OK	野菜下処理室		
	野菜上処理室	138.42	2.70	居室	AW-9	外倒窓	1.27	0.88	4	4.47	3.00	13.41	13.410	1/20	6.92	OK	機械換気設備							0.80	1.18	0.94	3.76	3.760	1/50	2.77	OK	野菜上処理室		
	検収室	132.22	2.70	居室	AW-10	外倒窓	0.91	0.73	2	1.33	3.00	3.99	10.200	1/20	6.61	OK	機械換気設備							0.65	0.82	0.53	1.06	2.780	1/50	2.64	OK	検収室		
					AW-11	外倒窓	1.42	0.73	2	2.07	3.00	6.21												0.65	1.33	0.86	1.72							
	器具洗浄室1	38.85	2.70	居室						非常用照明							機械換気設備							建設省告示1436号三号へ(5)								器具洗浄室1		告示249号第1項ロ
	器具洗浄室2	58.80	2.70	居室						非常用照明							機械換気設備							建設省告示1436号三号へ(5)								器具洗浄室2		不燃区画
	器具洗浄室3	40.62	2.50	居室						非常用照明							機械換気設備							建設省告示1436号三号へ(5)								器具洗浄室3		告示249号第1項ロ
	揚物・焼物・蒸し物調理室	263.47	3.00	居室	AW-4	外倒窓	1.40	0.71	3	2.98	3.00	8.94	20.880	1/20	13.17	OK	機械換気設備							0.63	1.31	0.83	2.49	5.810	1/50	5.27	OK	揚物・焼物・蒸し物調理室		
					AW-5	外倒窓	1.40	0.71	4	3.98	3.00	11.94												0.63	1.31	0.83	3.32							
	和え物室	213.41	2.70	居室	AW-4	外倒窓	1.40	0.71	6	5.96	3.00	17.88	17.880	1/20	10.67	OK	機械換気設備							0.63	1.31	0.83	4.98	4.980	1/50	4.27	OK	和え物室		
	ボイル室	116.06	2.70	居室	AW-4	外倒窓	1.40	0.71	3	2.98	3.00	8.94	8.940	1/20	5.80	OK	機械換気設備							0.63	1.31	0.83	2.49	2.490	1/50	2.32	OK	ボイル室		
	煮炊き調理室	406.64	6.70	居室	AW-8	外倒窓	1.40	0.88	8	9.86	3.00	29.58	29.580	1/20	20.33	OK	機械換気設備							0.80	1.31	1.05	8.4	8.400	1/50	8.13	OK	煮炊き調理室		
	アレルギー食調理室	56.50	2.50	居室						非常用照明							機械換気設備							建設省告示1436号三号へ(5)								アレルギー食調理室		告示249号第1項ロ
	コンテナ室	646.99	3.30	居室	AW-4	外倒窓	1.40	0.71	3	2.98	3.00	8.94	44.730	1/20	32.35	OK	機械換気設備							0.63	1.31	0.83	2.49	13.580	1/50	12.94	OK	コンテナ室		
					AW-5	外倒窓	1.40	0.71	12	11.93	3.00	35.79												0.63	1.31	0.83	9.96							
					SD-2	両開き戸	2.50	2.95	1															0.45	2.50	1.13	1.13							
	洗浄室	451.14	3.30	居室	TP-1	天窓	2.20	2.00	3	10.20	3.00	39.60	39.600	1/20	23.04	OK	機械換気設備							-	-	-	10.62	10.620	1/50	9.26	OK	洗浄室		
	洗剤備品庫	12.08	3.30	室																												洗剤備品庫		
	特別洗浄室	8.58	2.70	居室						非常用照明							機械換気設備							建設省告示1436号三号へ(5)								特別洗浄室		告示249号第1項イ
2	研修ホール	102.65	2.70	居室	AW-12	引違窓	1.977	1.61	4	12.73	3.00	38.19	38.190	1/20	5.13	OK	0.5	1.59	6.36	6.360	1/20	5.13	OK	0.64	0.988	0.63	2.52	2.520	1/50	2.05	OK	研修ホール	2	
	打合せ室	17.73	2.50	居室						非常用照明							機械換気設備							建設省告示1436号三号へ(5)								打合せ室		告示249号第1項イ
	食堂	102.61	2.70	居室	AW-7	引違窓	1.96	1.61	6	18.93	3.0	56.79	56.790	1/20	5.13	OK	0.5	1.58	9.48	9.480	1/20	5.13	OK	0.64	0.98	0.63	3.78	3.780	1/50	2.05	OK	食堂		
	休憩室（男）	30.82	2.55	居室	AW-6	引違窓	1.96	1.61	2	6.31	3.0	18.93	18.930	1/20	1.54	OK	0.5	1.58	3.16	3.160	1/20	1.54	OK	0.49	0.98	0.48	0.96	0.960	1/50	0.62	OK	休憩室（男）		
	休憩室（女）	73.22	2.55	居室	AW-6	引違窓	1.96	1.61	4	12.62	3.0	37.86	37.860	1/20	3.66	OK	0.5	1.58	6.32	6.320	1/20	3.66	OK	0.49	0.98	0.48	1.92	1.920	1/50	1.46	OK	休憩室（女）		

２階排煙区画図



１階排煙区画図

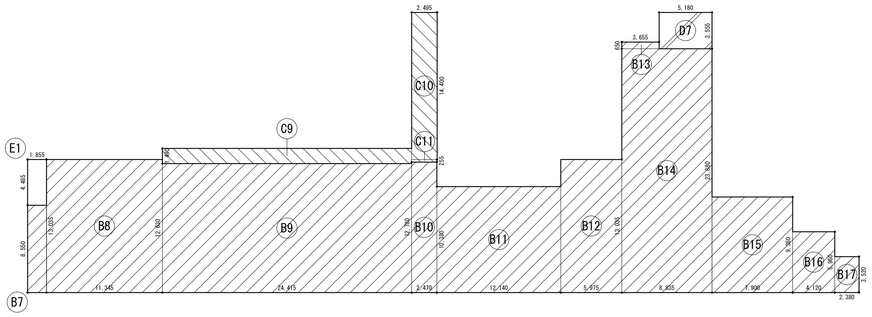


■コンテナ室排煙区画チェック表

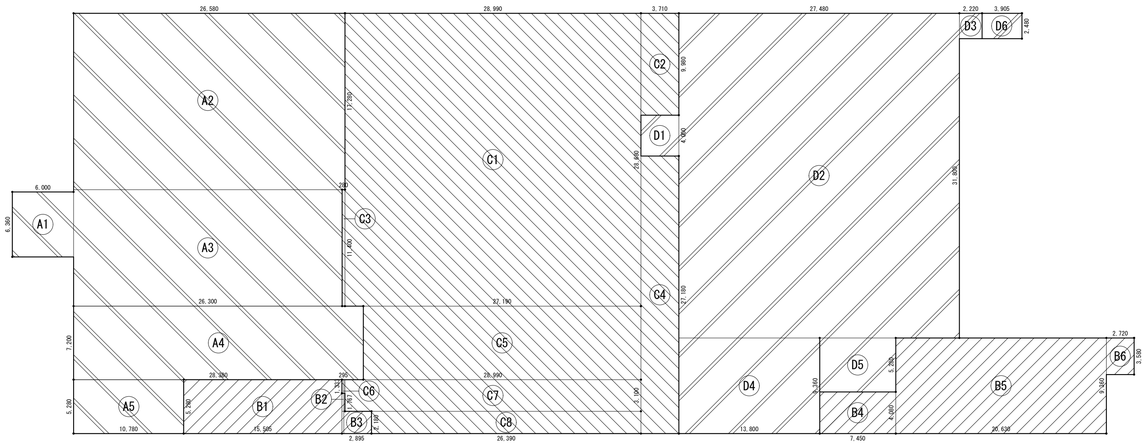
記号	計算式			面積	合計	
A1	3.000	×	13.980	41.940000	41.940	A
B1	6.600	×	13.980	92.268000	92.268	B
C1	6.600	×	13.980	92.268000	92.268	C
D1	6.600	×	13.980	92.268000	92.268	D
E1	6.300	×	13.980	88.074000	88.074	E
F1	22.800	×	3.300	75.240000	75.240	F
G1	6.300	×	3.300	20.790000	22.602	G
G2	0.600	×	3.020	1.812000		
H1	7.180	×	11.400	81.852000	81.852	H
I1	4.500	×	10.300	46.350000	60.476	I
I2	2.100	×	1.600	3.360000		
I3	1.800	×	1.500	2.700000		
I4	3.700	×	2.180	8.066000		

：自然排煙
建設省告示1436号三号へ(5)
：令126条の2より対象除外
（床面積100㎡以内ごとに50cm以上の垂れ壁を設置）
：室（対象外）

訂正	2026.02.16　調理実習室の取り止めに伴い、換気・排煙無窓となってしまう為AW-12のFIX窓2枚を引違窓へ変更	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	法チェック表	縮尺 A1 1/300 A3 1/600	図面番号 A-011
			設計者	渡邉　政之　一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	作図者	宇佐美　光里						



2階区画範囲図



1階区画範囲図

■面積区画表

区画	階	記号	計算式		(m)	面積 (㎡)	合計 (㎡)	判定
A	1	A1	6.000	×	6.360	38.160000		
		A2	26.580	×	17.280	459.302400		
		A3	26.300	×	11.400	299.820000		
		A4	28.380	×	7.200	204.336000		
		A5	10.780	×	5.280	56.918400	1058.54	
			A区画面積合計				1058.54	＜1,500㎡：OK
B	1	B1	15.505	×	5.280	81.866400		
		B2	0.295	×	1.767	0.521265		
		B3	2.895	×	2.180	6.311100	88.70	
		B4	7.450	×	4.080	30.396000		
		B5	20.630	×	9.360	193.096800		
		B6	2.720	×	3.580	9.737600	233.23	
	2	B7	1.855	×	8.550	15.860250		
		B8	11.345	×	13.035	147.882075		
		B9	24.415	×	12.630	308.361450		
		B10	2.470	×	12.780	31.566600		
		B11	12.140	×	10.380	126.013200		
		B12	5.975	×	13.035	77.884125		
		B13	3.655	×	0.650	2.375750		
		B14	8.835	×	23.880	210.979800		
		B15	7.900	×	9.360	73.944000		
		B16	4.120	×	5.960	24.555200		
		B17	2.380	×	3.520	8.377600	1027.80	
			C区画面積合計				1,349.73	＜1,500㎡：OK
C	1	C1	28.990	×	28.680	831.433200		
		C2	3.710	×	9.980	37.025800		
		C3	0.280	×	11.400	3.192000		
		C4	3.710	×	27.180	100.837800		
		C5	27.190	×	7.200	195.768000		
		C6	0.295	×	1.333	0.393235		
		C7	28.990	×	3.100	89.869000		
		C8	26.390	×	2.180	57.530200		
	2	C9	24.415	×	1.490	36.378350		
		C10	2.495	×	14.400	35.568000		
		C11	2.470	×	0.255	0.629850	1388.99	
			D区画面積合計				1,388.99	＜1,500㎡：OK
D	1	D1	3.710	×	4.000	14.840000		
		D2	27.480	×	31.800	873.864000		
		D3	2.220	×	2.480	5.505600		
		D4	13.800	×	9.360	129.168000		
		D5	7.450	×	5.280	39.336000		
		D6	3.905	×	2.480	9.684400		
	2	D7	5.180	×	3.555	18.414900	1090.81	
			E区画面積合計				1,090.81	＜1,500㎡：OK
E	PH	E1	1.855	×	4.485	8.319675		
							8.32	
			F区画面積合計				8.32	＜1,500㎡：OK

訂正	2026.03.11　面積区画修正

株式会社 池田建築設計事務所
idea-image-inspiration

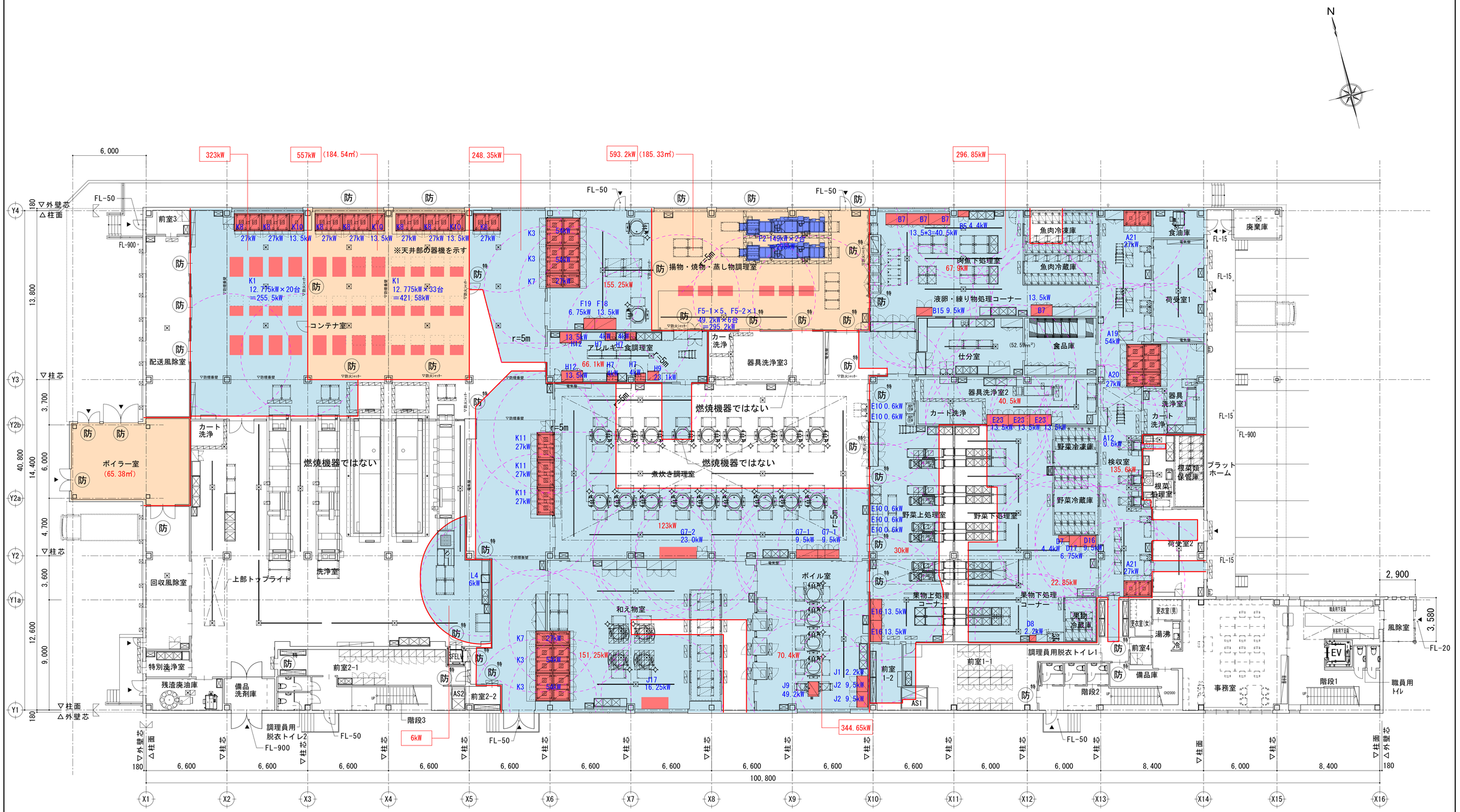
設計者	有馬　慎介	一級建築士 第360847号
設計者	渡邊　政之	一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号

年月日	
作図者	宇佐美　光里

工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事
図面名	法チェック表(面積区画)

縮尺	
A1	1/300
A3	1/600

図面番号 A-012



以下の条件の蒸気を熱源とする設備については熱源の入力値の算定に含まない物とする。

①機器の表面温度が100℃を超えない。

②機器を用いて揚げるなどの調理を行わない。

③裸火を使用しない。

＜収容人員算定表＞

階	従業員	合計
2	114	114
1	114	114
建物全体	114	114

1階及び2階は無窓階とする

― 凡 例 ―

- ：消防区画＜200㎡（入力合計350kW以上）
- ：一体として算定する設備で入力合計350kW未満
- ：電気式設備
- ：ガス式設備
- ：半径5mの円
- 防：防火設備
- 防特：特定防火設備

訂正	
2026.02.16	消防区画出入口を特定防火設備から防火設備へ変更
2026.03.11	ボイラー室消防区画追記

株式会社 池田建築設計事務所
idea-image-inspiration

設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	
設計者		作図者	大川井　寛子

工事名：（仮称）新学校給食センター　建築工事

図面名：法チェック表（消防区画）

縮尺	
A1	1/150
A3	1/300

図面番号：A-013

＜特記事項＞
TP＝FH-0.170

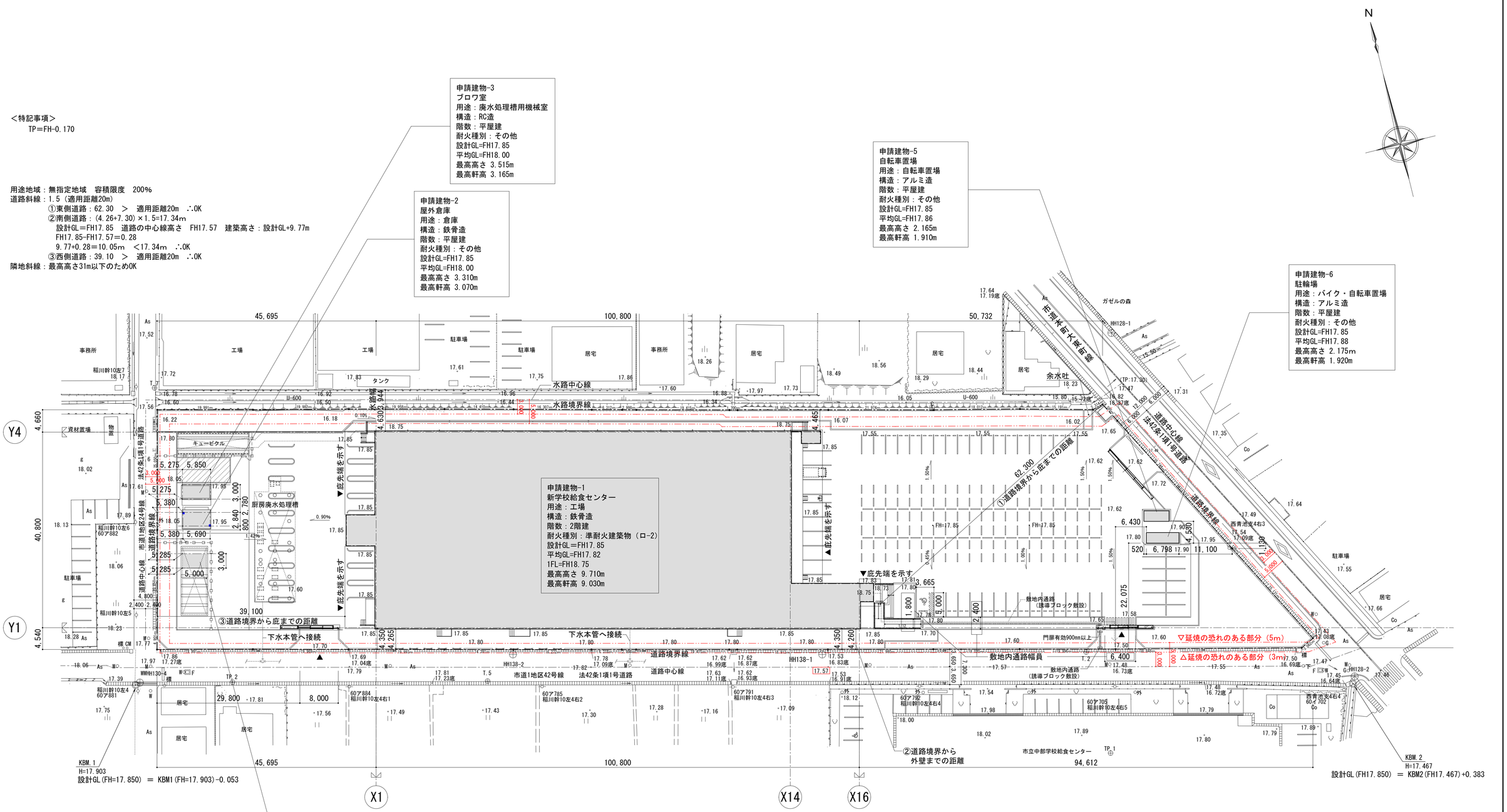
用途地域：無指定地域　容積限度　200%
道路斜線：1.5（適用距離20m）
①東側道路：62.30　＞　適用距離20m　∴OK
②南側道路：(4.26+7.30)×1.5=17.34m
設計GL＝FH17.85　道路の中心線高さ　FH17.57　建築高さ：設計GL+9.77m
FH17.85-FH17.57＝0.28
9.77+0.28＝10.05m　＜17.34m　∴OK
③西側道路：39.10　＞　適用距離20m　∴OK
隣地斜線：最高高さ31m以下のためOK

申請建物-3
ブロワ室
用途：廃水処理槽用機械室
構造：RC造
階数：平屋建
耐火種別：その他
設計GL=FH17.85
平均GL=FH18.00
最高高さ 3.515m
最高軒高 3.165m

申請建物-2
屋外倉庫
用途：倉庫
構造：鉄骨造
階数：平屋建
耐火種別：その他
設計GL=FH17.85
平均GL=FH18.00
最高高さ 3.310m
最高軒高 3.070m

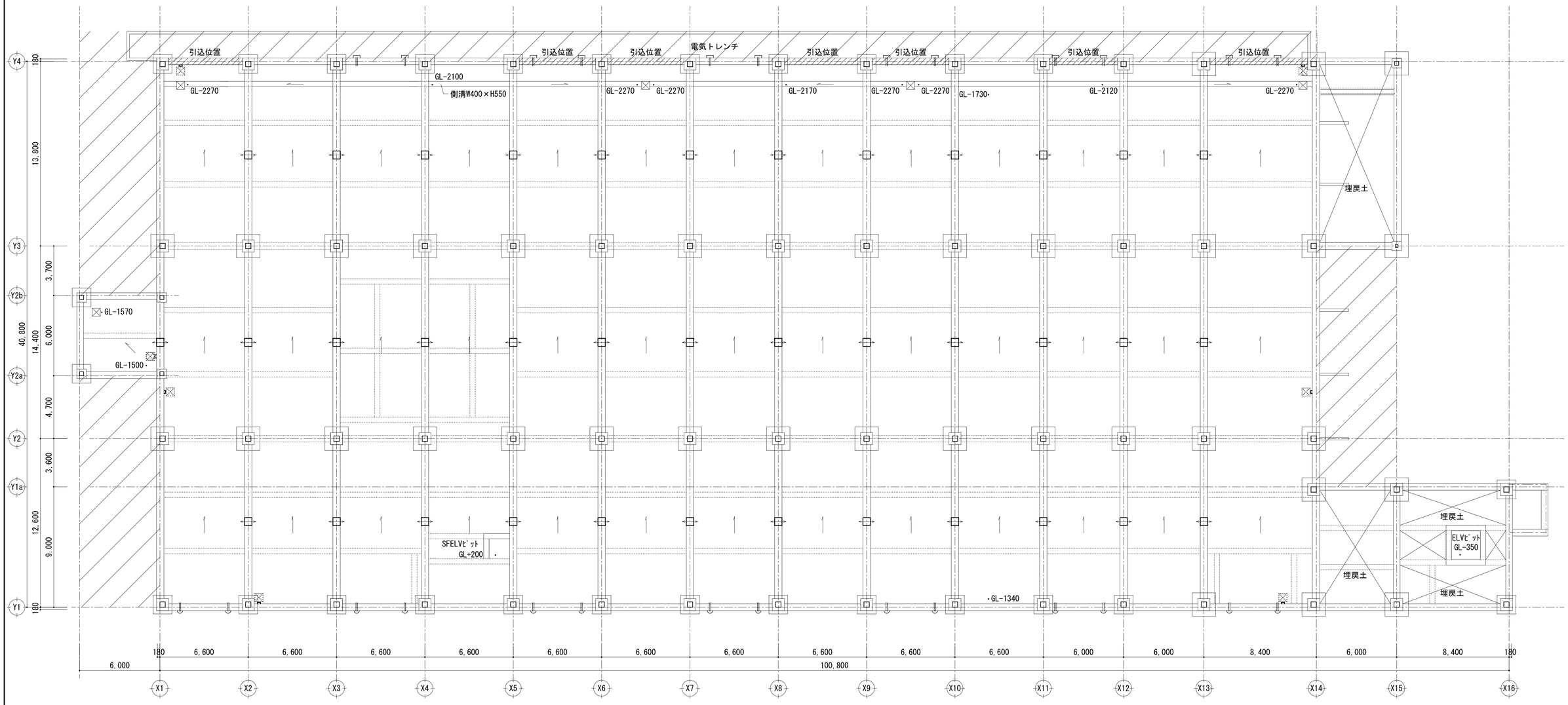
申請建物-5
自転車置場
用途：自転車置場
構造：アルミ造
階数：平屋建
耐火種別：その他
設計GL=FH17.85
平均GL=FH17.86
最高高さ 2.165m
最高軒高 1.910m

申請建物-6
駐輪場
用途：バイク・自転車置場
構造：アルミ造
階数：平屋建
耐火種別：その他
設計GL=FH17.85
平均GL=FH17.88
最高高さ 2.175m
最高軒高 1.920m



申請建物-4
ポンプ室
用途：受水槽ポンプ室
構造：ステンレス造
階数：平屋建
耐火種別：その他
設計GL=FH17.85
平均GL=FH18.00
最高高さ 3.800m
最高軒高 3.800m

訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	配置図	縮尺		図面番号
			設計者		作図者	宮下　都					A1	1/400	A-014
											A3	1/800	



：地盤改良範囲を示す

－ 凡 例 －

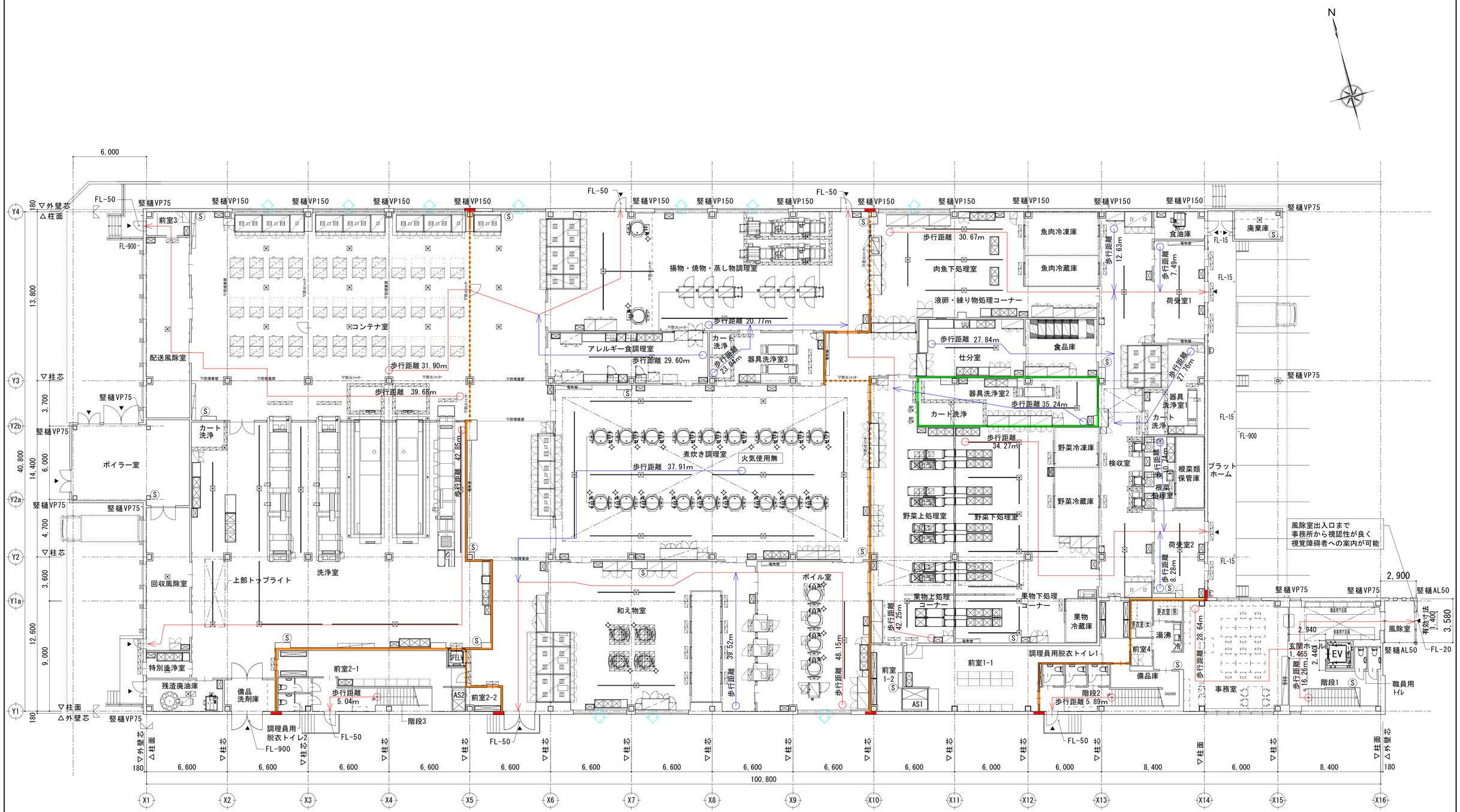
- 人通口Φ600（Y2：下端設計GL-470、その他：下端設計GL-1000）
- 釜場600×600×H750（排水ポンプ5台【設備工事】）
- 床下点検口600角　SUS製、防水、防臭型
- マンホールφ650　防水、防臭型
- SUS製タラップφ22×W400@400（7ヶ所）

※地下ﾋﾟｯﾄ内は北側に向い1%程度、排水溝内1%程度の水勾配を設ける。

- 通気孔100φ（網付きﾍﾞﾝﾄﾞｷｬｯﾌﾟ）
- 通気孔100φ立上げ（網付きｴﾙﾎﾞ）※矩計(1)参照

機械設備配管スリーブ　集計表	電気設備配管スリーブ　集計表
φ125：100ヶ所	φ150：3ヶ所
φ150：65ヶ所	
φ200：25ヶ所	
φ250：45ヶ所	

訂正	2026.02.16　地下ピット塗膜防水の取り止め	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	地下ピット平面図	縮尺 A1 1/150 A3 1/300	図面番号 A-015
			設計者		作図者	大川井寛子						



― 凡 例 ―

- ：面積区画<1,500㎡
- ：面積区画折り返し部（スパンドレル）を示す。L=900
- ：第35条の3不燃区画※間仕切壁を天井裏まで達せしめること。
- ：歩行距離が最も長い経路
- 自然排煙を示す

※厨房機器工事は別途工事

※特記なき限りFL±0

Ⓢ ：消火器

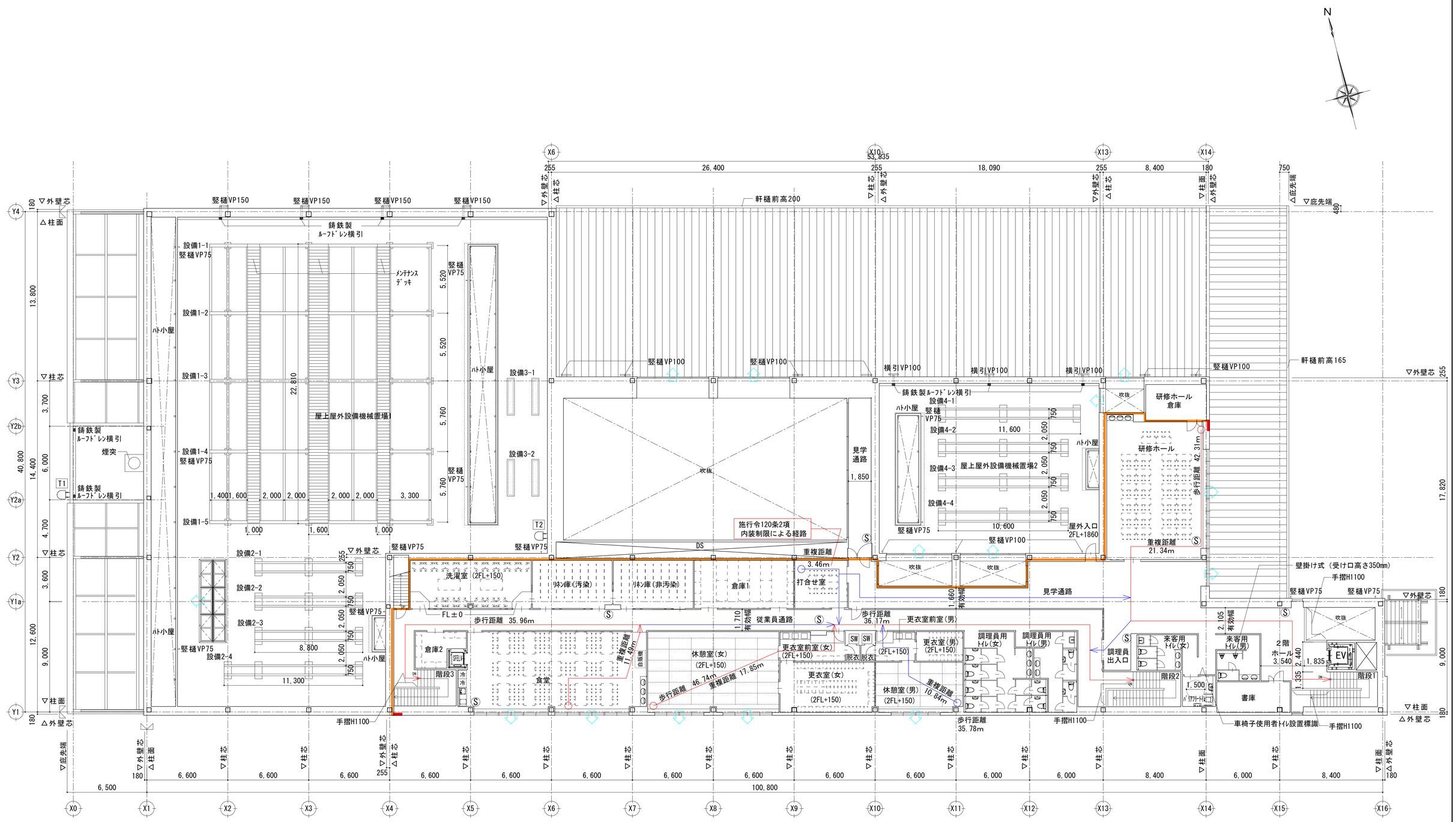
訂正	
2026.03.11	面積区画修正
2026.05.06	コンテナ室：天吊り保管庫台数修正　揚焼室：ｺﾝﾋﾞｵｰﾌﾞﾝ台数変更

株式会社 池田建築設計事務所
idea-image-inspiration

設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	
設計者		作図者	大川井寛子

工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事
図面名	１階平面図

縮尺		図面番号
A1	1/150	A-016
A3	1/300	



－凡例－

- ：面積区画＜1,500㎡
- ：面積区画折り返し部（スパンドレル）を示す。L=900
- ：第35条の3不燃区画※間仕切壁を天井裏まで達せしめること。
- ：歩行距離が最も長い経路
- 自然排煙を示す

設備○-○ ：設備架台基礎を示す

※特記なき限りFL±0

Ⓢ ：消火器

T1 ：タラップ

－階段－

構造：鉄骨造

幅員：1328mm(階段1・2)1378mm(階段3) ≧1200

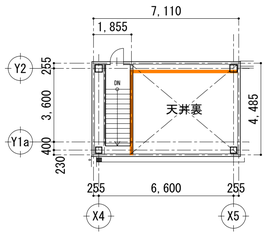
蹴上：4200/25段＝168mm ≦200

踏面：270mm ≧240

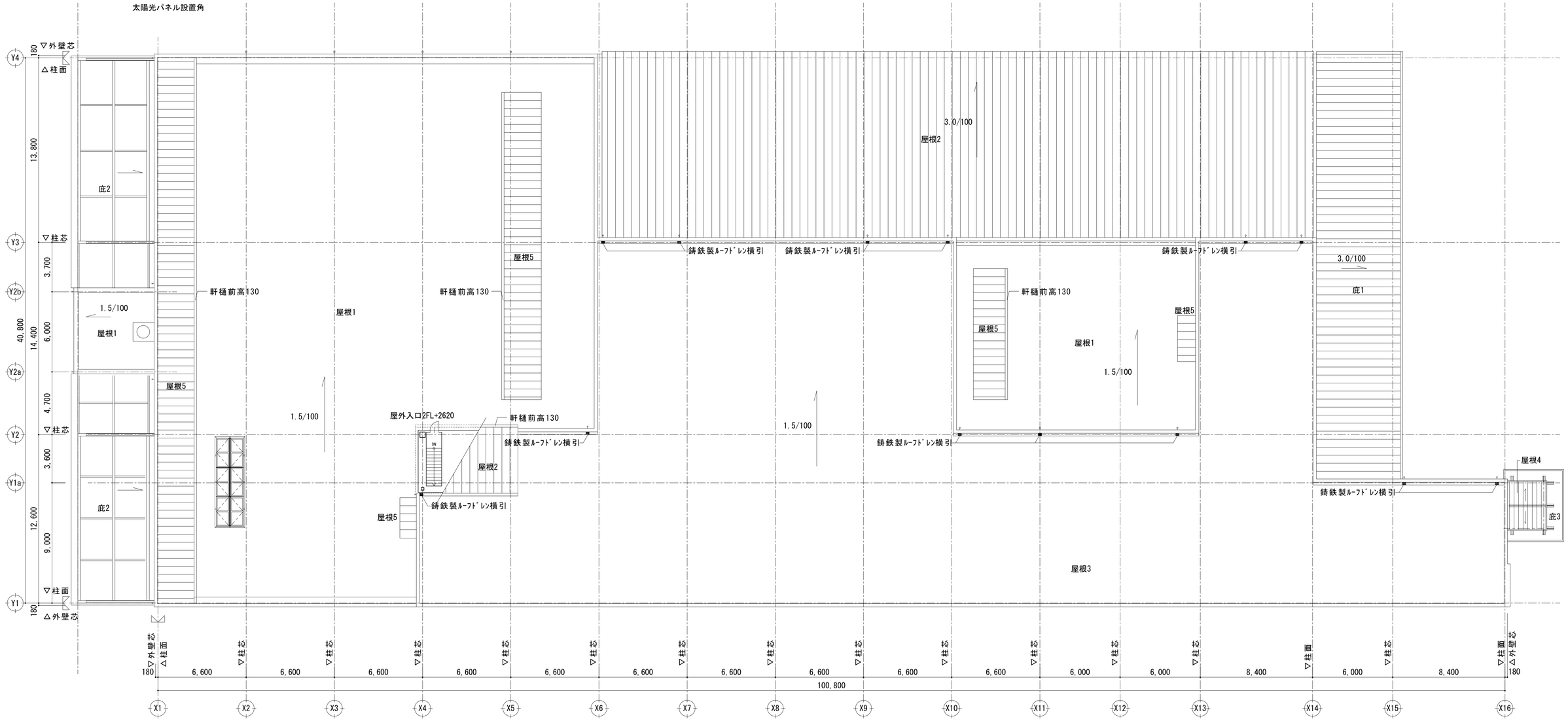
手摺：あり（H=850mm）

訂正			株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター 建築工事	図面名	２階平面図	縮尺		図面番号
	2026.02.16	調理実習室の取り止め		設計者		作図者	大川井寛子					A1	1/150	A-017
	2026.02.16	研修ホールAW-12のFIX窓2枚を引違窓へ変更										A3	1/300	
	2026.03.11	タラップ凡例追加												

太陽光パネル設置角



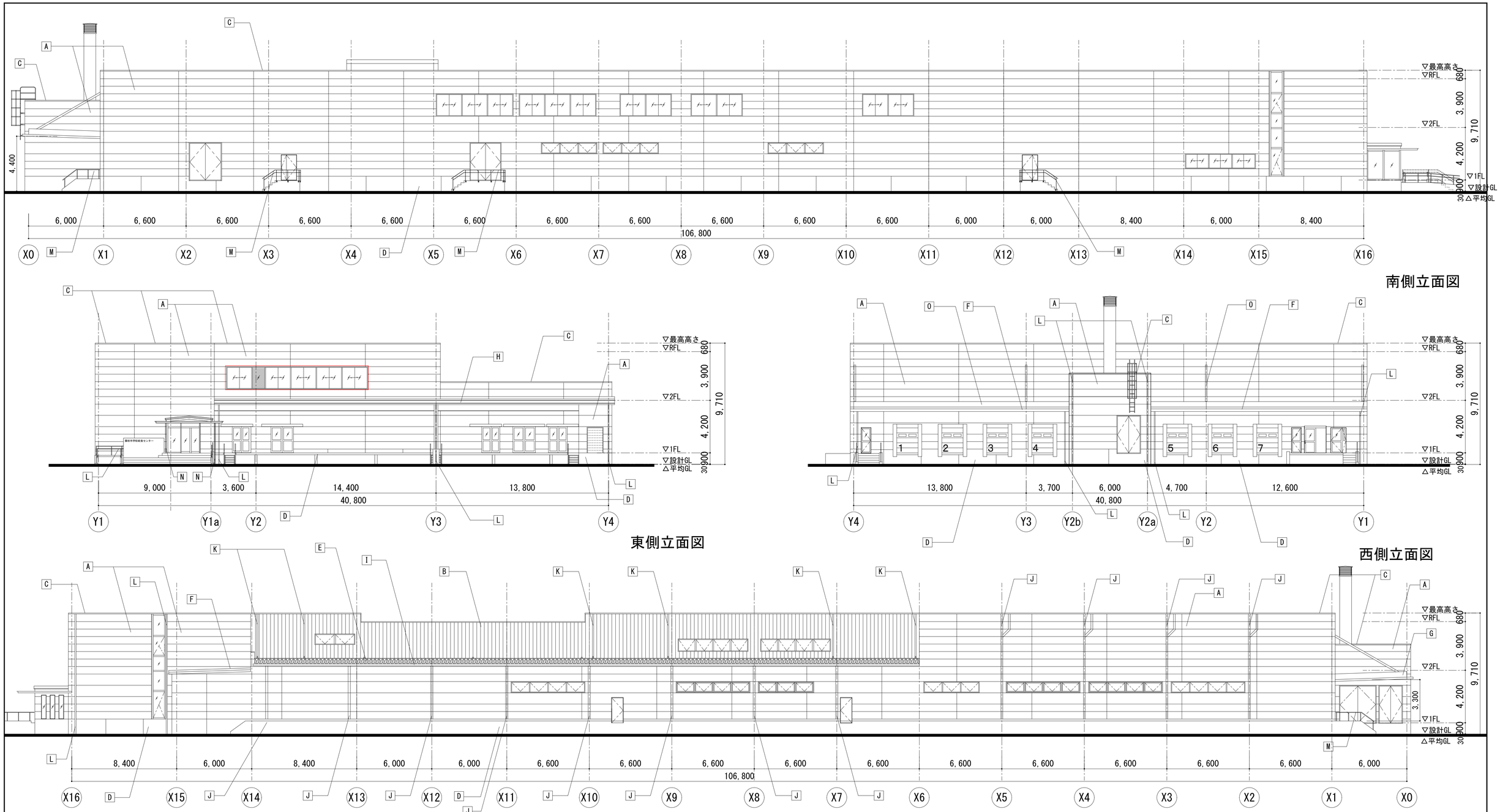
塔屋平面図



― 凡 例 ―

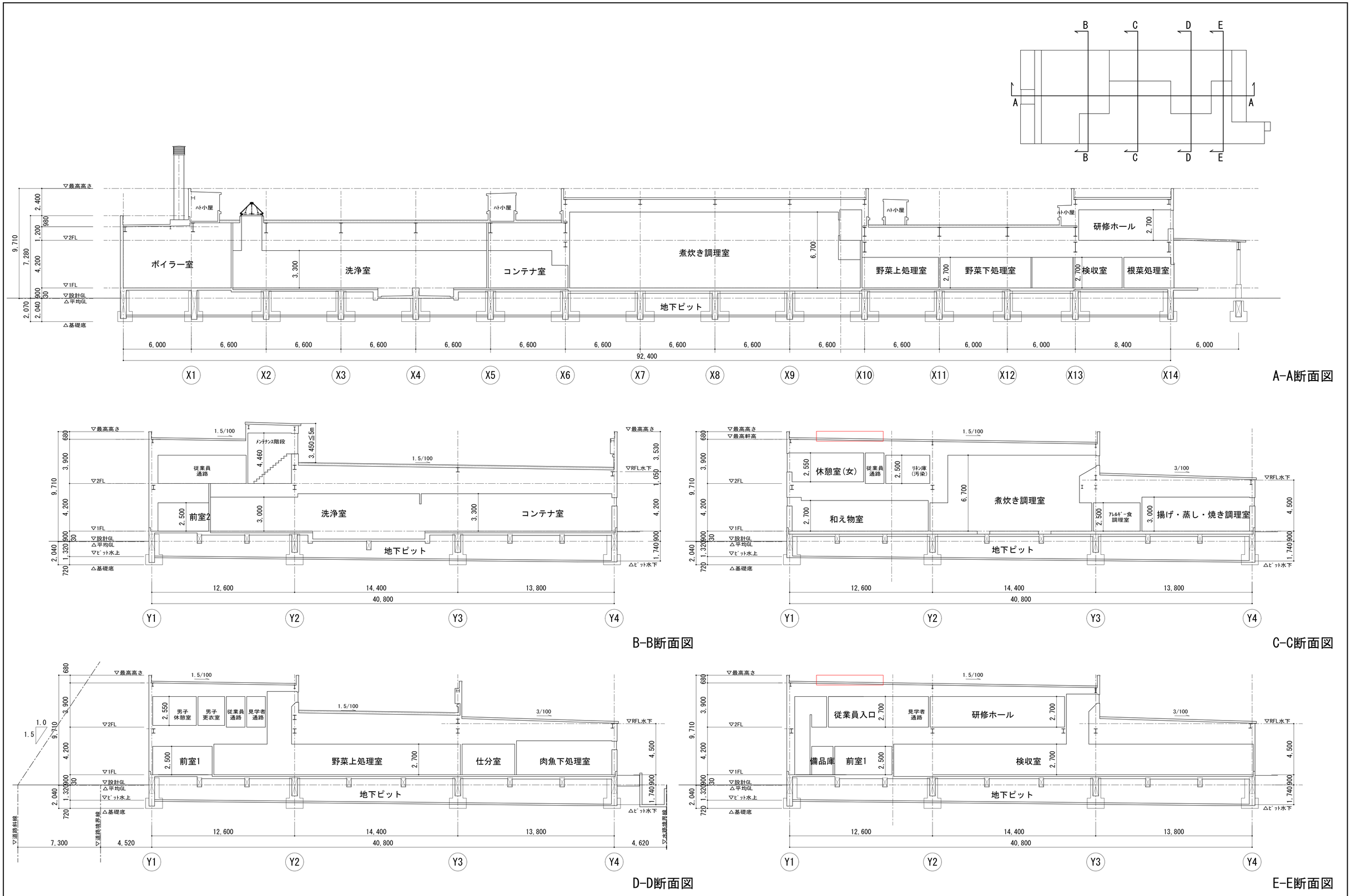
：面積区画＜1,500㎡

訂正	2026.02.16　太陽光発電設備の取り止め	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	屋根伏図	縮尺 A1 1/150 A3 1/300	図面番号 A-018
			設計者		作図者	大川井寛子						



記号	凡例	記号	凡例
A	外壁：金属断熱サンドイッチパネルｔ35	I	軒樋：前高200ワイドタイプ
B	外壁：金属サイディングt15タテ張	J	竪樋：VP150
C	笠木：ｶﾗｰAL笠木（既製品）W250	K	竪樋：VP100
D	巾木：RC打放し補修の上浸透性吸水防止剤（誘発目地@3000　ｼｰﾘﾝｸﾞ共）	L	竪樋：VP75
E	屋根：ハゼ二重折板葺き断熱工法	M	手摺：鋼製手摺H900
F	屋根：カラーガルバリウム鋼板ｔ0.6	N	竪樋：ｱﾙﾐ樋φ50
G	屋根：カラーガルバリウム鋼板ｔ0.8	O	溶融亜鉛メッキ処理
H	幕板：カラーガルバリウム鋼板ｔ0.5曲げ加工		

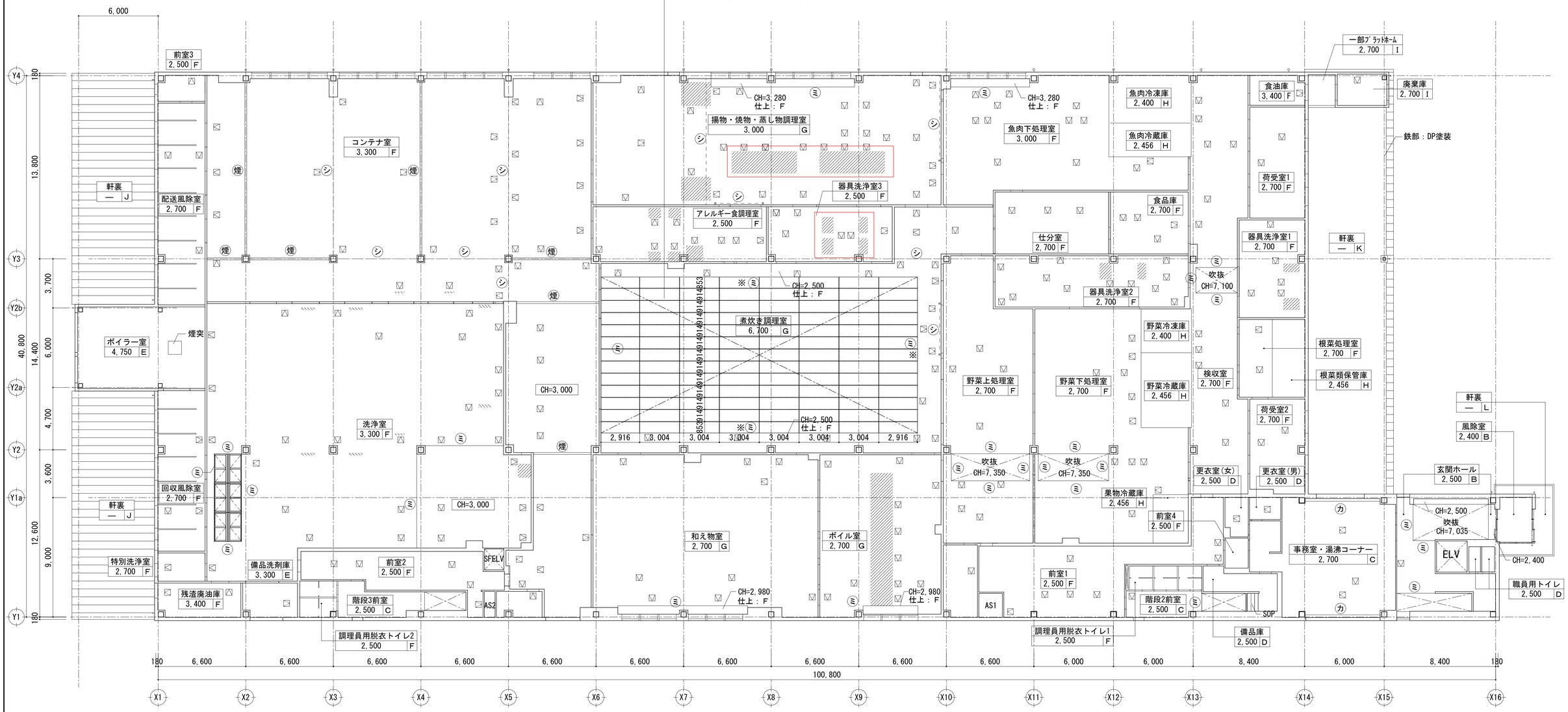
訂正	2023.11.07 プラットフォームサイン取止め 2026.02.16 AW-12のFIX窓2枚を引違窓へ変更	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	立面図	縮尺 A1 1/150 A3 1/300	図面番号 A-019
			設計者		作図者	大川井寛子						



訂正	2026.02.16 太陽光発電設備取り止め	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	工事名	（仮称）新学校給食センター 建築工事	図面名	断面図	縮尺 A1 1/150 A3 1/300	図面番号 A-020
			設計者	作図者 大川井寛子						

天井材重量1.77kg/㎡のため特定天井に該当しない

※下がり壁との取り合い部は縁切りあり



凡例

室名 ※※※ / ※※ ※ 仕上記号 / 天井高さ

：ｱﾙﾐ製天井点検口(450角)　：吹抜　：フード・ダクト

：防火シャッター　：カーテンボックス

：防煙垂れ壁(H500)　：壁見切

仕上記号

A ：DR t9.0(ｶﾗｰ)
B ：DR t9.0(標準)
C ：GB-NC t 9.5(910×910)
D ：GB-D t9.5(910×910)
E ：ｽﾗﾌﾞ現し
F ：FK t6.0 突付＋防菌防ｶﾋﾞ塗装
G ：軽量断熱ﾊﾟﾈﾙ t20
H ：ﾊﾟﾈﾙ顕し t44
I ：FK t6.0 EP-G塗装
J ：ガルバリウム鋼板原板
K ：ｱﾙﾐ製ｴｷｽﾊﾟﾝﾄﾞﾒﾀﾙ 焼付塗装
L ：ﾊﾆｶﾑﾊﾟﾈﾙ

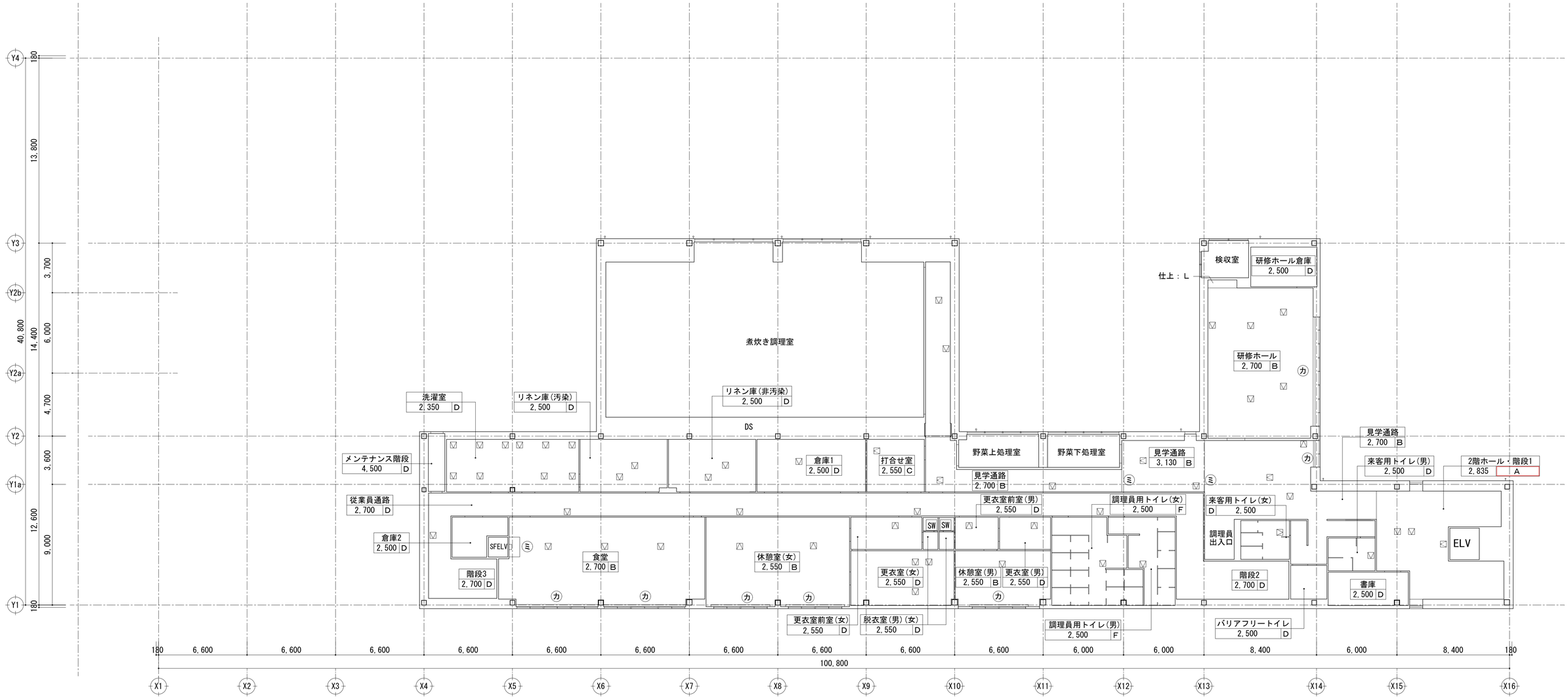
天井開口補強数量

開口補強の種類(空調設備関係)

600×600	：	315ヶ所
1000×1000	：	47ヶ所
1800×700	：	5ヶ所
1200×700	：	26ヶ所

訂正	2023.11.07 魚肉冷凍庫・冷蔵庫 天井高修正 2026.05.06 器具洗浄室3 フード位置・形状変更 揚げ焼蒸調理室：フード位置・形状変更	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	工事名	（仮称）新学校給食センター 建築工事	図面名	1階天井伏図
			設計者		作図者	宮下 都			

縮尺		図面番号
A1	1/150	A-021
A3	1/300	



凡例			
室名 / ※※※ / ※※ ※ / 仕上記号 / 天井高さ	：ｱﾙﾐ製天井点検口(450角)	：吹抜	
	：防火シャッター	：カーテンボックス	
	：防煙垂れ壁(H500)	：壁見切	

仕上記号

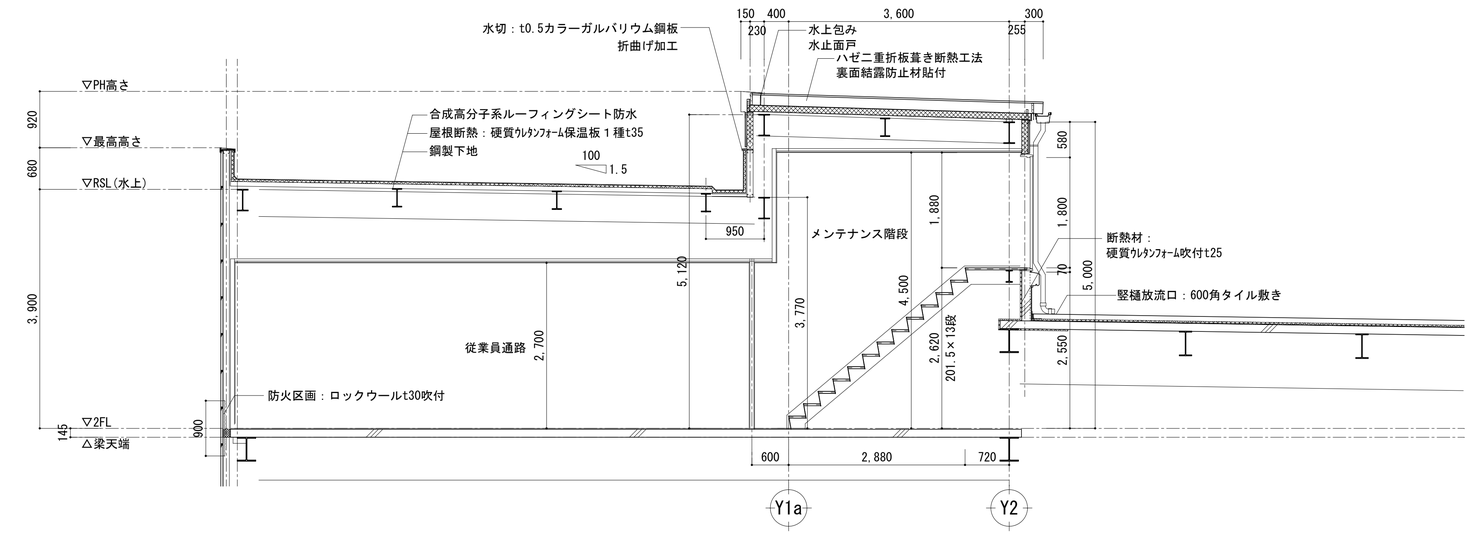
A ：DR t9.0(ｶﾗｰ)	F ：FK t6.0 突付＋防菌防ｶﾋﾞ塗装	M ：ｱﾙﾐ製ｴｷｽﾊﾟﾝﾄﾞﾒﾀﾙ 焼付塗装
B ：DR t9.0(標準)	G ：軽量断熱ﾊﾟﾈﾙ t20	N ：ﾊﾆｶﾑﾊﾟﾈﾙ
C ：GB-NC t9.5(910×910)	H ：ﾊﾟﾈﾙ額し t44	
D ：GB-D t9.5(910×910)	I ：FK t6.0 EP-G塗装	
E ：ｽﾗﾌﾞ現し	J ：ガルバリウム鋼板原板	

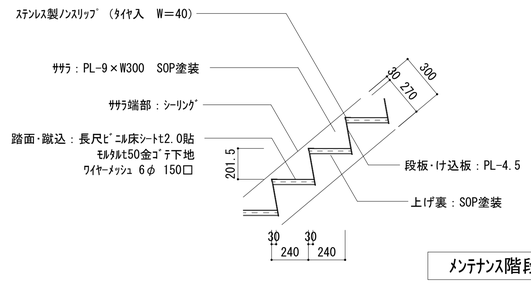
訂正	
2023.11.07	洗濯室・リネン庫　天井高修正（2,380→2,350,2,500）
2026.02.16	調理実習室の取り止め
2026.02.16	2階天井ルーバーの取り止め

株式会社 池田建築設計事務所
idea-image-inspiration

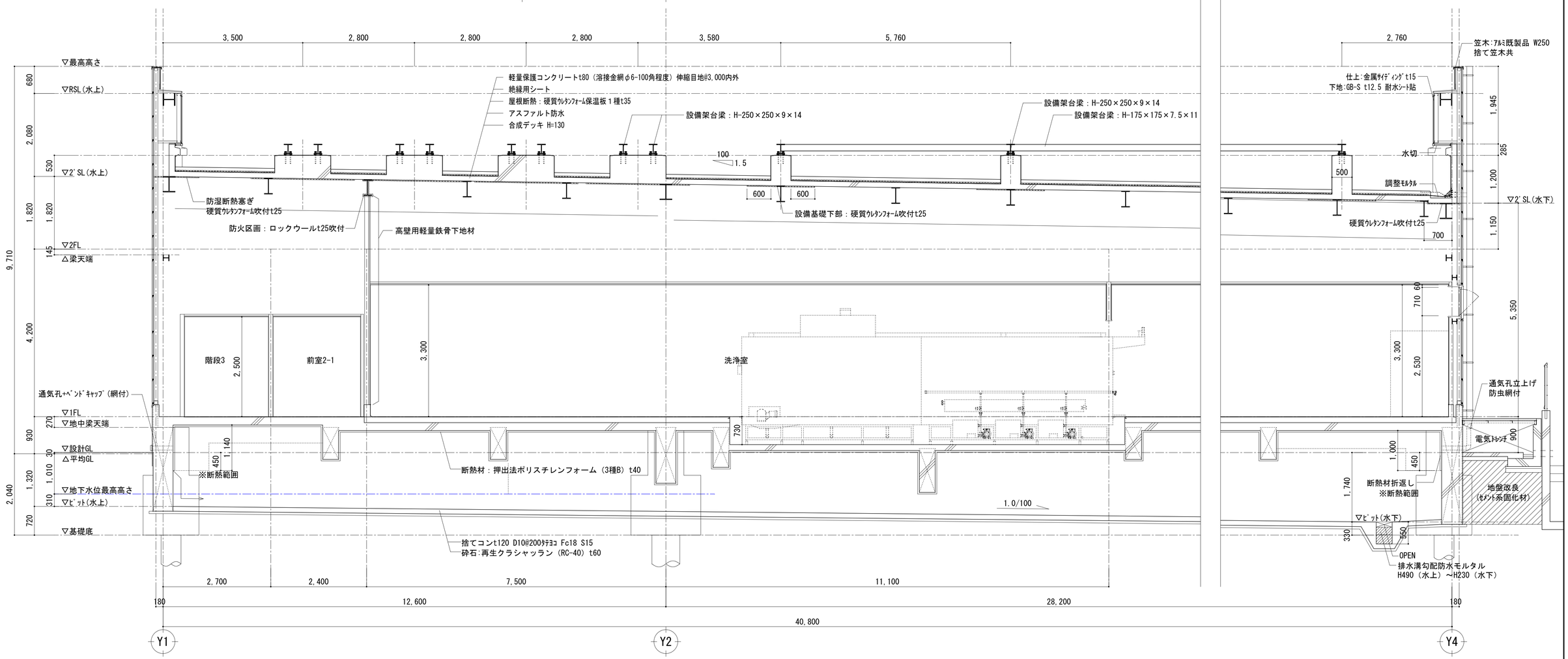
設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	
設計者		作図者	宮下　都

工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	２階天井伏図	縮尺 A1 1/150 A3 1/300	図面番号 A-022



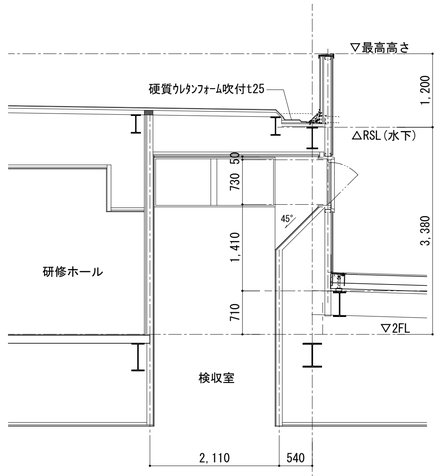


メンテナンス階段部分詳細図　S=1:20

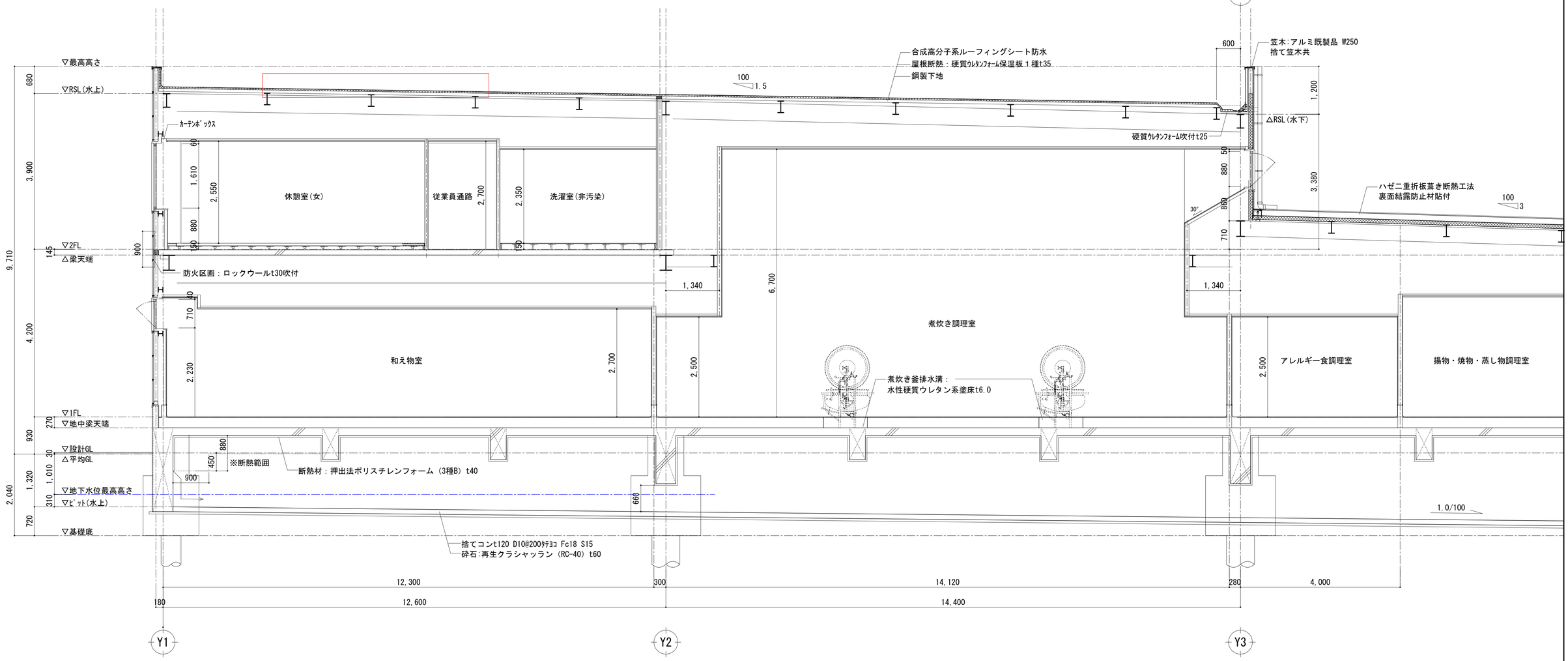


※特記なき限り、外部鉄骨は溶融亜鉛メッキ処理とする。

訂正	2026.02.16　地下ピット塗膜防水の取り止め	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	矩計図(1)	縮尺 A1 1/50 A3 1/100	図面番号 A-023
			設計者		作図者	大川井寛子						



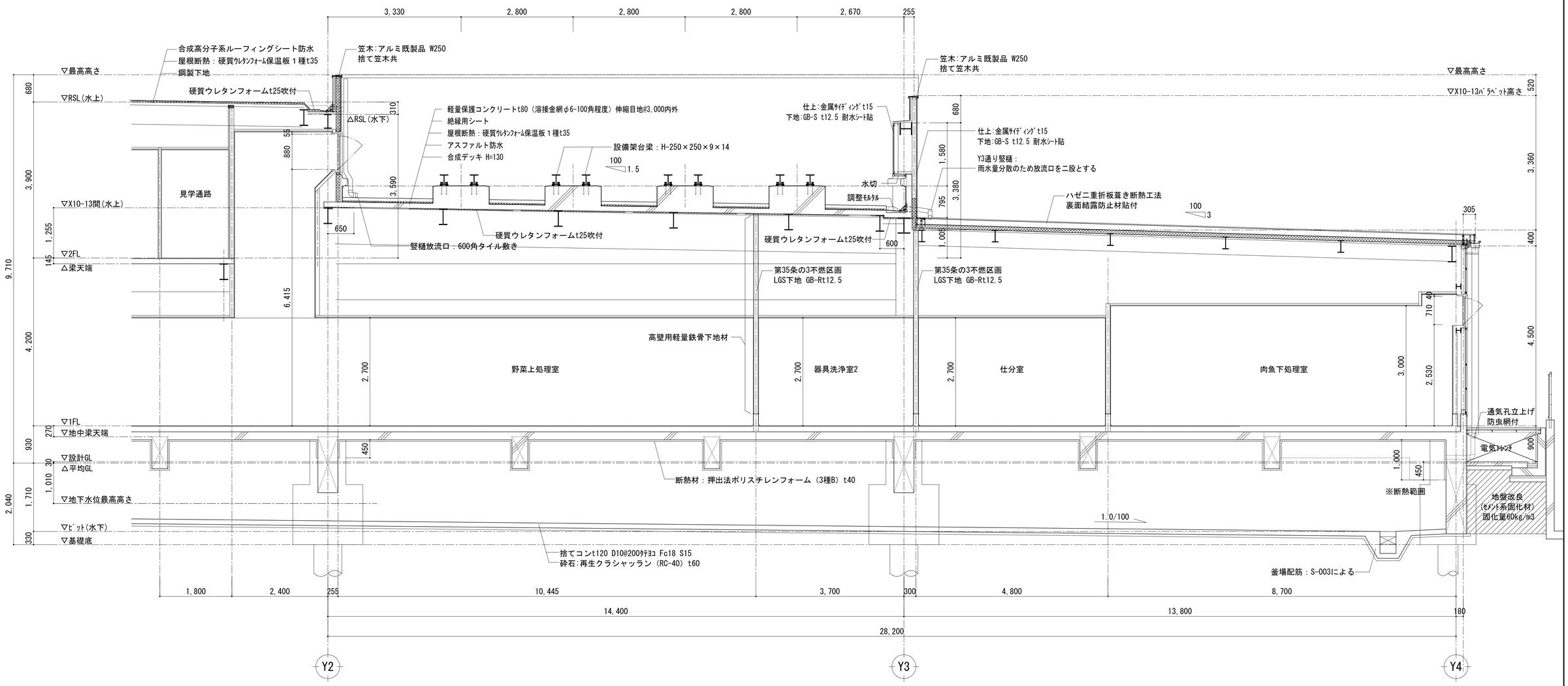
検収室排煙部分



※特記なき限り、外部鉄骨は溶融亜鉛メッキ処理とする。

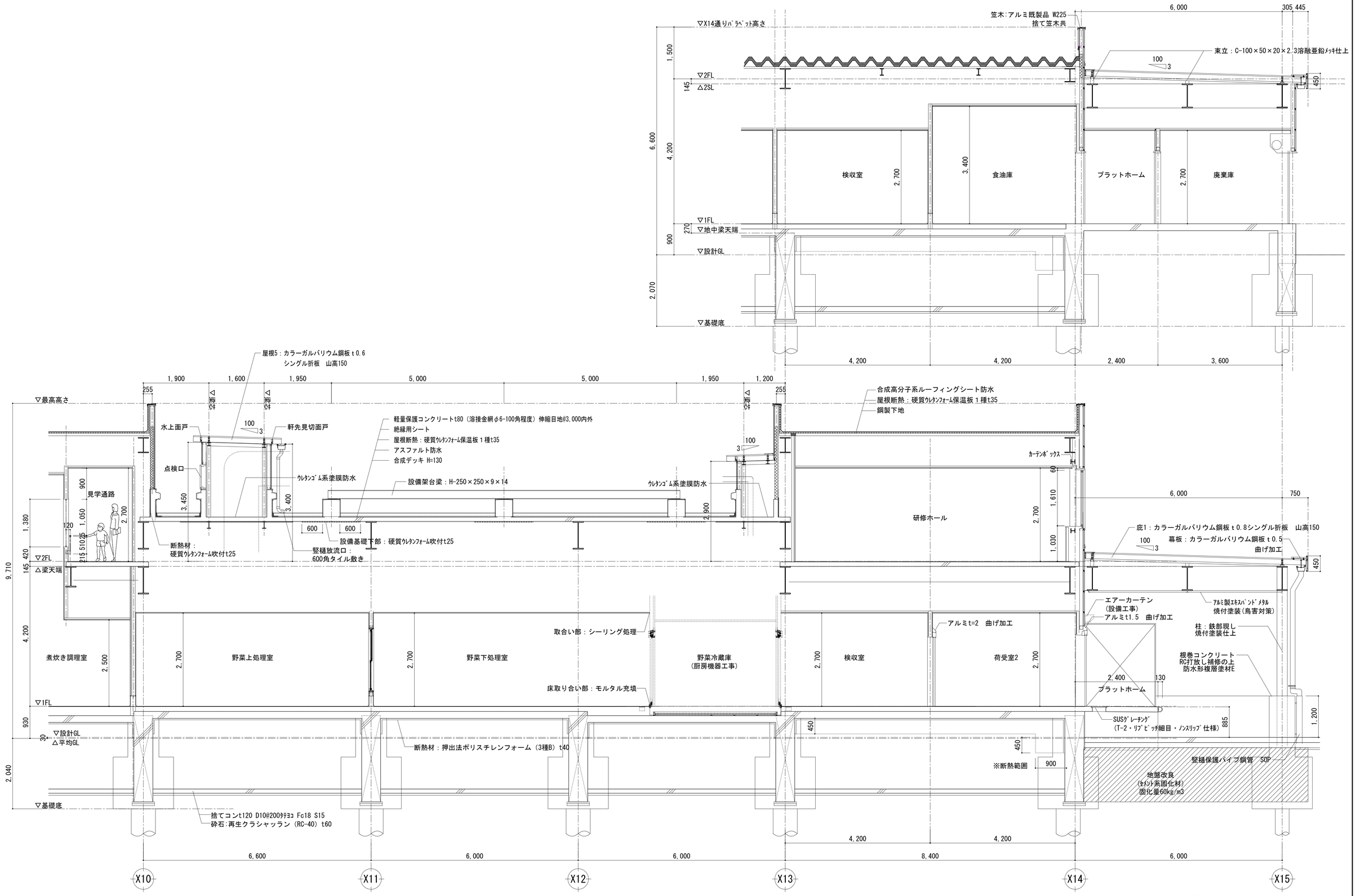
訂正	2026.02.16 太陽光発電設備の取り止め 2026.02.16 地下ピット塗膜防水の取り止め	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター 建築工事	図面名	矩計図(2)
			設計者		作図者	大川井寛子				

縮尺		図面番号
A1	1/50	A-024
A3	1/100	



※特記なき限り、外部鉄骨は溶融亜鉛メッキ処理とする。

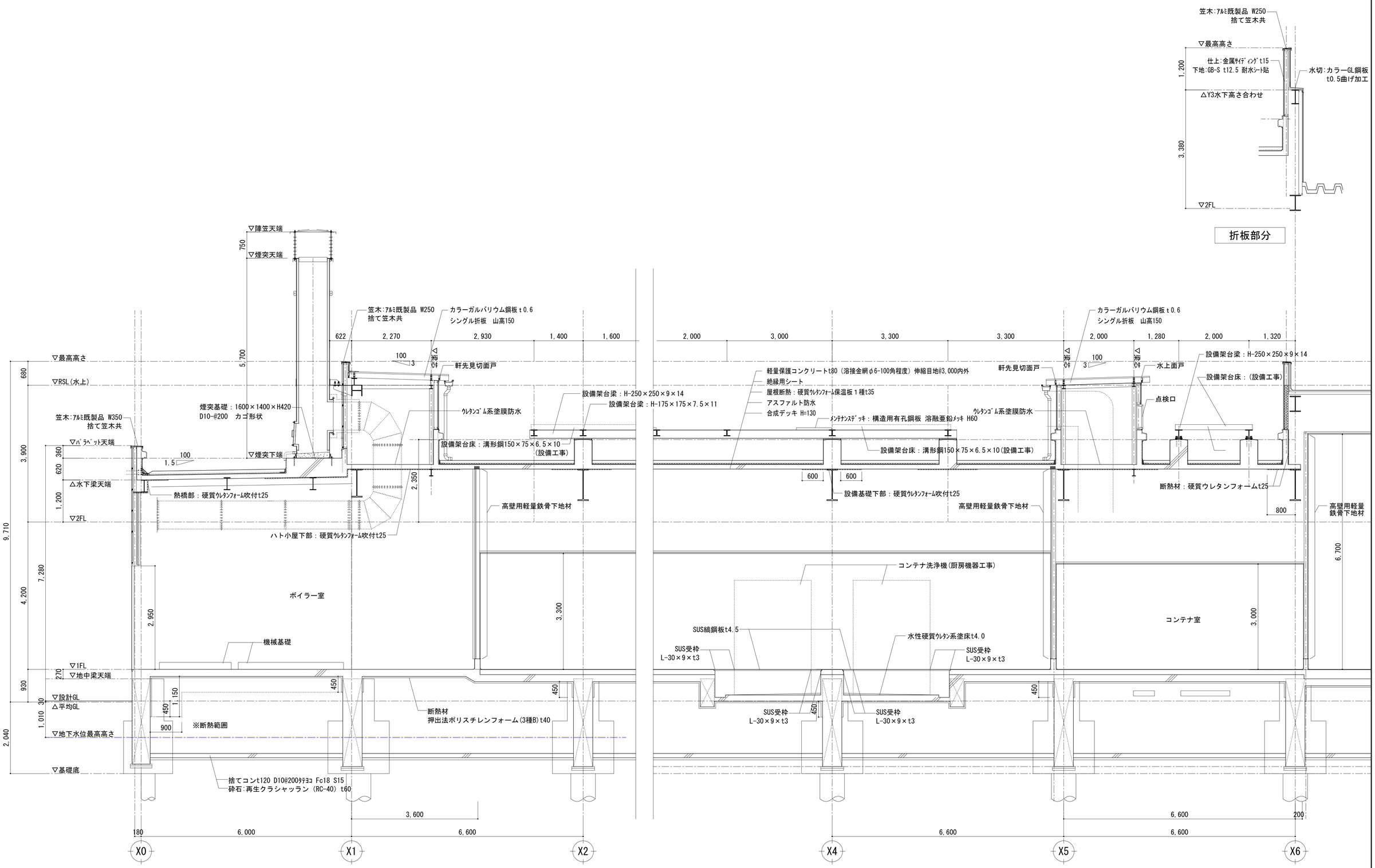
訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	矩計図(3)	縮尺 A1 1/50 A3 1/100	図面番号 A-025
			設計者		作図者	大川井寛子						



※特記なき限り、外部鉄骨は溶融亜鉛メッキ処理とする。

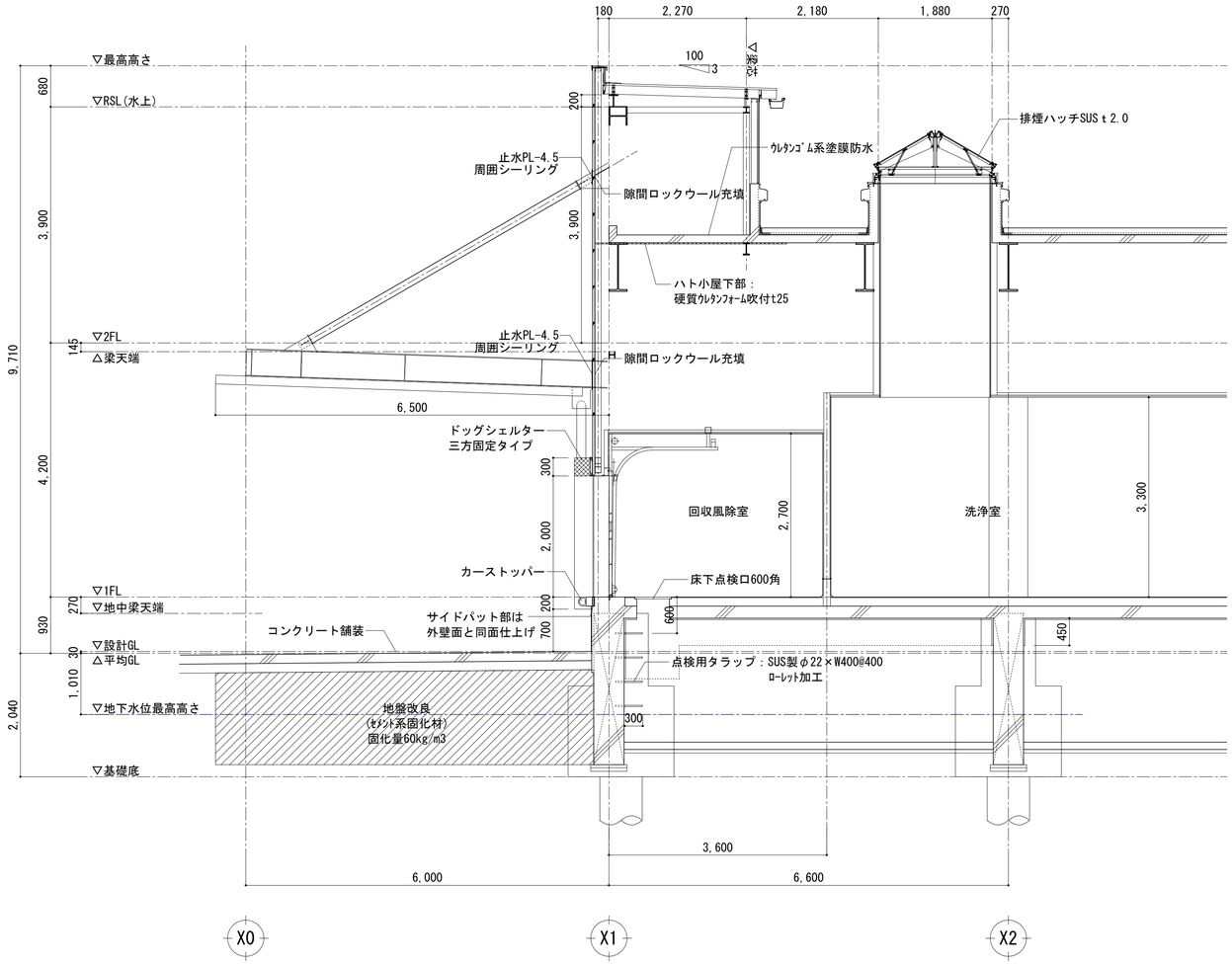
訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	矩計図(4)
			設計者		作図者	大川井寛子			

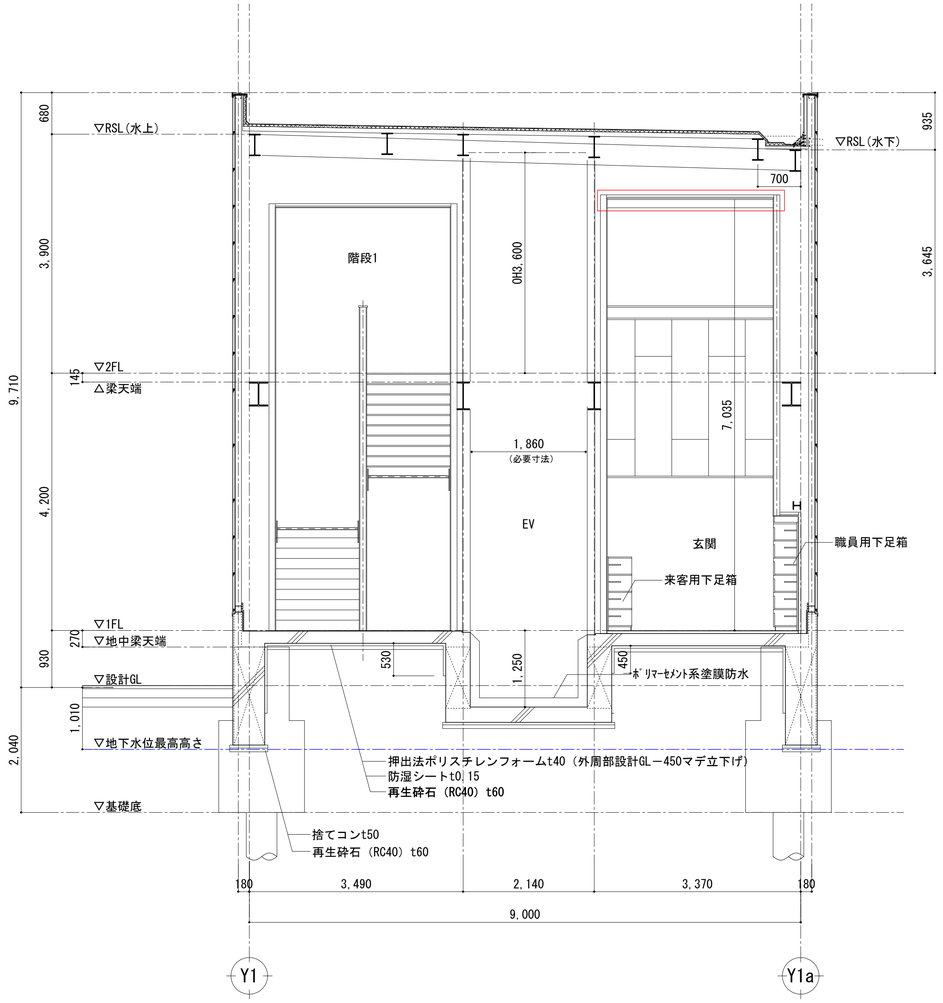
縮尺		図面番号
A1	1/50	A-026
A3	1/100	



※特記なき限り、外部鉄骨は溶融亜鉛メッキ処理とする。

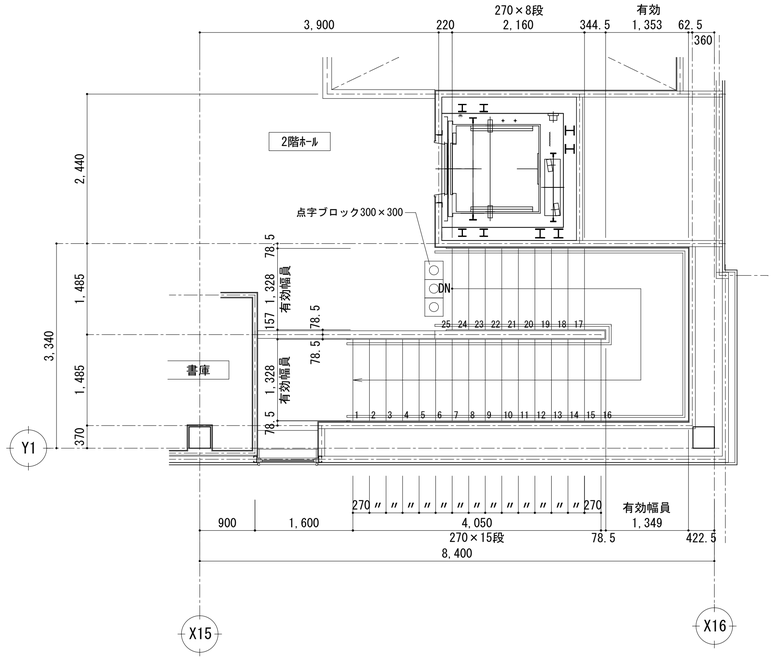
訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	矩計図(5)	縮尺 A1 1/50 A3 1/100	図面番号 A-027
			設計者		作図者	大川井寛子						



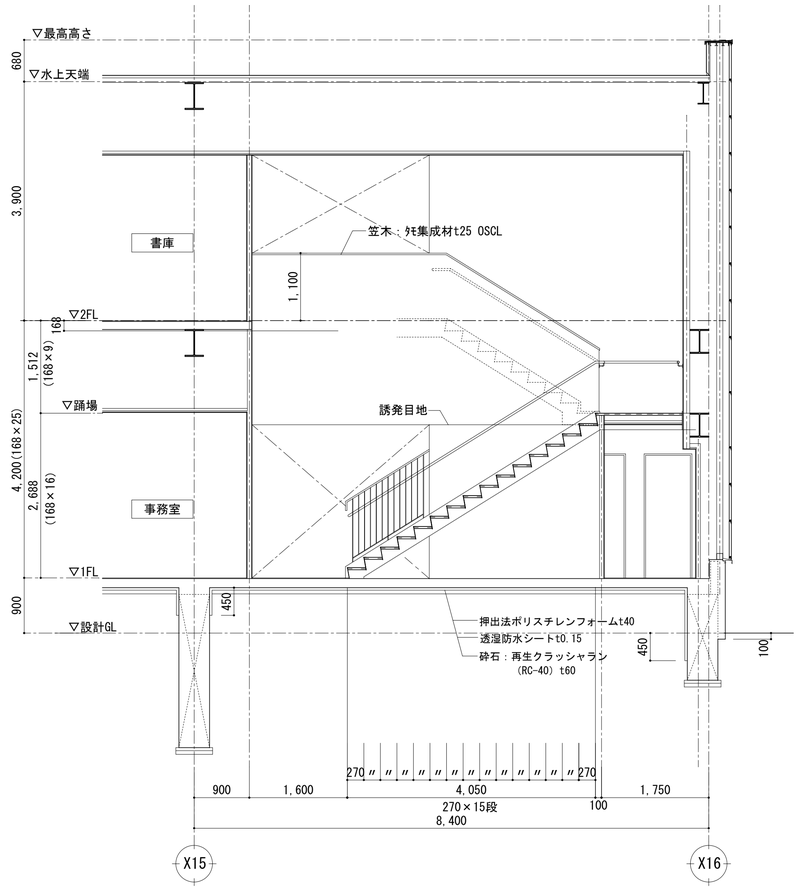


※特記なき限り、外部鉄骨は溶融亜鉛メッキ処理とする。

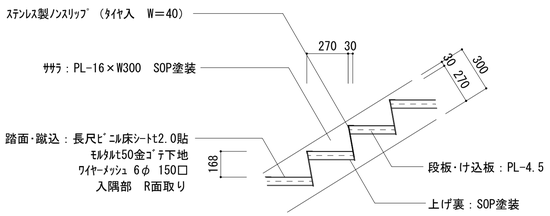
訂正	2026.02.16　2階ホール天井ルーバーの取り止め	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	矩計図(6)	縮尺 A1 1/50 A3 1/100	図面番号 A-028
			設計者		作図者	大川井寛子						



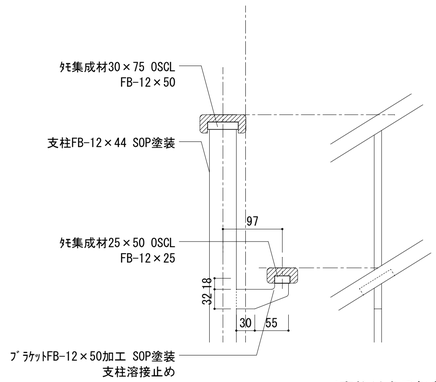
2階　階段平面詳細図　S=1:50



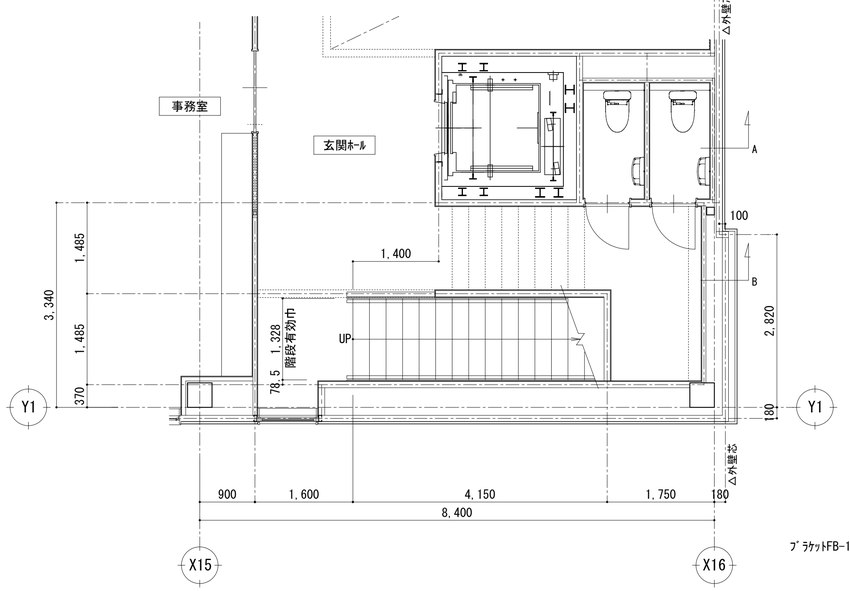
階段断面詳細図　S=1:50



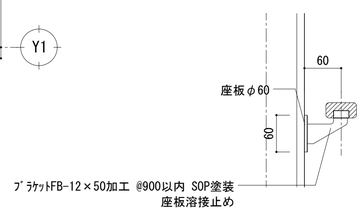
部分詳細図　S=1:20



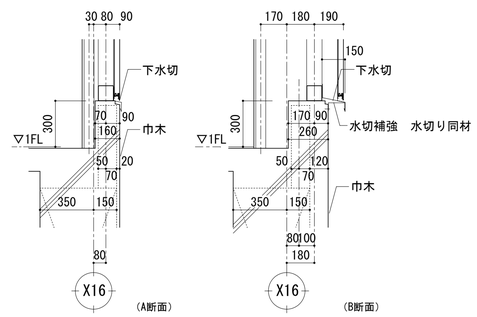
FB支柱付き手摺部分詳細図　S=1:5



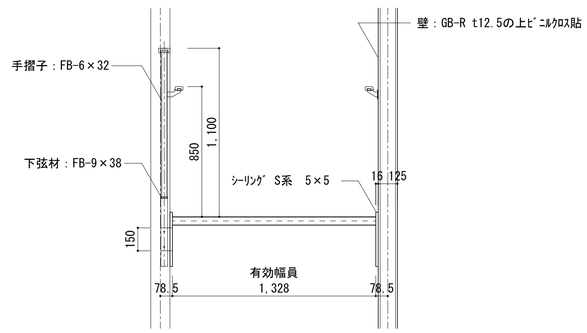
1階　階段平面詳細図　S=1:50



壁付き手摺部分詳細図　S=1:5



X16通り巾木部分詳細図　S=1:20

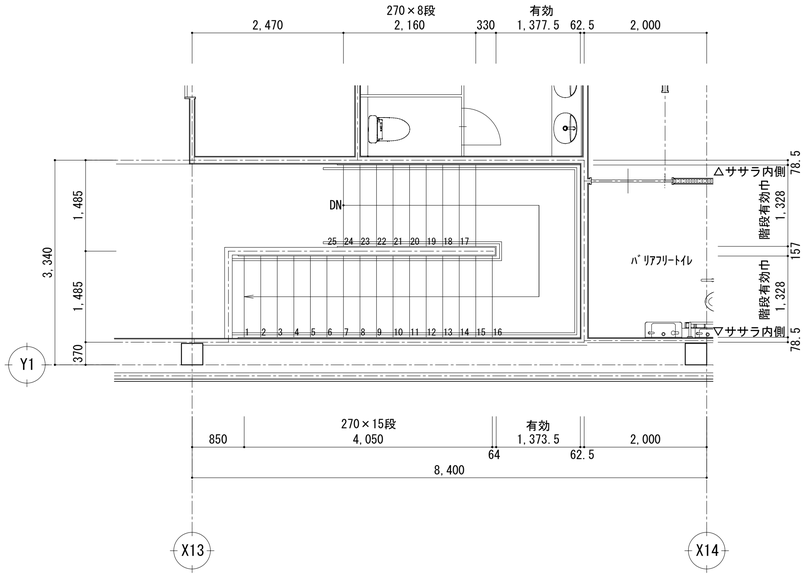


鉄骨手摺部分詳細図　S=1:20

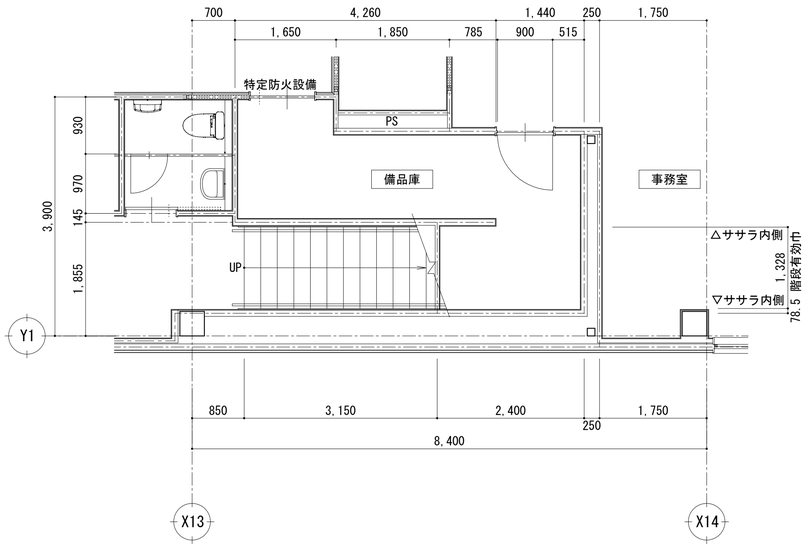
訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		縮尺	図面番号
			設計者		作図者	大川井寛子	A1 図示 / A3 図示/2	A-029

工事名：（仮称）新学校給食センター　建築工事

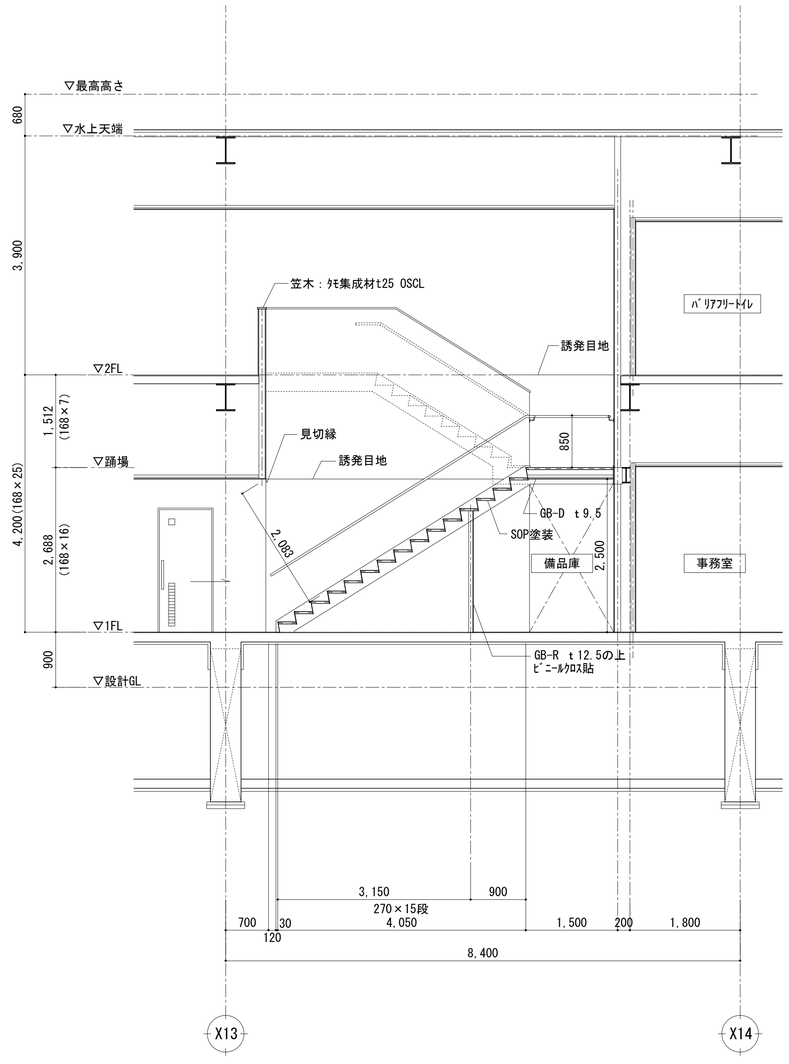
図面名：階段詳細図(1)



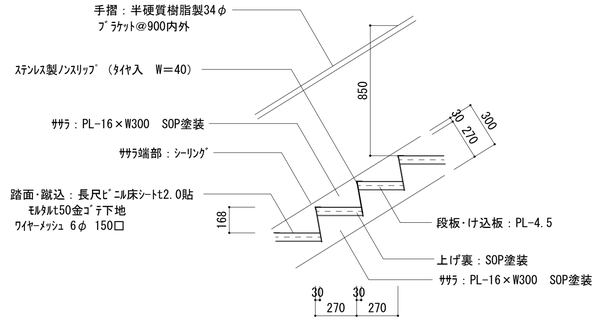
2階　階段2平面詳細図　S=1:50



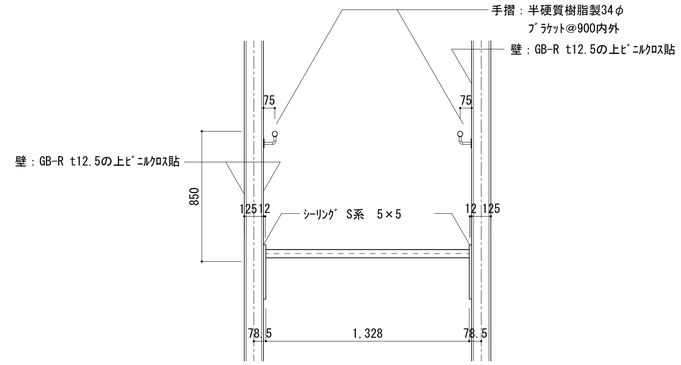
1階　階段2平面詳細図　S=1:50



階段2断面詳細図　S=1:50

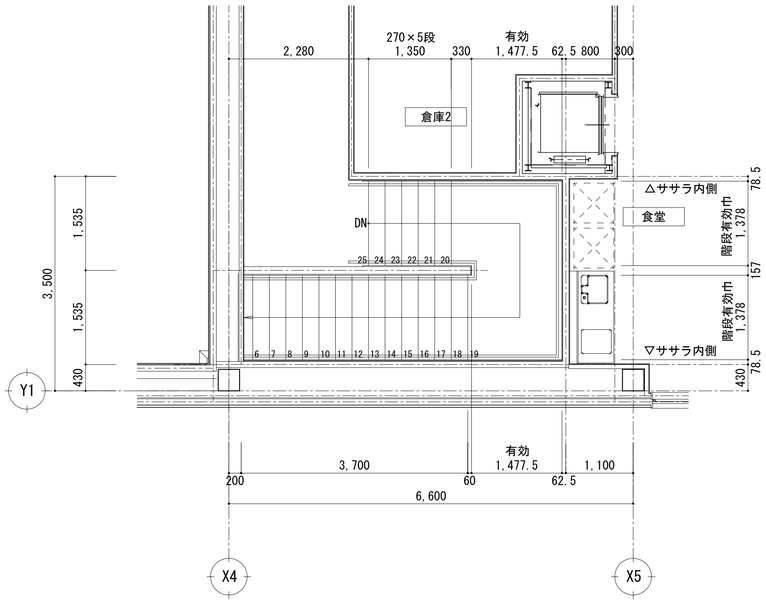


部分詳細図1　S=1:20

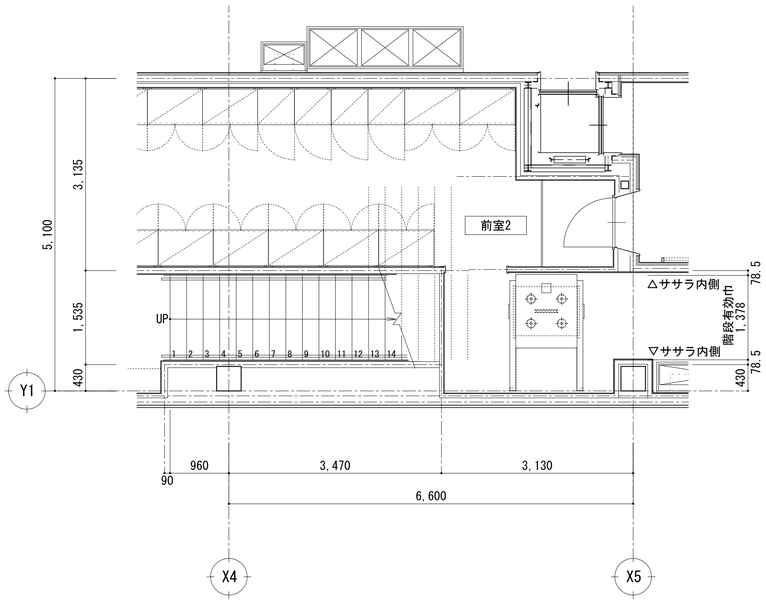


部分詳細図2　S=1:20

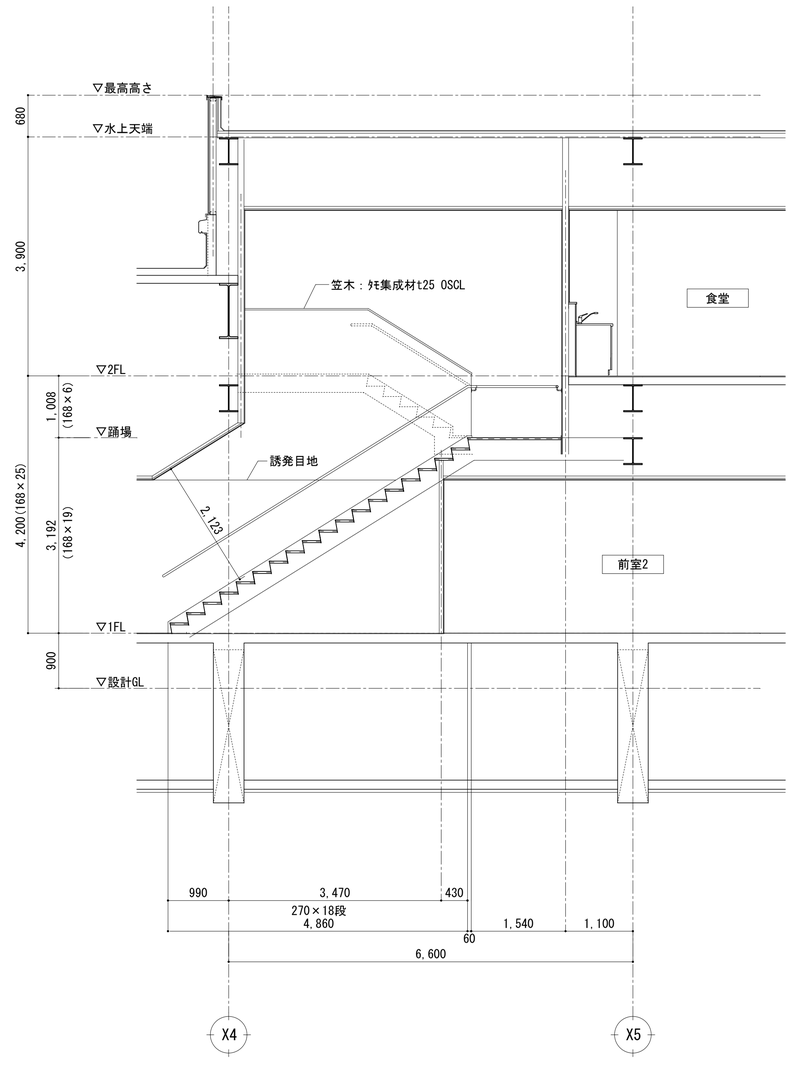
訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	階段詳細図(2)	縮尺 A1 図示 A3 図示/2	図面番号 A-030
			設計者		作図者	大川井寛子						



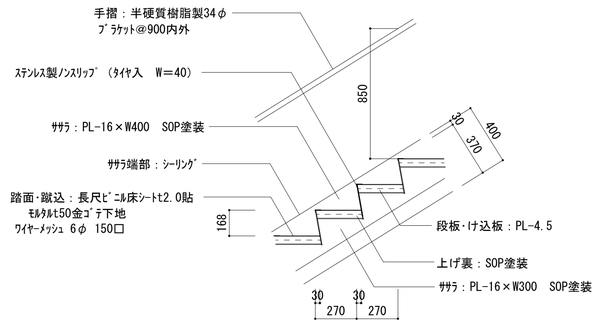
2階　階段3平面詳細図　S=1:50



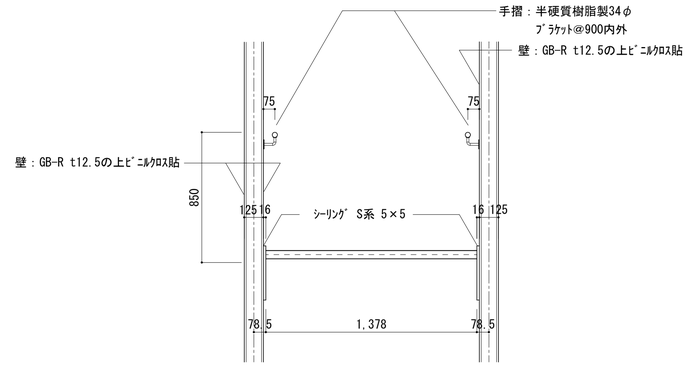
1階　階段3平面詳細図　S=1:50



階段3断面詳細図　S=1:50

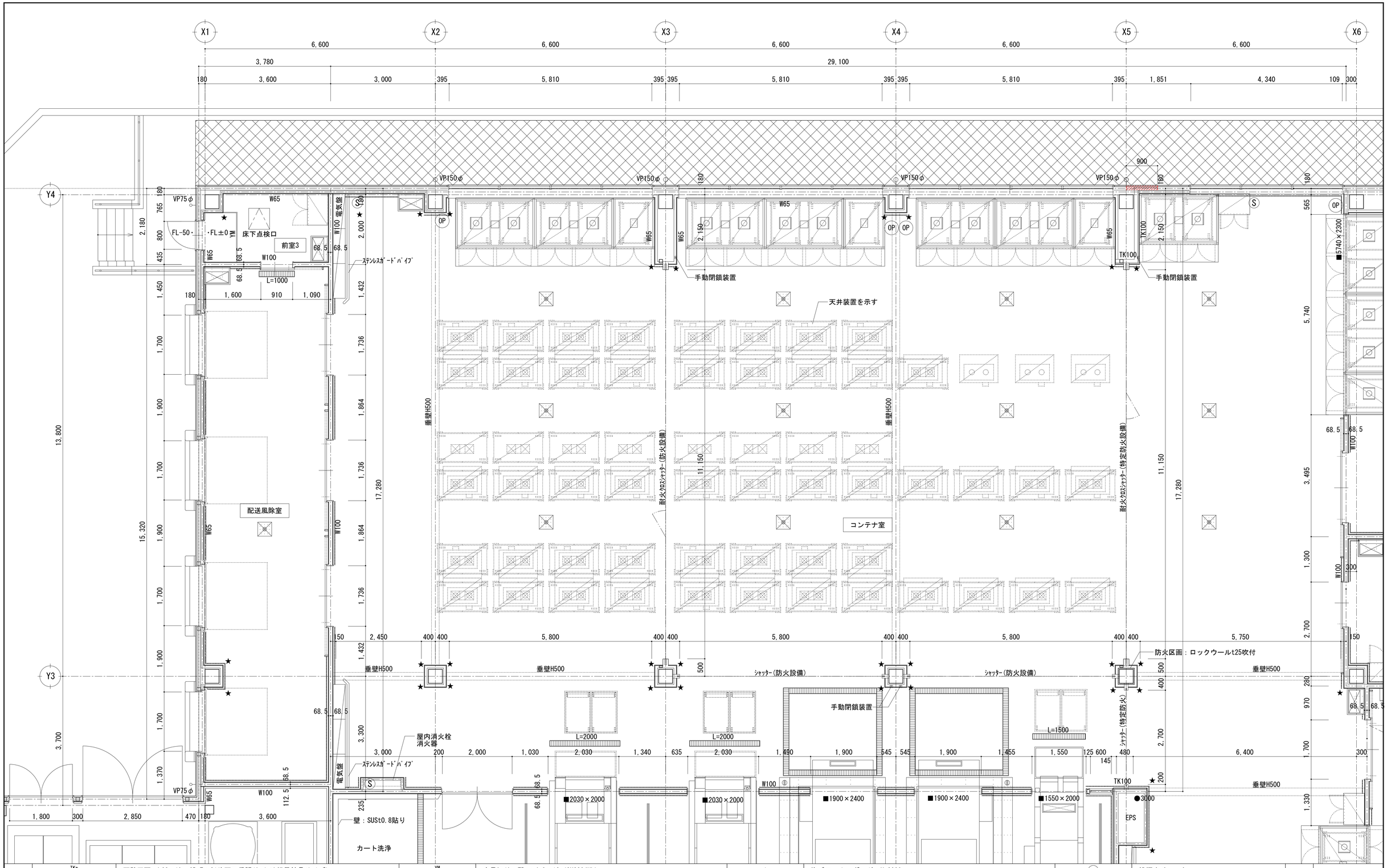


部分詳細図1　S=1:20



部分詳細図2　S=1:20

訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	階段詳細図(3)	縮尺		図面番号
			設計者		作図者	大川井寛子					A1	図示	A-031
											A3	図示/2	



凡例

TK*	面積区画：LGS下地　GB-F t 21片面二重張り（*は軽量鉄骨サイズ）	YM	床見切り　FB- t 4.0×12（SUS304HL）	◆	塩ビコーナーガード　H=2000	OP	排煙オペレーター
S*	遮音壁：GB-R t 12.5　GW充填（PS内片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	■*	SUS三方枠　見付25(*はサイズ)	OD*	SUSカウンター（*はサイズ）	S	消火器＋消火器BOX（図面記載）
W*	間仕切壁：LGS下地　GB-R t 12.5（PS・外壁面片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	▲*	SUS二方枠　見付25(*はサイズ)	TM	棚板　メラミン化粧板張 t 20	L*	SUSグレーチング細目（*はサイズ）
	防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t 35　裏面ロックウール吹付t30	●*	SUS見切枠　見付25(*はサイズ)	LM	ライニング面台（メラミンポストフォーム）	VP*φ	竪樋　カラーVP（*はサイズ）
	壁点検口500×500（調理室内SUS枠、その他塩ビ製）	★	SUSコーナーガード　H=2000		床下点検口　600角	----------	腰ガード H200

展開符号：A B C D　展開指示

訂正	
2026.03.11	面積区画修正
2026.05.06	コンテナ配置修正（減）

株式会社 池田建築設計事務所
idea-image-inspiration

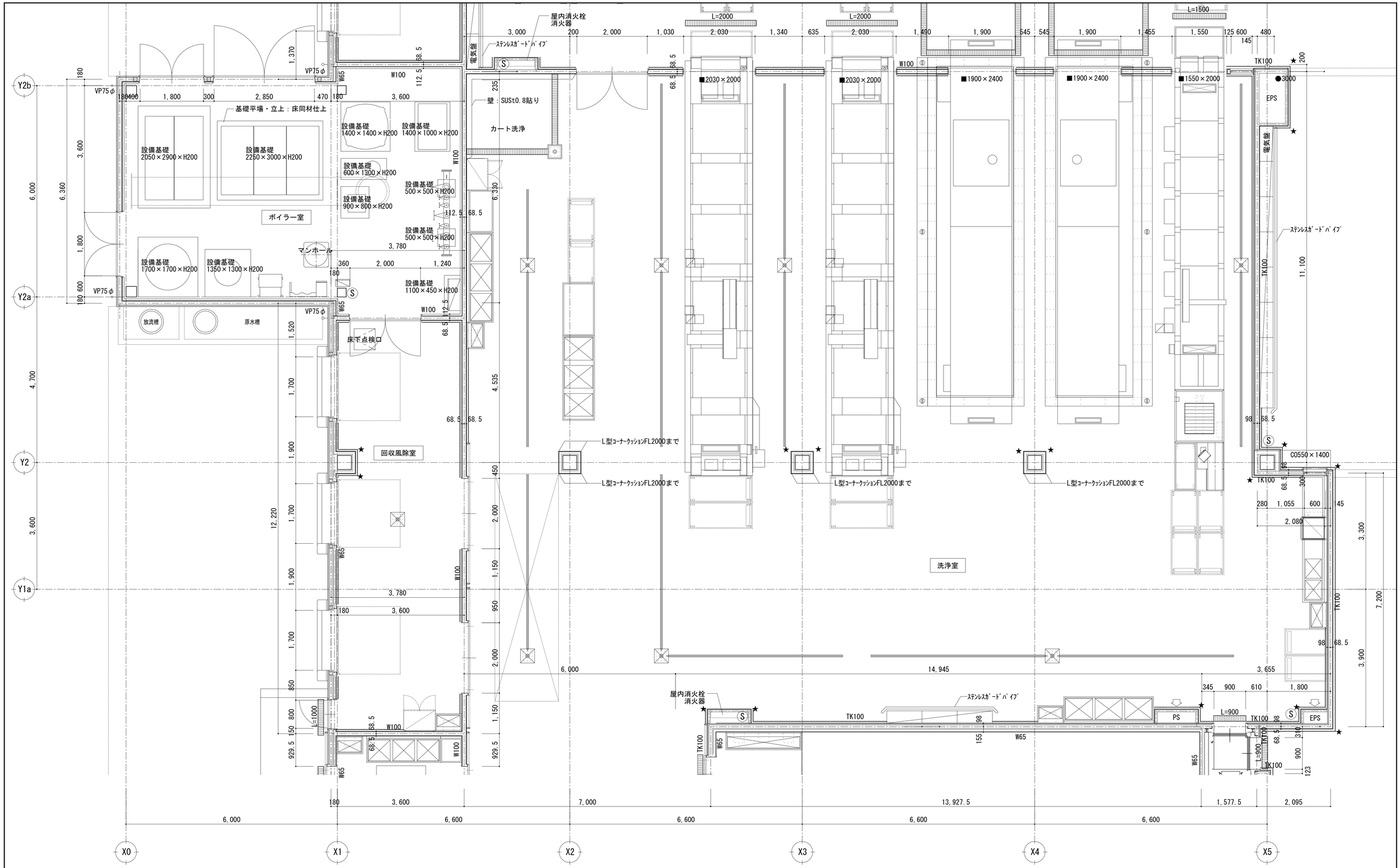
設計者	有馬　慎介	一級建築士 第360847号
設計者	渡邉　政之	一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号
年月日		
作図者	大川井寛子	

工事名：（仮称）新学校給食センター　建築工事

図面名：平面詳細図(1)

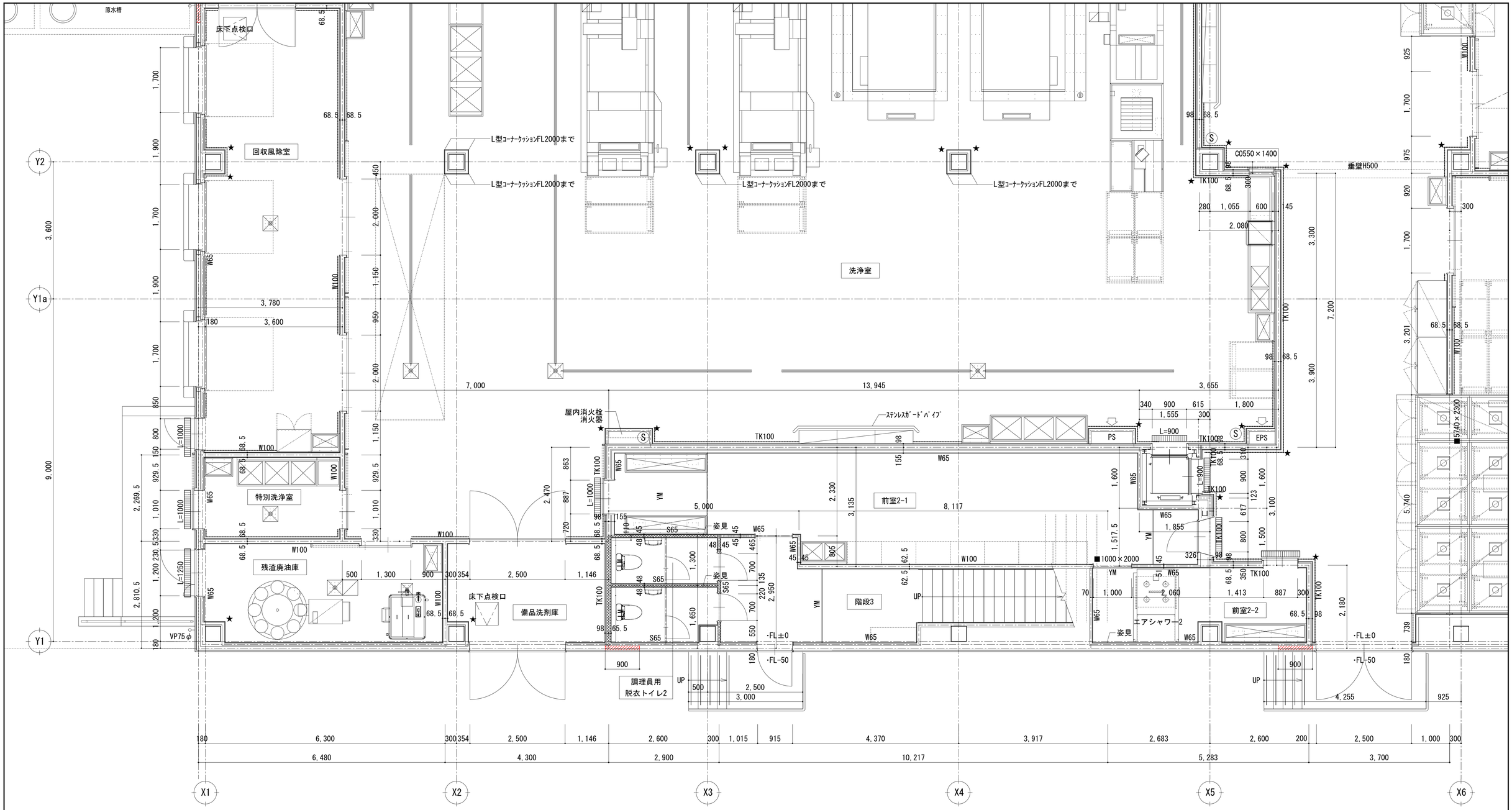
縮尺	
A1	1/50
A3	1/100

図面番号：A-032



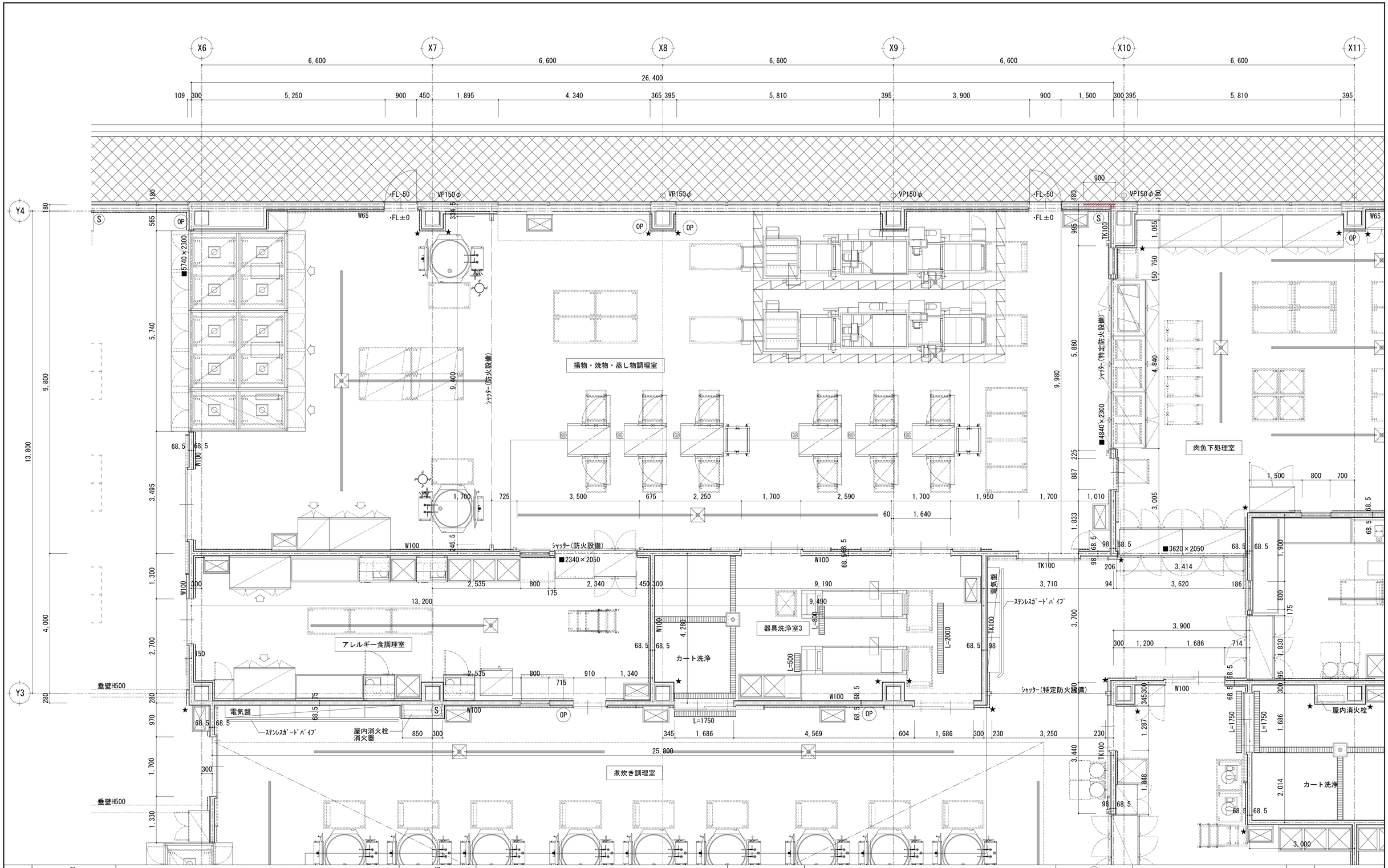
凡例									
	TK*	面積区画：LGS下地　GB-F t 21片面二重張り（*は軽量鉄骨サイズ）	YM	床見切り　FB- t 4.0×12（SUS304HL）	◆	塩ビコーナーガード　H=2000	OP	排煙オペレーター	展開符号
	S*	遮音壁：GB-R t 12.5　GW充填（PS内片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	■*	SUS三方枠　見付25(*はサイズ)	CO*	SUSカウンター（*はサイズ）	S	消火器＋消火器BOX（図面記載）	A B C D 展開指示
	W*	間仕切壁：LGS下地　GB-R t 12.5（PS・外壁面片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	▲*	SUS二方枠　見付25(*はサイズ)	TM	棚板　メラミン化粧板張 t 20	L*	SUSグレーチング細目（*はサイズ）	
		防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t 35　裏面ロックウール吹付t30	●*	SUS見切枠　見付25(*はサイズ)	LM	ライニング面台（メラミンポストフォーム）	VP*φ	竪樋　カラーVP（*はサイズ）	
		壁点検口500×500（調理室内SUS枠、その他塩ビ製）	★	SUSコーナーガード　H=2000		床下点検口　600角		腰ガード H200	

訂正	2026.03.11　面積区画修正	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	平面詳細図(2)	縮尺 A1 1/50 A3 1/100	図面番号 A-033
			設計者	渡邉　政之　一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	作図者	大川井寛子						



凡例									
	TK*	面積区画：LGS下地　GB-F t 21片面二重張り（*は軽量鉄骨サイズ）	YM	床見切り　FB- t 4.0×12（SUS304HL）	◆	塩ビコーナーガード　H=2000	OP	排煙オペレーター	展開符号
	S*	遮音壁：GB-R t 12.5　GW充填（PS内片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	■*	SUS三方枠　見付25（*はサイズ）	CO*	SUSカウンター（*はサイズ）	S	消火器＋消火器BOX（図面記載）	
	W*	間仕切壁：LGS下地　GB-R t 12.5（PS・外壁面片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	▲*	SUS二方枠　見付25（*はサイズ）	TM	棚板　メラミン化粧板張 t 20	L*	SUSグレーチング細目（*はサイズ）	
		防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t 35　裏面ロックウール吹付t30	●*	SUS見切枠　見付25（*はサイズ）	LM	ライニング面台（メラミンポストフォーム）	VP*φ	竪樋　カラーVP（*はサイズ）	A B C D 展開指示
		壁点検口500×500（調理室内SUS枠、その他塩ビ製）	★	SUSコーナーガード　H=2000		床下点検口　600角		腰ガード H200	

訂正	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	平面詳細図(3)	縮尺	図面番号
		設計者	渡邉　政之　一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	作図者	大川井寛子					A1 1/50	A-034
										A3 1/100	



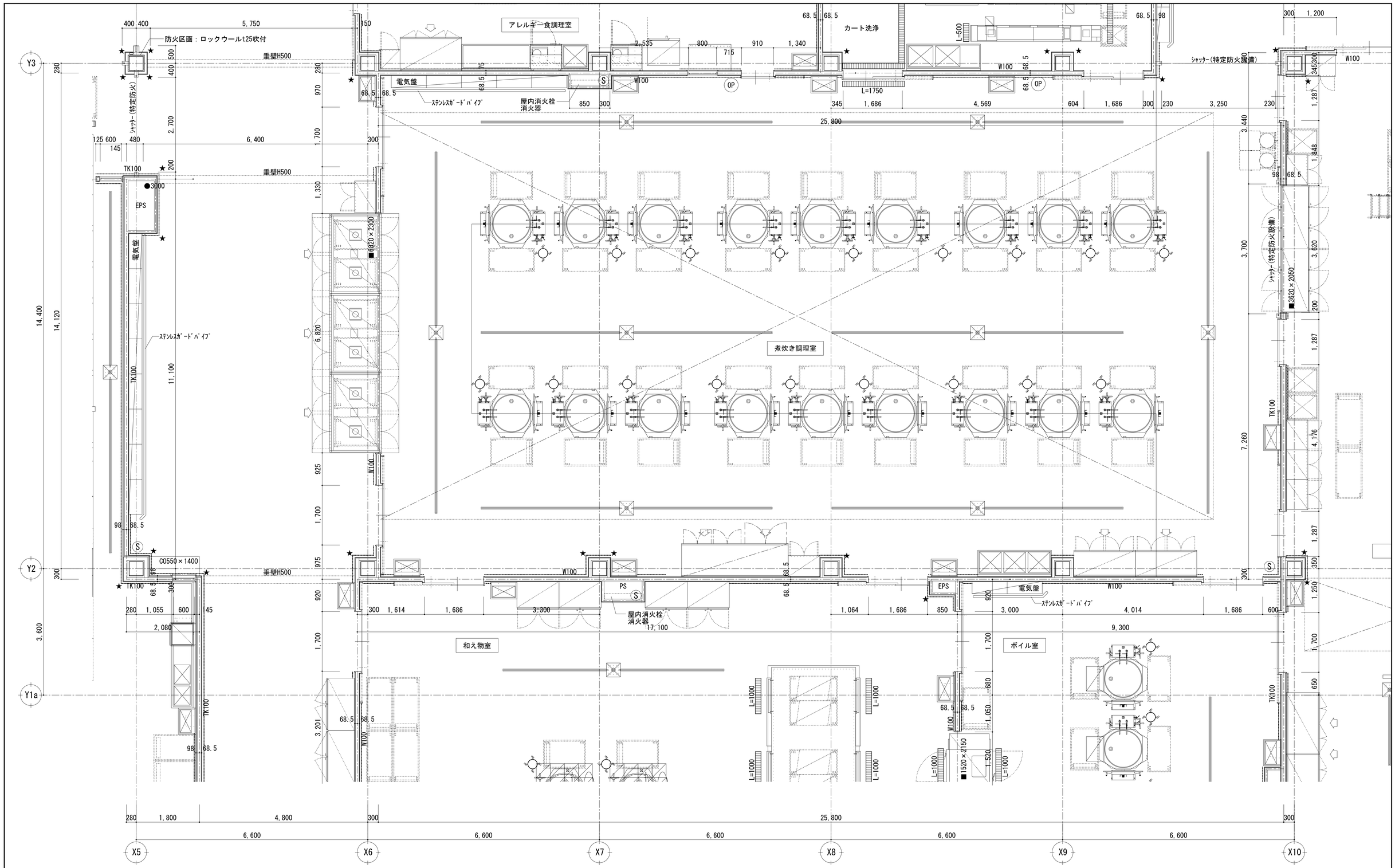
凡例											
	TK*	面積区画：LGS下地　GB-F t 21片面二重張り（*は軽量鉄骨サイズ）	YM	床見切り　FB- t 4.0×12（SUS304HL）	◆	塩ビコーナーガード　H=2000	OP	排煙オペレーター	展開符号	A B C D 展開指示
	S*	遮音壁：GB-R t 12.5　GW充填（PS内片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	■*	SUS三方枠　見付25（*はサイズ）	CO*	SUSカウンター（*はサイズ）	S	消火器＋消火器BOX（図面記載）		
	W*	間仕切壁：LGS下地　GB-R t 12.5（PS・外壁面片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	▲*	SUS二方枠　見付25（*はサイズ）	TM	棚板　メラミン化粧板張 t 20	L*	SUSグレーチング細目（*はサイズ）		
		防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t 35　裏面ロックウール吹付t30	●*	SUS見切枠　見付25（*はサイズ）	LM	ライニング面台（メラミンポストフォーム）	VP*φ	竪樋　カラーVP（*はサイズ）		
		壁点検口500×500（調理室内SUS枠、その他塩ビ製）	★	SUSコーナーガード　H=2000		床下点検口　600角		腰ガード H200		

訂正	2026.05.06　器具洗浄室：器具変更　揚げ焼蒸調理室：ｺﾝﾋﾞｵｰﾌﾞﾝ台数変更

株式会社 池田建築設計事務所
idea-image-inspiration

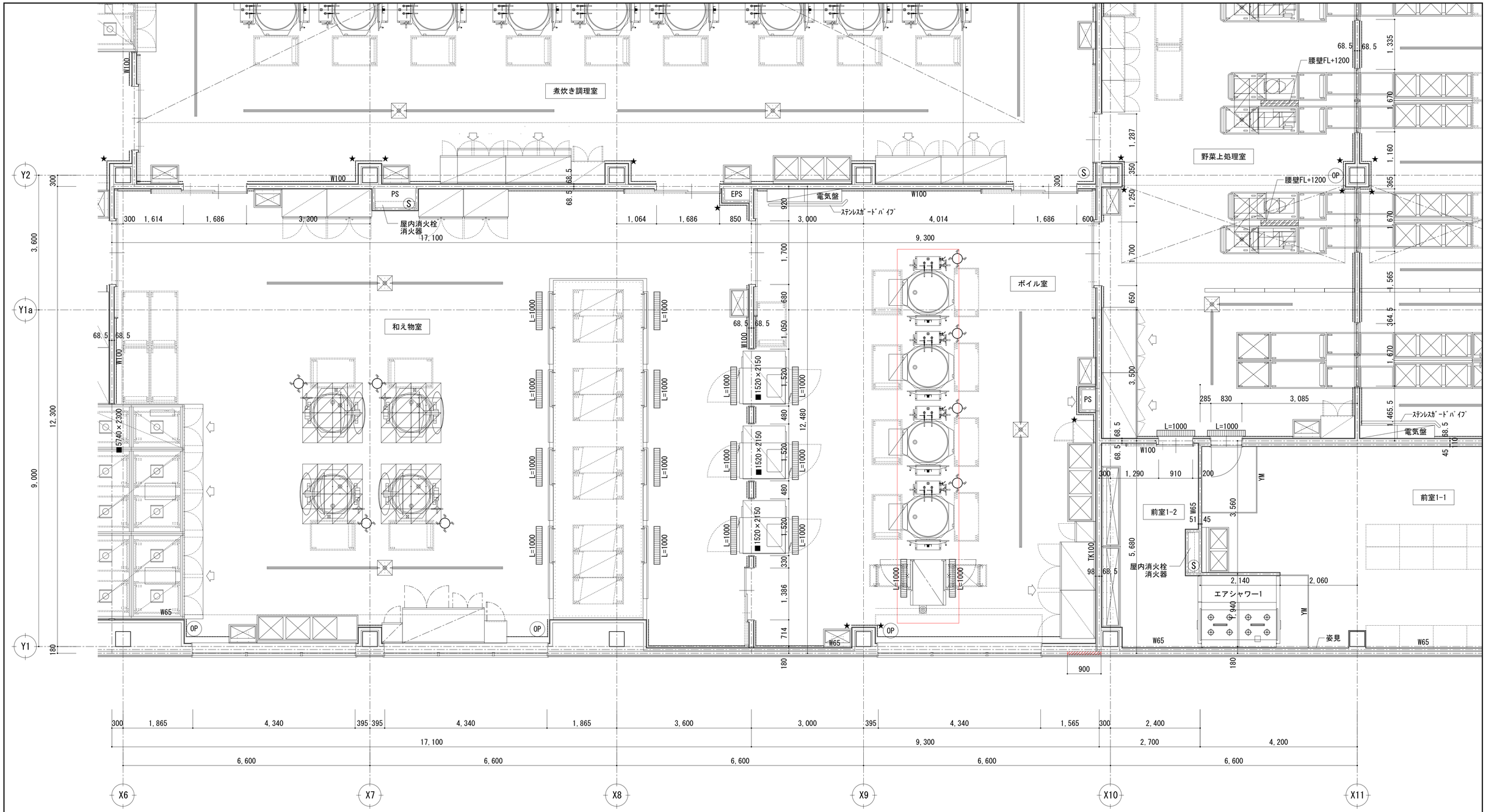
設計者	有馬　慎介	一級建築士 第360847号	年月日	
設計者	渡邉　政之	一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	作図者	大川井寛子

工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	平面詳細図(4)	縮尺		図面番号
				A1	1/50	A-035
				A3	1/100	



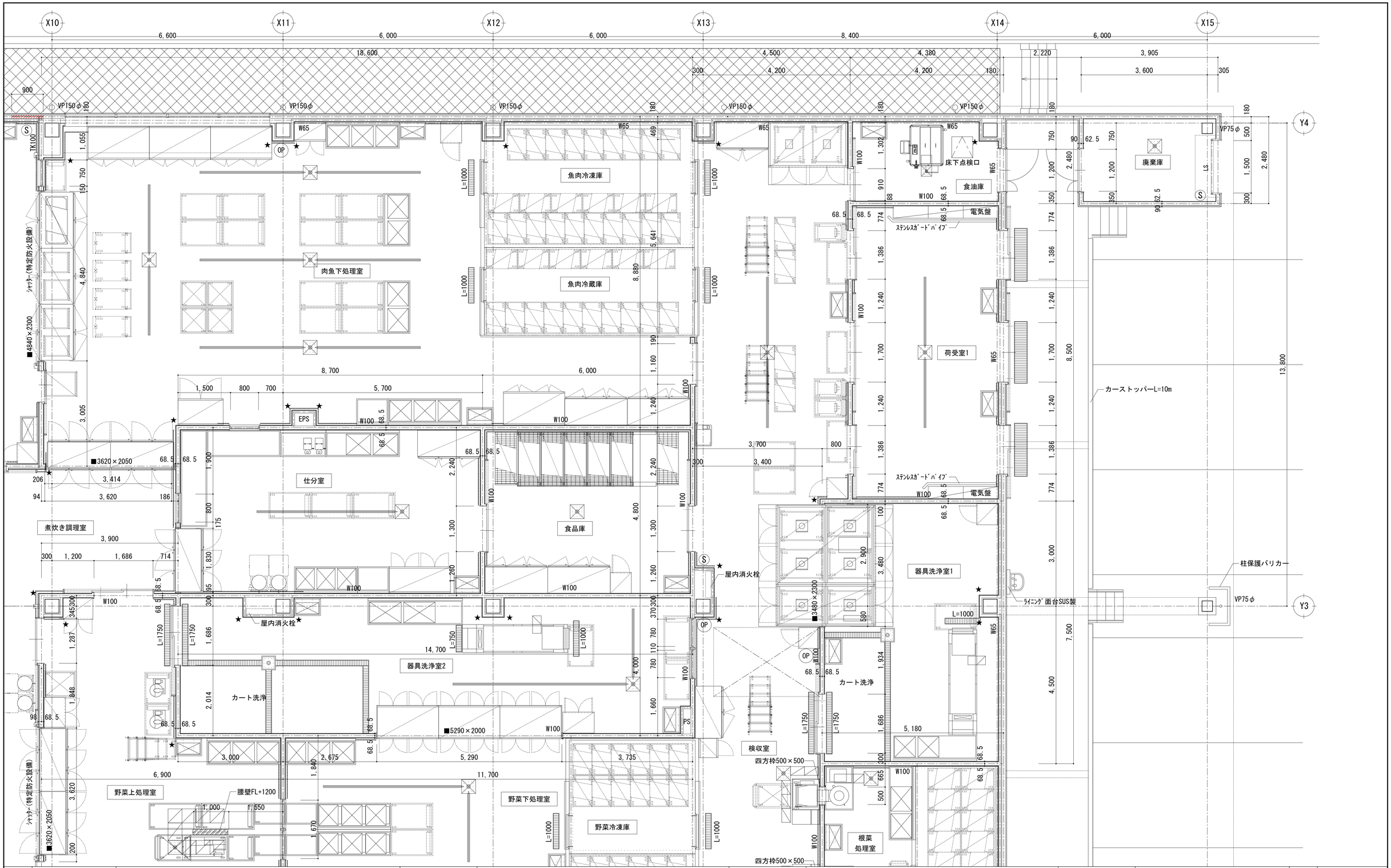
凡例									
	TK*	面積区画：LGS下地　GB-F t 21片面二重張り（*は軽量鉄骨サイズ）	YM	床見切り　FB- t 4.0×12（SUS304HL）	◆	塩ビコーナーガード　H=2000	OP	排煙オペレーター	展開符号　A B C D　展開指示
	S*	遮音壁：GB-R t 12.5　GW充填（PS内片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	■*	SUS三方枠　見付25（*はサイズ）	CO*	SUSカウンター（*はサイズ）	S	消火器＋消火器BOX（図面記載）	
	W*	間仕切壁：LGS下地　GB-R t 12.5（PS・外壁面片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	▲*	SUS二方枠　見付25（*はサイズ）	TM	棚板　メラミン化粧板張 t 20	L*	SUSグレーチング細目（*はサイズ）	
		防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t 35　裏面ロックウール吹付t30	●*	SUS見切枠　見付25（*はサイズ）	LM	ライニング面台（メラミンポストフォーム）	VP*φ	竪樋　カラーVP（*はサイズ）	
		壁点検口500×500（調理室内SUS枠、その他塩ビ製）	★	SUSコーナーガード　H=2000		床下点検口　600角		腰ガード H200	

訂正	2026.05.06　Y2通りX7-X8間保管庫形状変更	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介	一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	平面詳細図(5)	縮尺 A1 1/50 A3 1/100	図面番号 A-036
			設計者	渡邉　政之	一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	作図者	大川井寛子						



凡例									
	TK*	面積区画：LGS下地　GB-F t 21片面二重張り（*は軽量鉄骨サイズ）	YM	床見切り　FB- t 4.0×12（SUS304HL）	◆	塩ビコーナーガード　H=2000	OP	排煙オペレーター	展開符号
	S*	遮音壁：GB-R t 12.5　GW充填（PS内片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	■*	SUS三方枠　見付25(*はサイズ)	CO*	SUSカウンター（*はサイズ）	S	消火器＋消火器BOX（図面記載）	D 展開指示 A B C
	W*	間仕切壁：LGS下地　GB-R t 12.5（PS・外壁面片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	▲*	SUS二方枠　見付25(*はサイズ)	TM	棚板　メラミン化粧板張 t 20	L*	SUSグレーチング細目（*はサイズ）	
		防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t 35　裏面ロックウール吹付t30	●*	SUS見切枠　見付25(*はサイズ)	LM	ライニング面台（メラミンポストフォーム）	VP*φ	竪樋　カラーVP（*はサイズ）	
		壁点検口500×500（調理室内SUS枠、その他塩ビ製）	★	SUSコーナーガード　H=2000		床下点検口　600角		腰ガード H200	

訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	平面詳細図(6)	縮尺		図面番号
	2026.05.06　Y1通りX7-X8間保管庫形状変更		設計者	渡邉　政之　一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	作図者	大川井寛子					A1	1/50	A-037
											A3	1/100	

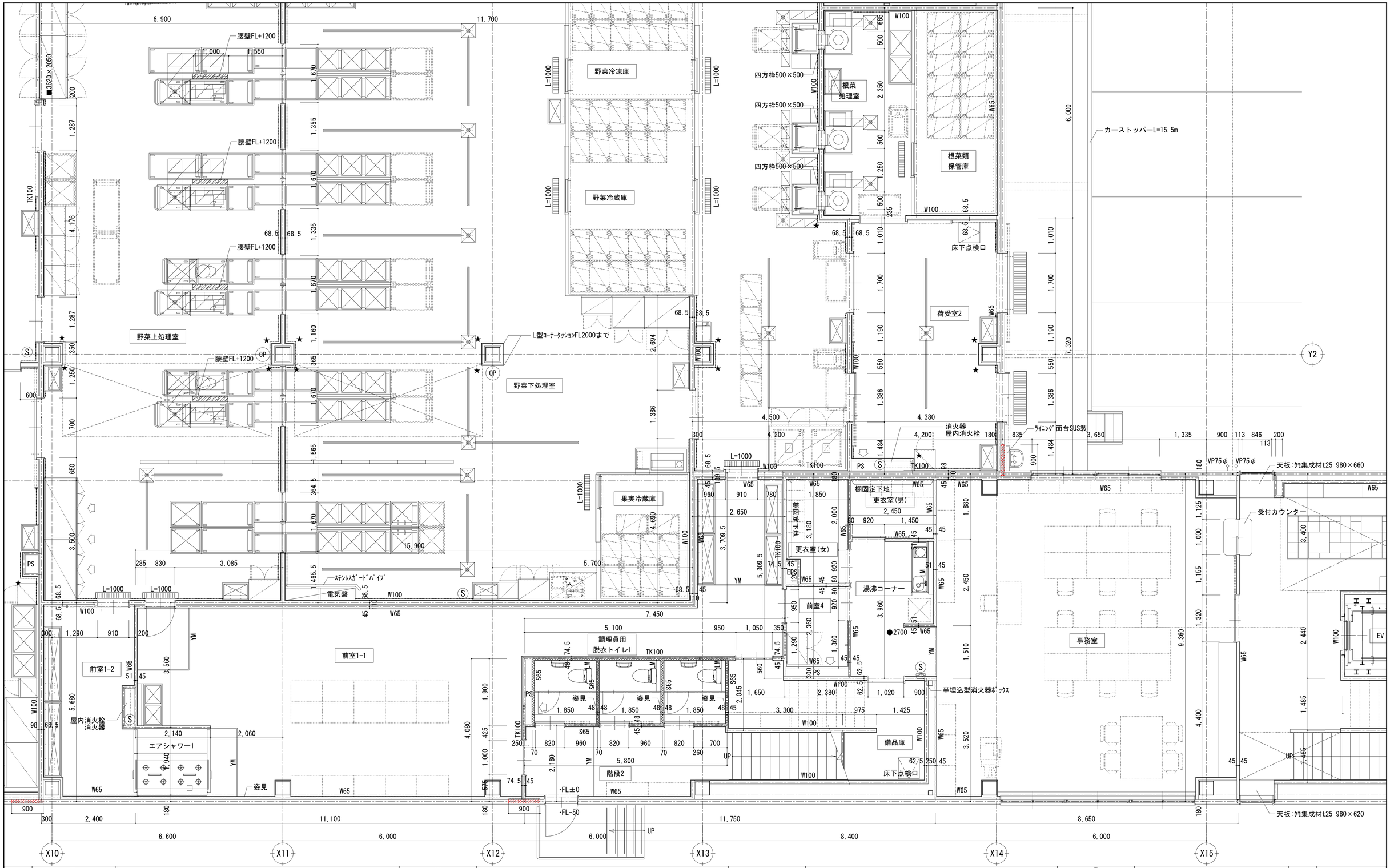


凡例

TK*	面積区画：LGS下地　GB-F t 21片面二重張り（*は軽量鉄骨サイズ）	YM	床見切り　FB- t 4.0×12（SUS304HL）	◆	塩ビコーナーガード　H=2000	OP	排煙オペレーター
S*	遮音壁：GB-R t 12.5　GW充填（PS内片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	■*	SUS三方枠　見付25(*はサイズ)	CO*	SUSカウンター（*はサイズ）	S	消火器＋消火器BOX（図面記載）
W*	間仕切壁：LGS下地　GB-R t 12.5（PS・外壁面片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	▲*	SUS二方枠　見付25(*はサイズ)	TM	棚板　メラミン化粧板張 t 20	L*	SUSグレーチング細目（*はサイズ）
	防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t 35　裏面ロックウール吹付t30	●*	SUS見切枠　見付25(*はサイズ)	LM	ライニング面台（メラミンポストフォーム）	VP*φ	竪樋　カラーVP（*はサイズ）
	壁点検口500×500（調理室内SUS枠、その他塩ビ製）	★	SUSコーナーガード　H=2000		床下点検口　600角		腰ガード H200

展開符号：A 展開指示 B / C / D

訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介	一級建築士 第360847号	年月日	工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	縮尺 A1 1/50 A3 1/100
			設計者	渡邉　政之	一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	作図者 大川井寛子	図面名	平面詳細図(7)	図面番号 A-038

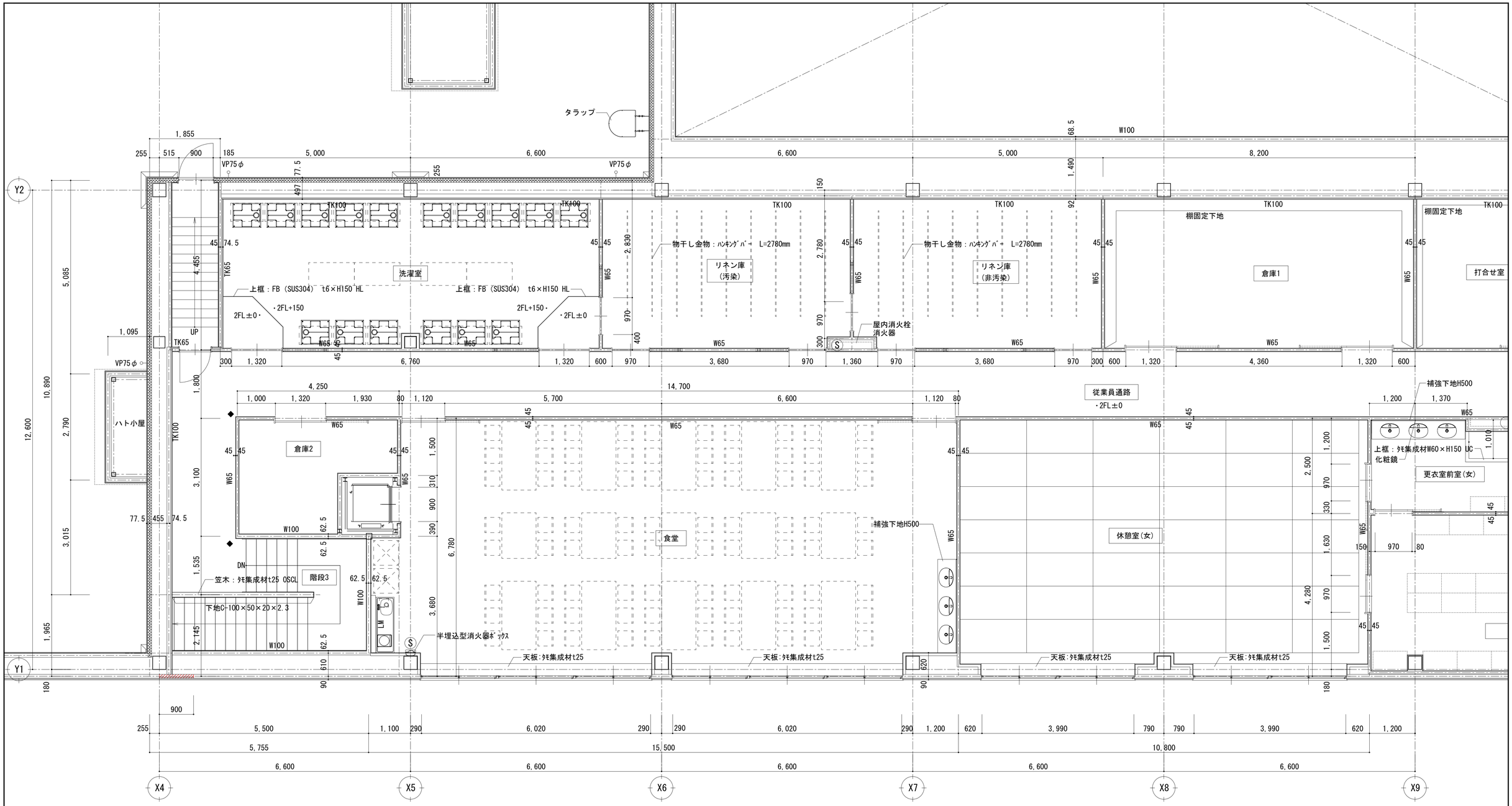


凡例									
	TK*	面積区画：LGS下地　GB-F t 21片面二重張り（*は軽量鉄骨サイズ）	YM	床見切り　FB- t 4.0×12（SUS304HL）	◆	塩ビコーナーガード　H=2000	OP	排煙オペレーター	展開符号
	S*	遮音壁：GB-R t 12.5　GW充填（PS内片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	■*	SUS三方枠　見付25（*はサイズ）	CO*	SUSカウンター（*はサイズ）	S	消火器＋消火器BOX（図面記載）	A B C D 展開指示
	W*	間仕切壁：LGS下地　GB-R t 12.5（PS・外壁面片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	▲*	SUS二方枠　見付25（*はサイズ）	TM	棚板　メラミン化粧板張 t 20	L*	SUSグレーチング細目（*はサイズ）	
		防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t 35　裏面ロックウール吹付t30	●*	SUS見切枠　見付25（*はサイズ）	LM	ライニング面台（メラミンポストフォーム）	VP* φ	竪樋　カラーVP（*はサイズ）	
		壁点検口500×500（調理室内SUS枠、その他塩ビ製）	★	SUSコーナーガード　H=2000		床下点検口　600角		腰ガード H200	

訂正	2026.02.16　複合フローリングをビニル床シートへ変更	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	平面詳細図(8)	縮尺		図面番号
			設計者	渡邉　政之　一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	作図者	大川井寛子					A1	1/50	A-039
											A3	1/100	

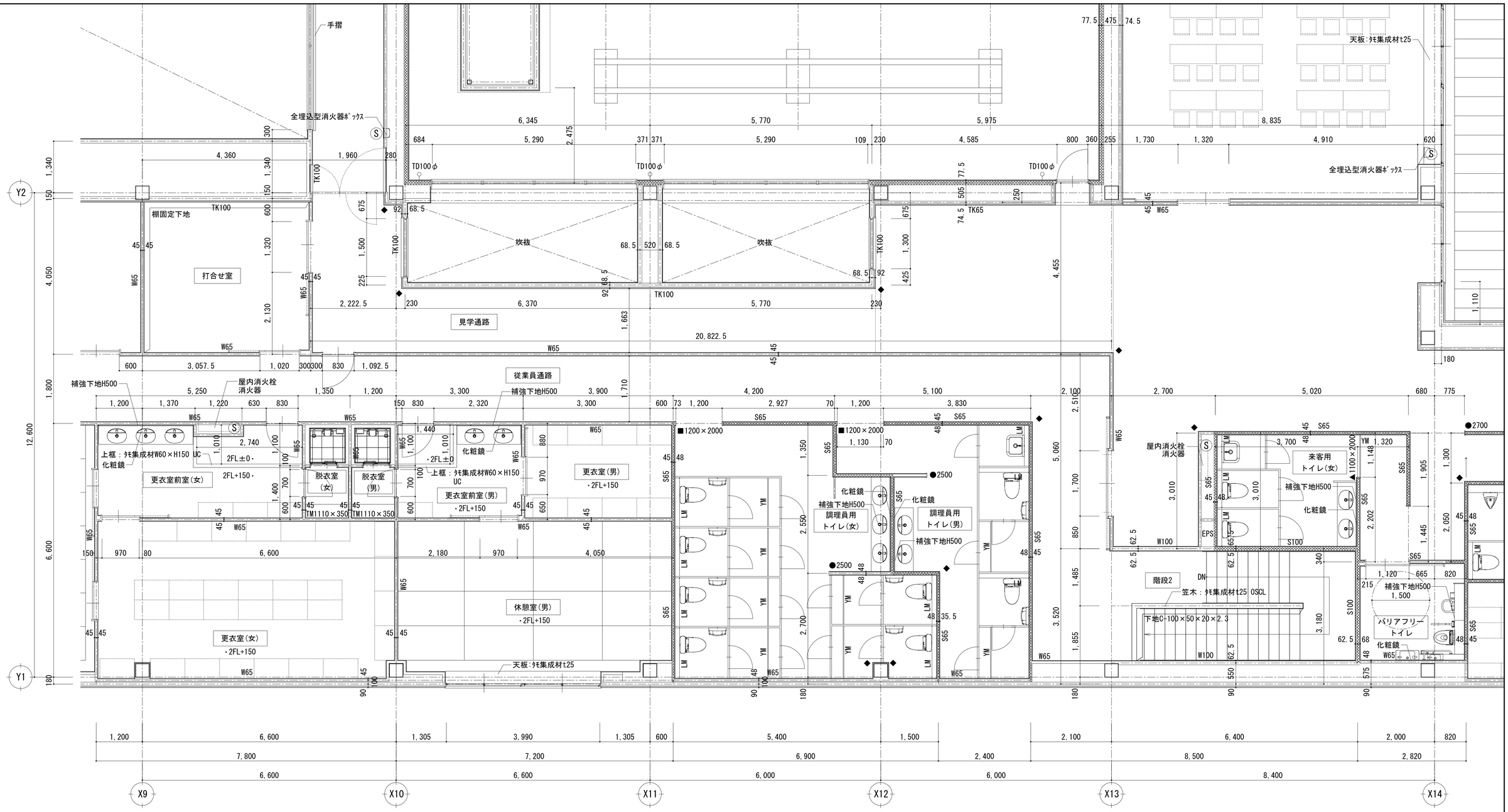
凡例									
	TK*	面積区画：LGS下地　GB-F t 21片面二重張り（*は軽量鉄骨サイズ）	YM	床見切り　FB- t 4.0×12（SUS304HL）	◆	塩ビコーナーガード　H=2000	OP	排煙オペレーター	展開符号
	S*	遮音壁：GB-R t 12.5　GW充填（PS内片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	■*	SUS三方枠　見付25（*はサイズ）	CO*	SUSカウンター（*はサイズ）	S	消火器＋消火器BOX（図面記載）	D 展開指示 A B C
	W*	間仕切壁：LGS下地　GB-R t 12.5（PS・外壁面片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	▲*	SUS二方枠　見付25（*はサイズ）	TM	棚板　メラミン化粧板張 t 20	L*	SUSグレーチング細目（*はサイズ）	
		防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t 35　裏面ロックウール吹付t30	●*	SUS見切枠　見付25（*はサイズ）	LM	ライニング面台（メラミンポストフォーム）	VP*φ	竪樋　カラーVP（*はサイズ）	
		壁点検口500×500（調理室内SUS枠、その他塩ビ製）	★	SUSコーナーガード　H=2000		床下点検口　600角		腰ガード H200	

訂正	2026.02.16　複合フローリングをビニル床シートへ変更	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	平面詳細図(9)	縮尺		図面番号
			設計者	渡邉　政之　一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	作図者	大川井寛子					A1	1/50	A-040
											A3	1/100	



凡例									
	TK*	面積区画：LGS下地　GB-F t21片面二重張り（*は軽量鉄骨サイズ）	YM	床見切り　FB-t4.0×12（SUS304HL）	◆	塩ビコーナーガード　H=2000	OP	排煙オペレーター	展開符号
	S*	遮音壁：GB-R t12.5　GW充填（PS内片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	■*	SUS三方枠　見付25（*はサイズ）	CO*	SUSカウンター（*はサイズ）	S	消火器＋消火器BOX（図面記載）	
	W*	間仕切壁：LGS下地　GB-R t12.5（PS・外壁面片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	▲*	SUS二方枠　見付25（*はサイズ）	TM	棚板　メラミン化粧板張 t20	L*	SUSグレーチング細目（*はサイズ）	
		防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t35　裏面ロックウール吹付t30	●*	SUS見切枠　見付25（*はサイズ）	LM	ライニング面台（メラミンポストフォーム）	VP*φ	竪樋　カラーVP（*はサイズ）	A B C D 展開指示
		壁点検口500×500（調理室内SUS枠、その他塩ビ製）	★	SUSコーナーガード　H=2000		床下点検口　600角		腰ガード H200	

訂正	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	平面詳細図(10)	縮尺	図面番号
		設計者	渡邉　政之　一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	作図者	大川井寛子					A1 1/50 A3 1/100	A-041



凡例									
	TK*	面積区画：LGS下地　GB-F t 21片面二重張り（*は軽量鉄骨サイズ）	YM	床見切り　FB- t 4.0×12（SUS304HL）	◆	塩ビコーナーガード　H=2000	OP	排煙オペレーター	展開符号
	S*	遮音壁：GB-R t 12.5　GW充填（PS内片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	■*	SUS三方枠　見付25（*はサイズ）	CO*	SUSカウンター（*はサイズ）	S	消火器＋消火器BOX（図面記載）	
	W*	間仕切壁：LGS下地　GB-R t 12.5（PS・外壁面片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	▲*	SUS二方枠　見付25（*はサイズ）	TM	棚板　メラミン化粧板張 t 20	L*	SUSグレーチング細目（*はサイズ）	
		防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t 35　裏面ロックウール吹付t30	●*	SUS見切枠　見付25（*はサイズ）	LM	ライニング面台（メラミンポストフォーム）	VP*φ	竪樋　カラーVP（*はサイズ）	
		壁点検口500×500（調理室内SUS枠、その他塩ビ製）	★	SUSコーナーガード　H=2000		床下点検口　600角		腰ガード H200	

展開符号：A 展開指示 B / C / D

訂正	
2026.02.16	複合フローリングをビニル床シートへ変更
2026.02.16	調理実習室の取り止め

株式会社 池田建築設計事務所
idea-image-inspiration

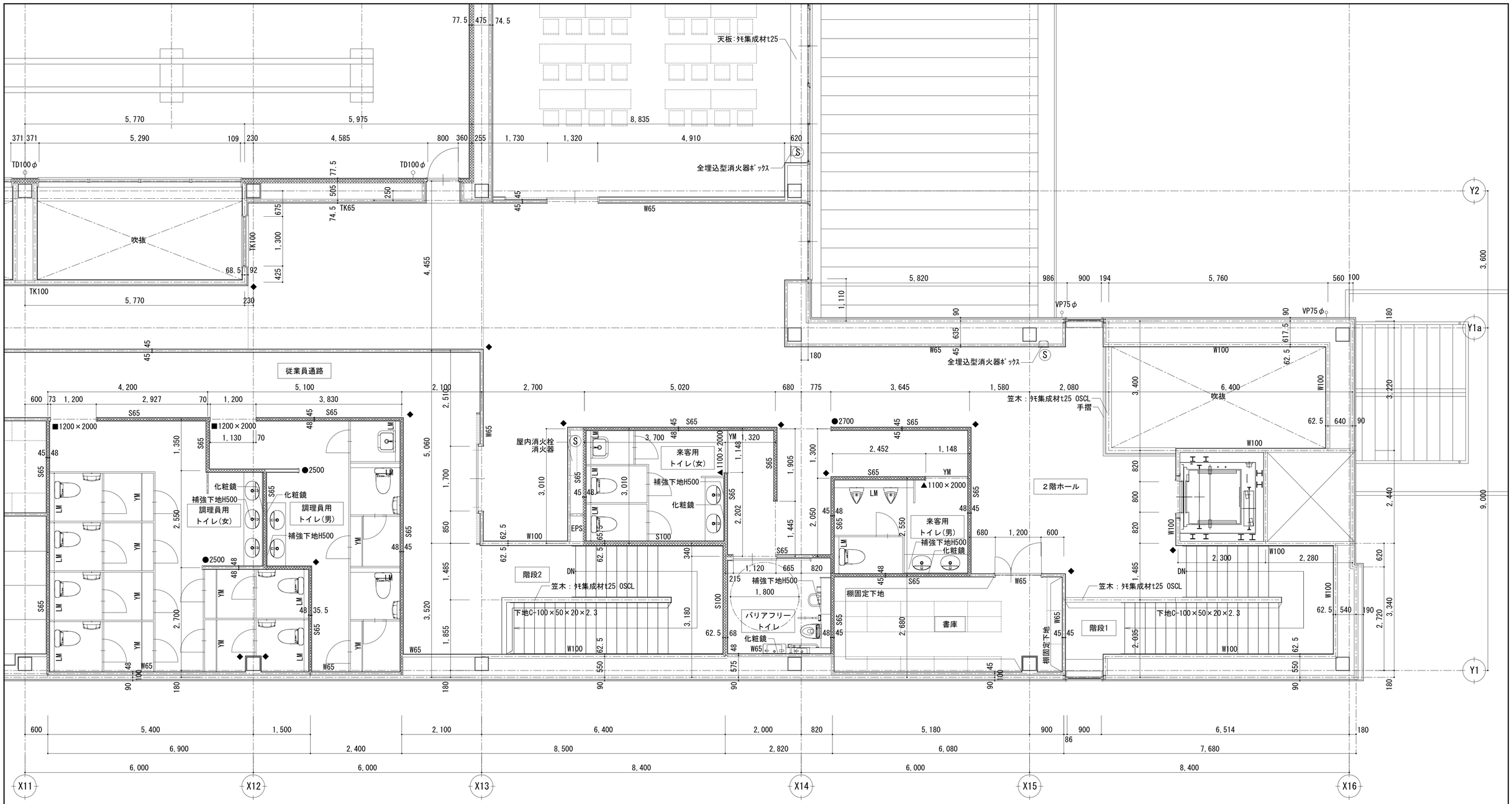
設計者	有馬　慎介	一級建築士 第360847号
設計者	渡邉　政之	一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号

年月日	
作図者	大川井寛子

工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事
図面名	平面詳細図(11)

縮尺	
A1	1/50
A3	1/100

図面番号 A-042



凡例									
	TK*	面積区画：LGS下地　GB-F t 21片面二重張り（*は軽量鉄骨サイズ）	YM	床見切り　FB- t 4.0×12（SUS304HL）	◆	塩ビコーナーガード　H=2000	OP	排煙オペレーター	展開符号
	S*	遮音壁：GB-R t 12.5　GW充填（PS内片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	■*	SUS三方枠　見付25（*はサイズ）	CO*	SUSカウンター（*はサイズ）	S	消火器＋消火器BOX（図面記載）	
	W*	間仕切壁：LGS下地　GB-R t 12.5（PS・外壁面片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	▲*	SUS二方枠　見付25（*はサイズ）	TM	棚板　メラミン化粧板張 t 20	L*	SUSグレーチング細目（*はサイズ）	
		防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t 35　裏面ロックウール吹付t30	●*	SUS見切枠　見付25（*はサイズ）	LM	ライニング面台（メラミンポストフォーム）	VP*φ	竪樋　カラーVP（*はサイズ）	A B C D 展開指示
		壁点検口500×500（調理室内SUS枠、その他塩ビ製）	★	SUSコーナーガード　H=2000		床下点検口　600角		腰ガード H200	

訂正	
2026.02.16	複合フローリングをビニル床シートへ変更
2026.02.16	調理実習室の取り止め

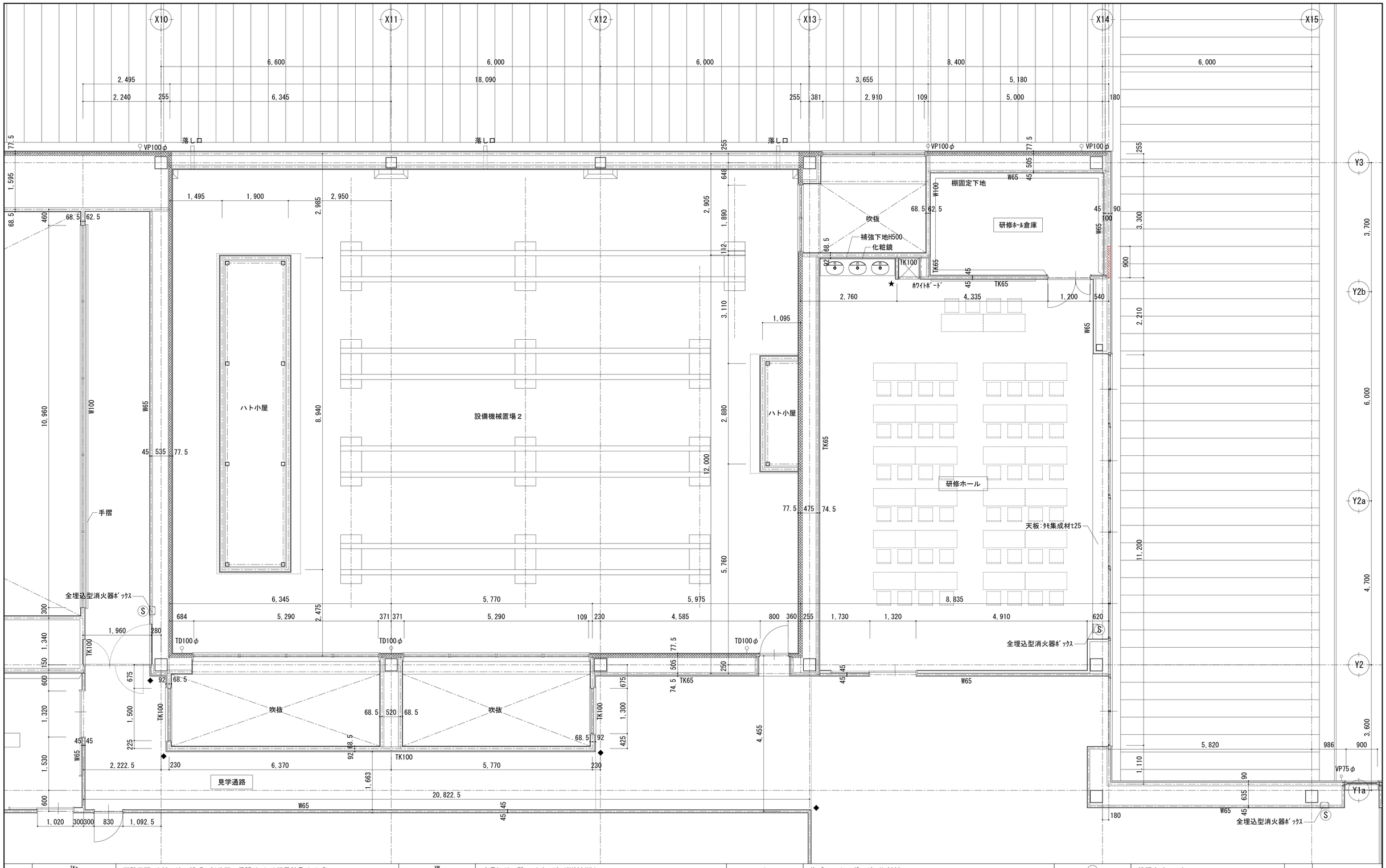
株式会社 池田建築設計事務所
idea-image-inspiration

設計者	有馬　慎介	一級建築士 第360847号
設計者	渡邉　政之	一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号

年月日	
作図者	大川井寛子

工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事
図面名	平面詳細図(12)

縮尺		図面番号
A1	1/50	A-043
A3	1/100	



凡例									
	TK*	面積区画：LGS下地　GB-F t 21片面二重張り（*は軽量鉄骨サイズ）	YM	床見切り　FB- t 4.0×12（SUS304HL）	◆	塩ビコーナーガード　H=2000	OP	排煙オペレーター	展開符号　A B C D　展開指示
	S*	遮音壁：GB-R t 12.5　GW充填（PS内片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	■*	SUS三方枠　見付25(*はサイズ)	CO*	SUSカウンター（*はサイズ）	S	消火器＋消火器BOX（図面記載）	
	W*	間仕切壁：LGS下地　GB-R t 12.5（PS・外壁面片面仕上、*は軽量鉄骨サイズ）	▲*	SUS二方枠　見付25(*はサイズ)	TM	棚板　メラミン化粧板張 t 20	L*	SUSグレーチング細目（*はサイズ）	
		防火区画折り返し部：金属断熱サンドイッチパネル t 35　裏面ロックウール吹付t30	●*	SUS見切枠　見付25(*はサイズ)	LM	ライニング面台（メラミンポストフォーム）	VP*φ	竪樋　カラーVP（*はサイズ）	
		壁点検口500×500（調理室内SUS枠、その他塩ビ製）	★	SUSコーナーガード　H=2000		床下点検口　600角		腰ガード H200	

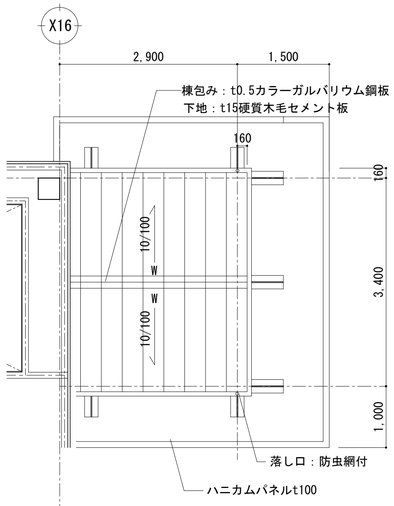
訂正	
2026.02.16	複合フローリングをビニル床シートへ変更
2026.02.16	調理実習室の取り止め

株式会社 池田建築設計事務所
idea-image-inspiration

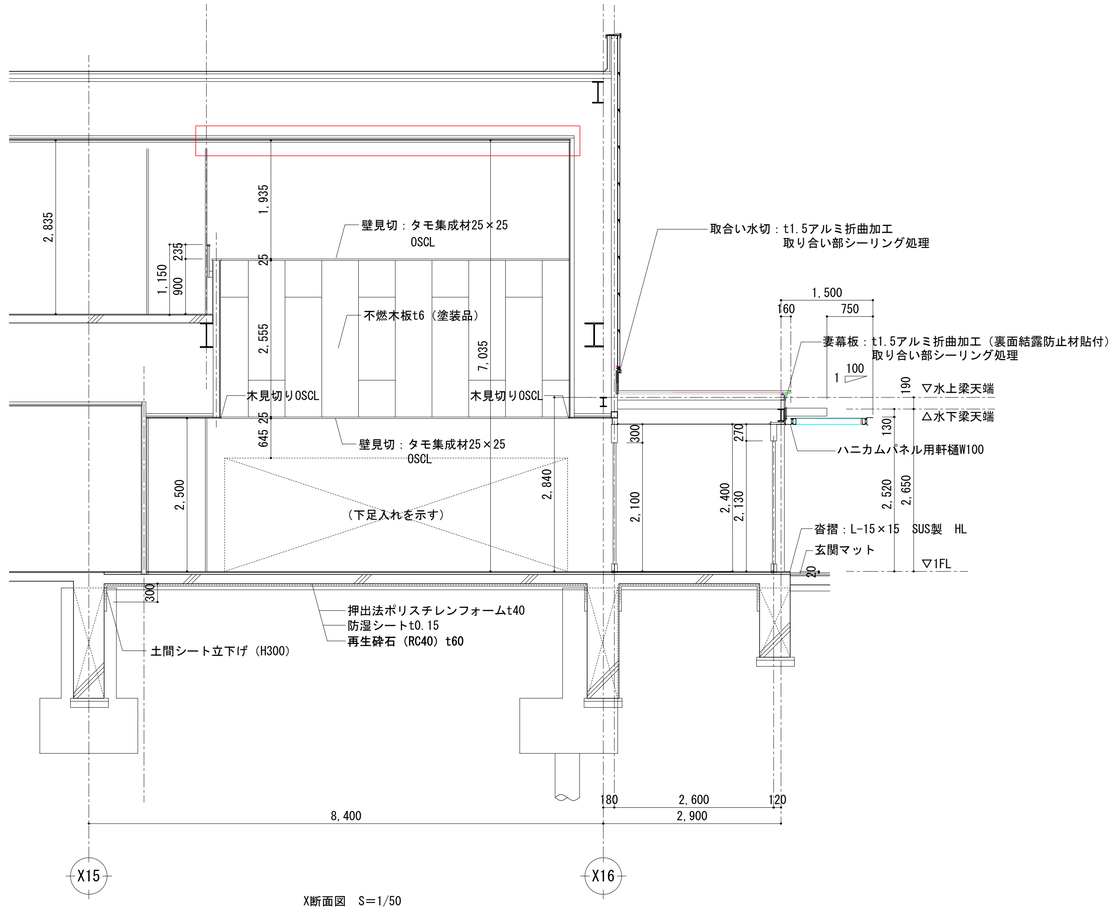
設計者	有馬　慎介	一級建築士 第360847号	年月日
設計者	渡邉　政之	一級建築士 第2242370号 構造設計一級建築士 第6169号	作図者　大川井寛子

工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事
図面名	平面詳細図(13)

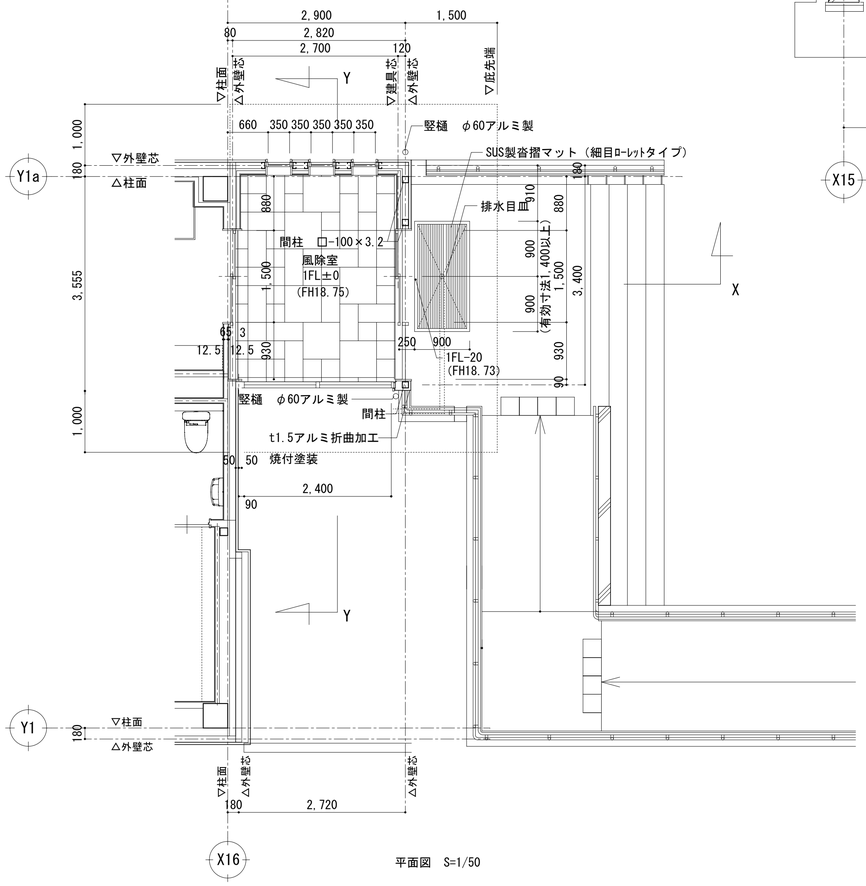
縮尺		図面番号
A1	1/50	A-044
A3	1/100	



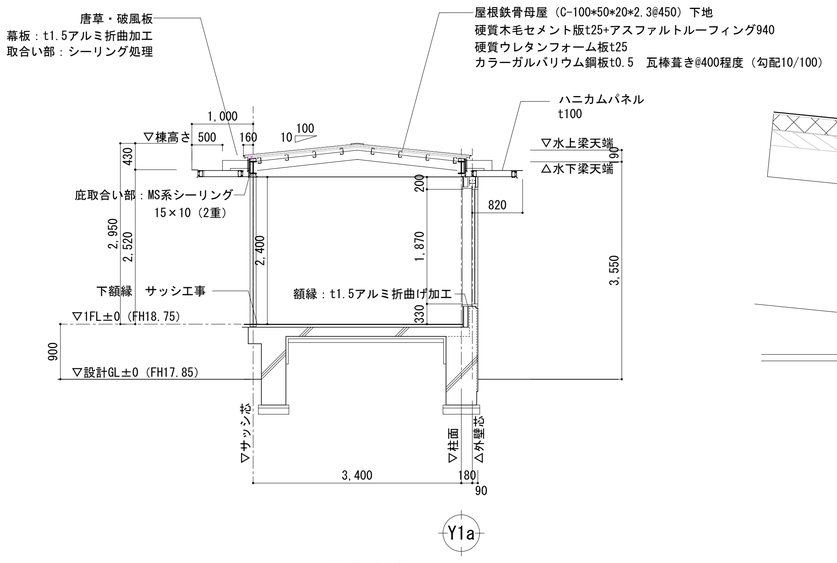
屋根伏図　S=1/50



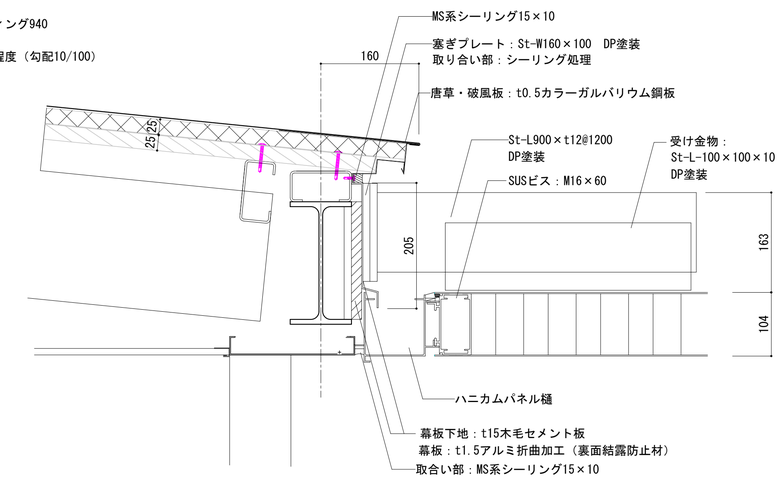
X断面図　S=1/50



平面図　S=1/50



Y断面図　S=1/50

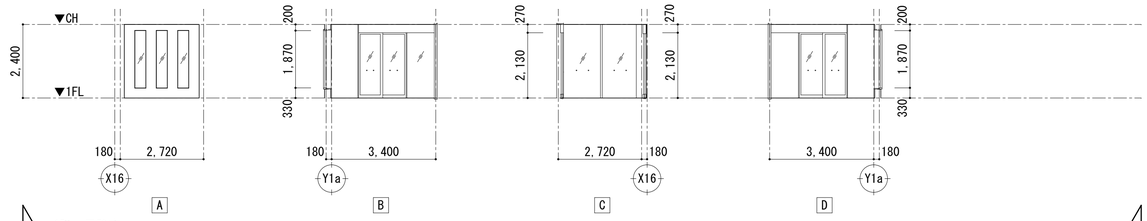


軒先詳細図　S=1/5

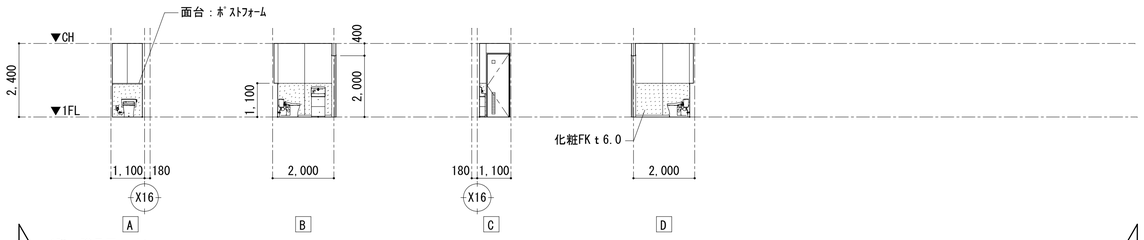
訂正	2026.02.16　2階ホール天井ルーバーの取り止め	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		縮尺	図面番号
			設計者		作図者	有馬　慎介	A1 図示 / A3 図示/2	A-045

工事名：（仮称）新学校給食センター　建築工事

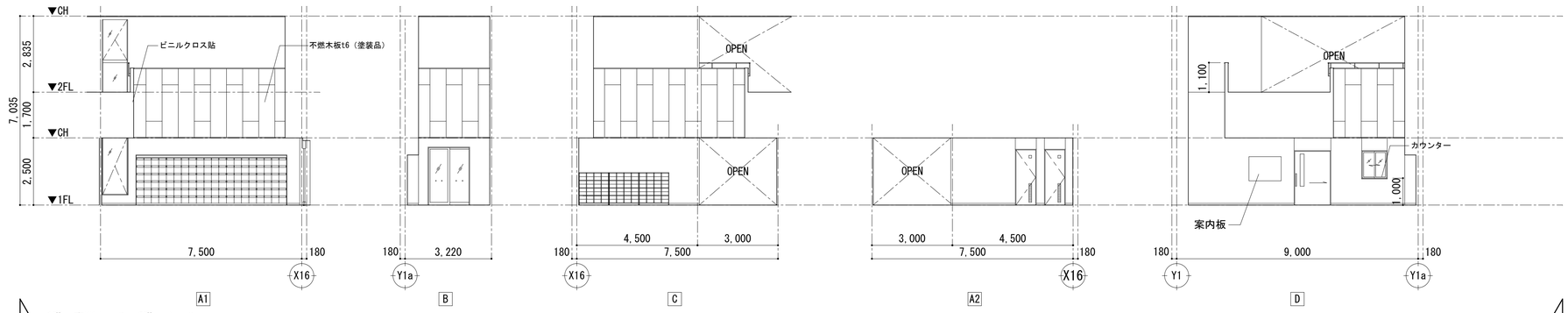
図面名：風除室詳細図

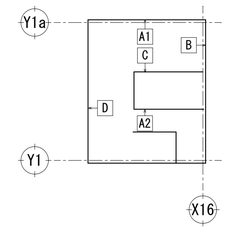


1階　風除室

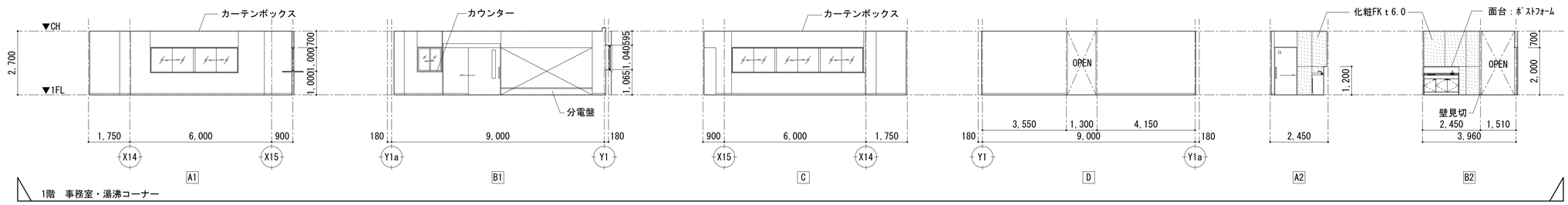


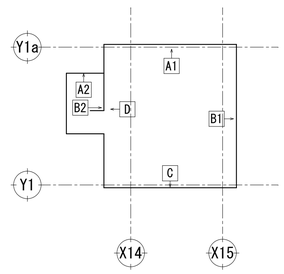
1階　職員用トイレ



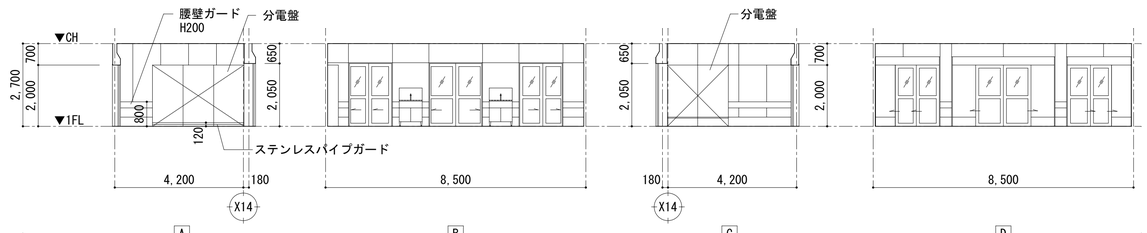


1階　玄関ホール、2階　ホール

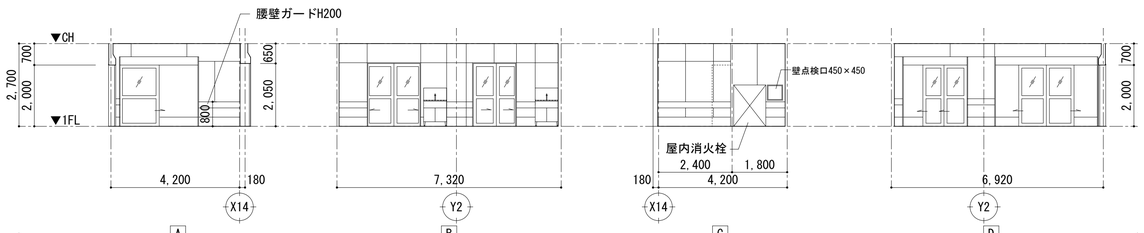




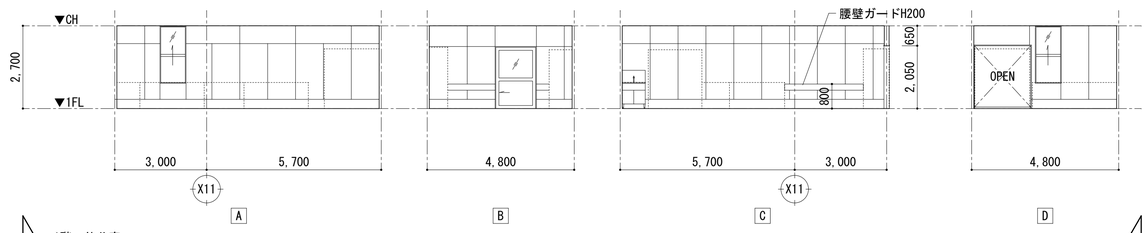
1階　事務室・湯沸コーナー



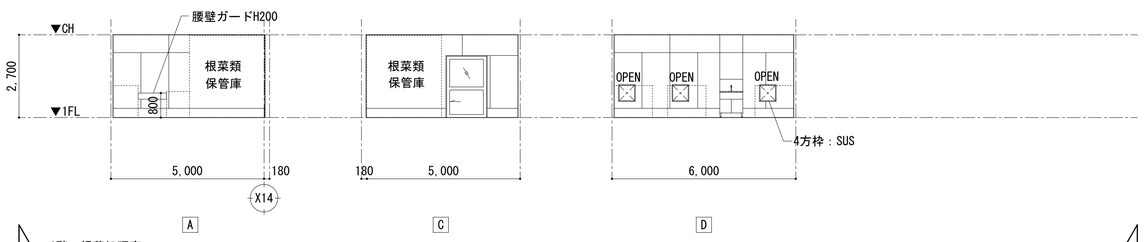
1階　荷受室1



1階　荷受室2

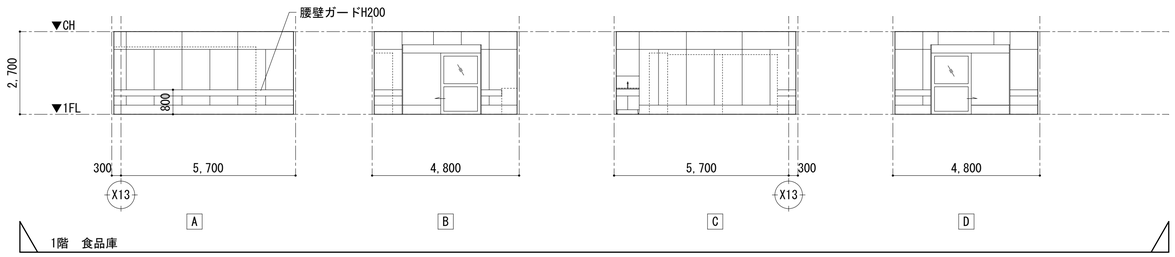


1階　仕分室

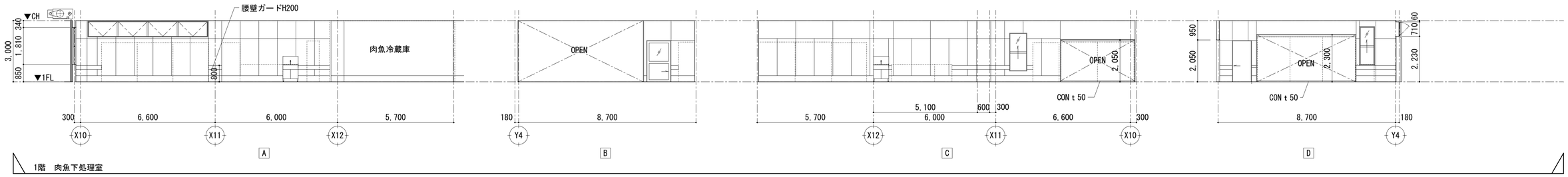


1階　根菜処理室

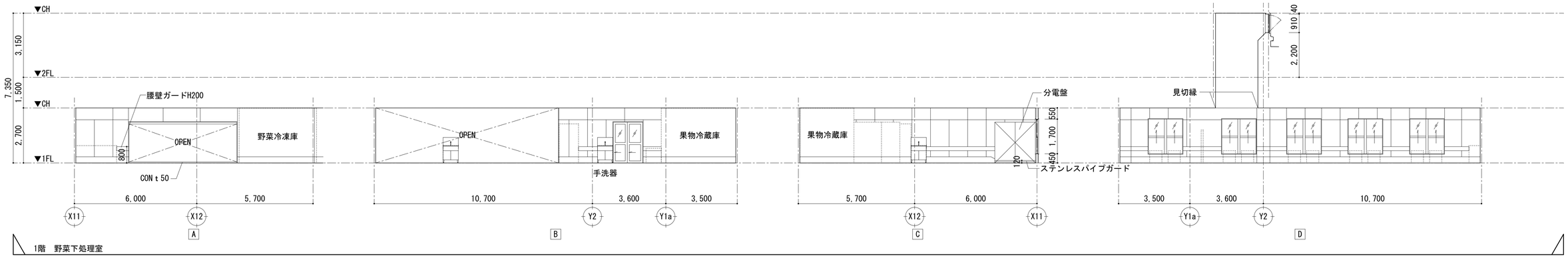
訂正	2026.02.16　2階ホール天井ルーバーの取り止め	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	展開図(1)	縮尺 A1 1/100 A3 1/200	図面番号 A-046
			設計者		作図者	宮下　都						



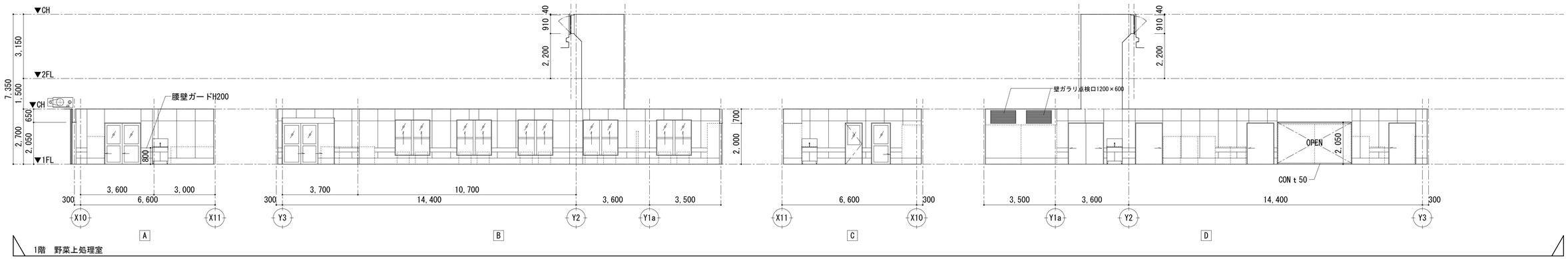
1階　食品庫



1階　肉魚下処理室



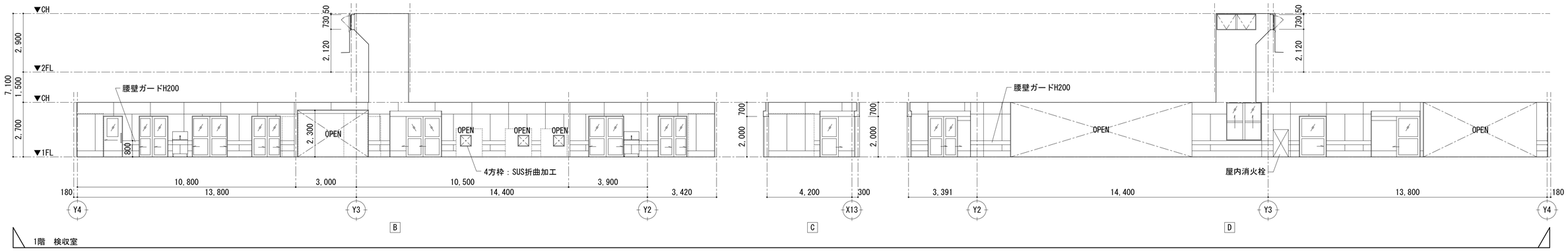
1階　野菜下処理室



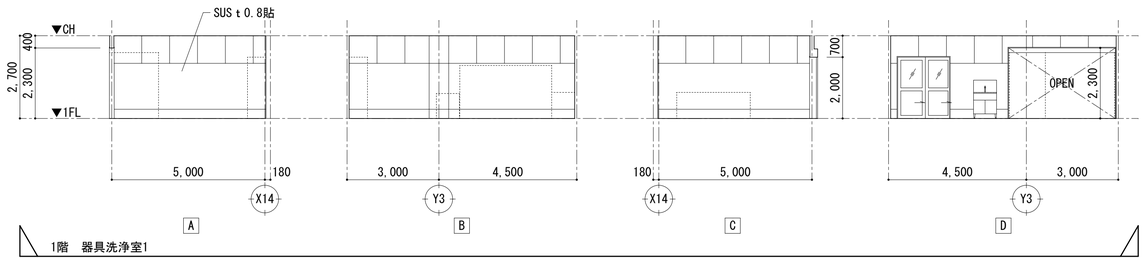
1階　野菜上処理室

訂正	2026.04.16　壁点検口サイズ変更	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日	工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	展開図(2)
			設計者		作図者	宮下　都			

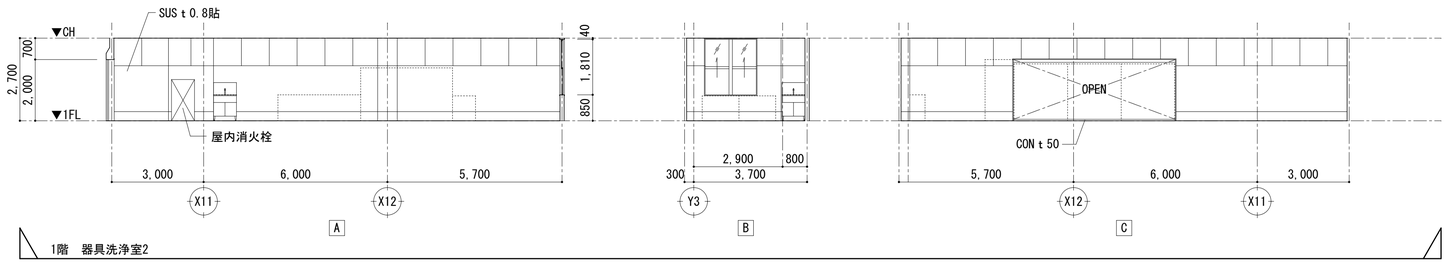
縮尺		図面番号
A1	1/100	A-047
A3	1/200	



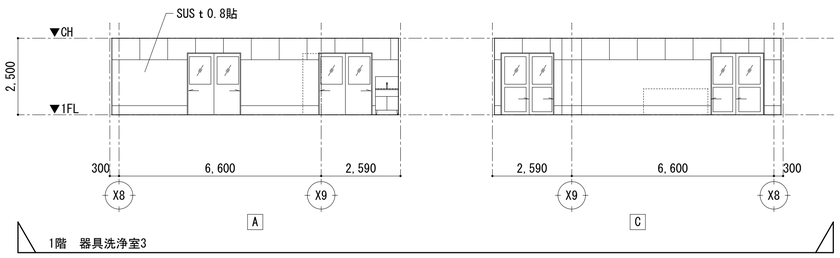
1階　検収室



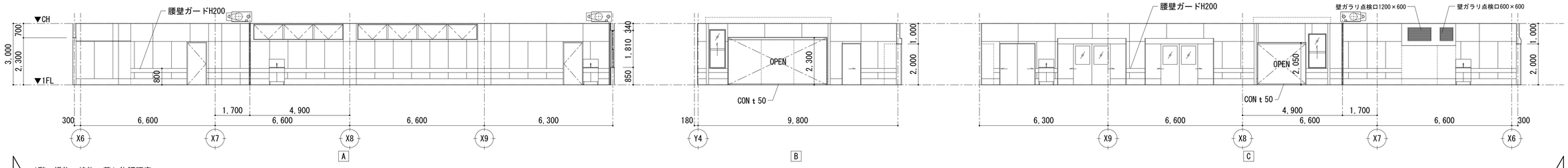
1階　器具洗浄室1



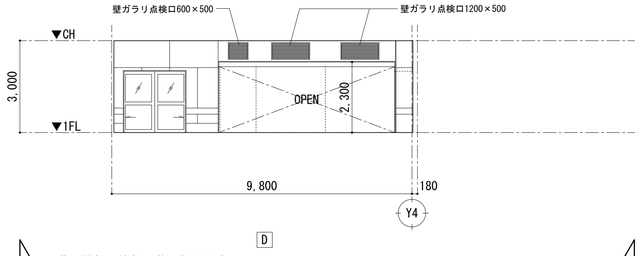
1階　器具洗浄室2



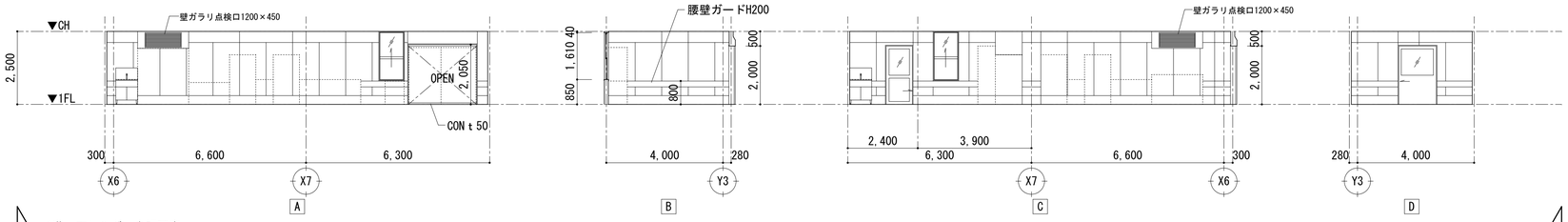
1階　器具洗浄室3



1階　揚物・焼物・蒸し物調理室

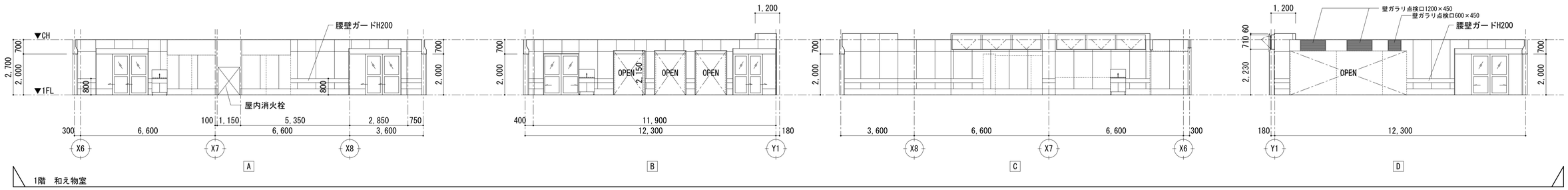


1階　揚物・焼物・蒸し物調理室

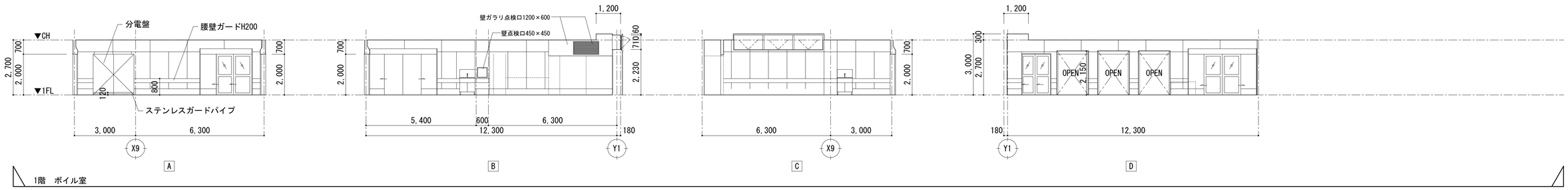


1階　アレルギー食調理室

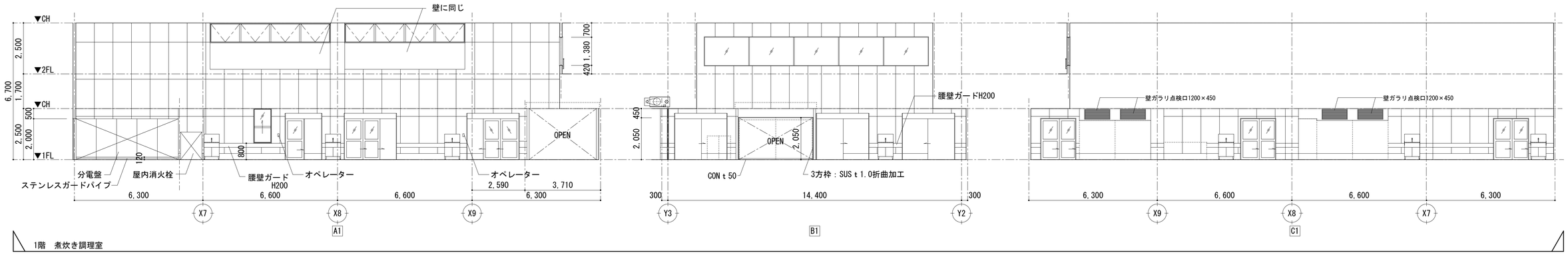
訂正	2026.03.18　アレルギー食調理室A面壁点検口2か所取り止め 2026.04.16　壁点検口サイズ変更	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	展開図(3)	縮尺 A1 1/100 A3 1/200	図面番号 A-048
			設計者		作図者	宮下　都						



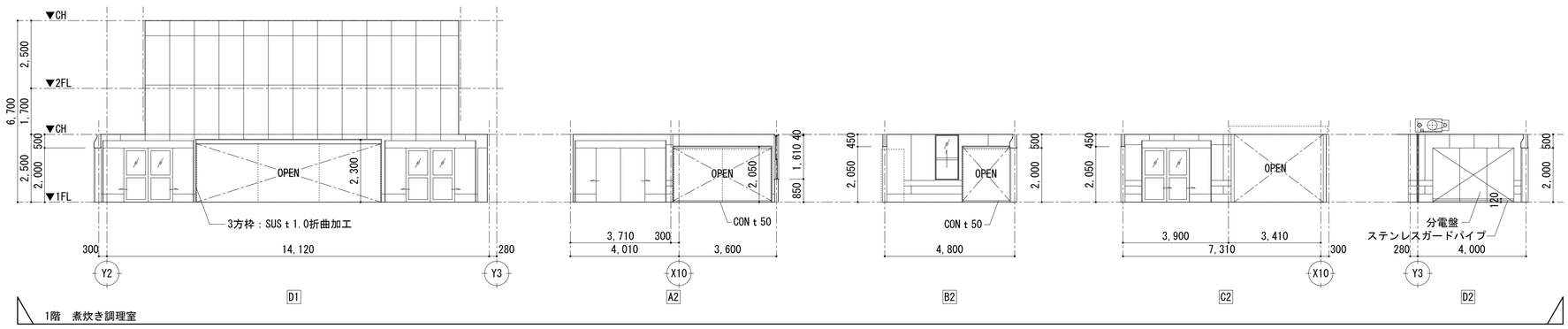
1階　和え物室



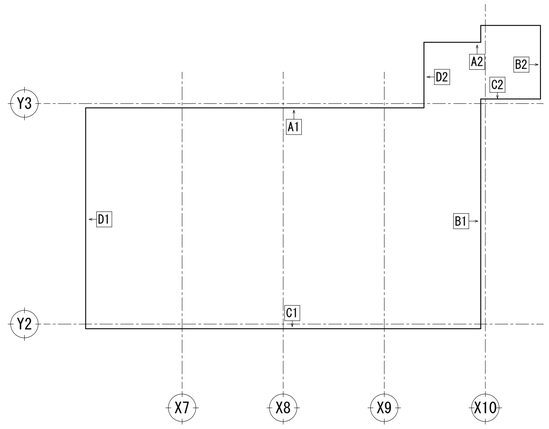
1階　ボイル室



1階　煮炊き調理室



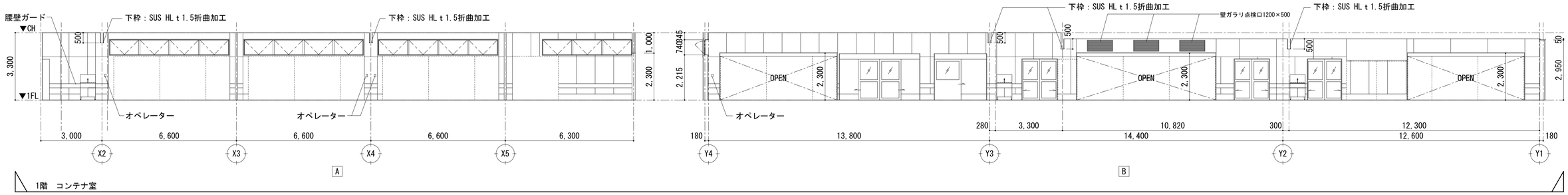
1階　煮炊き調理室

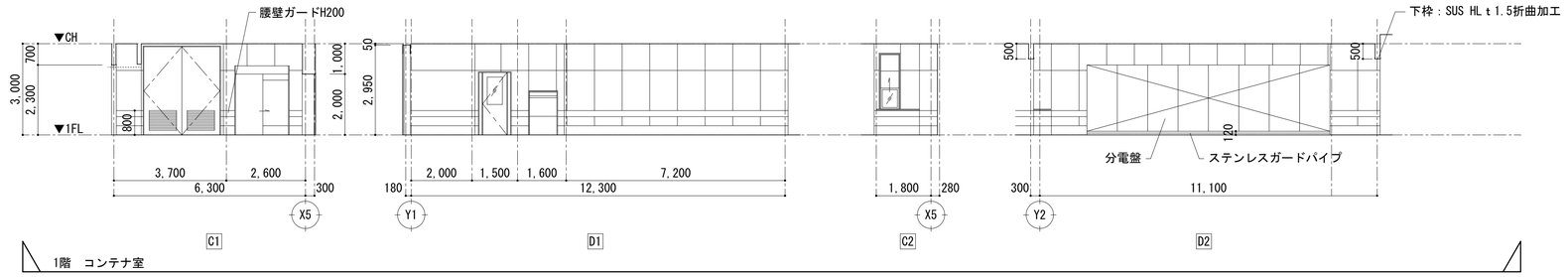


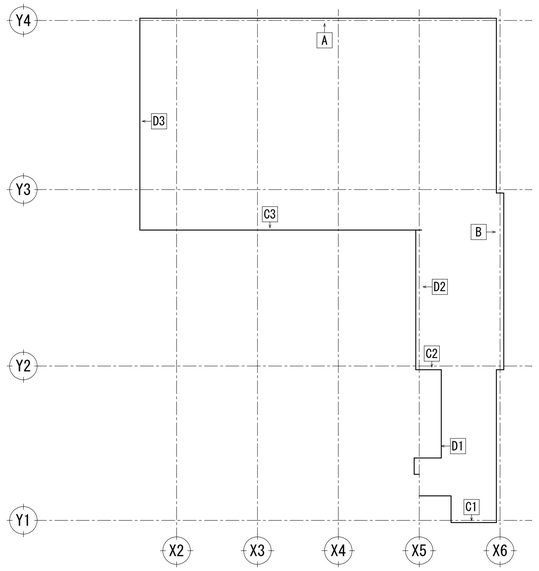
訂正	2026.04.16　壁点検口サイズ変更	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		縮尺	図面番号
			設計者		作図者	宮下　都	A1 1/100 / A3 1/200	A-049

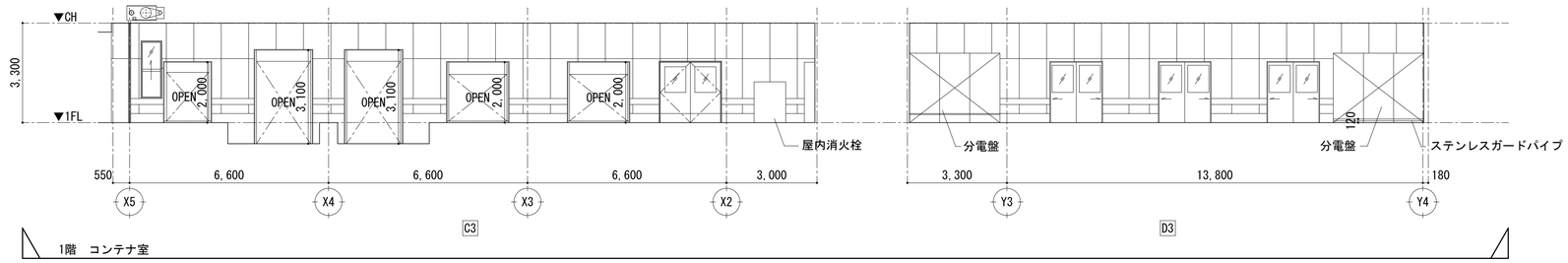
工事名：（仮称）新学校給食センター　建築工事

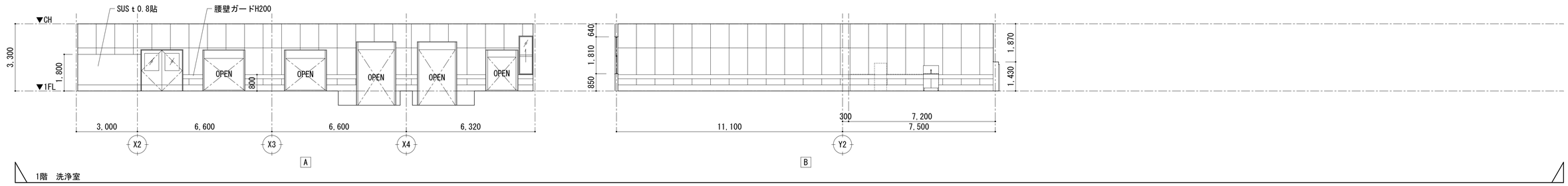
図面名：展開図(4)

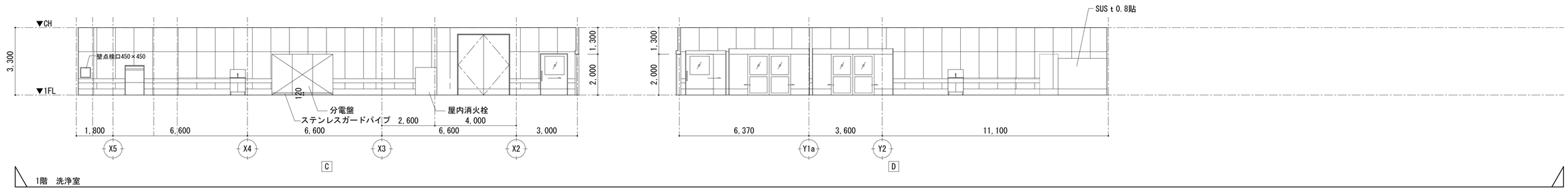




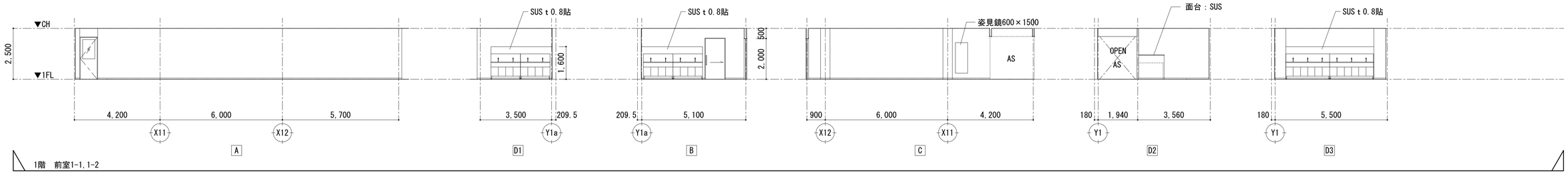




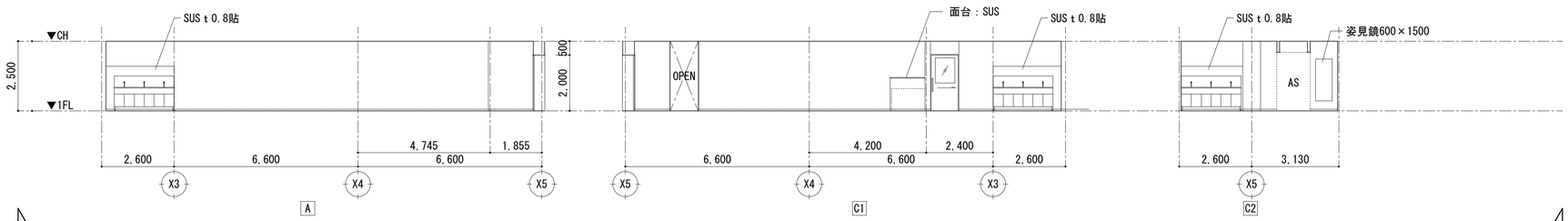




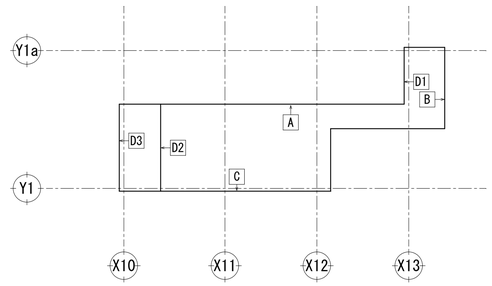
訂正	2026.04.16　壁点検口サイズ変更	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	展開図(5)	縮尺 A1 1/100 A3 1/200	図面番号 A-050
			設計者		作図者	宮下　都						

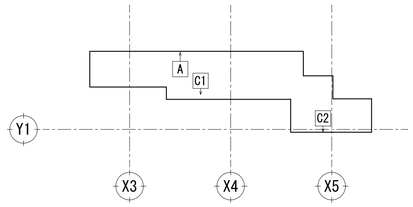


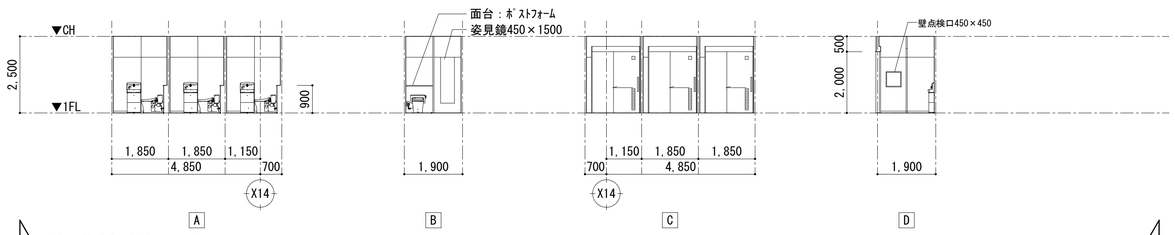
1階　前室1-1,1-2



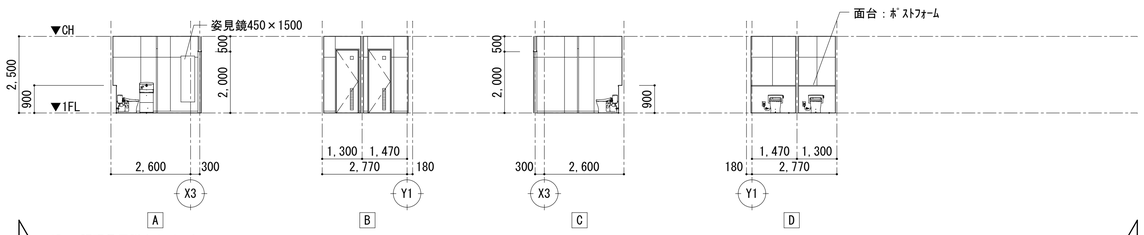
1階　前室2-1,2-2





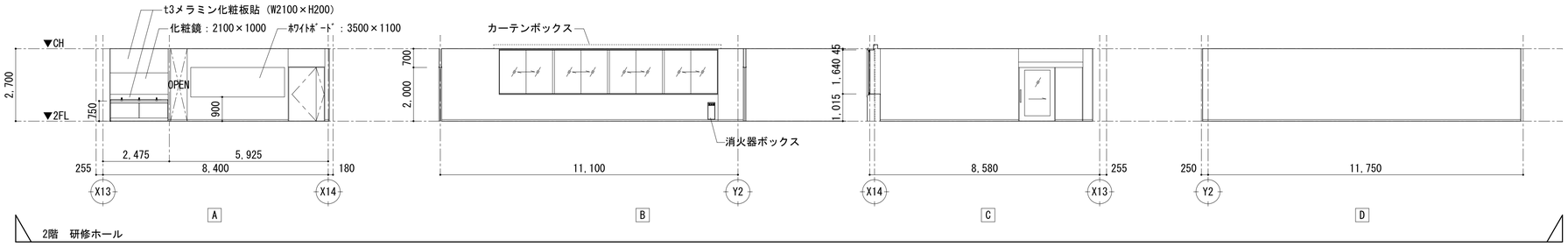


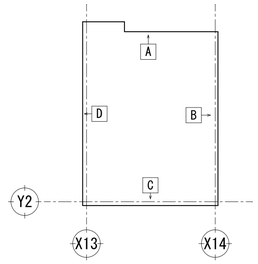
1階　調理員用脱衣トイレ1

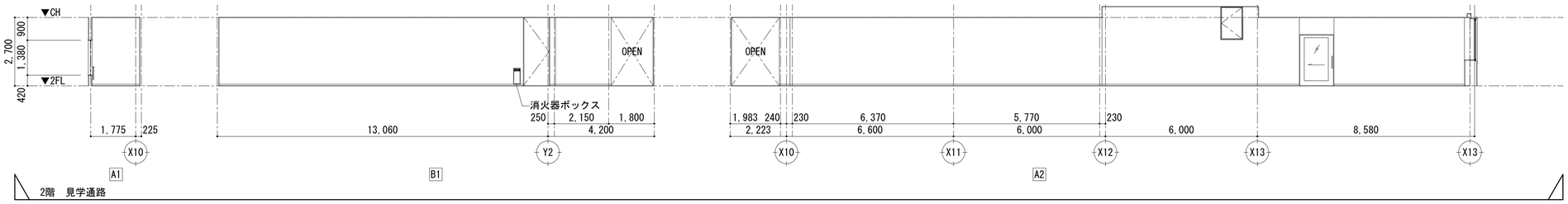


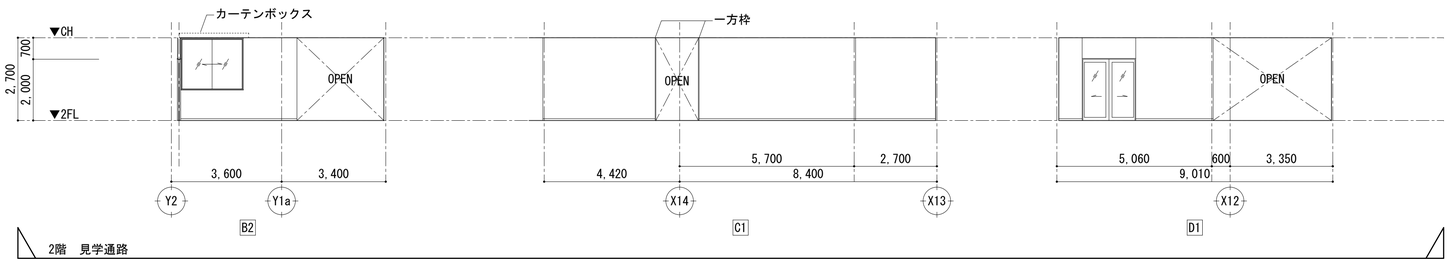
1階　調理員用脱衣トイレ2

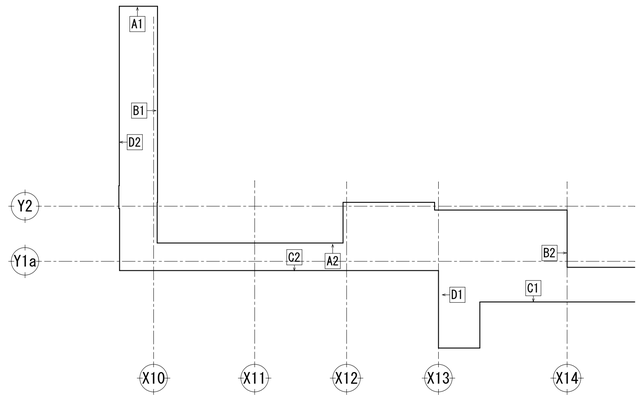
訂正	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	展開図(6)	縮尺		図面番号
		設計者		作図者	宮下　都					A1	1/100	A-051
										A3	1/200	

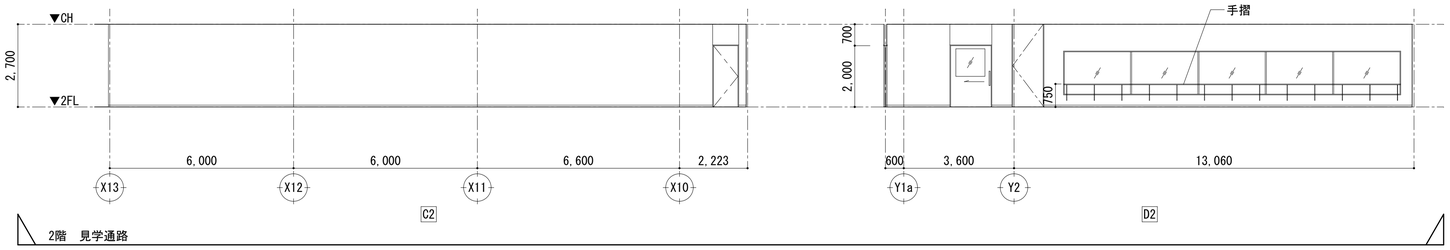






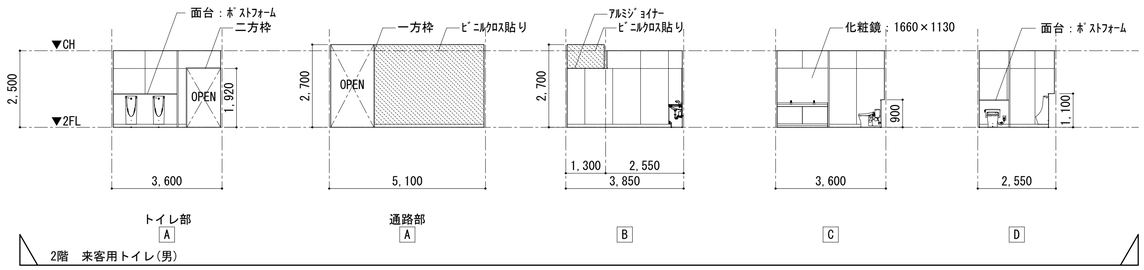


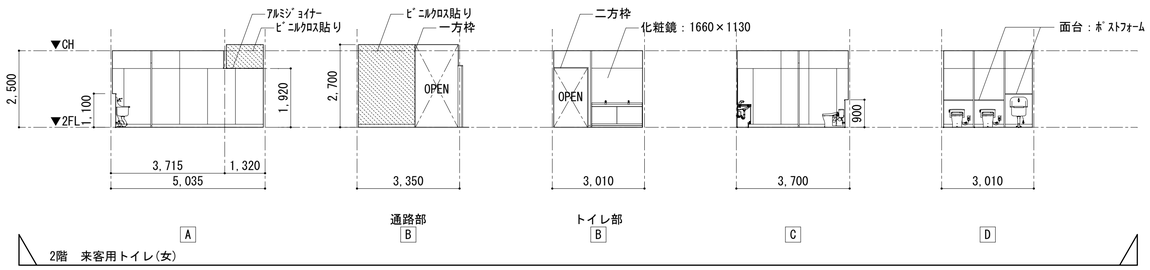


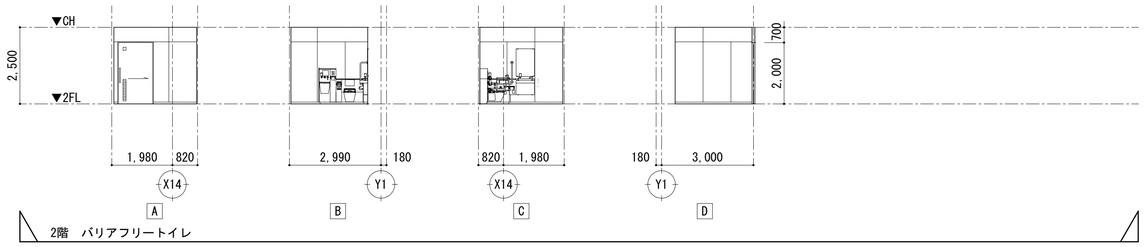


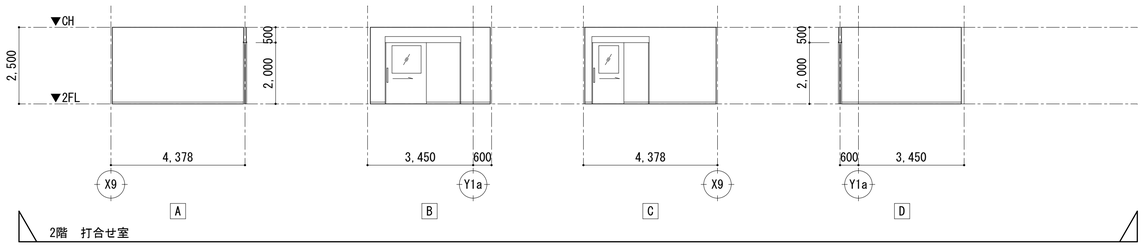
訂正	2026.02.16　調理実習室の取り止め 2026.02.16　研修ホールAW-12のFIX窓2枚を引違窓へ変更	株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	展開図(7)
			設計者		作図者	宮下　都				

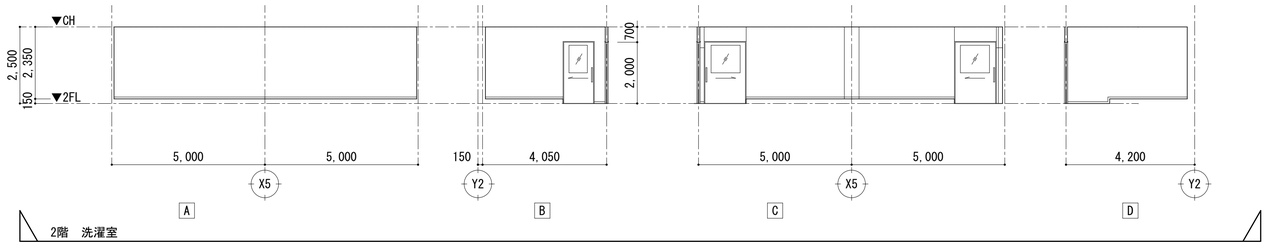
縮尺		図面番号
A1	1/100	A-052
A3	1/200	

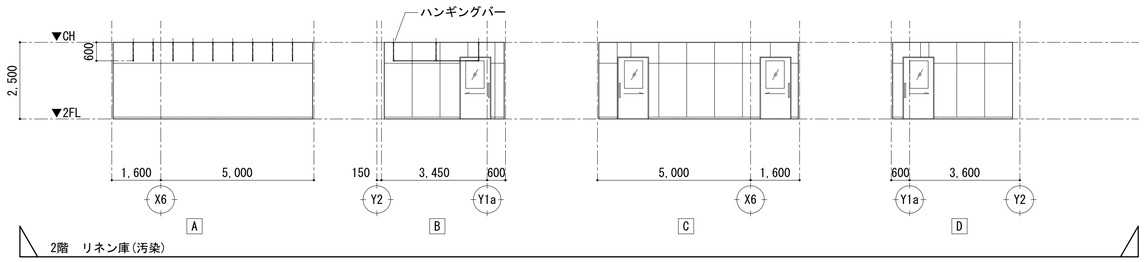


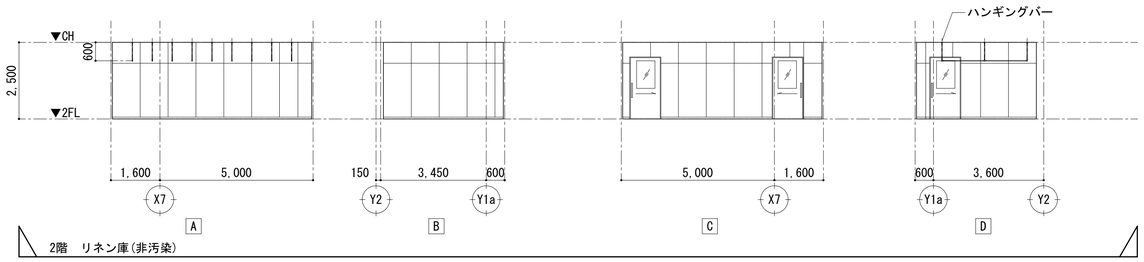


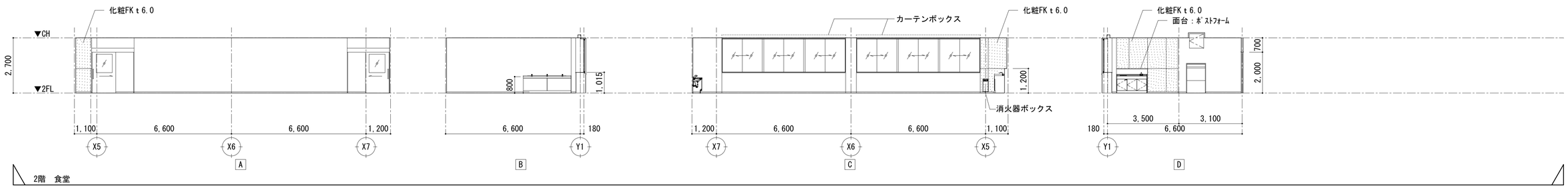




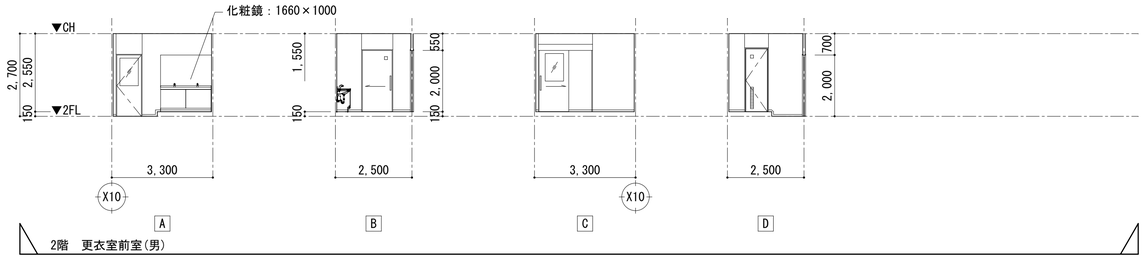




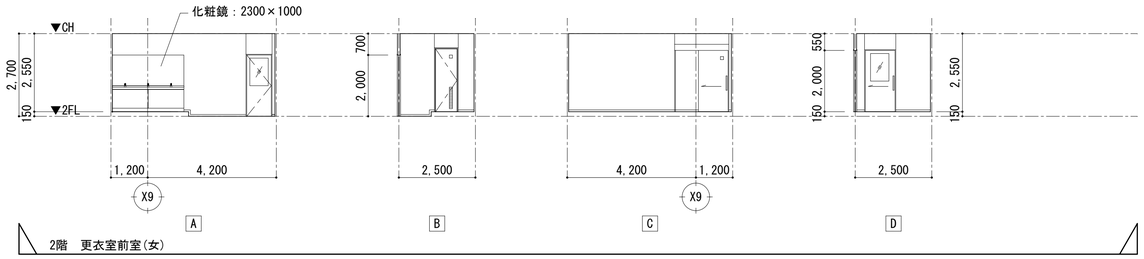




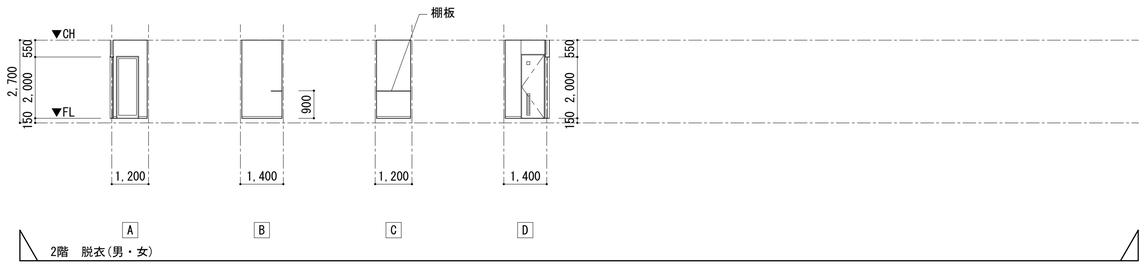
訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名	展開図(8)	縮尺 A1 1/100 A3 1/200	図面番号 A-053
			設計者		作図者	宮下　都						



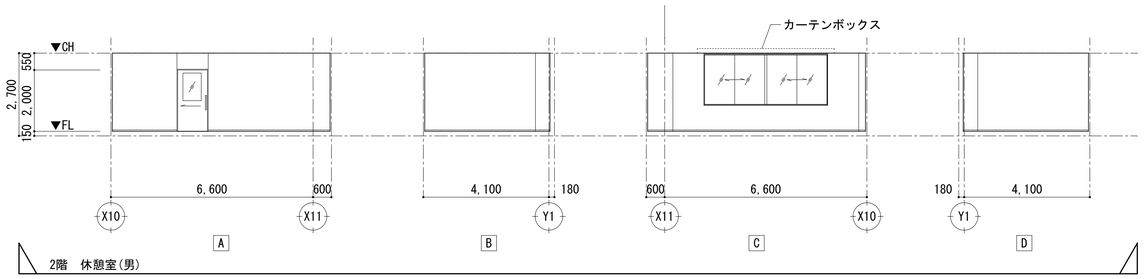
2階　更衣室前室(男)



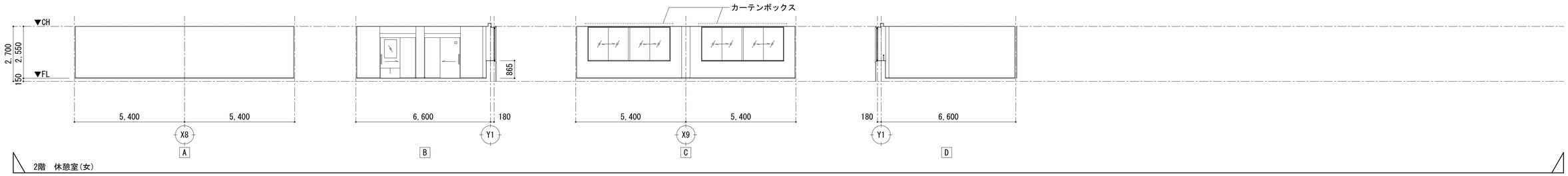
2階　更衣室前室(女)



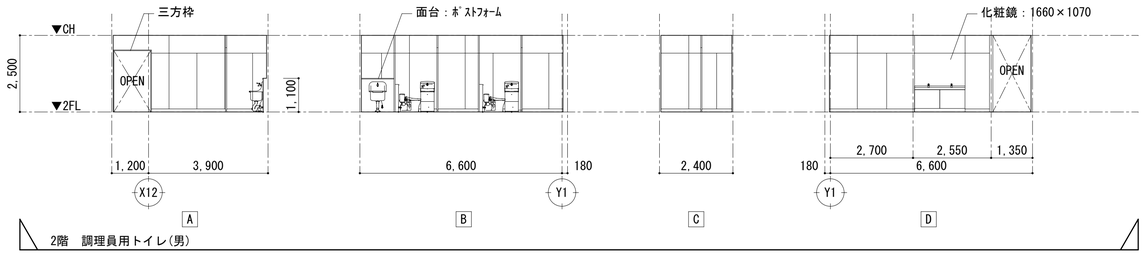
2階　脱衣(男・女)



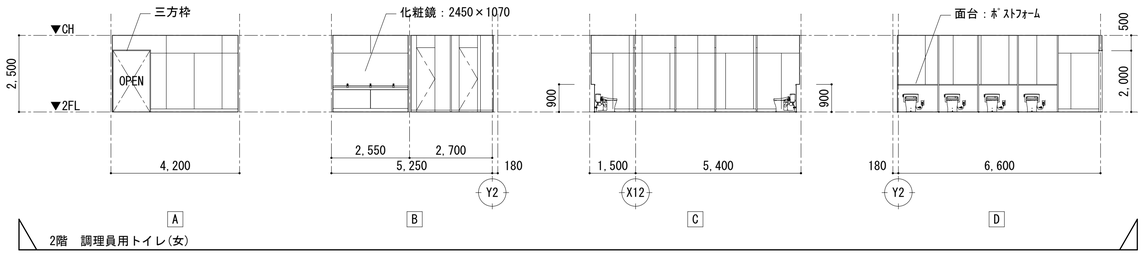
2階　休憩室(男)



2階　休憩室(女)



2階　調理員用トイレ(男)



2階　調理員用トイレ(女)

訂正		株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬　慎介　一級建築士 第360847号	年月日		工事名	（仮称）新学校給食センター　建築工事	図面名 展開図(9)
			設計者		作図者	宮下　都			

縮尺		図面番号
A1	1/100	A-054
A3	1/200	